

# fi-6010N ネットワークスキャナ

---

## オペレーターガイド





# 目次

---

コピーライト .....	xv
はじめに .....	xxi
■ マニュアルの種類 .....	xxi
■ 法規制情報 .....	xxi
■ 商標 .....	xxiii
■ 注記および責任事項 .....	xxvi
■ 表記について .....	xxviii
■ 安全上のご注意 .....	xxx
第 1 章 本装置の概要 .....	1
1.1 本装置の特長 .....	2
■ 読み取ったスキャン画像の簡単活用 .....	2
■ 簡単設定・簡単管理 .....	3
■ 高度なセキュリティ対策 .....	4
1.2 各部の名称と働き .....	5
1.2.1 本装置外部 .....	5
1.2.2 本装置内部 .....	7
1.3 ログイン方法別操作一覧 .....	8
1.4 動作環境 .....	15
1.4.1 Admin Tool・AddressBook Editor の動作環境 .....	15
■ ソフトウェア（日本語版） .....	15
■ ハードウェア .....	16
1.4.2 連携するサーバの動作環境 .....	17
■ LDAP サーバ .....	18
■ SMTP サーバ .....	18
■ ファイルサーバ .....	19
■ SharePoint サーバ .....	19

■ FTP サーバ .....	19
■ プリントサーバ .....	19
■ DNS サーバ .....	19
■ WINS サーバ .....	20
■ DHCP サーバ .....	20
■ NTP サーバ .....	20
■ FAX サーバ .....	20
1.4.3 使用するポート番号一覧.....	21
<b>第 2 章 本装置の基本的な使い方 .....</b>	<b>23</b>
2.1 電源の投入／切断について .....	24
■ 電源を投入します .....	24
■ 電源を切断します .....	25
2.2 本装置のボタンの使い方 .....	26
2.2.1 電源ボタンの使い方.....	26
2.2.2 SCAN ボタンの使い方.....	28
2.3 タッチパネルの使い方 .....	29
2.4 キーボードの使い方 .....	30
2.4.1 管理者のキーボードの使い方 .....	30
2.4.2 利用者のキーボードの使い方 .....	31
2.4.3 文字入力について .....	31
<b>第 3 章 管理者の操作（概要） .....</b>	<b>33</b>
3.1 操作方法 .....	34
3.2 機能別の設定項目 .....	35
<b>第 4 章 管理者の操作（タッチパネル・Admin Tool） .....</b>	<b>39</b>
4.1 タッチパネル（管理者）の画面について .....	40
4.2 Admin Tool の画面について .....	42
4.3 管理者が本装置からログインします .....	44

<b>4.4</b>	<b>Admin Tool でログインする場合の事前設定 .....</b>	<b>46</b>
4.4.1	Web ブラウザのキャッシュを確認します .....	46
4.4.2	Web ブラウザの信頼済みサイトを設定します .....	47
4.4.3	Admin Tool をインストールします .....	48
4.4.4	Admin Tool のアンインストール方法 .....	53
<b>4.5</b>	<b>管理者が Admin Tool からログインします .....</b>	<b>54</b>
<b>4.6</b>	<b>システム設定メニューでの設定 .....</b>	<b>57</b>
4.6.1	タッチパネルを調整します .....	57
4.6.2	スキャナ名を設定します .....	60
4.6.3	タイムゾーンを設定します .....	62
4.6.4	日時を設定します .....	63
4.6.5	省電力モード・自動ログアウトを設定します .....	65
4.6.6	ログイン設定をします .....	67
4.6.7	LAN Manager 認証レベルを設定します .....	72
4.6.8	管理者パスワードを変更します .....	74
4.6.9	保存ファイル名を設定します .....	75
4.6.10	添付ファイル名を設定します .....	79
4.6.11	マルチフィードの検出条件を設定します .....	81
4.6.12	スキャナの動作を設定します .....	84
	■ 読み取り画像のオフセットを設定します .....	85
	■ 読み取り画像の倍率を設定します .....	85
4.6.13	スキャナの詳細設定をします .....	86
4.6.14	証明書を管理します .....	87
	■ 証明書をインポートします .....	87
	■ 証明書を削除します .....	88
<b>4.7</b>	<b>ネットワーク設定メニューでの設定 .....</b>	<b>89</b>
4.7.1	IP アドレス /DHCP を設定します .....	89
4.7.2	接続設定をします .....	91
4.7.3	集中管理サーバを設定します .....	93
4.7.4	DNS サーバを設定します .....	97
4.7.5	WINS サーバを設定します .....	99
4.7.6	NTP サーバを設定します .....	100
4.7.7	プロキシサーバを設定します .....	102
4.7.8	ログイン LDAP サーバを設定します .....	104
	■ LDAP 検索対象について .....	108
4.7.9	メールアドレス LDAP サーバを設定します .....	113
4.7.10	LDAP 検索条件を設定します .....	116

4.7.11	メールサーバを設定します	121
4.7.12	FAX 送信サーバを設定します	123
4.7.13	ネットワーク共有プリンタを設定します	124
	■ プリンタドライバを確認します	125
	■ プリンタのプロパティを設定します	126
	■ ネットワーク共有プリンタを登録します (ツリー選択)	129
	■ ネットワーク共有プリンタを登録します (直接入力)	133
	■ ネットワーク共有プリンタ名を変更します	135
	■ ネットワーク共有プリンタを削除します	136
	■ ネットワーク共有プリンタの詳細情報を参照します	137
4.7.14	ネットワーク共有フォルダを設定します	138
	■ ネットワーク共有フォルダを登録します (ツリー選択)	139
	■ ネットワーク共有フォルダを登録します (直接入力 (ネットワークパス))	142
	■ ネットワーク共有フォルダを登録します (直接入力 (FTP パス))	144
	■ ネットワーク共有フォルダの設定を変更します	147
	■ ネットワーク共有フォルダを削除します	148
	■ ネットワーク共有フォルダの詳細情報を参照します	149
4.7.15	SharePoint フォルダを設定します	150
	■ SharePoint フォルダの表示名を変更します	152
	■ SharePoint フォルダを削除します	153
4.7.16	異常通知先を設定します	154
4.7.17	Ping でネットワークへの接続状態を確認します	155
4.7.18	ネットワークの動作状態を確認します	157
	■ ネットワーク状態を確認します	157
	■ Link Speed/Duplex Mode を設定します	158
<b>4.8</b>	<b>装置状態メニューでの設定</b>	<b>159</b>
4.8.1	装置管理情報を参照します	159
4.8.2	オプション機能の適用状況を参照します	160
4.8.3	消耗品統計情報を参照します	161
	■ 消耗品の状態を参照します	161
	■ カウンタをリセットします	162
4.8.4	Add-in 情報を参照します	163
<b>4.9</b>	<b>履歴管理メニューでの設定</b>	<b>164</b>
4.9.1	ユーザーログを管理します	164
	■ ユーザーログの詳細情報を参照します	164

	■ ユーザーログをダウンロードします .....	166
	■ ユーザーログをすべて削除します .....	166
4.9.2	システムログを管理します .....	167
	■ システムログの詳細情報を参照します .....	167
	■ システムログをダウンロードします .....	169
	■ システムログをすべて削除します .....	169
<b>4.10</b>	<b>メンテナンスメニューでの設定 .....</b>	<b>170</b>
4.10.1	ユーザー情報をメンテナンスします .....	170
	■ ユーザー情報を退避します .....	172
	■ ユーザー情報を復元します .....	173
	■ ユーザー情報を削除します .....	174
4.10.2	システム設定情報の保守を行います .....	175
	■ システム設定情報を CSV 形式で保存します .....	175
	■ システム設定情報を退避します .....	176
	■ システム設定情報を復元します .....	177
	■ システム設定情報を工場出荷時の状態に戻します .....	178
4.10.3	アップデートします .....	179
4.10.4	アップデートの公開をチェックします .....	181
	■ 今すぐにアップデートの公開をチェックします .....	181
	■ スキャナの起動時にアップデートの公開を チェックします .....	182
	■ アップデートの公開を管理者にメール通知します .....	182
4.10.5	Add-in を管理します .....	183
	■ Add-in をインストールします .....	183
	■ Add-in をアンインストールします .....	184
	■ Add-in の環境設定ファイルをアップロードします .....	184
4.10.6	保守情報の採取レベルを設定します .....	185
4.10.7	保守情報を採取します .....	186
<b>4.11</b>	<b>ジョブ設定メニューでの設定 .....</b>	<b>187</b>
4.11.1	ジョブ設定の流れ .....	189
4.11.2	ジョブを設定します .....	191
	■ ジョブを追加します .....	191
	■ ジョブを参照して追加します .....	204
	■ ジョブを編集します .....	204
	■ ジョブを削除します .....	205
	■ ジョブを絞り込みます .....	205
	■ LDAP 一覧を絞り込みます .....	206
4.11.3	ジョブメニューを設定します .....	210

■ ジョブメニューを追加します .....	210
■ ジョブメニューを参照して追加します .....	215
■ ジョブメニューを編集します .....	215
■ ジョブメニューを削除します .....	216
■ ジョブメニューの詳細設定を参照します .....	216
4.11.4 ジョブグループを設定します .....	217
■ ジョブグループを追加します .....	217
■ ジョブグループを編集します .....	222
■ ジョブグループを削除します .....	222
■ ジョブグループの詳細設定を参照します .....	223
■ ジョブグループに属していないユーザーに ジョブメニューを設定します .....	223
■ LDAP 一覧を絞り込みます .....	225
<b>4.12 タッチパネルに表示されている画面を採取します .....</b>	<b>229</b>
<b>第 5 章 管理者の操作 (Central Admin Console) .....</b>	<b>233</b>
5.1 集中管理サーバをダウンロードします .....	234
5.2 Central Admin Console をダウンロードします .....	236
5.3 本装置の環境設定を行います .....	238
<b>第 6 章 利用者の操作 .....</b>	<b>239</b>
6.1 原稿をセットします .....	240
6.1.1 一般的な原稿をセットします .....	240
6.1.2 キャリアシートを使用した原稿をセットします .....	242
6.2 タッチパネル (利用者) の画面について .....	245
6.2.1 画面共通の項目について .....	245
6.2.2 利用者ごとの設定について .....	247
6.2.3 「メインメニュー」画面について .....	248
6.2.4 「ジョブメニュー」画面について .....	251
6.3 利用者モードでログインします .....	255
6.4 スキャン画像をメールで送信します .....	259

6.4.1	メールアドレス台帳を使ってアドレスを入力します .....	264
6.4.2	メールアドレス台帳にアドレスを追加します .....	269
6.4.3	メールアドレス台帳を編集します .....	272
6.4.4	メールアドレス台帳からアドレスを削除します .....	274
<b>6.5</b>	<b>スキャン画像を FAX で送信します .....</b>	<b>276</b>
6.5.1	FAX 番号台帳を使って FAX 送信宛先を入力します .....	278
6.5.2	FAX 番号台帳に FAX 送信宛先を追加します .....	281
6.5.3	FAX 番号台帳を編集します .....	283
6.5.4	FAX 番号台帳から FAX 送信宛先を削除します .....	284
<b>6.6</b>	<b>スキャン画像を印刷します .....</b>	<b>285</b>
6.6.1	印刷比率を設定します .....	290
6.6.2	印刷位置を設定します .....	295
6.6.3	両面／片面を設定します .....	297
<b>6.7</b>	<b>スキャン画像をフォルダに保存します .....</b>	<b>298</b>
<b>6.8</b>	<b>スキャン画像を SharePoint フォルダに保存します .....</b>	<b>303</b>
<b>6.9</b>	<b>読み取り設定をします .....</b>	<b>311</b>
6.9.1	キャリアシートを設定します .....	318
6.9.2	カラーモードを設定します .....	319
6.9.3	用紙サイズを設定します .....	320
	■ 長尺読み取り用紙サイズを設定する .....	322
6.9.4	出力する解像度を設定します .....	324
6.9.5	読み取り面を設定します .....	325
6.9.6	ファイル形式を設定します .....	326
6.9.7	スキャン画像を文字が検索できる PDF ファイルにします .....	328
6.9.8	パスワードロックを設定します .....	331
6.9.9	圧縮率を設定します .....	333
6.9.10	スキャン画像の明るさを調整します .....	335
6.9.11	スキャン画像のコントラストを調整します .....	336
6.9.12	スキャン画像の輪郭強調を調整します .....	337
6.9.13	スキャン画像の色情報を取り除きます .....	338
6.9.14	スキャン画像の裏写り除去レベルを調整します .....	339
6.9.15	読み取った原稿から白紙ページを削除します .....	340
6.9.16	読み取った原稿の向きを補正します .....	341
6.9.17	マルチフィードを検出します .....	344
6.9.18	スキャン画像の枠消し幅を調整します .....	345

---

6.10「表示&編集」画面の表示を設定します .....	347
6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します .....	350
6.11.1 スキャン画像を参照します .....	350
6.11.2 スキャン画像を回転します .....	351
6.11.3 スキャン画像を追加します .....	352
6.11.4 スキャン画像を削除します .....	352
6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します .....	354
6.13 メンテナンスします .....	356
6.14 ジョブを実行します .....	357
6.14.1 「ジョブメッセージ」画面の表示を設定します .....	361
6.14.2 メール送信 / ファイル保存するときのファイル名を 変更します .....	363
6.14.3 読み取る枚数を確認します .....	364
<b>第 7 章 本装置のお手入れ .....</b>	<b>367</b>
7.1 清掃について .....	368
7.1.1 清掃用具 .....	368
7.1.2 清掃箇所と頻度 .....	369
7.2 ADF を清掃します .....	370
7.2.1 ADF の清掃方法 .....	370
7.3 タッチパネルを清掃します .....	376
7.4 キーボードを清掃します .....	377
7.5 キャリアシートを清掃します .....	378
7.6 消耗品 / オプション品を交換します .....	379
7.6.1 消耗品 / オプション品の番号と交換周期 .....	379
■ 消耗品の番号と交換周期 .....	379
■ オプション品の番号と交換周期 .....	380
7.6.2 消耗品の状態を確認します .....	381
7.6.3 パッドユニットを交換します .....	382
7.6.4 ピックローラを交換します .....	383

7.6.5	キャリアシートを購入します .....	387
<b>7.7</b>	<b>読み取りテストをします .....</b>	<b>388</b>
<b>第 8 章</b>	<b>困ったときには .....</b>	<b>391</b>
8.1	原稿づまりが発生したときは .....	392
8.2	キートップが外れたときは .....	396
8.3	ネットワーク通信ができないときには .....	398
8.3.1	ネットワーク動作テスト.....	398
	■ Ping によるネットワークの基本動作確認 .....	398
	■ ネットワーク動作状態の確認 .....	401
	■ 時刻同期による NTP サーバ環境の確認 .....	402
	■ テストメールによるメールサーバ環境の確認 .....	403
8.3.2	ネットワーク通信トラブル現象ごとの対処方法.....	404
	■ IP アドレス指定で本装置から各サーバに ネットワーク通信ができない場合の対処方法 .....	404
	■ ホスト名または FQDN 名指定で、本装置から各サーバ にネットワーク通信ができない場合の対処方法 .....	406
	■ ネットワーク共有プリンタが追加できない場合の 対処方法 .....	407
	■ ネットワーク共有プリンタから印刷できない場合の 対処方法 .....	407
8.3.3	Web ブラウザ・Admin Tool・集中管理サーバから 本装置にアクセスできない場合の対処方法.....	408
8.4	困ったときには .....	411
8.5	サービスセンターに連絡する前に .....	414
8.5.1	概要.....	414
8.5.2	エラー状況 .....	415
	■ コンピュータ接続時の問題 .....	415
	■ 搬送系の問題 .....	415
	■ その他 .....	416
8.6	ラベルの確認 .....	417
8.7	装置を保守に出すときの処置 .....	418

---

<b>付録 A</b>	<b>ADF にセットする原稿について</b> .....	<b>419</b>
	<b>A.1 原稿のサイズ</b> .....	<b>420</b>
	<b>A.2 原稿について</b> .....	<b>421</b>
	A.2.1 原稿の種類 .....	421
	A.2.2 原稿の厚さ .....	421
	A.2.3 事前の注意 .....	421
	<b>A.3 セットできる原稿の枚数</b> .....	<b>424</b>
	<b>A.4 穴をあけてはいけない領域</b> .....	<b>425</b>
	<b>A.5 マルチフィードの検出条件</b> .....	<b>426</b>
	A.5.1 原稿の重なりを検出する場合 .....	426
	A.5.2 原稿の長さを検出する場合 .....	426
	A.5.3 原稿の重なりと長さの両方を検出する場合 .....	426
<b>付録 B</b>	<b>設定値と上限値</b> .....	<b>429</b>
	<b>B.1 メールアドレスの設定値</b> .....	<b>430</b>
	<b>B.2 設定項目の上限値</b> .....	<b>431</b>
<b>付録 C</b>	<b>ルート証明機関について</b> .....	<b>433</b>
	<b>C.1 ルート証明機関一覧</b> .....	<b>434</b>
<b>付録 D</b>	<b>本製品の仕様</b> .....	<b>437</b>
	<b>D.1 全体仕様</b> .....	<b>438</b>
	<b>D.2 スキャナ部の仕様</b> .....	<b>439</b>
	<b>D.3 キーボードによる入力モードの変更について</b> .....	<b>440</b>
	D.3.1 ローマ字入力の場合 .....	440
	D.3.2 かな入力の場合 .....	441
<b>付録 E</b>	<b>メールアドレス台帳の編集 (AddressBook Editor)</b> .....	<b>443</b>

---

<b>E.1 AddressBook Editor とは</b> .....	<b>444</b>
<b>E.2 事前設定</b> .....	<b>445</b>
E.2.1 AddressBook Editor をインストールします .....	445
E.2.2 AddressBook Editor のアンインストール方法 .....	448
<b>E.3 AddressBook Editor の画面について</b> .....	<b>449</b>
<b>E.4 AddressBook Editor を起動 / 終了します</b> .....	<b>453</b>
■ AddressBook Editor を起動します .....	453
■ AddressBook Editor を終了します .....	453
<b>E.5 メールアドレス台帳を開きます</b> .....	<b>454</b>
■ 本装置のメールアドレス台帳を開きます .....	454
■ ファイルからメールアドレス台帳を開きます .....	455
■ ファイルから開けるメールアドレス台帳のファイル形式 .....	456
<b>E.6 グループを設定します</b> .....	<b>457</b>
■ グループを追加します .....	457
■ グループ名を変更します .....	457
■ グループを削除します .....	458
<b>E.7 同報リストを設定します</b> .....	<b>459</b>
■ 同報リストを追加します .....	459
■ 同報リストを変更します .....	460
■ 同報リストを削除します .....	460
<b>E.8 アドレスを設定します</b> .....	<b>461</b>
■ アドレスを追加します .....	461
■ アドレスを変更します .....	461
■ アドレスを削除します .....	462
<b>E.9 メールアドレス台帳の編集内容を破棄します</b> .....	<b>463</b>
<b>E.10 メールアドレス台帳を保存します</b> .....	<b>464</b>
■ メールアドレス台帳を本装置に保存します .....	464
■ メールアドレス台帳をファイルに保存します .....	465
<b>E.11 AddressBook Editor のユーザーログの詳細情報を参照します</b> .....	<b>466</b>

<b>E.12</b>	<b>AddressBook Editor のメッセージ</b>	<b>467</b>
E.12.1	画面のメッセージ	467
E.12.2	ユーザーログ	469
	■ 情報	469
	■ エラー	469
<b>付録 F</b>	<b>操作メッセージ一覧</b>	<b>471</b>
<b>F.1</b>	<b>管理者のメッセージ</b>	<b>472</b>
F.1.1	管理者画面のメッセージ	473
F.1.2	システムログのメッセージ	492
	■ 情報	492
	■ エラー	495
	■ 警告	498
F.1.3	本体装置監視が出力するシステムログのメッセージ	499
	■ 情報	499
	■ エラー	500
	■ 警告	502
<b>F.2</b>	<b>利用者のメッセージ</b>	<b>503</b>
F.2.1	利用者画面のメッセージ	503
F.2.2	システムログのメッセージ	532
	■ 情報	532
	■ 警告	534
	■ エラー	535
F.2.3	ユーザーログ	562
<b>F.3</b>	<b>集中管理のメッセージ</b>	<b>578</b>
F.3.1	システムログのメッセージ	578
	■ 情報	579
	■ 警告	580
	■ エラー	581
<b>付録 G</b>	<b>用語解説</b>	<b>585</b>
	<b>修理・お問い合わせについて</b>	<b>591</b>
	■ 契約サービス	591
	■ スポットサービス	592

---

■ 消耗品／清掃用品の購入先 .....	593
ScanAid の購入 .....	595
索引 .....	597



# コピーライト

---

## NetAdvantage

Copyright© 2000-2010 Infragistics, Inc.

## LEADTOOLS for .NET

Copyright© 2005 LEAD Technologies, Inc.

## WinPcap

Copyright© 1999 - 2005 NetGroup, Politecnico di Torino (Italy).  
Copyright© 2005 - 2010 CACE Technologies, Davis (California).  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) Neither the name of the Politecnico di Torino, CACE Technologies nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by the Kungliga Tekniska Hogskolan and its contributors.

This product includes software developed by Yen Yen Lim and North Dakota State University.

---

Portions Copyright© 1990, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995, 1996, 1997 The Regents of the University of California.  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors."
- 4) Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---

Portions Copyright© 1983 Regents of the University of California.  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

---

Portions Copyright© 1995, 1996, 1997 Kungliga Tekniska Hogskolan (Royal Institute of Technology, Stockholm, Sweden).  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the Kungliga Tekniska Hogskolan and its contributors."
- 4) Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---

Portions Copyright© 1997 Yen Yen Lim and North Dakota State University.  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes software developed by Yen Yen Lim and North Dakota State University"
- 4) The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,

---

INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright© 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---

Portions Copyright© 1995, 1996, 1997, 1998, and 1999 WIDE Project.  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---

Portions Copyright© 1996 Juniper Networks, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that: (1) source code distributions retain the above copyright notice and this paragraph in its entirety, (2) distributions including binary code include the above copyright notice and this paragraph in its entirety in the documentation or other materials provided with the distribution.

The name of Juniper Networks may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

---

Portions Copyright© 2001 Daniel Hartmeier  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---

Portions Copyright 1989 by Carnegie Mellon.

Permission to use, copy, modify, and distribute this program for any purpose and without fee is hereby granted, provided that this copyright and permission notice appear on all copies and supporting documentation, the name of Carnegie Mellon not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the program without specific prior permission, and notice be given in supporting documentation that copying and distribution is by permission of Carnegie Mellon and Stanford University. Carnegie Mellon makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

---

## WinDump

Copyright© 1999 - 2005 NetGroup, Politecnico di Torino (Italy).  
Copyright© 2005 - 2006 CACE Technologies, Davis (California).  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3) Neither the name of the Politecnico di Torino, CACE Technologies nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

## Secure iNetSuite

Copyright© 2008 Dart Communications

# はじめに

このたびは、fi-6010N ネットワークスキャナをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本装置は、ネットワークでつながるオフィスのワークグループで使用し、オフィス業務に最適な機能をやさしい操作性で実現したネットワーク接続型イメージスキャナ端末です。

## ■マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

マニュアル名	内容
fi-6010N ネットワークスキャナ スタートアップガイド (紙)	設置方法やケーブルの接続方法、日常のお手入れなどが記載されています。 最初にお読みください。 本書では、『スタートアップガイド』と省略して記述しています。
fi-6010N ネットワークスキャナ オペレーターガイド (本書) (PDF)	本装置の設定や管理、操作方法などが書かれています。 あわせてご一読ください。 マニュアルを参照するには、本装置からダウンロードしてください。 マニュアルのダウンロード方法については、『スタートアップガイド』を参照してください。 本書では、『オペレーターガイド』と省略して記述しています。
Scanner Central Admin ユーザー ズガイド (PDF)	本装置の集中管理を行うための運用や設定方法などを説明しています。

## ■法規制情報

### 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
本書および『スタートアップガイド』に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

### 高調波ガイドラインについて

本製品は JIS C 61000-3-2 適合品です。  
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

## グリーン製品について



本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。詳細は富士通ホームページ「富士通の環境活動」をご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>

## ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

## 使用済製品の廃棄とリサイクルについてのお願い

- 個人でご購入のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、地方自治体の条例等に従って適切に処理してください。
- 法人、企業のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、産業廃棄物扱いで適切に処理してください。

## 水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

- 口に入れないでください。  
本製品の水銀が体内に入ると危険です。
- 気体や粉末、液体にしないでください。  
本製品を焼いたり、砕いたり、科学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。

## 複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

---

## 紙幣等の偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用してプリンタに不正に印刷すると、その印刷物の使用如何にかかわらず下記の法律に違反し、罰せられます。刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条、通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条等

## 著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

## ■商標

### 商標および登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、および SharePoint は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Intel は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。

Red Hat は米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標または商標です。

ABBYY および FineReader は、ABBYY の商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

### 商標の表記について

本書では、次の名称について省略して記述しています。

Windows	Windows <sup>®</sup> operating system
Windows XP	Windows <sup>®</sup> XP Home Edition operating system Windows <sup>®</sup> XP Professional operating system Windows <sup>®</sup> XP Professional x64 Edition operating system
Windows Vista	Windows Vista <sup>®</sup> Home Basic operating system (32/64bit) Windows Vista <sup>®</sup> Home Premium operating system (32/64bit) Windows Vista <sup>®</sup> Business operating system (32/64bit) Windows Vista <sup>®</sup> Enterprise operating system (32/64bit) Windows Vista <sup>®</sup> Ultimate operating system (32/64bit)

---

Windows 7	Windows <sup>®</sup> 7 Starter operating system (32bit) Windows <sup>®</sup> 7 Home Premium operating system (32/64bit) Windows <sup>®</sup> 7 Professional operating system (32/64bit) Windows <sup>®</sup> 7 Enterprise operating system (32/64bit) Windows <sup>®</sup> 7 Ultimate operating system (32/64bit)
Windows 2000 Server	Windows <sup>®</sup> 2000 Server Small Business Server 2000 Windows <sup>®</sup> 2000 Advanced Server
Windows Server 2003	Windows Server <sup>®</sup> 2003, Standard Edition Windows Server <sup>®</sup> 2003, Enterprise Edition Windows Server <sup>®</sup> 2003, Datacenter Edition Windows Server <sup>®</sup> 2003 R2, Standard Edition Windows Server <sup>®</sup> 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server <sup>®</sup> 2003 R2, Enterprise Edition Windows Server <sup>®</sup> 2003 R2, Enterprise x64 Edition Windows Server <sup>®</sup> 2003 R2, Datacenter Edition Windows Server <sup>®</sup> 2003 R2, Datacenter x64 Edition
Windows Server 2008	Windows Server <sup>®</sup> 2008 Standard (32/64bit) Windows Server <sup>®</sup> 2008 Enterprise (32/64bit) Windows Server <sup>®</sup> 2008 Datacenter (32/64bit) Windows Server <sup>®</sup> 2008 R2 Standard (64bit) Windows Server <sup>®</sup> 2008 R2 Enterprise (64bit)
Exchange	Microsoft <sup>®</sup> Exchange 2000 Server Microsoft <sup>®</sup> Exchange Server 2003 Microsoft <sup>®</sup> Exchange Server 2007 (64bit 版 OS でサポート) Microsoft <sup>®</sup> Exchange Server 2010 (64bit 版 OS でサポート)
.NET Framework	Microsoft <sup>®</sup> .NET Framework
SharePoint	Microsoft <sup>®</sup> Office SharePoint <sup>®</sup> Server 2007 Microsoft <sup>®</sup> SharePoint <sup>®</sup> Server 2010 (64bit 版 OS でサポート)
Solaris 10	Solaris 10 オペレーティングシステム
Red Hat Enterprise Linux	Red Hat <sup>®</sup> Enterprise Linux <sup>®</sup> 4 Red Hat <sup>®</sup> Enterprise Linux <sup>®</sup> 5
SUSE Linux Enterprise Server	SUSE <sup>™</sup> Linux Enterprise Server 10

---

Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer® Windows® Internet Explorer®
Internet Information	Microsoft® Internet Information Services
SQL Server 2005 Express Edition	Microsoft® SQL Server™ 2005 Express Edition
Adobe Acrobat	Adobe® Acrobat®
Adobe Reader	Adobe® Reader®
RightFax	RightFax Business Server (バージョン 9.3)
Admin Tool	fi Network Scanner Admin Tool
AddressBook Editor	fi Network Scanner AddressBook Editor
集中管理サーバ	Scanner Central Admin Server iScanner Central Admin Server
Central Admin Console	Scanner Central Admin Console iScanner Central Admin Console
ネットワーク共有 フォルダ	スキャン画像の保存先とするファイルサーバまたは FTP サーバの フォルダ
SharePoint フォルダ	スキャン画像の保存先とする SharePoint のフォルダ

## 開発・販売元

株式会社 PFU  
〒212-8563  
神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 (ソリッドスクエア東館)  
TEL: 044-540-4538

© PFU LIMITED 2010-2012

## ■注記および責任事項

### 使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、装置本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任において使用していただきます。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の保証範囲は、いかなる場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

### 液晶ディスプレイの特性について

- 本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれています。
- 以下の状態は故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - 本製品で使用している TFT カラー液晶ディスプレイは、高精度な技術を駆使して作られていますが、画面上に常時点灯または点灯しないドットが存在する場合があります。
  - 液晶パネルはその特性上、液晶変化で明るさや色合いに多少むらが発生することがあります。

### バッテリーの交換について

本製品では、BIOS 情報などの保持のため、バッテリー（CMOS RAM のバッテリー）を搭載しています。



#### 警告

- バッテリーは交換しないでください。バッテリーは、間違ったタイプと交換した場合には爆発の危険があります。バッテリー容量がなくなった場合には、当社の担当営業員に連絡してください。
- バッテリーには触れないでください。また、バッテリーの取り付けや取り外しは絶対に行わないでください。感電の原因となったり、人体に発生する静電気によって装置に損傷を与える場合があります。

### 本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

### メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身で行わないでください。

製品をお求めになった販社 / 販売店または PFI イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

---

## 免責事項

### 読み取り画像の原稿再現性について

本製品によって原稿を読み取ってつくられる読み取り画像が、お客様の必要とする精度・品質を満たしていること（たとえば寸法精度、情報量、忠実度、色調等における原稿イメージの再現性）をご確認ください。

また、読み取った原稿を破棄する際は、必ず、読み取り画像を点検したうえでお客様の責任で行ってください。

1. 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）をご確認ください。
  2. 装置内部の清掃をこまめに行ってください。
  3. 消耗品は定期的にお取り替えください。
- 原稿の状態によっては、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、読み取り画像の一部または全部が欠落することがあります。
  - 装置内部が汚れた状態で読み取りを行うと、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、読み取り画像の一部または全部が欠落することがあります。
  - 読み取り設定（カラーモード、解像度、読み取り面、自動原稿向き補正、白紙ページ削除など）によっては、原稿が以下のように読み取られます。
    - 解像度不足で文字が不鮮明となる
    - カラー原稿の読み取り画像がグレースケールまたは白黒となる
    - 両面原稿の読み取り画像が片面となる
    - 読み取り画像の一部が欠けたり、原稿のサイズと異なるサイズの読み取り画像となる
    - 原稿の白紙ページが削除されない、または白紙でないページまで削除される
    - 原稿が意図しない向きに読み取られる
  - 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）または消耗品の状態により、複数枚の原稿を同時に送り（マルチフィード）、読み取り画像にページ抜けが発生することがあります。
  - 原稿が指定内の紙質であっても、原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）や装置内の紙送り機構・消耗品の状態により原稿づまりが発生することがあります。この場合、読み取り画像の一部または全部が欠落することがあります。また、原稿づまりにより原稿を損傷することがあります。

## ■表記について

### 安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。

また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

### 本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

### 本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



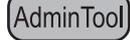
黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

### 管理者

管理者を対象読者とした章であることを表しています。さらに、操作方法を以下のように表しています。



タッチパネル：管理者がタッチパネルで行える操作です。



AdminTool：管理者がネットワーク経由で本装置と接続し Admin Tool で行える操作です。



Central Admin Console：管理者が Central Admin Console を使ってネットワーク経由で行える操作です。

### 利用者

利用者を対象読者とした章であることを表しています。

## 警告ラベルについて



### 高温ラベル

このラベルが貼り付けてある個所は、高温になる場合があります。火傷をするおそれがありますので十分注意してください。



まって!

警告ラベルは、絶対にはがしたりよごしたりしないでください。

## 本書に掲載している画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。なお、本書に記載している画面は、Windows Vista のものです。

## ■安全上のご注意

以下の警告事項において電源ケーブルは、AC ケーブルと AC アダプターを接続したものを含みません。



### 電源ケーブルを傷つけない



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。

電源ケーブルを取り扱う際には、以下の点に注意してください。

- 濡らしたり、加工したり、結んだり、束ねたり、巻きつけたりしない
- 重いものを載せたり、ドアなどにはさんだり、落下させたり、衝撃を与えたりしない
- 引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしない
- 電源ケーブルのプラグに金属を近づけない

また、電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

### 指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する



指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

製品に添付された電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

### 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

また、たこ足配線をしないでください。

### 濡れた手で電源ケーブルを触らない



濡れた手で電源プラグを抜き差ししますと、感電の原因となることがあります。

### 電源プラグのほこりは、よく拭き取る



電源ケーブル、電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。

## 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

## 異臭がしたら使用しない



万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、スキャナを購入された販社 / 販売店 または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

## 機器を破損したら電源を切る



機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。

## 内部に水や異物を入れない



開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。



水をかけるなどして、本体を濡らさないでください。

異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



## むやみに内部を開かない



装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。

## エアスプレーを使用しない



清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。

また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。

---

### 小さなお子様の手の届くところに設置しない



小さなお子様の手の届くところに設置しないでください。けがの原因になることがあります。

---

### 温度が高くなる場所に長時間触れない



本体底面などの温度が高くなる場所に長時間触れて使用しないでください。低温やけどの原因となることがあります。

---

### 使用中にスキャナを覆わない



使用中のスキャナに布団をかけたたりして使用しないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。

---

### 水場で使用しない



風呂場、シャワー室、プールなどの水場で使用しないでください。感電・火災の原因となります。

---

### 海外で使用しない



本製品は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

 **注意**

### 装置を不安定なところに置かない



スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。  
装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。



### 電源プラグを確実に差し込む



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

### 通気口をふさがない



通気口をふさがりますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがらないでください。

### 装置の上に重いものを載せない、上に乗らない



装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。

### 寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない



寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、原稿読み取り不良となる場合があります。暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。

### 装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く



ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

### 静電気を避ける



強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

---

## 歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まれないようにする



歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。

---

## 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

---

## 直射日光の当たる場所に置かない



直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

---

## 紙の取り扱いに注意する



紙を取り扱う際は、紙の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。

---

## 装置を濡らさない



雨天や降雪時に屋外へ持ち出す場合は、濡らさないように注意してください。

---

## 衝撃や振動の加わる場所で使用しない



衝撃や振動の加わる場所で使用しないでください。故障の原因となります。

---

## ピックバネに注意する



清掃時は、スキャナ内部を確認しながら、ピックバネ（金属部）に手や布が引っかからないように注意してください。ピックバネ（金属部）が変形して、けがの原因となることがあります。

# 第 1 章

## 本装置の概要

管理者

利用者

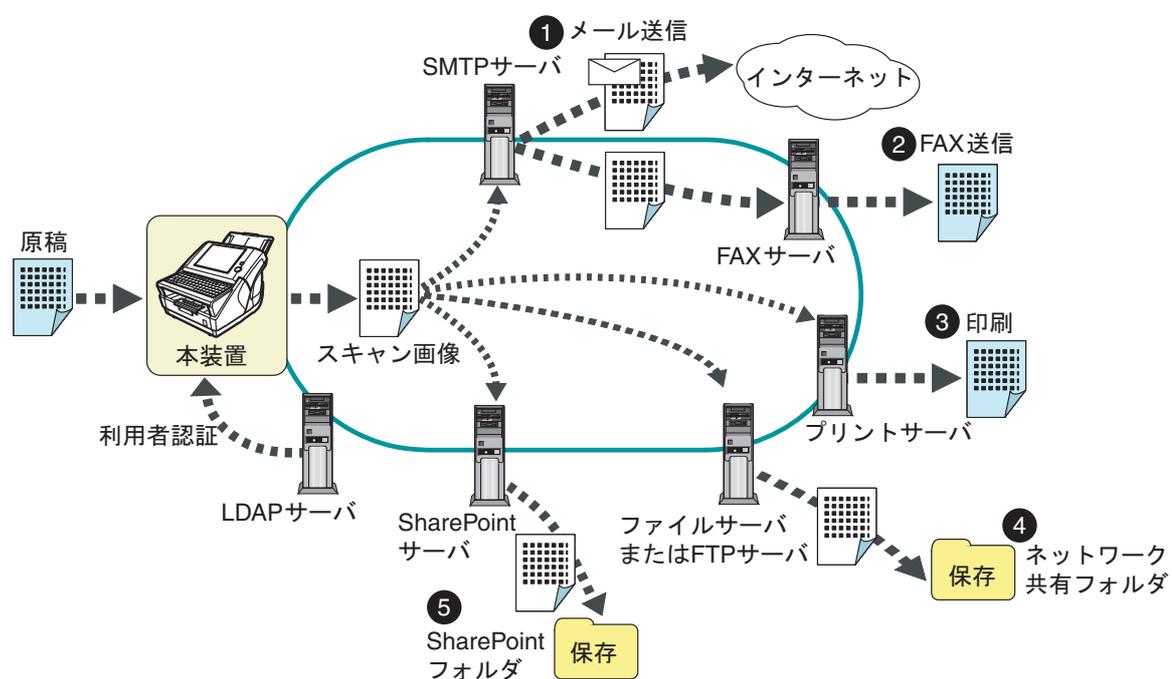
1.1 本装置の特長 .....	2
1.2 各部の名称と働き .....	5
1.3 ログイン方法別操作一覧 .....	8
1.4 動作環境.....	15

## 1.1 本装置の特長

### ■ 読み取ったスキャン画像の簡単活用

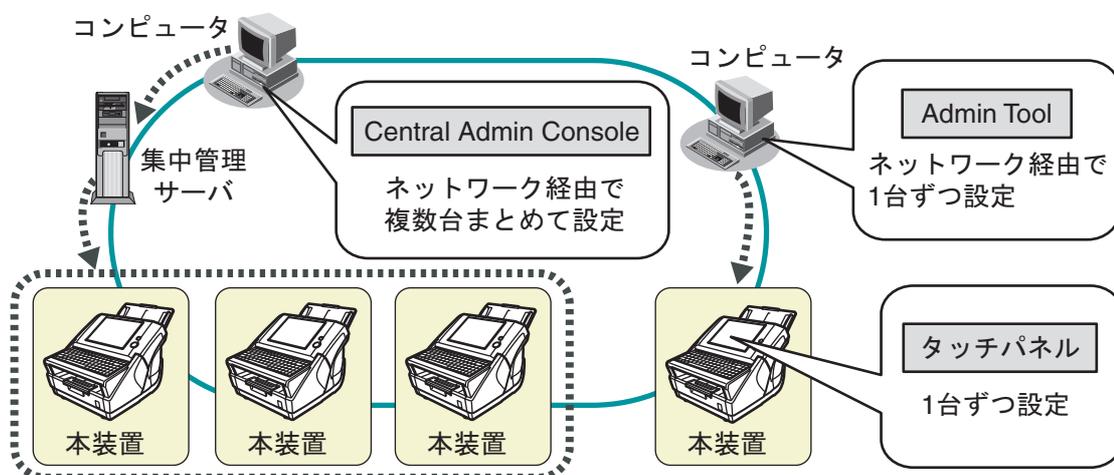
本装置は、読み取ったスキャン画像を、簡単に活用できるネットワークスキャナです。

1. スキャン画像を添付してメール送信できます。
2. スキャン画像を FAX 送信できます。
3. スキャン画像を印刷できます。
4. スキャン画像をネットワーク共有フォルダに保存できます。
5. スキャン画像を SharePoint フォルダに保存できます。



## ■ 簡単設定・簡単管理

本装置の環境設定や管理を、本装置の「タッチパネル」や、コンピュータにインストールした「Admin Tool」または「Central Admin Console」から簡単に行えます。



- Admin Tool

個々のスキャナに接続して、スキャナの動作環境を設定するアプリケーションです。

- Central Admin Console

複数台のスキャナの動作環境の設定や、稼働状況の監視を行うアプリケーションです。

複数台のスキャナを一元管理する集中管理サーバに接続して運用します。

Central Admin Consoleの詳細については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

---

## ■ 高度なセキュリティ対策

本装置は、以下のセキュリティ機能を備えています。

- 利用者認証機能により、利用者を限定できます。
- スキャン画像をパスワード付き PDF として出力できます。
- スキャンしたデータを保護できます。

複数の利用者が、本装置を共有利用する場合が想定されることから、スキャンしたデータの保護は特に重要です。本装置は、スキャンデータの保護に対して、以下のセキュリティ対策を実施しています。

- 暗号化

本装置でスキャンしたデータは、メール送信 / FAX 送信 / 印刷 / フォルダ保存処理中には、一時的に本装置に格納されます。ただし、必ず暗号化して格納されており、万一、ディスクの内容が解析されたとしても、解読はできません。

- スキャンデータの削除

本装置でスキャンしたデータは、メール送信 / FAX 送信 / 印刷 / フォルダ保存処理が完了したあとに削除されます。本装置には保存されません。万一、メール送信 / FAX 送信 / 印刷 / フォルダ保存処理中に、なんらかの異常でスキャンしたデータが滞留してしまった場合でも、本装置の次回起動時に自動的に削除されます。

- 完全消去

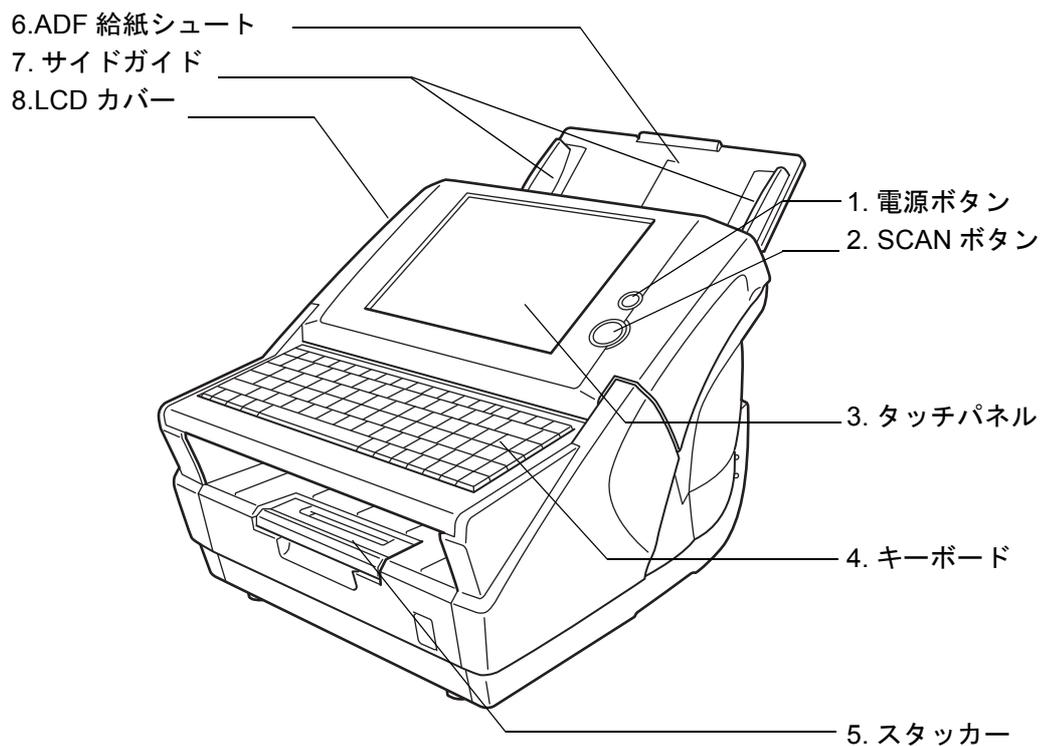
本装置上のユーザー情報を削除する場合、暗号化で使用していた暗号鍵を変更しています。これにより、万一、ディスクの空き領域が解析されたとしても、解読はできません。

また、本装置は、外部記憶媒体からのファイル流入経路はなく、ネットワーク経由による外部からのファイル流入経路は最低限に限定しています。さらに、万一のウイルス侵入に備え、セキュリティパッチを提供しています。これらの対策により、ウイルス感染からも保護されています。

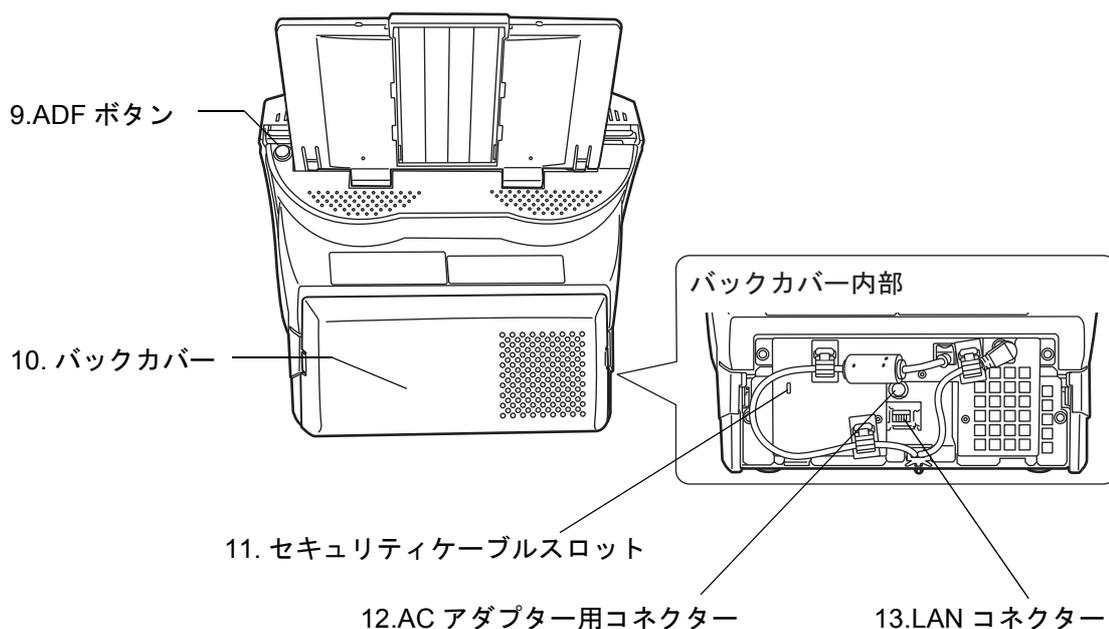
## 1.2 各部の名称と働き

### 1.2.1 本装置外部

- 本装置前面

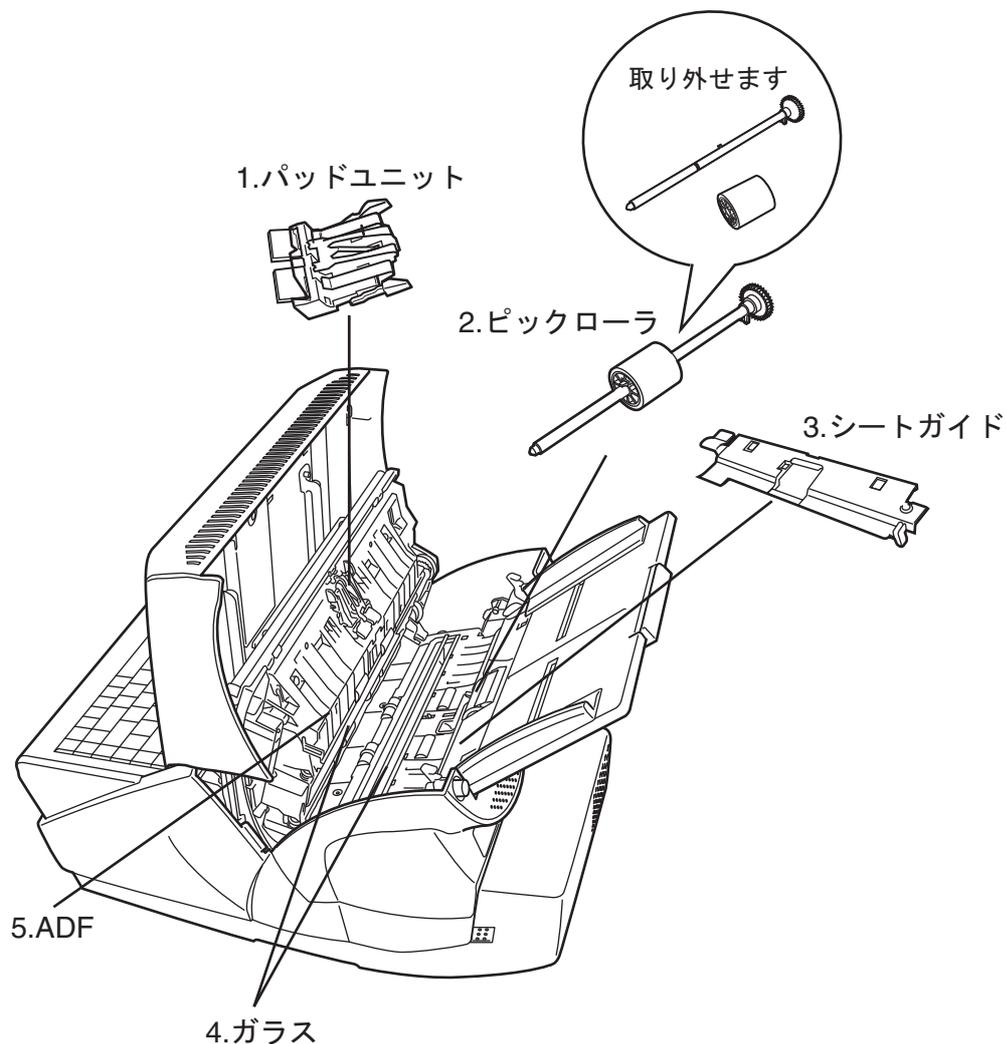


- 本装置背面



No.	名称	機能
1	電源ボタン	電源オフまたは省電力モードから、「ログイン」画面を呼び出します。 使い方については、「 <a href="#">2.2.1 電源ボタンの使い方</a> 」(26ページ)を参照してください。
2	SCAN ボタン	読み取りを開始します。 使い方については、「 <a href="#">2.2.2 SCAN ボタンの使い方</a> 」(28ページ)を参照してください。
3	タッチパネル	メニューが表示されます。 触れることで操作できます。使い方については、「 <a href="#">2.3 タッチパネルの使い方</a> 」(29ページ)を参照してください。
4	キーボード	タッチパネルに表示された入力域に、文字を入力できます。 また、タッチパネルで触れる操作と同じことが行えます。詳細については、「 <a href="#">2.4 キーボードの使い方</a> 」(30ページ)を参照してください。
5	スタッカー	ADF で読み取られた原稿はここに積み重なります。 小さな原稿は、読み取り後にキーボードを跳ね上げて回収できます。
6	ADF 給紙シュート	表面が ADF 給紙シュート側になるように原稿を置きます。
7	サイドガイド	原稿が傾いて搬送されないように原稿の幅に合わせてセットします。
8	LCD カバー	装置内部の清掃や、消耗品の交換をする場合は、ADF ボタンを押し、LCD カバーの側面を持って開きます。
9	ADF ボタン	押すと LCD カバーのロックが外れます。
10	バックカバー	ケーブルを接続する場合は、バックカバー両側面の突起部を同時に押してロックを外し、そのまま装置後方へまっすぐ引いて開きます。
11	セキュリティ ケーブルスロット	市販のセキュリティケーブル（盗難防止用）を接続します。 推奨するセキュリティケーブルは以下のとおりです。 シリンダ部（最大）：直径 25mm、全長 50mm ケーブル振出し方向：ライトアングル (ストレートタイプの場合は、ケーブルの屈曲を含める)
12	AC アダプター用 コネクター	AC アダプターを接続します。
13	LAN コネクター	LAN ケーブルを接続します。

## 1.2.2 本装置内部



No.	名称	機能
1	パッドユニット	ADF 給紙シュートに置かれた原稿をスタッカーへ送ります。
2	ピックローラ	
3	シートガイド	
4	ガラス	原稿を読み取る場所です。
5	ADF (Automatic Document Feeder)	原稿を読み取り位置まで自動的に繰り込みます。

---

## 1.3 ログイン方法別操作一覧

ログイン方法により利用できる機能が、次に示す表のように異なります。

- 管理者

本装置の環境設定や管理を行います。

操作方法には、本装置のタッチパネルから行う方法と、コンピュータにインストールした Admin Tool または Central Admin Console からネットワーク経由で行う方法があります。なお、Central Admin Console では、集中管理サーバに事前に定義した設定を配付することで複数台の装置を一括設定することができます。

- 利用者

本装置を利用して読み取ったスキャン画像を送信、印刷、および保存します。

ボタン/タブ	機能	管理者			利用者	参照
		タッチ パネル	Admin Tool	Central Admin Console		
システム設定						
スキャナ情報移入	スキャナ情報に移入します	—	—	○	—	(*1)
タッチパネル調整	タッチパネルを調整します	○	—	—	—	<a href="#">57 ページ</a>
スキャナ名	スキャナ名を設定します	○	○	—	—	<a href="#">60 ページ</a>
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します	○	○	○	—	<a href="#">62 ページ</a>
日付/時刻	日時を設定します	○	○	○ (*2)	—	<a href="#">63 ページ</a>
省電力モード・自動ログアウト	省電力モード・自動ログアウトを設定します	○	○	○	—	<a href="#">65 ページ</a>
ログイン設定	ログイン設定をします	○	○	○	—	<a href="#">67 ページ</a>
LAN Manager 認証レベル	LAN Manager 認証レベルを設定します。	○	○	○	—	<a href="#">72 ページ</a>
管理者パスワード	管理者パスワードを変更します	○	○	—	—	<a href="#">74 ページ</a>
保存ファイル名設定	保存ファイル名を設定します	○	○	○	—	<a href="#">75 ページ</a>
添付ファイル名設定	添付ファイル名を設定します	○	○	○	—	<a href="#">79 ページ</a>
マルチフィード検出設定	マルチフィードの検出条件を設定します	○	○	○	—	<a href="#">81 ページ</a>
スキャナ調整	スキャナの動作を設定します	○	○	—	—	<a href="#">84 ページ</a>
スキャナ詳細設定	スキャナの詳細設定をします	○	○	○	—	<a href="#">86 ページ</a>
証明書管理	証明書を管理します	○ (*3)	○	○	—	<a href="#">87 ページ</a>

ボタン/タブ	機能	管理者			利用者	参照
		タッチ パネル	Admin Tool	Central Admin Console		
ネットワーク設定						
IP アドレス	IP アドレス /DHCP を設定します	○	○	—	—	<a href="#">89 ページ</a>
接続設定	接続設定をします	○	○	○(*4)	—	<a href="#">91 ページ</a>
集中管理 サーバ	集中管理サーバを設 定します	○	○	○(*5)	—	<a href="#">93 ページ</a>
DNS サーバ	DNS サーバを設定 します	○	○	○	—	<a href="#">97 ページ</a>
WINS サーバ	WINS サーバを設定 します	○	○	○	—	<a href="#">99 ページ</a>
NTP サーバ	NTP サーバを設定し ます	○	○	○(*6)	—	<a href="#">100 ページ</a>
プロキシ サーバ	プロキシサーバを設 定します	○	○	○	—	<a href="#">102 ページ</a>
ログイン LDAP サーバ	ログイン LDAP サー バを設定します	○	○	○	—	<a href="#">104 ページ</a>
メールアド レス LDAP サーバ	メールアドレス LDAP サーバを設定 します	○	○	○	—	<a href="#">113 ページ</a>
LDAP 検索 条件	LDAP 検索条件を設 定します	○	○	○	—	<a href="#">116 ページ</a>
SMTP サーバ	メールサーバを設定 します	○	○	○	—	<a href="#">121 ページ</a>
FAX サーバ	FAX 送信サーバを 設定します	○	○	○	—	<a href="#">123 ページ</a>
ネットワーク 共有プリンタ	ネットワーク共有プ リントを設定します	○	○	○(*7)	—	<a href="#">124 ページ</a>
ネットワーク 共有フォルダ	ネットワーク共有 フォルダを設定しま す	○	○	○(*7)	—	<a href="#">138 ページ</a>
SharePoint フォルダ	SharePoint フォルダ を設定します	—	○	○(*7)	—	<a href="#">150 ページ</a>
異常通知先	異常通知先を設定します	○	○	○	—	<a href="#">154 ページ</a>

ボタン/タブ	機能	管理者			利用者	参照
		タッチ パネル	Admin Tool	Central Admin Console		
ネットワーク設定						
Ping	Ping でネットワークへの接続状態を確認します	○	○	—	—	155 ページ
ネットワーク状態	ネットワークの動作状態を確認します	○	○	—	—	157 ページ
装置状態						
装置情報	装置管理情報を参照します	○	○	○ (*8)	—	159 ページ
オプション機能	オプション機能の適用状況を参照します	○	○	○ (*8)	—	160 ページ
消耗品統計情報	消耗品統計情報を参照します	○	○	○ (*8)	—	161 ページ
Add-in 情報	Add-in 情報を参照します	○	○	○ (*8)	—	163 ページ
履歴管理						
ユーザーログ	ユーザーログを管理します	○ (*9)	○	—	—	164 ページ
システムログ	システムログを管理します	○ (*9)	○	—	—	167 ページ

ボタン/タブ	機能	管理者			利用者	参照
		タッチ パネル	Admin Tool	Central Admin Console		
メンテナンス						
ユーザー情報操作	ユーザー情報をメンテナンスします	—	○	—	—	170 ページ
システム設定操作	システム設定情報の保守を行います	—	○	—	—	175 ページ
アップデート	アップデート/アップデートの公開をチェックします	○ (*11)	○	○ (*10)	—	179 ページ
Add-in 管理	Add-in をインストール/アンインストールします	—	○	○ (*10)	—	183 ページ
保守情報	保守情報の採取レベルを設定します	○	○	—	—	185 ページ
	保守情報を採取します	—	○	—	—	186 ページ
ジョブ設定						
ジョブ設定	ジョブを設定します	—	○	○	—	191 ページ
ジョブメニュー設定	ジョブメニューを設定します	—	○	○	—	210 ページ
ジョブグループ設定	ジョブグループを設定します	—	○	○	—	217 ページ
メール	スキャン画像をメールで送信します	—	—	—	○	259 ページ
FAX	スキャン画像をFAXで送信します	—	—	—	○	276 ページ
印刷	スキャン画像を印刷します	—	—	—	○	285 ページ
保存	スキャン画像をフォルダに保存します	—	—	—	○	298 ページ
SharePoint に保存	スキャン画像をSharePoint フォルダに保存します	—	—	—	○	303 ページ
読み取り設定	読み取り設定をします	—	—	—	○	311 ページ

ボタン/タブ	機能	管理者			利用者	参照
		タッチ パネル	Admin Tool	Central Admin Console		
表示&編集	「表示&編集」画面の表示を設定します	—	—	—	○	347 ページ
メンテナンス						
メール アドレス編集	メールアドレス台帳を編集します	—	—	—	○	272 ページ
FAX 番号編集	FAX 番号台帳を編集します	—	—	—	○	283 ページ
ローラ クリーニング	ADF を清掃します	—	—	—	○	370 ページ
読み取り テスト	読み取りテストをします	—	—	—	○	388 ページ
消耗品状態	消耗品の状態を確認します	—	—	—	○	379 ページ
ユーザーログ	ユーザーログの詳細情報を参照します	—	—	—	○	354 ページ
ジョブメニュー	ジョブを実行します	—	—	—	○	357 ページ

○：操作できます。 —：操作できません。

- (\*1): 操作については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。
- (\*2): 日付時刻の設定および [ 現在時刻取得 ] ボタンの操作は行えません。
- (\*3): 証明書のインポートはできません。
- (\*4): SSL 証明書の内容は表示されません。
- (\*5): 「アドレス」および「ポート番号」は設定できません。
- (\*6): 時刻同期は行えません。
- (\*7): 集中管理サーバからアクセスできるプリンタ、フォルダ、SharePoint フォルダを設定することができます。
- (\*8): Central Admin Console の「スキャナ詳細情報」画面で参照できます。Central Admin Console の「システム環境設定」画面の [ システム環境設定編集 ] ボタンを押すと表示される、システム環境設定編集画面からは参照できません。
- (\*9): [ ダウンロード ] ボタンは表示されません。

- 
- (\*10): Central Admin Console の「スキャナ操作」画面から操作できます。  
Central Admin Console の「システム環境設定」画面の [システム環境設定編集] ボタンを押すと表示される、システム環境設定編集画面からは操作できません。
- (\*11): タッチパネルの場合、アップデートの実行はできません。

## 1.4 動作環境

### 1.4.1 Admin Tool・AddressBook Editor の動作環境

Admin Tool および AddressBook Editor の動作環境は、以下のとおりです。

#### ■ ソフトウェア（日本語版）

- オペレーティングシステム
  - Windows<sup>®</sup> XP Home Edition operating system（Service Pack 3 以降）
  - Windows<sup>®</sup> XP Professional operating system（Service Pack 3 以降）
  - Windows<sup>®</sup> XP Professional ×64 Edition operating system（Service Pack 2 以降）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2003, Standard Edition（Service Pack 2 以降）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2003, Enterprise Edition（Service Pack 2 以降）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2003, Datacenter Edition（Service Pack 2 以降）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2003 R2, Standard Edition（Service Pack 2 以降）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2003 R2, Standard x64 Edition（Service Pack 2 以降）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2003 R2, Enterprise Edition（Service Pack 2 以降）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2003 R2, Enterprise x64 Edition（Service Pack 2 以降）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2003 R2, Datacenter Edition（Service Pack 2 以降）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2003 R2, Datacenter x64 Edition（Service Pack 2 以降）
  - Windows Vista<sup>®</sup> Home Basic operating system（32/64bit）（Service Pack 1 以降）
  - Windows Vista<sup>®</sup> Home Premium operating system（32/64bit）（Service Pack 1 以降）
  - Windows Vista<sup>®</sup> Business operating system（32/64bit）（Service Pack 1 以降）
  - Windows Vista<sup>®</sup> Enterprise operating system（32/64bit）（Service Pack 1 以降）
  - Windows Vista<sup>®</sup> Ultimate operating system（32/64bit）（Service Pack 1 以降）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2008 Standard（32/64bit）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2008 Enterprise（32/64bit）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2008 Datacenter（32/64bit）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2008 R2 Standard（64bit）
  - Windows Server<sup>®</sup> 2008 R2 Enterprise（64bit）
  - Windows<sup>®</sup> 7 Home Premium operating system（32/64bit）
  - Windows<sup>®</sup> 7 Professional operating system（32/64bit）
  - Windows<sup>®</sup> 7 Enterprise operating system（32/64bit）
  - Windows<sup>®</sup> 7 Ultimate operating system（32/64bit）
- .NET Framework
  - .NET Framework 2.0（Service Pack 2 以降）(\*1)
  - .NET Framework 3.0（Service Pack 2 以降）(\*1)
  - .NET Framework 3.5（Service Pack 1 以降）(\*1)

- Web ブラウザ
  - Internet Explorer 6.0 (Service Pack 2 以降) (\*2)
  - Internet Explorer 7 (\*2)
  - Internet Explorer 8 (\*2)
  - Internet Explorer 9 (\*2)

(\*1): .NET Framework がインストールされていない場合は、その旨を通知します。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。

.NET Framework をインストールする場合、ハードディスク空き容量を確認してください。なお、.NET Framework 2.0 の場合は、約 280M バイトの空きディスク容量が必要です。

(\*2): Admin Tool の場合、最新のセキュリティ更新プログラムを適用してください。適用してない場合、マニュアルなどのダウンロードができない場合があります。なお、Windows XP の場合は、Internet Explorer にセキュリティ更新プログラム「KB933566」の適用が必要です。



Admin Tool および AddressBook Editor がインストールされたコンピュータと本装置の言語設定は、同じにしてください。

## ■ ハードウェア

- サポートするソフトウェアが動作し、以下の要件を満たすコンピュータ
  - 32M バイト以上の空きメモリ容量
  - 64M バイト以上の空きディスク容量
- XGA 以上のモニタ
- LAN ケーブル
- ポインティングデバイス (マウスなど)

## 1.4.2 連携するサーバの動作環境

本装置と連携できるサーバの動作環境は、以下のとおりです。  
 なお、サポートする各オペレーティングシステムのバージョン、エディションについては、「[商標の表記について](#)」(xxiii ページ) を参照してください。

サーバ	オペレーティングシステム	機能	
LDAP サーバ	Windows 2000 Server	Active Directory	
	Windows Server 2003		
	Windows Server 2008		
	LDAP サーバ	OpenSolaris	OpenLDAP
		Solaris 10	
		Red Hat Enterprise Linux	
		SUSE Linux Enterprise Server	
SMTP サーバ	Windows 2000 Server	SMTP,Exchange	
	Windows Server 2003		
	Windows Server 2008		
ファイルサーバ	Windows 2000 Server	Windows 共有フォルダ	
	Windows Server 2003		
	Windows Server 2008		
	ファイルサーバ	OpenSolaris	Samba
		Solaris10	
		Red Hat Enterprise Linux	
		SUSE Linux Enterprise Server	
SharePoint サーバ	Windows Server 2003	SharePoint	
	Windows Server 2008		
FTP サーバ	Windows 2000 Server	FTP	
	Windows Server 2003		
	Windows Server 2008		
プリントサーバ	Windows 2000 Server	Windows 共有プリンタ (*1)	
	Windows Server 2003		
	Windows Server 2008		

サーバ	オペレーティングシステム	機能
DNS サーバ	Windows 2000 Server	DNS
	Windows Server 2003	
	Windows Server 2008	
WINS サーバ	Windows 2000 Server	WINS
	Windows Server 2003	
	Windows Server 2008	
DHCP サーバ	Windows 2000 Server	DHCP
	Windows Server 2003	
	Windows Server 2008	
NTP サーバ	Windows 2000 Server	NTP
	Windows Server 2003	
	Windows Server 2008	
	Redhat Enterprise Linux	
FAX サーバ	Windows 2000 Server	RightFax
	Windows Server 2003	
	Windows Server 2008	

(\*1): ネットワーク共有プリンタとして、Windows XP クライアントに対応したプリンタドライバをインストールする必要があります。

## ■ LDAP サーバ

LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) とは、TCP/IP ネットワークで、ディレクトリデータベースにアクセスするためのプロトコルです。ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや環境に関する情報を管理することができます。

暗号化通信 (SSL) で接続する場合は、「LDAPS サーバ」といいます。

この LDAP サーバを使用して、以下が行えます。

- ログイン時のユーザー認証
- メール送信時のメールアドレス台帳を使った宛先検索および入力

## ■ SMTP サーバ

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) とは、メールを送信するためのプロトコルです。

この SMTP サーバを使用して、以下が行えます。

- スキャン画像のメール送信
- スキャン画像の FAX 送信

## ■ ファイルサーバ

ファイルサーバとは、サーバ上のディスクをネットワーク上の他のコンピュータと共有し、外部から利用できるようにするサーバです。

このファイルサーバを使用して、スキャン画像をファイルサーバのネットワークフォルダに保存できます。

## ■ SharePoint サーバ

SharePoint とは、Microsoft が提供する、Web ブラウザベースでドキュメント管理などを行うプラットフォームの総称です。

この SharePoint サーバを使用して、スキャン画像を SharePoint サーバの SharePoint フォルダに保存できます。

## ■ FTP サーバ

FTP (File Transfer Protocol) とは、ファイルを転送するためのプロトコルです。

暗号化通信 (SSL) で接続する場合は、「FTPS サーバ」といいます。

この FTP サーバを使用して、スキャン画像を FTP サーバのネットワークフォルダに保存できます。

## ■ プリントサーバ

プリントサーバとは、印刷するためのプリンタが設定されているサーバです。

このプリントサーバを使用して、スキャン画像を印刷できます。



- Windows XP に対応したプリンタドライバを登録しておく必要があります。
- メモリやハードディスクを搭載しており、印刷データのスプール機能を保持するプリンタを使用してください。スプール機能を保持しているか不明の場合は、プリンタ販売元にお問い合わせください。
- プリンタの用紙切れや用紙づまりなどのエラー状態が確認できる、LCD 付きのプリンタの使用を推奨します。



プリンタは、プリントサーバに接続されているプリンタを使用してください。



## ■ DNS サーバ

DNS サーバとは、ホスト名または FQDN 名を IP アドレスに変換し名前解決を行うサーバです。

---

## ■ WINS サーバ

WINS サーバとは、WINS クライアントからの名前登録要求を処理して、その名前と IP アドレスをサーバデータベースに登録するサーバです。クライアントから出された NetBIOS 名クエリに回答して、照会された名前がサーバデータベースに一覧表示されている場合はその名前の IP アドレスを返します。

また、DNS による名前解決が失敗した際に、WINS サーバに問合せを転送することもできます。

## ■ DHCP サーバ

DHCP サーバとは、fi-6010N をはじめクライアントコンピュータの IP アドレスを自動的に割り当てるサーバです。

## ■ NTP サーバ

NTP サーバとは、クライアントがネットワークを介して時刻を問い合わせるときに利用するサーバです。

## ■ FAX サーバ

FAX サーバとは、FAX を送信するためのサーバです。

本製品がサポートする FAX サーバは、以下のとおりです。

- RightFax のメール連携

この FAX サーバを使用して、スキャン画像を FAX 送信できます。

## 1.4.3 使用するポート番号一覧

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Admin Tool 接続	Admin Tool ⇨ 本装置	80 (HTTP) (*1)	6 (TCP)
		443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)
集中管理 サーバ接続	集中管理サーバ ⇨ 本装置	80 (HTTP) (*1)	6 (TCP)
		443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)
	本装置 ⇨ 集中管理サーバ	20444 (HTTP/HTTPS) (*1)	6 (TCP)
DHCP サーバ	本装置 ⇨ DHCP サーバ	67 (DHCP)	17 (UDP)
DNS サーバ	本装置 ⇨ DNS サーバ	53 (DNS)	17 (UDP)
WINS サーバ	本装置 ⇨ WINS サーバ	1512 (WINS)	17 (UDP)
時刻同期	本装置 ⇨ SNTP サーバ	123 (SNTP)	17 (UDP)
プロキシサーバ	本装置 ⇨ プロキシサーバ	任意	6 (TCP)
認証 / メール アドレス検索	本装置 ⇨ LDAP サーバ	389 (LDAP) (*1)	6 (TCP)
		636 (LDAPS) (*1)	6 (TCP)
		3268 (Active Directory Global Catalog) (*1)	6 (TCP)
		3269 (Active Directory Global Catalog over SSL) (*1)	6 (TCP)
メール送信	本装置 ⇨ SMTP サーバ	25 (SMTP) (*1)	6 (TCP)
FAX 送信	本装置 ⇨ SMTP サーバ	25 (SMTP) (*1)	6 (TCP)
印刷	本装置 ⇨ プリントサーバ	137,138,139,445 (SMB)	6 (TCP) 17 (UDP)
SharePoint サー バ	本装置 ⇨ SharePoint サー バ	80 (HTTP) (*1)	6 (TCP)
		443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)
FTP サーバ	本装置 ⇨ FTP サーバ	20,21 (FTP) (*1)	6 (TCP)
FTPS サーバ	本装置 ⇨ FTPS サーバ	989,990 (FTPS) (*1)	6 (TCP)
フォルダ保存	本装置 ⇨ ファイルサーバ	137,138,139,445 (SMB)	6 (TCP) 17 (UDP)
ping	本装置 ⇨ その他のサーバ またはコンピュータ	—	1 (ICMP)

---

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
AddressBook Editor	AddressBook Editor⇨ 本装置	80 (HTTP) (*1)	6 (TCP)
		443 (HTTPS) (*1)	6 (TCP)

(\*1): 変更が可能

# 第 2 章

---

## 本装置の基本的な使い方

管理者

利用者

2

2.1 電源の投入／切断について .....	24
2.2 本装置のボタンの使い方 .....	26
2.3 タッチパネルの使い方 .....	29
2.4 キーボードの使い方 .....	30

## 2.1 電源の投入／切断について

### ■ 電源を投入します



電源を入れたまま、持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。  
本製品内部のハードディスクを損傷し、データを消失する原因となります。



1. 電源ボタンを押します。



⇒ システム起動後、「ログイン」画面が表示されます。



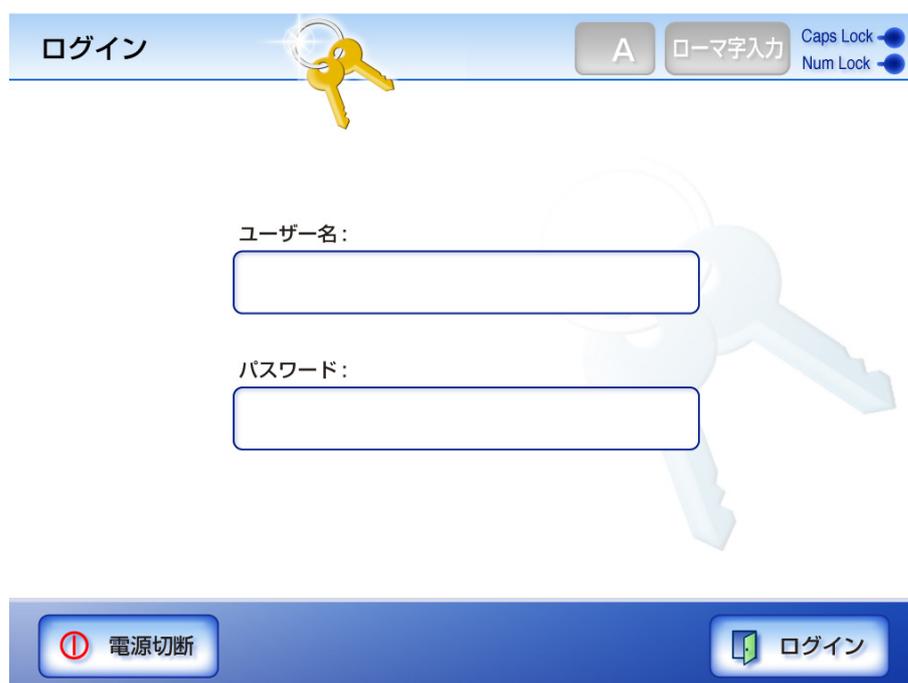
電源を切断したあと、すぐに電源を入れる場合は、10秒以上時間をあけてください。

## ■ 電源を切断します



本装置の電源ボタンを長押しして、電源を切断しないでください。  
本装置が正常に動作しなくなる可能性があります。

1. ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押します。



⇒ 電源を切断するかを確認する画面が表示されます。

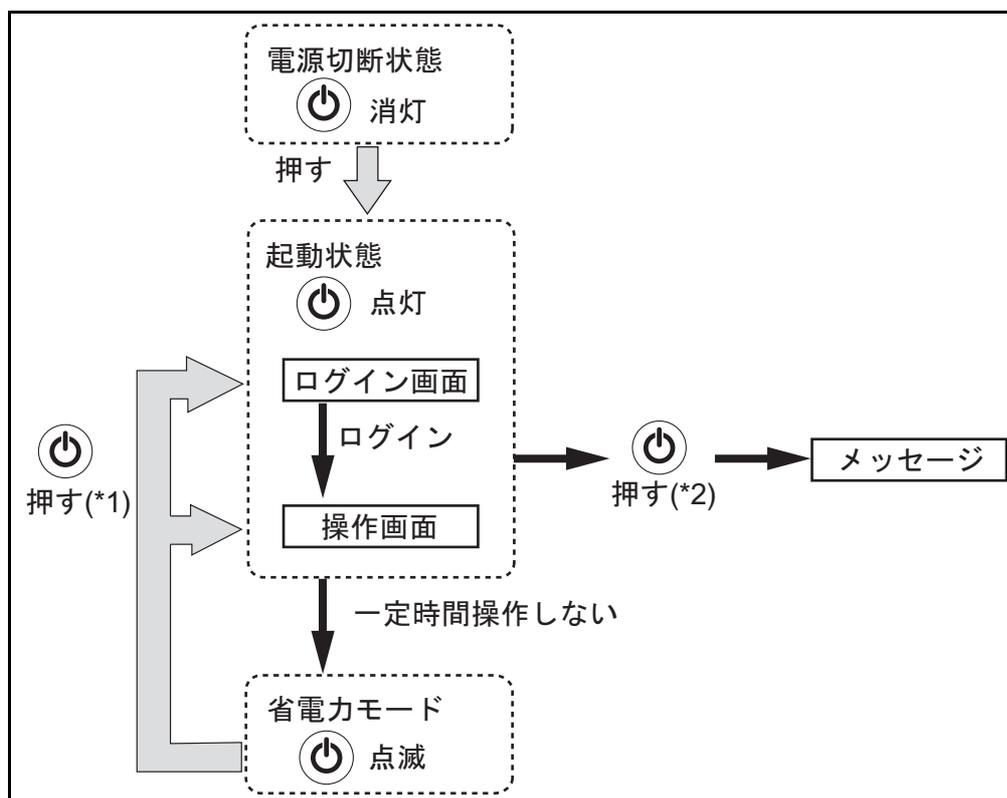
2. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 本装置の電源が切断されます。

## 2.2 本装置のボタンの使い方

### 2.2.1 電源ボタンの使い方

電源切断状態の場合または省電力モードの場合、電源ボタンを押すと、本装置が起動して「ログイン」画面が表示されます。

起動状態の場合、電源ボタンを押すと、メッセージが表示されます。



(\*1): 以下の操作でも、省電力モードから復帰します。

- ADF 給紙シュートに用紙をセットする。
- LCD カバーを閉める。
- キーボードのキーを押す。

復帰後に表示される画面は、自動ログインの設定によって、以下のようになります。

- 自動的にログインするように設定した場合、操作画面が表示されます。  
ただし、自動ログアウトが「無制限」の場合で、自動ログイン以外のユーザーで使用中だったときは、省電力モードから「ログイン」画面に復帰します。
- 自動的にログインしないように設定した場合、「ログイン」画面が表示されます。

- (\*2):
- [電源切断] ボタンが表示されている画面でスキャナの電源ボタンを押した場合、「電源ボタンから手を離してください。「電源切断」ボタンを選択すると電源を切断します。」のメッセージが表示されます。
  - [電源切断] ボタンが表示されていない画面でスキャナの電源ボタンを押した場合、「電源ボタンから手を離してください。システムが動作中のため電源切断できません。」のメッセージが表示されます。



起動状態、または省電力モードで、電源ボタンを4秒以上押さないでください。電源切断状態になります。その場合、本装置内に保存されている情報が利用できなくなる可能性があります。万一、電源ボタンを4秒以上押して電源切断状態になった場合は、必ずACケーブルを抜き、一度電源を切断してください。電源を切断したあと、すぐに電源を入れる場合は、10秒以上時間をあけてください。正常に電源を切断するには、「ログイン」画面で[電源切断]ボタンを押してください。



- 省電力モードへの移行時間は変更できます。詳細については、「[4.6.5 省電力モード・自動ログアウトを設定します](#)」(65ページ)を参照してください。
- 「ログイン」画面を表示せずに、自動的にログインすることができます。自動ログインの設定方法については、「[4.6.6 ログイン設定をします](#)」(67ページ)を参照してください。

## 2.2.2 SCAN ボタンの使い方

SCAN ボタンは、タッチパネル上に  がついたボタンが表示されたときに押すと、読み取りが開始されます。



なお、 がついたボタンは以下のとおりです。

- [スキャン] ボタン
- [スキャン&送信] ボタン
- [スキャン&印刷] ボタン
- [スキャン&保存] ボタン
- [追加読み取り] ボタン

## 2.3 タッチパネルの使い方

選択するボタンに軽く触れて操作してください。

画面の操作方法は「[4.1 タッチパネル（管理者）の画面について](#)」（40 ページ）および「[6.2 タッチパネル（利用者）の画面について](#)」（245 ページ）を参照してください。



- タッチパネルをペンなどの硬いもので操作しないでください。  
タッチパネルが損傷する場合があります。
- タッチパネルの表面に付着したホコリや手アカなどは、タッチパネルが誤動作する原因となります。汚れが目立ちましたら清掃してください。  
清掃方法は、「[7.3 タッチパネルを清掃します](#)」（376 ページ）を参照してください。



## 2.4 キーボードの使い方

ボタンの選択や文字の入力などがキーボードだけでも行えます。  
ログインモードごとに、キーボードの使い方を以下に示します。

### 2.4.1 管理者のキーボードの使い方

キー	機能
Tab	項目にフォーカスします。
Space	フォーカスしたボタンを押します。 ただし、[ダウンロード]ボタン、[保存]ボタン、および[退避]ボタンは押せません。
Enter	画面の内容を決定します。 [設定]ボタン、[OK]ボタン、および[ログイン]ボタンを押すのと同じ動作です。
↑ ↓	数字を入力する項目をフォーカスしている場合、値を変更します。
Page Up Page Down	スクロールボタンがある画面で画面内のページをスクロールします。



- 本装置からログインしたときは、グローバルメニューとメニューはキーボードで選択することはできません。タッチパネルでグローバルメニューおよびメニューのボタンを押してください。
- 本体タッチパネルの管理者画面で、文字入力域に日本語入力ができなくなった場合は、再度ログインし直してください。

## 2.4.2 利用者のキーボードの使い方

キー	機能
Tab	項目にフォーカスします。
Space	フォーカスしたボタンを押します。
Enter	画面の内容を決定します。 [OK] ボタンおよび[ログイン] ボタンを押すのと同じ動作です。 また、検索の画面で[検索] ボタンを押すのと同じ動作です。
Esc	前ページに戻ります。 「メインメニュー」画面で押すとログアウトします。 [ログアウト] ボタンを押すのと同じ動作です。
Alt+F4	「ログイン」画面（[電源切断] ボタンが表示されている状態）で押すと、本装置の電源を切断します。
↑ ↓	項目を上下にスクロールします。
Page Up Page Down	画面内のページをスクロールします。

## 2.4.3 文字入力について

本装置のキーボード入力は 106 キーボード相当です。

キーを押すことで入力モードの状態を変更することができます。詳細については、「[D.3 キーボードによる入力モードの変更について](#)」（440 ページ）を参照してください。



ヒント

本装置は、文字変換用に人名、地名の辞書を搭載しており、スムーズな漢字変換が行えます。



# 第 3 章

---

## 管理者の操作（概要）

管理者

利用者

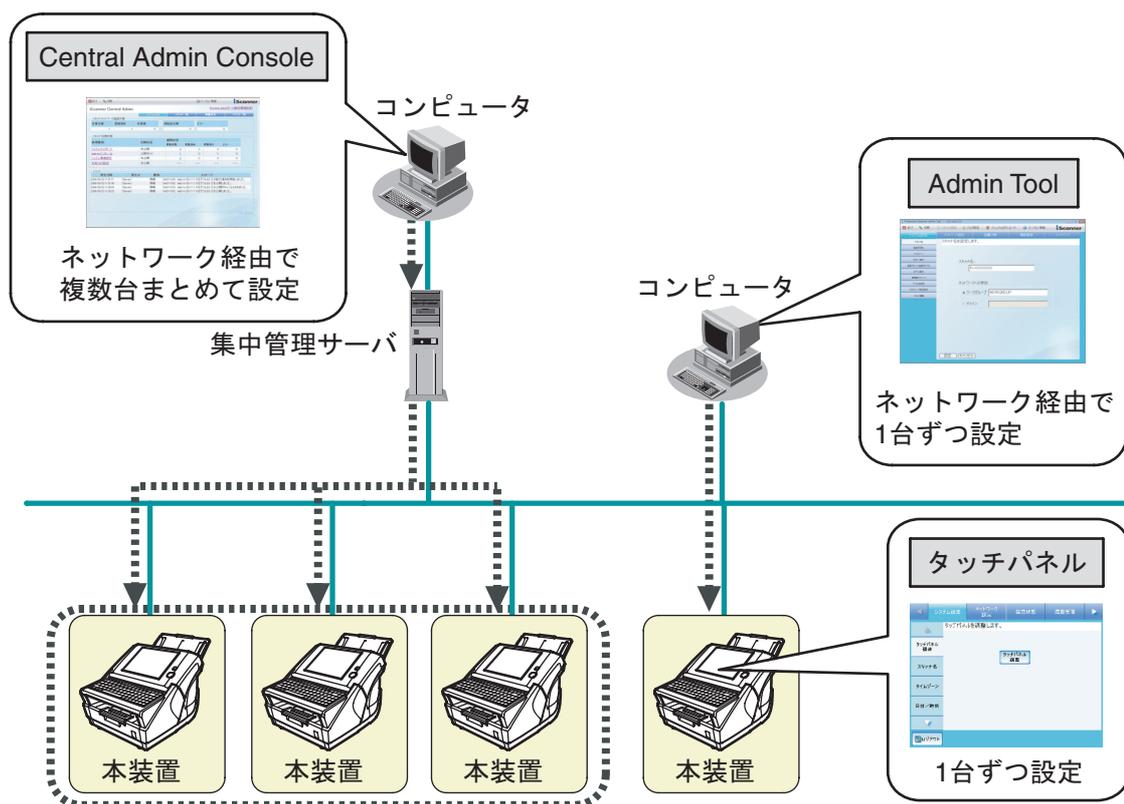
3

3.1 操作方法.....	34
3.2 機能別の設定項目 .....	35

## 3.1 操作方法

本装置の環境設定や管理を行うには、以下の操作方法があります。

- **タッチパネル**  
本装置のタッチパネルから環境設定や管理が行えます。
- **Admin Tool**  
コンピュータにインストールした Admin Tool からネットワーク経由で環境設定や管理、アップデートなどが行えます。  
1 台ずつ装置を設定できます。
- **Central Admin Console**  
コンピュータにインストールした Central Admin Console から、ネットワーク経由で、複数台のスキヤナに対して、まとめて環境設定や管理、アップデートなどが行えます。  
なお、Central Admin Console で設定した内容は、集中管理サーバを経由してスキヤナに適用されます。  
Central Admin Console の詳細については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。



## 3.2 機能別の設定項目

利用する機能によって必要な環境設定が異なります。  
設定された環境に応じて、「メインメニュー」画面に機能ボタンが表示されます。



グローバルメニュー						
メニュー	メール	FAX	印刷	保存	Share Point に保存	参照
システム設定						
スキャナ情報移入	—	—	—	—	—	(*1)
タッチパネル調整	—	—	—	—	—	57 ページ
スキャナ名	○	○	○	○	○	60 ページ
タイムゾーン	△	△	△	△	△	62 ページ
日付/時刻	△	△	△	△	△	63 ページ
省電力モード・自動ログ アウト	—	—	—	—	—	65 ページ
ログイン設定	—	—	—	—	—	67 ページ
LAN Manager 認証レベル	—	—	—	—	—	72 ページ
管理者パスワード	△	△	△	△	△	74 ページ
保存ファイル名設定	—	—	—	△	△	75 ページ
添付ファイル名設定	△	—	—	—	—	79 ページ
マルチフィード検出設定	—	—	—	—	—	81 ページ
スキャナ調整	—	—	—	—	—	84 ページ
スキャナ詳細設定	—	—	—	—	—	86 ページ
証明書管理	—	—	—	—	—	87 ページ

グローバルメニュー						
メニュー	メール	FAX	印刷	保存	Share Point に保存	参照
ネットワーク設定						
IP アドレス	○	○	○	○	○	89 ページ
接続設定	—	—	—	—	—	91 ページ
集中管理サーバ	—	—	—	—	—	93 ページ
DNS サーバ	△	△	△	△	△	97 ページ
WINS サーバ	△	△	△	△	△	99 ページ
NTP サーバ	△	△	△	△	△	100 ページ
プロキシサーバ	—	—	—	—	—	102 ページ
ログインLDAP サーバ	△ (*2)	△ (*2)	△ (*2)	△ (*2)	△ (*2)	104 ページ
メールアドレス LDAP サーバ	—	—	—	—	—	113 ページ
LDAP 検索条件	—	—	—	—	—	116 ページ
SMTP サーバ	○	○	—	—	—	121 ページ
FAX サーバ	—	○	—	—	—	123 ページ
ネットワーク共有プリン タ	—	—	○	—	—	124 ページ
ネットワーク共有フォル ダ	—	—	—	○	—	138 ページ
SharePoint フォルダ	—	—	—	—	○	150 ページ
異常通知先	△	△	△	△	△	154 ページ
Ping	—	—	—	—	—	155 ページ
ネットワーク状態	—	—	—	—	—	157 ページ

○ : 設定が必要 △ : 設定を推奨 — : 設定必須ではない

(\*1): 操作については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

(\*2): LDAP 連携する場合に必要です。



# 第 4 章

## 管理者の操作 (タッチパネル・Admin Tool)

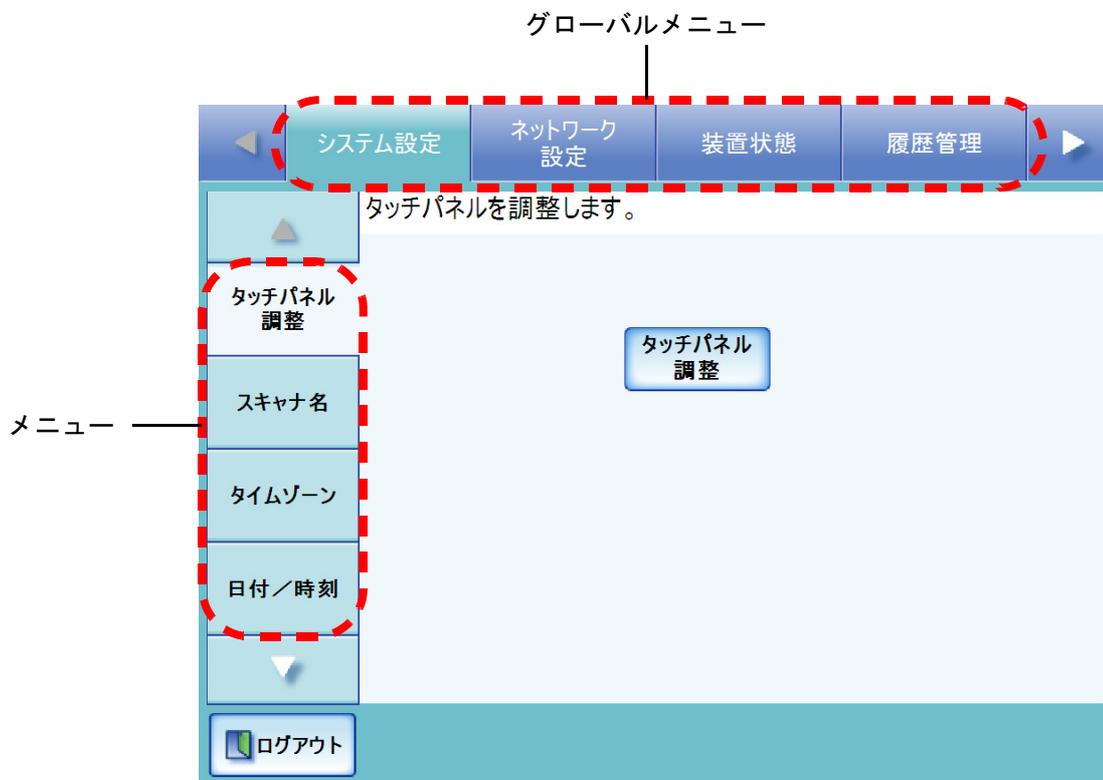
管理者

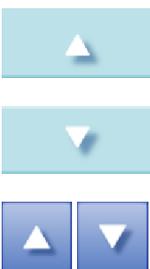
管理者がタッチパネルまたは Admin Tool を使用して行う本装置の環境設定や管理について説明しています。  
本章の操作中にメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示された場合の対処については、「[F.1.2 システムログのメッセージ](#)」(492 ページ) を参照してください。

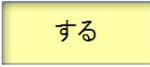
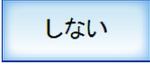
4.1 タッチパネル（管理者）の画面について .....	40
4.2 Admin Tool の画面について .....	42
4.3 管理者が本装置からログインします .....	44
4.4 Admin Tool でログインする場合の事前設定 .....	46
4.5 管理者が Admin Tool からログインします .....	54
4.6 システム設定メニューでの設定 .....	57
4.7 ネットワーク設定メニューでの設定 .....	89
4.8 装置状態メニューでの設定 .....	159
4.9 履歴管理メニューでの設定 .....	164
4.10 メンテナンスメニューでの設定 .....	170
4.11 ジョブ設定メニューでの設定 .....	187
4.12 タッチパネルに表示されている画面を採取します .....	229

## 4.1 タッチパネル（管理者）の画面について

タッチパネル（管理者）の画面では、グローバルメニューを選択すると、メニューにボタンが表示されます。



ボタン	本書内での表記	機能
	[<<] ボタン、[>>] ボタン	グローバルメニューを横にスクロールします。
	[▲] ボタン、[▼] ボタン	メニューや、項目を上下にスクロールします。
	リストボタン	選択リストを表示します。
	[ログアウト] ボタン	ログアウトします。
	[設定] ボタン	画面の内容を決定します。

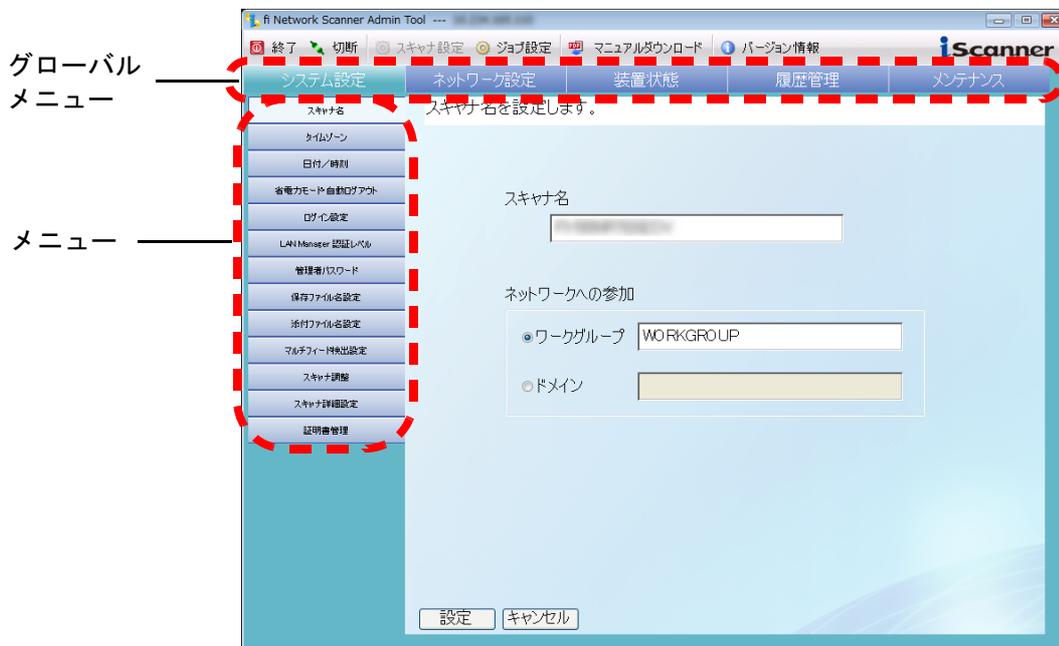
ボタン	本書内での表記	機能
	[キャンセル] ボタン	入力した内容を確定せずに現在の設定や前画面に戻ります。
	[する] ボタン	ボタンの選択状態について、[する] ボタンを例にして説明します。 黄色のボタンは、ボタンが選択されている状態を表します。
	[しない] ボタン	ボタンの選択状態について、[しない] ボタンを例にして説明します。 青色のボタンは、ボタンが選択されていない状態を表します。

## 4.2 Admin Tool の画面について

Admin Tool の画面には、以下の画面があります。

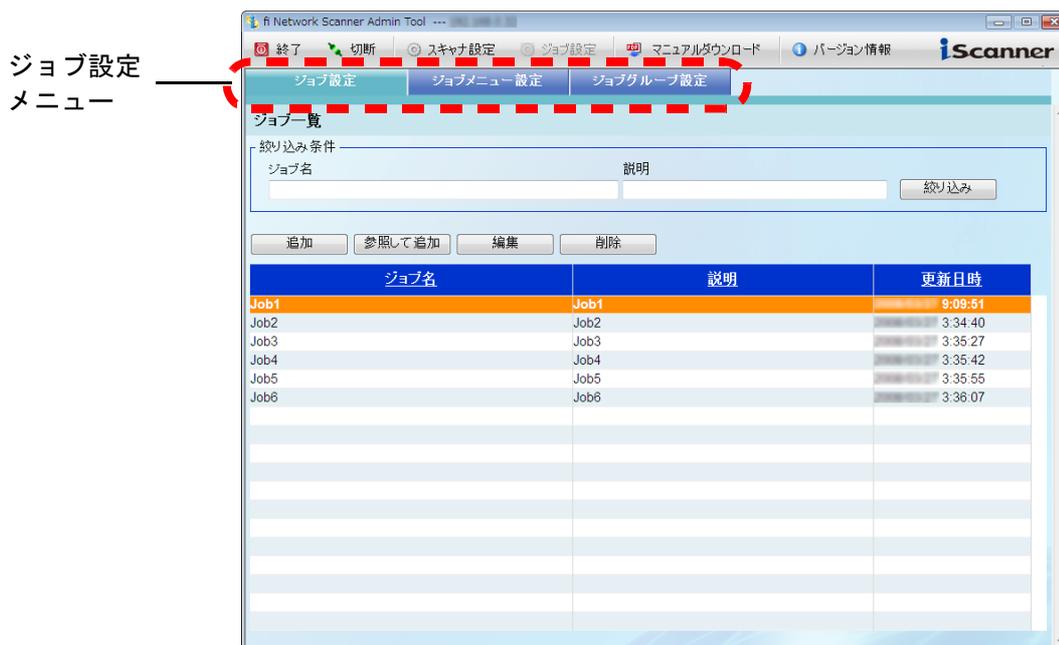
- [ スキャナ設定 ] ボタンを押した場合

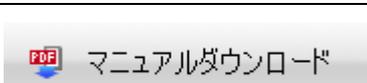
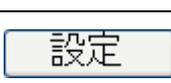
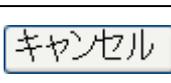
Admin Tool の画面のスキャナ設定では、グローバルメニューを選択すると、メニューにボタンが表示されます。



- [ ジョブ設定 ] ボタンを押した場合

Admin Tool の画面のジョブ設定では、ジョブ設定メニューを選択すると、それぞれの設定画面が表示されます。



ボタン	本書内での表記	機能
 終了	[ 終了 ] ボタン	Admin Tool を終了します。
 切断	[ 切断 ] ボタン	本装置との接続を切断します。
 スキャナ設定	[ スキャナ設定 ] ボタン	グローバルメニューを表示します。
 ジョブ設定	[ ジョブ設定 ] ボタン	ジョブ設定メニューを表示します。
 マニュアルダウンロード	[ マニュアルダウンロード ] ボタン	マニュアルをダウンロードします。
 バージョン情報	[ バージョン ] ボタン	Admin Tool のバージョンを表示します。
 設定	[ 設定 ] ボタン	画面の内容を決定します。
 キャンセル	[ キャンセル ] ボタン	入力した内容を確定せずに現在の設定や前画面に戻ります。

## 4.3 管理者が本装置からログインします タッチパネル



- 画面が正常に表示されない場合（「×」マークなどが表示されてしまうような場合）は、しばらく時間をおいてから、再度操作を行ってください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。
- ボタンを短時間に何度も押すと、「ページを表示できません。」というメッセージが表示される場合があります。この場合、他のボタンを押して画面を更新してください。



- 管理者のユーザー名とパスワードの初期値は以下のとおりです。  
ユーザー名 : admin  
パスワード : password
- 本装置の環境設定を行えるのは常に 1 人です。
- セッションタイムアウト時間は 20 分（固定）です。以下の操作でセッションタイムアウト時間をさらに 20 分延長します。
  - グローバルメニューおよびメニューの操作
  - [OK] ボタンを押す操作

## 1. 「ユーザー名」および「パスワード」を入力します。

ユーザー名には、admin を入力します。

パスワードの文字数は 7 文字以上 127 文字以内です。

パスワードには、半角の英大文字、英小文字、数字、および記号が入力できます。  
なお、英大文字と英小文字は区別されます。



ヒント

- キーボードが Caps Lock されている場合は、「Caps Lock」が点灯します。
- キーボードが Num Lock されている場合は、「Num Lock」が点灯します。
- ログインLDAPサーバがGlobal Catalogの場合、UPNサフィックスの入力域が表示されます。

UPN サフィックスは、管理者としてログインする場合、入力する必要はありません。入力しても無効になります。

## 2. [ログイン] ボタンを押します。

⇒ 認証されると、環境設定の画面が表示されます。

## 4.4 Admin Tool でログインする場合の事前設定

Admin Tool でログインする場合に、事前に行う必要がある設定について説明します。



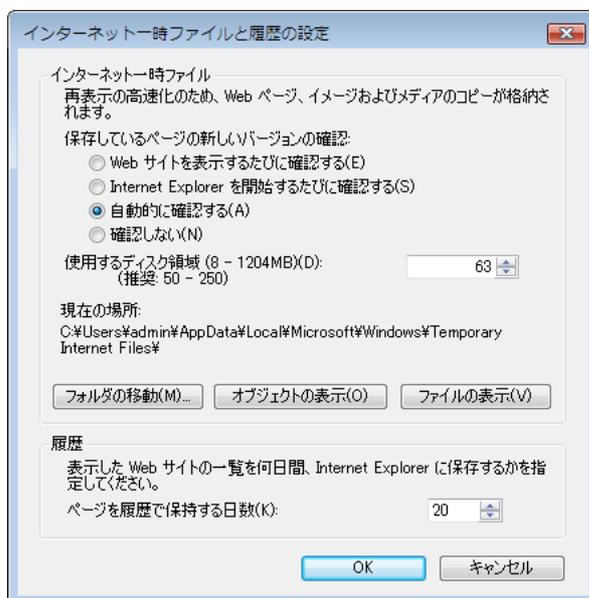
Admin Tool でログインして設定を行うには、事前に以下の設定が必要です。

- 「4.6.2 スキャナ名を設定します」 (60 ページ)
- 「4.6.8 管理者パスワードを変更します」 (74 ページ)
- 「4.7.1 IP アドレス /DHCP を設定します」 (89 ページ)
- 「4.7.2 接続設定をします」 (91 ページ)
- 「4.7.4 DNS サーバを設定します」 (97 ページ)
- 「4.7.5 WINS サーバを設定します」 (99 ページ)

### 4.4.1 Web ブラウザのキャッシュを確認します

Web ブラウザのキャッシュを確認します。

1. Web ブラウザの [ツール] メニューから [インターネットオプション] を選択します。  
⇒ [インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [全般] タブで「閲覧の履歴」の [設定] ボタンを押します。  
⇒ [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ダイアログボックスが表示されます。



3. 「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「自動的に確認する」を選択します。
4. 「使用するディスク領域」を 63MB 以上にします。
5. [OK] ボタンを押します。



- Web ブラウザの設定手順は、Web ブラウザのバージョンによって異なることがあります。
- プロキシサーバを使用しない設定にしてください。

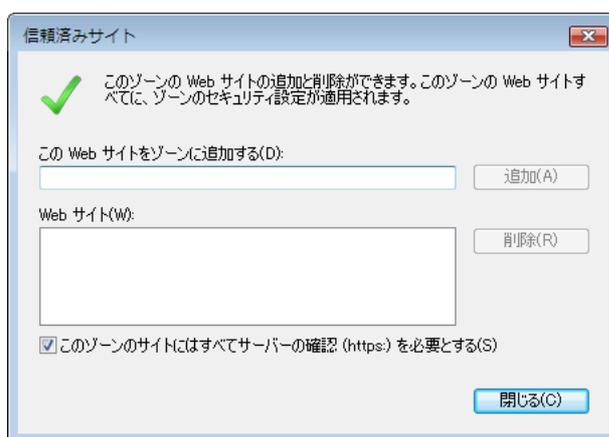


Web ブラウザの提供元から障害修正ソフトウェア、Service Pack などが配信されている場合には、適応してからお使いください。

#### 4.4.2 Web ブラウザの信頼済みサイトを設定します

Web ブラウザの信頼済みサイトに対象スキャナの URL を設定します。設定していない場合、接続がブロックされたり、証明書のインストールができないことがあります。

1. Web ブラウザの [ツール] メニューから [インターネットオプション] を選択します。  
⇒ [インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [セキュリティ] タブで「信頼済みサイト」を選択し、[サイト] ボタンを押します。  
⇒ [信頼済みサイト] ダイアログボックスが表示されます。



3. 「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」のチェックをはずします。
4. 「この Web サイトをゾーンに追加する」に対象スキャナの URL を入力し、[追加] ボタンを押します。  
例：http:// スキャナ名または IP アドレス /



Web ブラウザの設定手順は、Web ブラウザのバージョンによって異なることがあります。



Web ブラウザの提供元から障害修正ソフトウェア、Service Pack などが配信されている場合には、適応してからお使いください。

### 4.4.3 Admin Tool をインストールします

ネットワーク経由で本装置の設定を行うには、Admin Tool をコンピュータにインストールします。

#### 1. Web ブラウザから、本装置のスキヤナ名を URL に指定して接続します。

「[4.7.2 接続設定をします](#)」(91 ページ) での設定により、指定する URL は以下のようになります。

- SSL 通信を [ 無効 ]、ポート番号変更なしの場合  
http:// スキヤナ名または IP アドレス /
- SSL 通信を [ 無効 ]、ポート番号変更ありの場合  
http:// スキヤナ名または IP アドレス : ポート番号 /  
ポート番号には変更したポート番号を入力してください。
- SSL 通信を [ 有効 ]、ポート番号変更なしの場合  
https:// スキヤナ名または IP アドレス /
- SSL 通信を [ 有効 ]、ポート番号変更ありの場合  
https:// スキヤナ名または IP アドレス : ポート番号 /  
ポート番号には変更したポート番号を入力してください。

なお、SSL 通信を行う場合、接続時に「セキュリティの警告」画面が表示されません。「セキュリティの警告」画面では [ はい ] ボタンを押してください。

⇒ 「ログイン」画面が表示されます。

## 2. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

ユーザー名には、admin を入力します。

パスワードの文字数は 7 文字以上 127 文字以内です。

パスワードには、半角の英大文字、英小文字、数字、および記号が入力できます。

なお、英大文字と英小文字は区別されます。

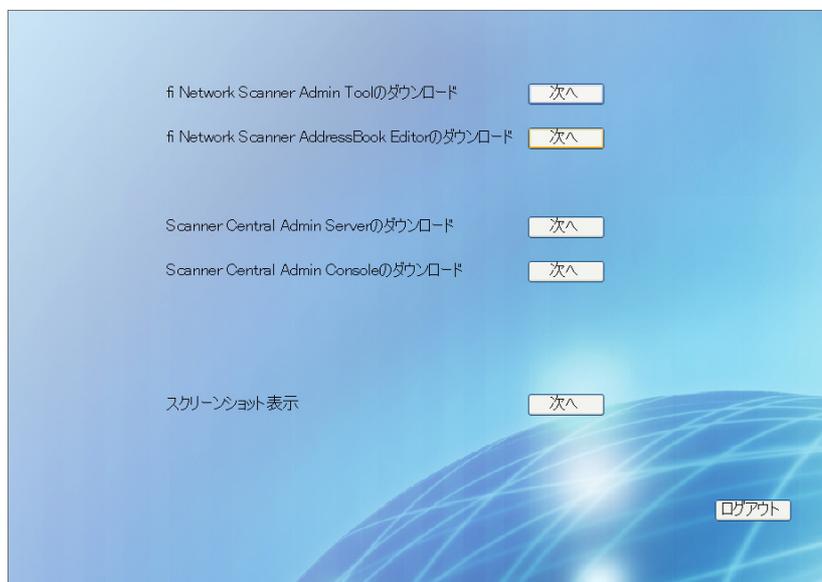


The image shows a login screen with a blue background and a globe graphic. At the top right, there are two buttons: "スタートアップガイド" (Start-up Guide) and "オペレーターガイド" (Operator Guide). Below these are two input fields: "ユーザー名" (Username) and "パスワード" (Password). At the bottom right, there is a "ログイン" (Login) button.

## 3. [ログイン] ボタンを押します。

⇒ ダウンロード画面が表示されます。

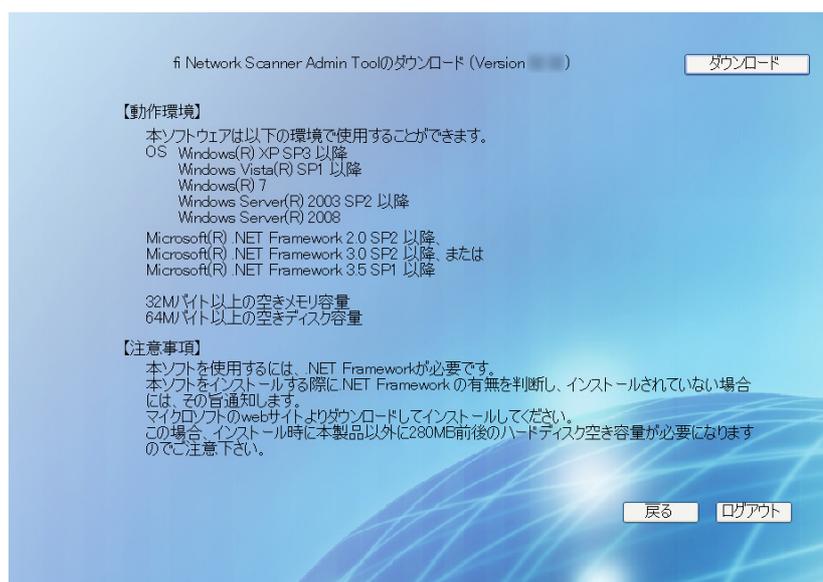
## 4. 「fi Network Scanner Admin Tool のダウンロード」の [次へ] ボタンを押します。



The image shows a download screen with a blue background and a globe graphic. It lists five items for download, each with a "次へ" (Next) button: "fi Network Scanner Admin Toolのダウンロード", "fi Network Scanner AddressBook Editorのダウンロード", "Scanner Central Admin Serverのダウンロード", "Scanner Central Admin Consoleのダウンロード", and "スクリーンショット表示". At the bottom right, there is a "ログアウト" (Logout) button.

⇒ Admin Tool のダウンロード画面が表示されます。

## 5. [ダウンロード] ボタンを押します。

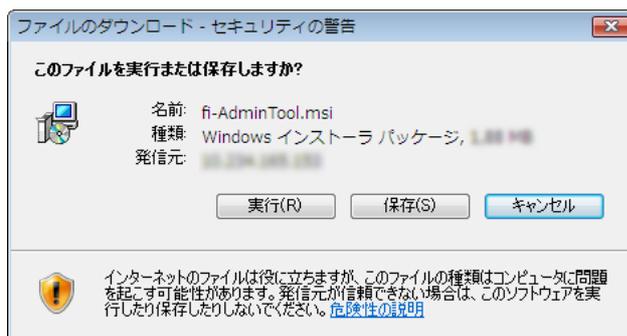


- 管理者または利用者がスキャナで操作中の場合、ダウンロードすることはできません。
- インストールが完了するまで、Web ブラウザを閉じたり、ログアウトしないようにしてください。



⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

## 6. [実行] ボタンを押します。



⇒ Admin Tool のインストール画面が表示されます。



- .NET Framework がインストールされていない場合は、Admin Tool をインストールする際に、Microsoft の Web サイトへアクセスします。
- .NET Framework をインストール後、再度手順 1 から行ってください。



## 7. [次へ] ボタンを押します。



⇒ 「インストールフォルダの選択」画面が表示されます。

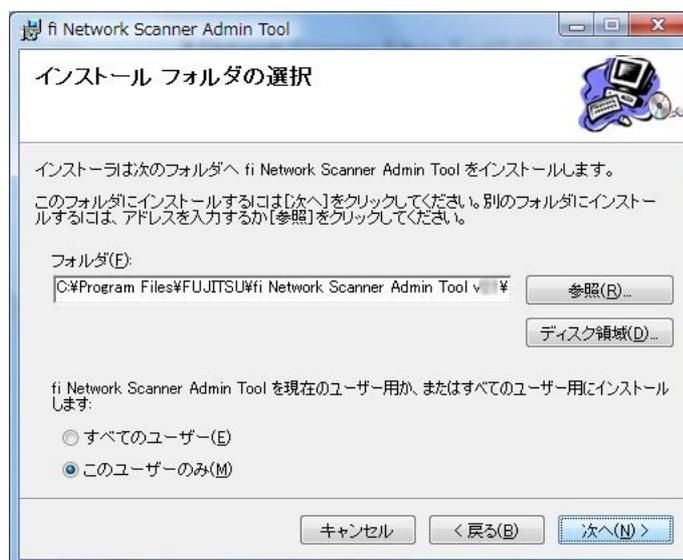
## 8. Admin Tool をインストールするフォルダを指定します。

[参照] ボタンを押すとフォルダを選択することができます。

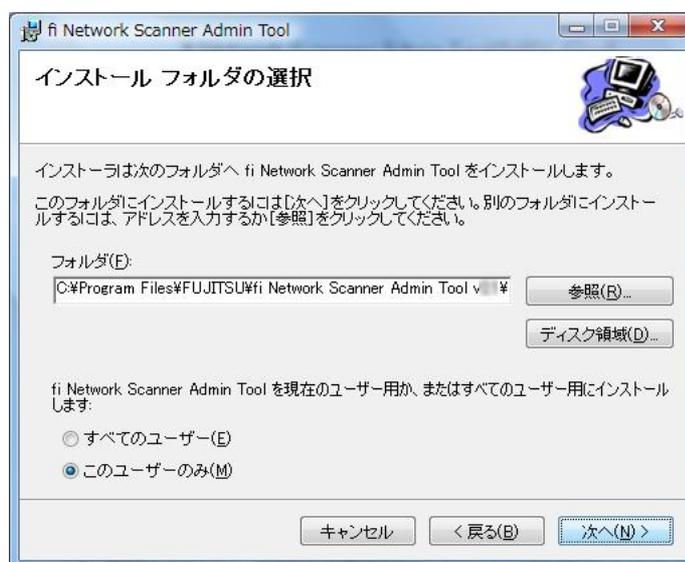
指定したフォルダの空き領域が知りたい場合は [ディスク領域] ボタンを押してください。



フォルダのパス長がファイル名を含めて 259 文字以上の場合、正常にインストールすることができません。パス長が短くなるようインストールするフォルダを指定してください。



9. インストールユーザーを選択して、[次へ] ボタンを押します。



- ⇒ 以降は、画面の指示に従ってウィザードを進めてください。「インストールが完了しました。」と表示されればインストール終了です。[閉じる] ボタンを押してください。
- ⇒ インストール完了後、Web ブラウザ上で fi-6010N からログアウトし、Web ブラウザを閉じてください。
- ⇒ インストールが完了すると、[スタート]メニューの[すべてのプログラム] – [fi-scanner V2] – [fi Network Scanner Admin Tool] で Admin Tool が起動できます。



- Admin Tool がすでにインストールされている場合は、「4.5 管理者が Admin Tool からログインします」(54 ページ) から操作してください。
- Web ブラウザの[ツール]メニューから[インターネットオプション]を選択して表示される [インターネットオプション] ダイアログボックスでの設定について、以下の点に注意してください。
  - [全般]タブの[ユーザー補助]ボタンを押して表示される[ユーザー補助]ダイアログボックスで、書式設定、ユーザースタイルシートの各種設定をしないでください。Admin Tool の表示スタイルが崩れる場合があります。
  - [全般]タブの[言語]ボタンを押して表示される[言語の優先順位]ダイアログボックスで、集中管理サーバのオペレーティングシステムと同じ言語を指定してください。異なる言語を指定した場合、Admin Tool における入力や表示に問題が発生する場合があります。
  - [セキュリティ]タブの「このゾーンのセキュリティのレベル」を「高」にすると、一部 Admin Tool の画面項目が適切に表示されない場合があります。  
この場合、[セキュリティ]タブでスキャナまたは集中管理サーバを信頼済みサイトに追加して [既定のレベル] ボタンを押す、または [レベルのカスタマイズ] ボタンを押して [バイナリ ビヘイビアとスクリプト ビヘイビア] を「有効にする」に設定してください。
- フォント サイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォント サイズを小さくして使用してください。

#### 4.4.4 Admin Tool のアンインストール方法

ここでは、Windows Vista の例で説明します。

Admin Tool のアンインストールは、インストールしたコンピュータの「コントロールパネル」から「プログラム」の「プログラムと機能」を選択して行います。



アンインストールする前に、Admin Tool を終了してください。  
Admin Tool を起動したままアンインストール処理を完了した場合、起動されている Admin Tool の動作は保証できません。

## 4.5 管理者が Admin Tool からログインします AdminTool

Admin Tool を使うと、管理者はコンピュータからネットワーク経由で本装置の設定が行えます。

Admin Tool でログインする方法について説明します。



- 画面が正常に表示されない場合（「×」マークなどが表示されてしまうような場合）は、しばらく時間をおいてから、再度操作を行ってください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。
- ボタンを短時間に何度も押すと、「通信エラーが発生しました。」というメッセージが表示される場合があります。この場合、しばらく待ってから再度実行してください。



- 本装置の管理をコンピュータで行う場合の動作環境については、「[1.4.1 Admin Tool・AddressBook Editor の動作環境](#)」（15 ページ）を参照してください。
- 管理者のユーザー名とパスワードの初期値は以下のとおりです。  
ユーザー名 : admin  
パスワード : password
- 本装置の環境設定を行えるのは常に 1 人です。
- セッションタイムアウト時間は 20 分（固定）です。以下の操作でセッションタイムアウト時間をさらに 20 分延長します。
  - グローバルメニュー、サブメニューの操作
  - [設定] ボタンを押す操作なお、「システム設定操作」画面で「完全消去」を行った場合、「完全消去」の処理に 20 分以上かかるため、「完全消去」が完了するまでセッションタイムアウト時間が延長されます。

1. [スタート]メニューの[すべてのプログラム] – [fi-scanner V2] – [fi Network Scanner Admin Tool] を選択します。

⇒ Admin Tool が起動されます。

2. 「接続先」を指定します。

設定や管理をしたい装置の IP アドレス、スキャナ名、または FQDN 名を指定します。



- 「4.7.2 接続設定をします」(91 ページ) でポート番号を変更した場合、「接続先ポート番号」に変更したポート番号を入力してください。
- 設定されたポート番号以外で接続した場合、接続エラーとなるまでに 20 秒程度かかります。
- SSL 通信を行う場合、「https」のチェックボックスをチェックしてください。
- 空きメモリ容量がない状態で Admin Tool を起動するとスクリプトエラーが発生する場合があります。空きメモリ容量がある状態で再度起動してください。



3. [接続] ボタンを押します。

⇒ 「ログイン」画面が表示されます。

4. 「ユーザー名」および「パスワード」を入力します。  
ユーザー名には、admin を入力します。  
パスワードの文字数は 7 文字以上 127 文字以内です。  
パスワードには、半角の英大文字、英小文字、数字、および記号が入力できます。  
なお、英大文字と英小文字は区別されます。



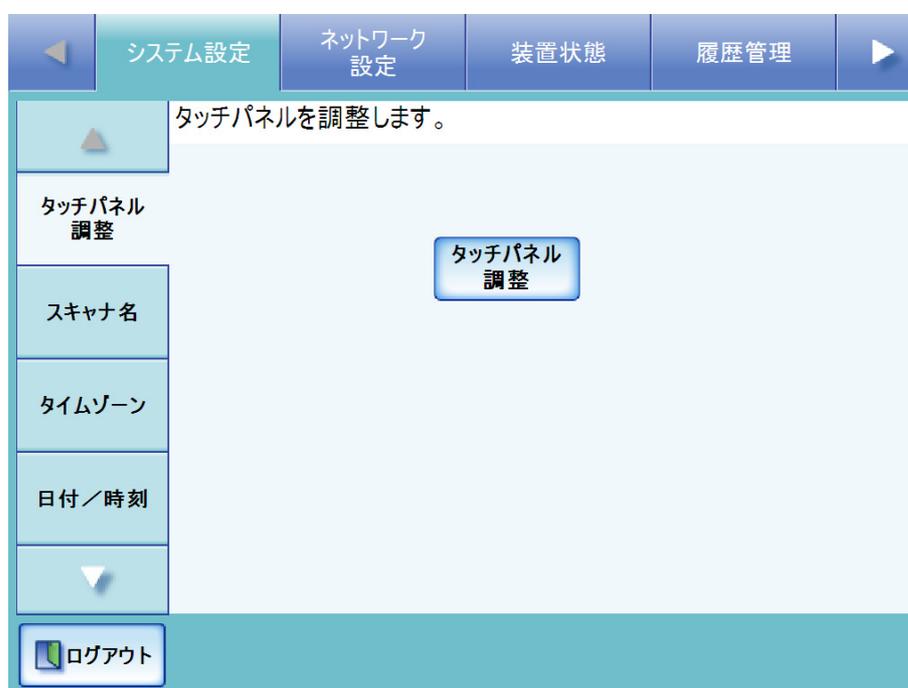
5. [ログイン] ボタンを押します。  
⇒ 認証されると、環境設定の画面が表示されます。

## 4.6 システム設定メニューでの設定

### 4.6.1 タッチパネルを調整します タッチパネル

タッチパネルの押す位置がずれている場合は、タッチパネルを調整します。

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [タッチパネル調整] ボタンを押します。  
⇒ 「タッチパネル調整」画面が表示されます。
3. [タッチパネル調整] ボタンを押します。



⇒ 補正画面に赤十字（補正点）が表示されます。

4. 赤十字（補正点）を指先などで押します。

押すと、+が移動します。止まったところで再度+を押します。



補正画面では、以下のキー操作ができます。

- [Home]  
「補正」画面を表示することができます。
- [←][↑][↓][→]  
赤十字（補正点）の位置を移動することができます。一度押して、再度押し直したい場合に使用してください。
- [Esc]  
タッチパネル調整を中断することができます。通常、使用する必要はありません。
- [Enter]（通常は押さないでください）  
エラー出力ダイアログを閉じることができます。

以下の「補正」画面が表示されるまで繰り返し行ってください。



5. **手順 4** で補正したあと、確認のため画面上を指の先などでなぞります。

⇒ 書いたとおりに線が表示されます。

線を書き直す場合は、「補正」画面で [画面消去] ボタンを押して、線を消してください。

書いたとおりの線が表示されない場合は、「補正」画面で [補正画面] ボタンを押し、**手順 4** からもう一度操作してください。

「補正」画面で [カーソル表示] ボタンは使用できません。

## 6. 「補正」画面で [終了] ボタンを押します。

⇒ タッチパネルの調整が完了します。



赤十字（補正点）を正確に押していない場合、またはすべての補正点を押す前に [Enter] キーを押した場合は、以下のメッセージが表示されません。

補正点が不正です。再入力してください。

エラーメッセージが表示された場合は、**手順 4** からやり直してください。



## 4.6.2 スキャナ名を設定します タッチパネル AdminTool

ネットワークの中で本装置を識別するためにスキャナ名を設定します。



同一ネットワーク内で名前が重複しないように設定してください。  
重複した場合、ネットワーク接続時にエラーが表示されます。対処方法については、「[F.1.1 管理者画面のメッセージ](#)」(473 ページ) を参照してください。

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [スキャナ名] ボタンを押します。  
⇒ 「スキャナ名」画面が表示されます。

システム設定   ネットワーク設定   装置状態   履歴管理

スキャナ名を設定します。

スキャナ名  
fi-XXXXXXXX

ネットワークへの参加

ワークグループ   WORKGROUP

ドメイン

ログアウト   キャンセル   設定

3. 「スキャナ名」を入力します。  
スキャナ名は半角 15 文字まで設定できます。  
使用可能な文字は、英大文字、英小文字、数字、ハイフンです。  
数字のみのスキャナ名を設定することはできません。  
スキャナ名の先頭にハイフンを使用することはできません。
4. ネットワークへの参加方法を設定します。
  - ワークグループに参加する場合  
[ワークグループ] ボタンを押して、ワークグループ名を入力します。  
最大文字数は 15 文字です。初期値は、[WORKGROUP] です。
  - ドメインに参加する場合  
[ドメイン] ボタンを押して、ドメイン名を入力します。  
最大文字数は 155 文字です。

## 5. [設定] ボタンを押します。

⇒ 再起動の確認画面が表示されます。



ヒント

以下の場合、認証画面が表示されます。

- ドメインへ参加する場合
- ドメインに参加している状態でスキャナ名を変更する場合

1. ユーザー名を入力します。  
ドメインに参加させるときに必要な認証情報をネットワーク管理者に確認し、ドメインに参加できるユーザー名を入力してください。最大文字数は 256 文字です。
2. パスワードを入力します。  
最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。
3. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 認証されると、再起動の確認画面が表示されます。

## 6. [すぐに] ボタンを押します。

⇒ 本装置が再起動されます。



ヒント

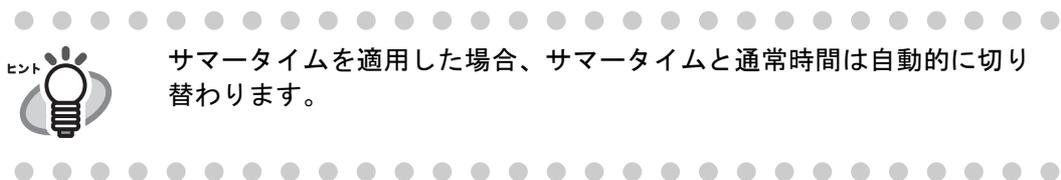
- ネットワークの状態によっては、スキャナ名が重複する可能性があります。スキャナ名が重複した場合、正しく通信できません。その場合は以下の対処を行ってください。
  1. LAN ケーブルを抜いて、タッチパネルの [電源切断] ボタンを押して本装置の電源を切断します。
  2. LAN ケーブルを抜いたままの状態でも電源ボタンを押して本装置を起動し、スキャナ名が重複しないよう設定します。
  3. 本装置を再起動します。
  4. LAN ケーブルを接続します。
- Admin Tool からスキャナ名を変更した場合、接続が切れます。設定を継続して行うには、装置起動後、時間をおいてから Admin Tool で再接続してください。

### 4.6.3 タイムゾーンを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [タイムゾーン] ボタンを押します。  
⇒ 「タイムゾーン」画面が表示されます。



3. 「タイムゾーン」のリストボタンを押します。  
初期値は、[(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京] です。  
⇒ タイムゾーン一覧画面が表示されます。
4. タイムゾーンを選択します。
5. 「サマータイム」の適用の有無を選択します。  
サマータイムを適用できないタイムゾーンを選択している場合は、表示されません。
6. [設定] ボタンを押します。  
⇒ タイムゾーンが設定されます。



4.6.4 日時を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [日付／時刻] ボタンを押します。  
⇒ 「日付／時刻」画面が表示され、「日付時刻」に画面表示時の日時が表示されます。



Central Admin Console の場合、日付時刻の設定および [ 現在時刻取得 ] ボタンの操作は行えません。

3. 「日付書式」のリストボタンを押します。  
⇒ 日付の書式が表示されます。
4. 日付書式を選択します。  
書式は、スキャン時のファイル作成名、および各画面の日付表示に適用されます。
5. 現在の日時を「日付時刻」に数字で入力します。  
表示されている日時はメニューの [ 日付／時刻 ] ボタンを押したときの日時です。  
入力できる範囲は、2037年12月31日 23:59:59 までです。  
1月など1桁の日付時刻を設定する場合は、「01」のように全桁を入力してください。



### 4.6.5 省電力モード・自動ログアウトを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

自動ログアウトと省電力モードへの移行時間を設定します。  
自動ログアウトとは、利用者モードでログインしたあとの画面で一定時間操作が行われなかった場合に自動的にログアウトして「ログイン」画面へ移行する機能です。



ヒント

以下の動作中は自動ログアウトされません。

- 読み取り処理中
- メール送信中
- FAX 送信中
- ネットワーク共有プリンタへ送信中
- フォルダ保存中
- 日本語入力の変換中

省電力モードとは、利用者モードでログインしたあとの画面で一定時間操作が行われなかった場合に省電力状態へ自動的に移行する機能です。省電力モードへ移行するとタッチパネルは消灯します。

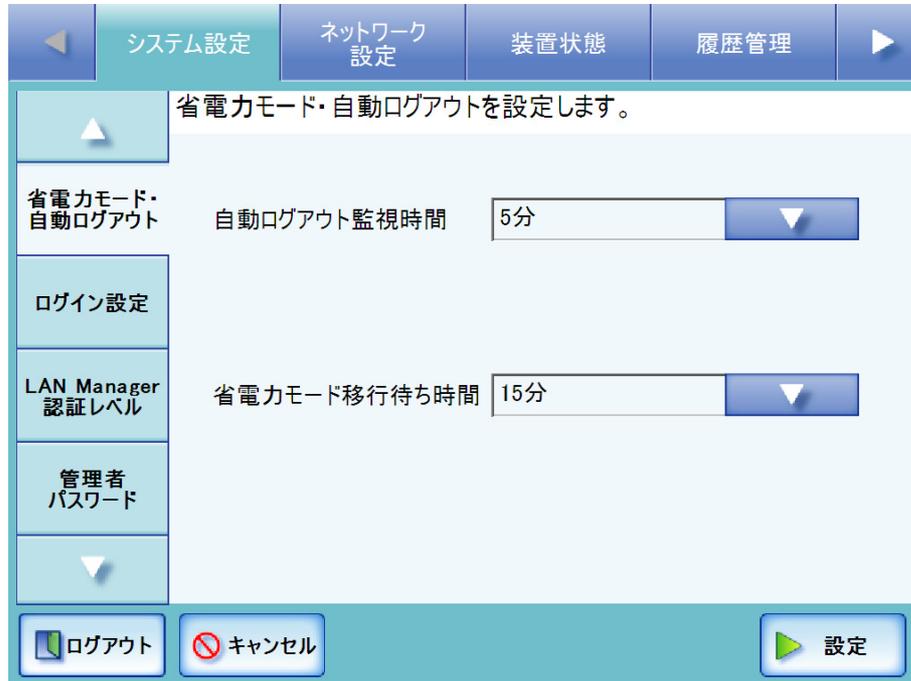
電源ボタンを押すと、省電力モードから復帰します。

復帰後に表示される画面は、自動ログインの設定によって、以下のようになります。

- 自動的にログインするように設定した場合、操作画面が表示されます。  
ただし、自動ログアウトが「無制限」の場合で、自動ログイン以外のユーザーで使用中だったときは、省電力モードから「ログイン」画面に復帰します。
- 自動的にログインしないように設定した場合、「ログイン」画面が表示されます。

画面遷移については、「[2.2.1 電源ボタンの使い方](#)」(26 ページ) を参照してください。

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [省電力モード・自動ログアウト] ボタンを押します。  
⇒ 「省電力モード・自動ログアウト」画面が表示されます。



3. 「自動ログアウト監視時間」のリストボタンを押します。  
⇒ 自動ログアウトへ移行するまでの待ち時間一覧が表示されます。
4. 自動ログアウトの監視時間を選択します。  
初期値は [5 分] です。
5. 「省電力モード移行待ち時間」のリストボタンを押します。  
⇒ 省電力モードへ移行するまでの待ち時間一覧が表示されます。
6. 省電力モードへの移行時間を選択します。  
初期値は [15 分] です。



「自動ログアウト監視時間」で [無制限] ボタンを選択した場合、「省電力モード移行待ち時間」で選択した時間で省電力モードへ移行します。「自動ログアウト監視時間」で [無制限] ボタン以外を選択した場合、「省電力モード移行待ち時間」は、「自動ログアウト監視時間」より長い時間に設定してください。

7. [設定] ボタンを押します。  
⇒ 省電力モードと自動ログアウトへの移行時間が設定されます。

4.6.6 ログイン設定をします タッチパネル AdminTool Central Admin Console

ログイン設定では、以下の設定を行います。

- 自動ログインの設定  
電源投入時および再起動時、「ログイン」画面を表示せずに、自動的にログインするかどうかを設定します。  
自動的にログインするように設定した場合、ここで設定したユーザー名、パスワードを使用して自動的にログインします。ただし、自動ログアウトまたは[ログアウト]ボタンを押してログアウトすると、「ログイン」画面が表示されます。
- guest アカウントの有効無効  
guest アカウントでログインできるようにするかどうかを設定します。
- 管理者アカウントの変更  
管理者アカウントとして、工場出荷時の管理者アカウント (admin) を使用するか、別のアカウントを使用するかを設定できます。

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [ログイン設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ログイン設定」画面が表示されます。



3. 自動ログインするかどうかを選択します。  
初期値は [しない] です。  
[する] ボタンを押すと、自動ログインします。  
[しない] ボタンを押すと、自動ログインしません。



- 自動ログインの設定は、本装置の再起動後または省電力モードからの復帰後に適用されます。
- 自動ログインを有効にしたスキャナで集中管理を有効にした場合、スキャナは起動時または省電力モードからの復帰時に、自動ログインより優先して集中管理サーバにシステム、Add-in、またはシステム環境設定が公開されていないかを問い合わせます。システム、Add-in、またはシステム環境設定が公開されている場合、スキャナへの適用を開始しますが、適用時に集中管理サーバに同時に接続できるスキャナの最大数（スキャナ通信多重度）を超えている場合、適用は一時中断され自動ログインを優先します。スキャナへの適用は、ログアウト時、次回の起動時、省電力モードから復帰時に行われます。

#### 4. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

手順 3 で [ する ] ボタンを押した場合のみ設定できます。

設定項目	説明
ユーザー名	最大文字数は 64 文字です。 半角および全角が使用できます。 ユーザー名には、以下の文字が使用できません。また、ユーザー名の先頭に @ と . (ドット) は使用できません。 /¥[ ] : ;   = , + * ? < > "
パスワード	最大文字数は半角 256 文字です。 パスワードには、大文字、小文字、数字、および記号が入力できます。なお、大文字と小文字は区別されます。



LDAP サーバによっては、上記以外の文字がパスワードに使用できますが、自動ログインのユーザーには使用できません。

本装置は、指定されたユーザー名に応じて、以下のように認証処理を行います。

- LDAP サーバのサーバ種別が [Active Directory] または [Active Directory Global Catalog] の場合

分類	認証処理
SAM アカウント名 「@」を含まないユーザー名が指定された場合	ユーザーログイン名 (sAMAccountName) で認証処理を行います。 例：user
ユーザープリンシパル名 「@」を含むユーザー名が指定された場合	ユーザーログイン名 (userPrincipalName) で認証処理を行います。 例：user@example.com



SAM アカウント名にドメイン名を指定する場合は、「ドメイン名 ¥SAM アカウント名」と記述します。

- LDAP サーバのサーバ種別が [その他の LDAP サーバ] の場合

分類	認証処理
uid	ユーザーログイン名 (uid) で認証処理を行います。 例：user
cn	ユーザーログイン名 (cn) で認証処理を行います。 例：user



- タッチパネルから管理者がログインしている場合、「Caps Lock」および「Num Lock」が表示されます。  
キーボードが Caps Lock されている場合は、「Caps Lock」が点灯します。  
キーボードが Num Lock されている場合は、「Num Lock」が点灯します。
- 自動的にログインするように設定した場合、UPN サフィックスは無効になります。入力しても適用されません。

## 5. guest アカウントでログインできるようにするかどうかを選択します。

初期値は [有効] です。

[有効] ボタンを押すと、guest アカウントでログインできるようになります。

[無効] ボタンを押すと、guest アカウントでログインできなくなります。

6. [詳細] ボタンを押します。

⇒ 管理者アカウントを設定するための画面が表示されます。

The screenshot shows a web-based configuration interface. At the top, there are four tabs: 'システム設定' (System Settings), 'ネットワーク設定' (Network Settings), '装置状態' (Device Status), and '履歴管理' (History Management). The 'システム設定' tab is active. Below the tabs, there is a main content area with a title 'ログインに関する設定を行います。' (Configure login settings). On the left side of this area, there is a vertical sidebar with several menu items: '省電力モード・自動ログアウト' (Power saving mode / Auto logout), 'ログイン設定' (Login settings), 'LAN Manager 認証レベル' (LAN Manager authentication level), '管理者パスワード' (Administrator password), and a 'ログアウト' (Logout) button. The main content area contains two settings: '管理者アカウント' (Administrator account) with a dropdown menu currently showing 'admin(出荷初期値)' (admin (factory default)), and '管理者ユーザー名' (Administrator username) with an empty text input field. At the bottom of the interface, there are three buttons: 'ログアウト' (Logout), 'キャンセル' (Cancel), and '設定' (Settings).



Admin Tool の場合、[詳細] ボタンはありません。同一画面上で管理者アカウントやユーザー名を設定できます。

7. [管理者アカウント] のリストボタンを押します。

⇒ 管理者アカウントの一覧が表示されます。

8. 管理者アカウントとして使用するアカウントを選択します。



「別名アカウント」を選択すると、初期値の管理者アカウント (admin) は、使用できなくなります。

9. 管理者アカウントを「別名アカウント」にした場合、「管理者ユーザー名」に管理者アカウントのユーザー名を入力します。

最大文字数は 20 文字です。

以下の文字は使用できません。

/ ¥ [ ] ; | = , + \* ? < > "



以下のユーザー名は設定できません。

- ピリオド「.」またはスペースだけのユーザー名
- 自動ログインに指定したユーザー名



「別名アカウント」のパスワードは、「管理者パスワード」画面で変更できます。



10. [設定] ボタンを押します。

⇒ 元の画面に戻ります。

11. [設定] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。

## 4.6.7 LAN Manager 認証レベルを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

サーバと本装置を接続するときの LAN Manager 認証レベルを設定します。

LAN Manager 認証レベルの設定内容は、以下の場合に有効となります。

- ログイン LDAP サーバのサーバ種別が「Active Directory」または「Active Directory Global Catalog」で、本装置にログインするとき、Active Directory サーバと本装置を接続する
- スキャン画像をネットワーク共有フォルダに保存するとき、ファイルサーバと本装置を接続する
- スキャン画像を印刷するとき、プリントサーバと本装置を接続する

LAN Manager 認証レベルの詳細については、連携するサーバのマニュアルを参照してください。



- LAN Manager 認証レベルは、サーバ側の設定に合わせることを推奨します。
- サーバ側で設定されている LAN Manager 認証レベルをサーバの管理者に確認してから、変更してください。サーバ側と異なるレベルを設定すると、本装置へのログイン、ネットワーク共有フォルダに保存、および印刷ができなくなることがあります。
- LAN Manager 認証レベルは、ログイン時、ネットワーク共有フォルダ、およびネットワーク共有プリンタで共通の設定になります。

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [LAN Manager 認証レベル] ボタンを押します。  
⇒ 「LAN Manager 認証レベル」画面が表示されます。



## 3. LAN Manager 認証レベルを、0～5までの数字で入力します。

- 0 : LM と NTLM 応答を送信する  
本装置は、LM および NTLM 認証を使用し、NTLMv2 セッションセキュリティを使用しません。
- 1 : LM と NTLM を送信する (ネゴシエートした場合 NTLMv2 セッションセキュリティを使う)  
本装置は、LM および NTLM 認証を使用し、サーバがサポートしている場合は NTLMv2 セッションセキュリティを使用します。
- 2 : NTLM 応答のみ送信する  
本装置は、NTLM 認証のみを使用し、サーバがサポートしている場合は NTLMv2 セッションセキュリティを使用します。
- 3 : NTLMv2 応答のみ送信する  
本装置は、NTLMv2 認証のみを使用し、サーバがサポートしている場合は NTLMv2 セッションセキュリティを使用します。
- 4 : NTLMv2 応答のみ送信 (LM を拒否する)  
本装置は、NTLMv2 認証のみを使用し、サーバがサポートしている場合は NTLMv2 セッションセキュリティを使用します。
- 5 : NTLMv2 応答のみ送信 (LM と NTLM を拒否する)  
本装置は、NTLMv2 認証のみを使用し、サーバがサポートしている場合は NTLMv2 セッションセキュリティを使用します。

## 4. [設定] ボタンを押します。

⇒ LAN Manager 認証レベルが設定されます。

## 4.6.8 管理者パスワードを変更します タッチパネル AdminTool



パスワードを紛失すると、ログインできなくなります。  
パスワードの管理はしっかり行ってください。  
万一、パスワードを紛失した場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [管理者パスワード] ボタンを押します。  
⇒ 「管理者パスワード」画面が表示されます。

3. 「現パスワード」、「新パスワード」、および「確認パスワード」を入力します。  
パスワードは7文字以上127文字以内の範囲で入力します。半角の大文字、小文字、数字、および記号が入力できます。なお、英大文字と英小文字は区別されません。



タッチパネルから管理者がログインしている場合、「Caps Lock」および「Num Lock」が表示されます。  
キーボードが Caps Lock されている場合は、「Caps Lock」が点灯します。  
キーボードが Num Lock されている場合は、「Num Lock」が点灯します。

4. [設定] ボタンを押します。  
⇒ 管理者パスワードが変更されます。

4.6.9 保存ファイル名を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

スキャン画像をフォルダに保存するときのファイル名の形式を設定します。  
ここで設定したファイル名は、「保存」画面および「SharePoint に保存」画面の「ファイル名」の入力域に初期値として表示されます。



以下のファイル名は設定することができません。また、これらのファイル名になるような設定をしないでください。

- CON
- PRN
- AUX
- CLOCK\$
- NUL
- COM0 ~ COM9
- LPT0 ~ LPT9

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [保存ファイル名設定] ボタンを押します。  
⇒ 「保存ファイル名設定」画面が表示されます。

保存ファイル名の形式を指定します。

再表示 [スキャナ名]MMddyyyyhhmmss001

保存ファイル名設定

フォルダ スキャナ名 ユーザー名 日付

添付ファイル名設定

ファイル名形式

文字列

マルチフィード検出設定

スキャナ名 ユーザー名 日付 時刻

スキャナ調整

連番 3(最小桁数)

日付書式 MMddyyyy

区切り文字 なし

ログアウト キャンセル 設定

### 3. スキャン画像を保存するフォルダを設定します。

- スキャン画像の保存先となる、ネットワーク共有フォルダまたは SharePoint フォルダの配下にスキャン画像を保存する場合、フォルダ名は選択しないでください。
- スキャン画像の保存先となる、ネットワーク共有フォルダまたは SharePoint フォルダの配下のフォルダに、スキャン画像を保存する場合、保存先とするフォルダ名を選択します。  
選択したフォルダ名が存在しない場合、フォルダが作成されます。
  - [ スキャナ名 ] ボタンを押した場合  
読み取り時に使用したスキャナ名のフォルダに保存します。
  - [ ユーザー名 ] ボタンを押した場合  
ログインしているユーザー名のフォルダに保存します。
  - [ 日付 ] ボタンを押した場合  
スキャン時の日付のフォルダに保存します。日付の書式は「日付書式」で選択した内容に従います。



複数のフォルダ名のボタンを押した場合、以下の順序でフォルダ名が作成されます。

- スキャナ名
- ユーザー名
- 日付

区切り文字は「区切り文字」で選択した内容に従います。

たとえば、スキャナ名「Scanner」、ユーザー名「user」、日付「20121231」、区切り文字「\_」の場合、「Scanner\_user\_20121231」となります。

### 4. 「ファイル名形式」を設定します。

初期値は [ スキャナ名 ]+[ 日付 ]+[ 時刻 ]+[ 連番 3 桁 ] です。

- [ 文字列 ] ボタンを押した場合  
入力域に入力した文字列がファイル名として使用されます。最大文字数は 128 文字です。以下の文字は使用できません。  
¥/:\*?"<>|  
なお、「SharePoint に保存」の場合、以下の文字は使用できません。  
~"#%&\*:<>?{|}
- [ スキャナ名 ] ボタンを押した場合  
スキャナ名がファイル名として使用されます。
- [ ユーザー名 ] ボタンを押した場合  
ログインしているユーザー名がファイル名として使用されます。
- [ 日付 ] ボタンを押した場合  
スキャン時の日付がファイル名として使用されます。日付の書式は「日付書式」で選択した内容に従います。
- [ 時刻 ] ボタンを押した場合  
スキャン開始時刻がファイル名として使用されます。



ヒント

複数のファイル名のボタンを押した場合、以下の順序でファイル名が作成されます。

- 文字列
- スキャナ名
- ユーザー名
- 日付
- 時刻

区切り文字は「区切り文字」で選択した内容に従います。

たとえば、文字列「file」、スキャナ名「Scanner」、ユーザー名「user」、日付「20121231」、時刻「12:00:30」、区切り文字「\_」の場合、「file\_Scanner\_user\_20121231\_120030」となります。

5. 「連番」のリストボタンを押します。  
⇒ 連番の桁数一覧画面が表示されます。

6. 連番の桁数を選択します。  
ファイル名の最後に連番を付加します。  
初期値は [3(最小桁数)] です。  
[付けない] を選択した場合、連番を付加しません。



まって!

連番の最大値を超えるファイル名が保存先のフォルダにすでに存在する場合、連番が正しく付加されません。



連番を付加する場合の動作について説明します。

- 連番は 1 から開始し、実在する最大の値を使用して、ファイル名に付加されます。

たとえば、先頭文字列が A で、連番の桁数に 3 桁を選択し、「A001.pdf」「A002.pdf」「A004.pdf」がすでに存在している場合、以下の順にファイル名が付けられます。

「A005.pdf」「A006.pdf」「A007.pdf」「A008.pdf」…

実在しない最小の値である「A003.pdf」というファイル名は付けられません。

- 選択した連番の桁数が上回った場合、次の桁の値を使用して、ファイル名に付加されます。

たとえば、先頭文字列が A で、連番の桁数に 3 桁を選択し、「A001.pdf」～「A998.pdf」がすでに存在している場合、以下の順にファイル名が付けられます。

「A999.pdf」「A1000.pdf」「A1001.pdf」「A1002.pdf」…

- 連番の最大値は 4294967295 です。連番の最大値を超えた場合は、実在しない最小の値を使用して、ファイル名に付加されます。

たとえば、先頭文字列が A で、連番の桁数に 3 桁を選択し、「A001.pdf」「A003.pdf」「A4294967295.pdf」がすでに存在している場合、以下の順にファイル名が付けられます。

「A002.pdf」「A004.pdf」「A005.pdf」「A006.pdf」…

7. 「日付書式」のリストボタンを押します。

⇒ 日付の書式が表示されます。

8. 日付書式を選択します。

書式は、スキャン画像をフォルダに保存するときのフォルダ名およびファイル名に適用されます。

9. 「区切り文字」のリストボタンを押します。

⇒ 区切り文字一覧画面が表示されます。

10. 区切り文字を選択します。

区切り文字は、スキャン画像をフォルダに保存するときのフォルダ名およびファイル名に適用されます。

[なし]を選択した場合、区切り文字を付加しません。

11. [再表示] ボタンを押します。

⇒ [再表示] ボタンの右側にある表示域にファイル名の形式が表示されます。

12. ファイル名の形式を確認します。

13. [設定] ボタンを押します。

⇒ ファイル名が設定されます。

4.6.10 添付ファイル名を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

スキャン画像をメールで送信するときのファイル名の形式を設定します。  
ここで設定したファイル名は、「メール送信」画面の「添付ファイル名」の入力域に初期値として表示されます。



以下のファイル名は設定することができません。また、これらのファイル名になるような設定をしないでください。

- CON
- PRN
- AUX
- CLOCK\$
- NUL
- COM0 ~ COM9
- LPT0 ~ LPT9

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [添付ファイル名設定] ボタンを押します。  
⇒ 「添付ファイル名設定」画面が表示されます。

3. 「ファイル名形式」を設定します。  
初期値は [スキャナ名] + [日付] + [時刻] です。
  - [文字列] ボタンを押した場合  
入力域に入力した文字列がファイル名として使用されます。最大文字数は 128 文字です。以下の文字は使用できません。  
¥/:\*?"<>|

- [ スキャナ名 ] ボタンを押した場合  
スキャナ名がファイル名として使用されます。
- [ ユーザー名 ] ボタンを押した場合  
ログインしているユーザー名がファイル名として使用されます。
- [ 日付 ] ボタンを押した場合  
スキャン時の日付がファイル名として使用されます。日付の書式は「日付書式」で選択した内容に従います。
- [ 時刻 ] ボタンを押した場合  
スキャン開始時刻がファイル名として使用されます。



複数のファイル名のボタンを押した場合、以下の順序でファイル名が作成されます。

- 文字列
- スキャナ名
- ユーザー名
- 日付
- 時刻

日付の書式は「日付書式」、区切り文字は「区切り文字」で選択した内容に従います。

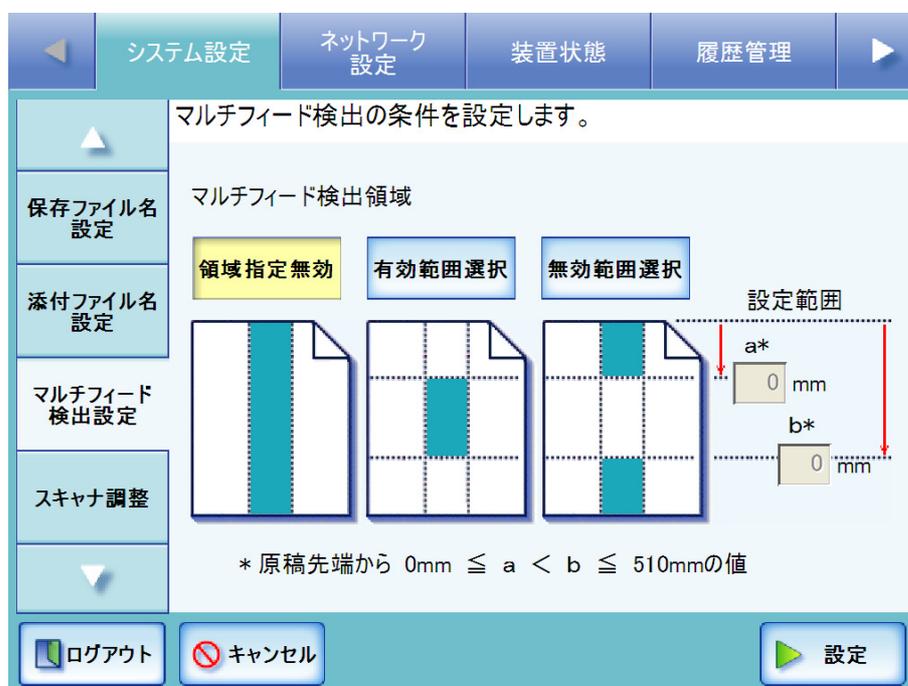
たとえば、文字列「file」、スキャナ名「Scanner」、ユーザー名「user」、日付「20121231」、時刻「12:00:30」、区切り文字「\_」の場合、「file\_Scanner\_user\_20121231\_120030」となります。

4. 「日付書式」のリストボタンを押します。  
⇒ 日付の書式が表示されます。
5. 日付書式を選択します。  
書式は、スキャン画像をメールで送信するときのファイル名に適用されます。
6. 「区切り文字」のリストボタンを押します。  
⇒ 区切り文字一覧画面が表示されます。
7. 区切り文字を選択します。  
区切り文字は、スキャン画像をメールで送信するときのファイル名に適用されます。  
[ なし ] を選択した場合、区切り文字を付加しません。
8. [ 再表示 ] ボタンを押します。  
⇒ [ 再表示 ] ボタンの右側にある表示域にファイル名の形式が表示されます。
9. ファイル名の形式を確認します。
10. [ 設定 ] ボタンを押します。  
⇒ ファイル名が設定されます。

4.6.11 マルチフィードの検出条件を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

通常マルチフィード検出は、原稿中央部（原稿の中心線から両側に幅 17.5mm）について常に原稿の重なりを監視しますが、原稿上に写真や切り抜きなどが貼られていると、その部分を原稿の重なりだと検出する場合があります。このような原稿を読み取る場合の原稿チェック領域を指定します。検出範囲を絞ることにより、誤検出を防ぐことができます。マルチフィードの検出を正しく行うための原稿の条件については、「[A.5 マルチフィードの検出条件](#)」（426 ページ）を参照してください。

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [マルチフィード検出設定] ボタンを押します。  
⇒ 「マルチフィード検出設定」画面が表示されます。



### 3. マルチフィードの検出域を指定します。

原稿の長さ方向に対して、指定した部分についてのみマルチフィード検出を行います。

領域指定無効	原稿の中心線から両側に幅 17.5mm の領域を検出対象とします。
有効範囲選択	<p>「a」から「b」までを検出有効範囲とします。</p>
無効範囲選択	<p>「a」から「b」までを検出無効範囲とします。          なお、ページ先頭から「a」までと、「b」からページ終端までを検出対象とします。</p>



原稿の上下 25mm はマルチフィード検出できない場合があります。

4. 手順 3 で [有効範囲選択] または [無効範囲選択] を選択した場合は、「a」と「b」を指定します。

「a」の設定可能範囲は 0 ～ 508mm の偶数値です。奇数値を入力した場合は、切り上げて偶数値になります。

「b」の設定可能範囲は 0 ～ 510mm の偶数値です。奇数値を入力した場合は、切り上げて偶数値になります。



- マルチフィードを検出するには、5mm 以上の長さが必要となります。有効範囲を指定する場合、「b」には「a」より 6mm 以上になるように設定してください。
- 「b」は最大 510mm までです。用紙サイズで長尺帳票指定を設定して 510mm 以上の長い原稿をスキャンした場合、510mm 以降はマルチフィード検出できません。
- [有効範囲選択] 選択時に、「a」より原稿が短い場合はマルチフィード検出できません。また、[無効範囲選択] 選択時に、「b」より原稿が短い場合は、「b」より下の部分はマルチフィード検出できません。
- 用紙サイズを超えた位置に「a」と「b」を設定した場合、マルチフィード検出できません。

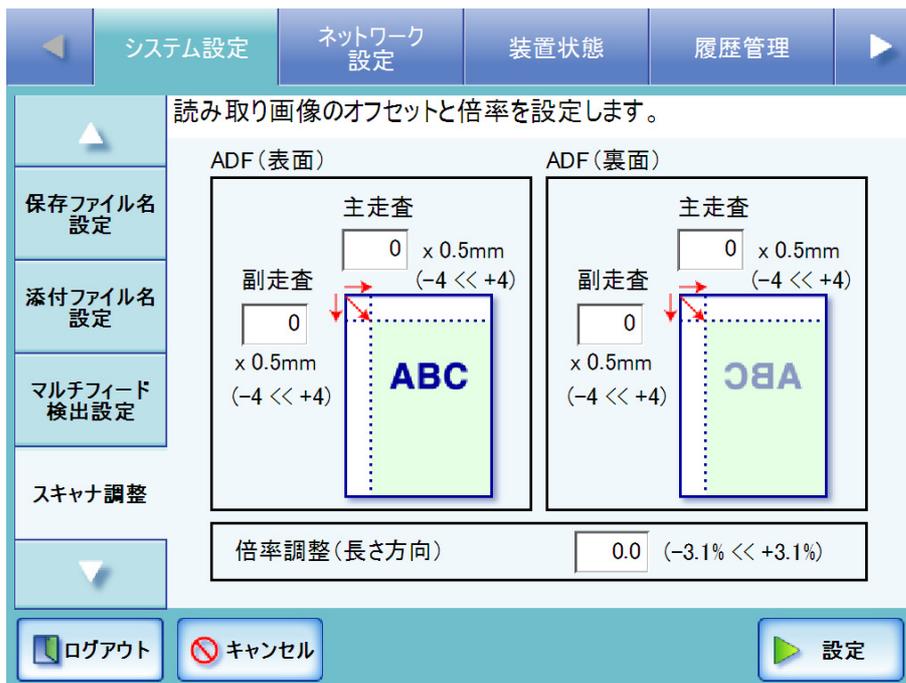
5. [設定] ボタンを押します。

⇒ マルチフィード検出条件が設定されます。

## 4.6.12 スキャナの動作を設定します タッチパネル AdminTool

通常、設定変更する必要はありません。

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [スキャナ調整] ボタンを押します。  
⇒ 「スキャナ調整」画面が表示されます。



## ■ 読み取り画像のオフセットを設定します

読み取り結果の画像位置が原稿と比べて偏っている場合に、補正することができます。

1. 「スキャナ調整」画面で「ADF（表面）」および「ADF（裏面）」の「主走査」と「副走査」の値を入力します。

「主走査」には主走査のオフセットの長さを指定します。指定できる範囲は -4 ～ 4 までです。

「副走査」には副走査のオフセットの長さを指定します。指定できる範囲は -4 ～ 4 までです。

単位はそれぞれ 0.5mm です。

2. [設定] ボタンを押します。  
⇒ オフセットが設定されます。

## ■ 読み取り画像の倍率を設定します

読み取り結果の画像サイズが読み取り指定サイズと比較し、伸びたり縮んだりしている場合に、補正することができます。

1. 「スキャナ調整」画面で「倍率調整（長さ方向）」を入力します。

副走査方向の倍率補正值を変更します。出荷時の設定値を基準に、ADF 読み取り時の原稿搬送方向に対して、拡大または縮小します。

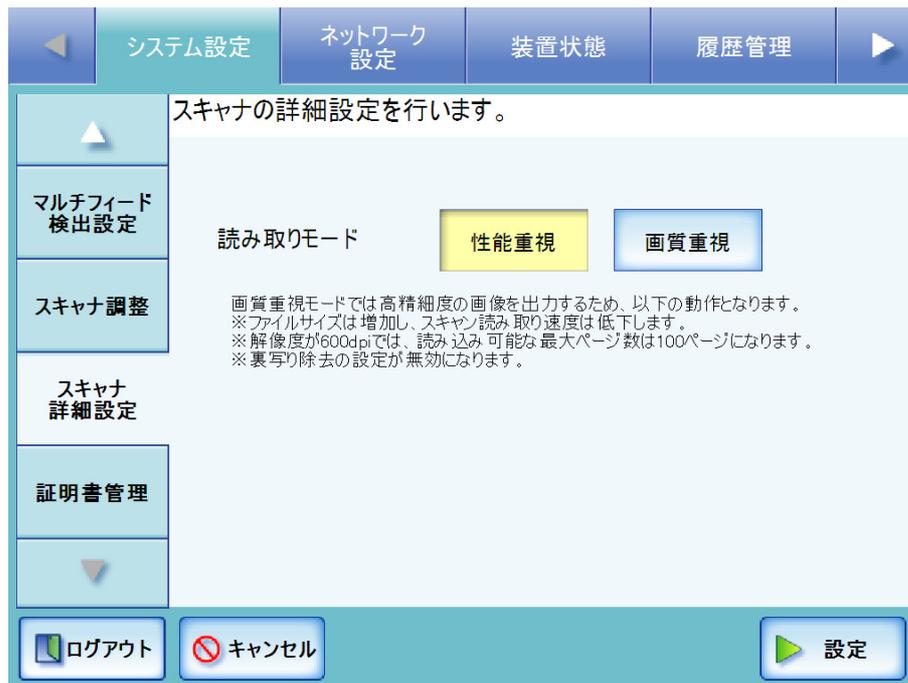
指定可能範囲は -3.1 ～ 3.1% です。

2. [設定] ボタンを押します。  
⇒ 倍率補正值が設定されます。

## 4.6.13 スキャナの詳細設定をします タッチパネル AdminTool Central Admin Console

通常、設定変更する必要はありません。  
原稿を読み取るときの読み取りモードを設定します。

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [スキャナ詳細設定] ボタンを押します。  
⇒ 「スキャナ詳細設定」画面が表示されます。



3. 原稿を読み取るときの読み取りモードを選択します。  
[性能重視] ボタンを押すと、読み取り速度を重視して読み取ります。  
[画質重視] ボタンを押すと、読み取り品質を重視して読み取ります。



画質重視モードでは高精細度の画像を出力するため、以下の動作となります。

- ファイルサイズは増加し、読み取り速度は低下します。
- 解像度が 600dpi では、読み込み可能な最大ページ数は 100 ページになります。
- 裏写り除去の設定が無効になります。



4. [設定] ボタンを押します。  
⇒ 入力内容が設定されます。

## 4.6.14 証明書を管理します

SSL 通信時のサーバ証明書の検証に使用する証明書をインポートしたり、削除したりします。

### ■ 証明書をインポートします AdminTool Central Admin Console

インポートできる証明書は、X.509 証明書 (\*.cer, \*.crt) です。  
証明書は、最大 100 個までインポートできます。

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [証明書管理] ボタンを押します。  
⇒ 「証明書管理」画面が表示されます。



3. インポートする証明書を指定します。  
⇒ [参照] ボタンで証明書の指定ができます。
4. [インポート] ボタンを押します。  
⇒ 証明書がインポートされます。  
インポートされた証明書は、信頼されたルート証明機関ストアへ保存されます。



集中管理サーバから証明書を配付した場合、すでにインポートされている本装置の証明書は削除されて、新規に設定されます。

---

## ■ 証明書を削除します

1. [システム設定] ボタンを押します。
2. [証明書管理] ボタンを押します。  
⇒ 「証明書管理」画面が表示されます。
3. 削除する証明書を選択して [削除] ボタンを押します。  
⇒ 削除確認の画面が表示されます。
4. [はい] ボタンを押します。  
⇒ 証明書が削除されます。

## 4.7 ネットワーク設定メニューでの設定

### 4.7.1 IP アドレス /DHCP を設定します タッチパネル AdminTool

ネットワークに接続するために本装置の IP アドレスを指定します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [IP アドレス] ボタンを押します。  
⇒ 「IP アドレス」画面が表示されます。



3. DHCP 使用の有無を選択します。

DHCP を使用する場合は、[有効] ボタンを押します。初期値は[有効]です。

静的に IP アドレスを設定する場合は、[無効] ボタンを押して、以下を数字で入力します。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ

---

#### 4. [設定] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。



- IP アドレスが重複した場合、正しく通信できません。その場合は以下の対処を行ってください。
  1. LAN ケーブルを抜いて、タッチパネルの [電源切断] ボタンを押して本装置の電源を切断します。
  2. LAN ケーブルを抜いたままの状態電源ボタンを押して本装置を起動し、IP アドレスが重複しないよう設定します。
  3. LAN ケーブルを接続します。
- DHCP を使用する場合、反映される設定は以下のとおりです。
  - IP アドレス
  - サブネットマスク
  - デフォルトゲートウェイ
  - DNS サーバ
  - WINS サーバ
  - ドメインサフィックスまた、本装置で DNS サーバ、WINS サーバを設定した場合は、本装置で設定した値が優先されます。
- Admin Tool から IP アドレスを変更する場合、接続が切れます。設定を継続して行うには、Admin Tool で再接続してください。IP アドレスで再接続する場合は、新たに設定した IP アドレスで接続してください。





#### 4. SSL 通信を行うかどうかを選択します。

[有効] ボタンを押すと、SSL 通信を行います。SSL 通信を行う場合、[再作成] ボタンを押して、SSL 証明書を再作成してください。SSL 証明書を再作成すると、SSL 証明書の内容が更新されます。SSL 証明書の内容は、以下のとおりです。

- 発行者  
SSL 証明書の発行者が表示されます。
- 有効期限  
SSL 証明書の有効期限が表示されます。有効期限は、SSL 証明書の再作成を開始した日付から 5 年後です。日付は日付書式に従います。

[無効] ボタンを押すと、SSL 通信を行いません。

#### 5. [設定] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。



- Admin Tool で接続設定を変更した場合、接続が切れます。  
設定を継続して行う場合は、いったん切断して、変更した接続設定の内容で再度接続を行ってください。
- SSL 通信を有効にした場合、集中管理サーバと本装置との間の通信でも SSL が使用されます。集中管理を有効にしている場合は、Central Admin Console の「Central Admin サーバ動作環境設定」画面の設定も変更してください。
- 以下の組み合わせの設定はできません。
  - ポート番号に「80」、SSL 通信に「有効」を設定する組み合わせ
  - ポート番号に「443」、SSL 通信に「無効」を設定する組み合わせ



### 4.7.3 集中管理サーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

集中管理を有効にすると、スキャナを集中管理対象にすることができます。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [集中管理サーバ] ボタンを押します。  
⇒「集中管理サーバ」画面が表示されます。

集中管理サーバの設定を行います。

集中管理	<input checked="" type="button" value="有効"/>	<input type="button" value="無効"/>
アドレス	<input type="text" value=""/>	
ポート番号	<input type="text" value="20444 (1 - 65535)"/>	
ユーザー情報共有	<input checked="" type="button" value="有効"/>	<input type="button" value="無効"/>
ジョブ設定共有	<input checked="" type="button" value="有効"/>	<input type="button" value="無効"/>
集中管理サーバへの登録状態	未登録	
自動アップデートスケジュール	<input checked="" type="button" value="有効"/>	<input type="button" value="無効"/>
適用日時	<input type="text" value=""/> (MM/dd/yyyy HH:mm)	

ログアウト

Central Admin Console の場合、アドレスおよびポート番号の設定はできません。

3. 集中管理を行うかどうかを選択します。

初期値は [無効] です。

Central Admin Console の場合、集中管理を有効にしているスキャナが対象となるため、初期値は [有効] となります。

[有効] ボタンを押すと、集中管理を行います。

[無効] ボタンを押すと、集中管理を行わない設定になります。以降の入力はできません。[設定] ボタンを押して、設定を確定してください。



集中管理サーバへの登録が成功すると、「集中管理サーバへの登録状態」が「未登録」から「登録済」になります。  
なお、設定値が正しくても、ネットワークがつながっていなかったり、集中管理サーバが停止している場合は、登録に失敗します。この場合、集中管理が [有効] になっていれば、次回の電源オンまたは省電力モードからの復帰時に、集中管理サーバへの登録が行われます。

- 
4. 「アドレス」に集中管理サーバのIPアドレス、ホスト名、またはFQDN名を入力します。
    - IP アドレスを入力する場合  
xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
    - ホスト名または FQDN 名を入力する場合  
最大文字数は半角 255 文字です。
  5. 「ポート番号」にスキャナから集中管理サーバへの通信に使用するポート番号を、1 ~ 65535 の範囲で入力します。

初期値は 20444 です。
  6. ユーザー情報を共有するかどうかを選択します。

初期値は [無効] です。

[有効] ボタンを押すと、ユーザー情報を共有します。ユーザー情報を共有すると、異なるスキャナからログインしても、利用者ごとの設定を利用できます。共有できるユーザー情報は、以下のとおりです。

    - メールアドレス台帳 (My List)
    - 読み取り設定
    - 選択ネットワーク共有プリンタ
    - 選択ネットワーク共有フォルダ
    - 選択 SharePoint フォルダ

なお、選択ネットワーク共有プリンタ・共有フォルダ・SharePoint フォルダは、装置ごとに同じネットワーク共有プリンタ・フォルダ・SharePoint フォルダが設定されていない場合、選択状態は解除されます。

[無効] ボタンを押すと、ユーザー情報を共有しません。
  7. ジョブ設定を共有するかどうかを選択します。

初期値は [無効] です。

[有効] ボタンを押すと、ジョブ設定を共有します。ジョブ設定を共有すると、異なるスキャナからログインしても、利用者ごとに設定されているジョブを利用できます。ただし、集中管理サーバ上で共有ジョブが未公開の場合は、Admin Tool で設定したジョブが有効となります。

[無効] ボタンを押すと、ジョブ設定を共有しません。
  8. スキャナのシステム (セキュリティ、オプション機能を含む)、システム環境設定、および Add-in を、自動でアップデートするかどうかを設定します。

初期値は [無効] です。

[有効] ボタンを押すと、指定した日時に自動でアップデートします。アップデートする日時を「適用日時」に入力します。



- 本装置が省電力モードの状態、または電源が入っていてユーザーがログインしていない状態のときに、自動でアップデートが行われます。また、集中管理サーバからの配信通知や、Wake On LAN が使用できない環境でも、指定した日時にアップデートが行えます。
- 設定した適用日時にユーザーが本装置にログインしていた場合、ログアウト時にアップデートされます。
- 適用日時は、現在時刻から 10 分以上あとの時間を設定してください。
- 集中管理サーバで自動アップデートスケジュールの適用日時を設定した場合、集中管理サーバからスキャナへ設定が配信されてから自動アップデートまでの時間が 10 分未満だったときは、適用日時は設定されません。  
配信通知が行えない環境でシステム環境設定を適用するには、スキャナの再起動やログアウト操作が必要です。これらの操作でソフトウェアアップデートが行われないようにするには、ソフトウェアアップデート時間帯制限の機能を使用してください。アップデートが制限された時間帯でも、システム環境設定の更新が適用されます。  
詳細については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。
- 自動でアップデートする時間を Admin Tool または Central Admin Console でも設定した場合、最後に設定して適用した方の値が有効になります。

[無効] ボタンを押すと、自動でアップデートしません。

#### 9. [詳細] ボタンを押します。

⇒ 自動探索を設定するための画面が表示されます。

The screenshot shows a software interface with a top navigation bar containing 'システム設定', 'ネットワーク設定', '装置状態', and '履歴管理'. The 'ネットワーク設定' (Network Settings) menu is active. Below the navigation bar, a message reads '集中管理サーバの設定を行います。' (Configure the central management server). The '自動探索' (Automatic Search) option is currently set to '有効' (Enabled), with a '無効' (Disabled) button also visible. Below this, there is a text input field for '探索識別名' (Search Identification Name). On the left side, there are buttons for 'IPアドレス', '接続設定', '集中管理サーバ', and 'DNSサーバ'. At the bottom of the screen, there are three buttons: 'ログアウト' (Logout), 'キャンセル' (Cancel), and '設定' (Apply/Save).



Admin Tool の場合、[ 詳細 ] ボタンはありません。同一画面上で自動探索や探索識別名を設定できます。

10. 本装置を集中管理サーバの自動探索の対象とするかどうかを選択します。

初期値は、[ 有効 ] です。

[ 有効 ] ボタンを押すと、集中管理サーバからの自動探索の対象にします。

有効にした場合、集中管理サーバからの自動探索によって、集中管理するスキャナとして集中管理サーバに登録されます。

[ 無効 ] ボタンを押すと、集中管理サーバからの自動探索の対象にしません。

11. 本装置を自動探索の対象にする場合、本装置の登録先とする集中管理サーバの探索識別名を、「探索識別名」に入力します。

最大文字数は 100 文字です。

英大文字、英小文字、数字、記号が使用できます。なお、英大文字と英小文字は区別されます。

集中管理サーバで設定された探索識別名と、ここで設定した探索識別名が一致した場合に、集中管理の対象となります。

12. [ 設定 ] ボタンを押します。

⇒ 元の画面に戻ります。

13. [ 設定 ] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。

⇒ スキャナ情報を集中管理サーバに通知します。

通知に成功すると、「集中管理サーバへの登録状態」の表示が「登録済み」に変更されます。



- 集中管理サーバと本装置との間の通信で SSL を使用するための設定については、「[4.7.2 接続設定をします](#)」(91 ページ) を参照してください。
- ユーザー情報共有またはジョブ設定共有が有効になっている状態で、ログイン時に集中管理サーバと通信できない場合、確認画面が表示されます。この画面で [OK] ボタンを押して続行した場合は、本装置に保存されている設定情報で動作します。[キャンセル] ボタンを押した場合は、ログイン画面に戻ります。

#### 4.7.4 DNS サーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

優先 DNS および代替 DNS を指定します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [DNS サーバ] ボタンを押します。  
⇒ 「DNS サーバ」 画面が表示されます。

The screenshot shows the 'DNSサーバを設定します。' (Configure DNS Server) screen. It features a navigation bar at the top with 'システム設定', 'ネットワーク設定', '装置状態', and '履歴管理'. The main content area includes:

- IPアドレス** section: '優先DNS' (Priority DNS) and '代替DNS' (Alternate DNS) fields, both containing '0.0.0.0'.
- 接続設定** section: 'DNS動的更新' (DNS Dynamic Update) with 'する' (Yes) and 'しない' (No) buttons.
- 集中管理サーバ** section: 'DNSサーバ' (DNS Server) section containing a 'DNSサフィックス' (DNS Suffix) field and a '完全修飾ドメイン名' (Fully Qualified Domain Name) field with the value 'fi-XXXXXXXX'.
- Bottom navigation: 'ログアウト', 'キャンセル', and '設定' buttons.

3. 以下を数字で入力します。
  - 優先 DNS
  - 代替 DNS

アドレスに、「0.0.0.0」が入力された場合は、何も指定されていない状態となります。

DNS サーバの指定が不要な場合は「0.0.0.0」を入力してください。
4. DNS を動的に更新するかどうかを選択します。

初期値は [ しない ] です。

[ する ] ボタンを押すと、DNS を動的に更新します。

[ しない ] ボタンを押すと、DNS を動的に更新しません。
5. 「DNS サフィックス」を入力します。

**手順 4** で [ する ] ボタンを押した場合のみ設定できます。

最大文字数はスキャナ名と DNS サフィックスとを合わせて 255 文字です。半角英数字と以下の記号が使用できます。

-

スキャナ名と DNS サフィックスの区切りに . (ドット) が付加されます。

---

たとえば、スキャナ名が9文字だった場合は、区切り.(ドット)の1文字があるため、DNS サフィックスは245文字まで入力できます。  
DNS サーバへはFQDN名として登録されます。  
FQDN名は設定によって、以下の優先順序で命名されます。

1. スキャナ名+ここで入力した「DNS サフィックス」
2. スキャナ名+ DHCP サーバから取得した「ドメインサフィックス」
3. スキャナ名+「スキャナ名」画面で入力した「ドメイン」



ヒント

「完全修飾ドメイン名」には、現在の完全修飾ドメイン名（FQDN名）が表示されます。ただし、本装置がネットワークに接続されていないと、FQDN名が正しく表示されない場合があります。

6. [設定] ボタンを押します。  
⇒ 入力内容が設定されます。

### 4.7.5 WINS サーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

優先 WINS および代替 WINS を指定します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [WINS サーバ] ボタンを押します。  
⇒ 「WINS サーバ」画面が表示されます。

設定項目	優先WINS	代替WINS
優先WINS	0 . 0 . 0 . 0	
代替WINS		0 . 0 . 0 . 0

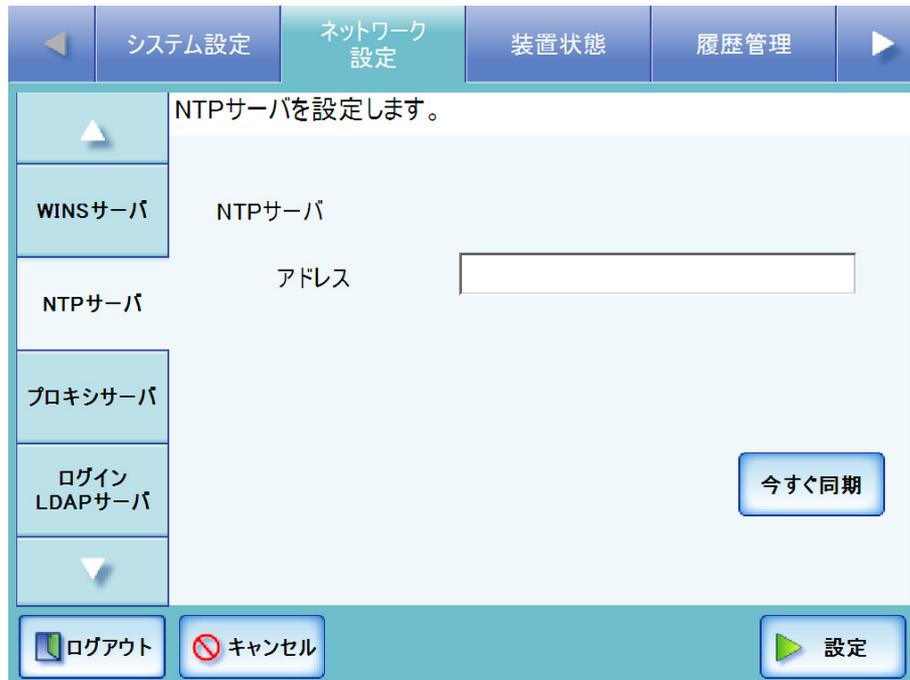
3. 以下を数字で入力します。
  - 優先 WINS
  - 代替 WINS

アドレスに、「0.0.0.0」が入力された場合は、何も指定されていない状態となります。

WINS サーバの指定が不要な場合は「0.0.0.0」を入力してください。
4. [設定] ボタンを押します。  
⇒ 入力内容が設定されます。

## 4.7.6 NTP サーバを設定します タッチパネル Admin Tool Central Admin Console

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [NTP サーバ] ボタンを押します。  
⇒ 「NTP サーバ」画面が表示されます。



Central Admin Console の場合、時刻同期は行えません。

3. 「アドレス」に NTP サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
  - IP アドレスを入力する場合  
xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
  - ホスト名または FQDN 名を入力する場合  
最大文字数は半角 255 文字です。  
NTP サーバの指定が不要な場合は、何も入力しないでください。
4. [今すぐ同期] ボタンを押します。  
⇒ 指定した NTP サーバと時刻同期を行い、結果が表示されます。  
正常に時刻同期が行われることを確認してください。  
エラーメッセージが表示された場合は、「[F.1.1 管理者画面のメッセージ](#)」(473 ページ) を参照してください。
5. 時刻同期のメッセージ画面で [OK] ボタンを押します。

6. [設定] ボタンを押します。

⇒ NTP サーバが設定されます。



- 本装置は指定された NTP サーバと 6 時間ごとに時刻同期を行います。
- 設定変更時、即時に時刻同期を行います。
- 時刻同期により、20 分以上時刻が進むと、セッションタイムアウトのためログアウトします。



## 4.7.7 プロキシサーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console



FTP サーバまたは SharePoint サーバと連携する場合に、プロキシサーバを使用するかどうかを設定します。  
また、アップデートチェックを行うときにプロキシサーバを使用する場合は、HTTP プロキシサーバの設定が必要です。  
ここでは、Admin Tool の画面を例にして説明します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [プロキシサーバ] ボタンを押します。  
⇒ 「プロキシサーバ」画面が表示されます。

3. 「FTP プロキシサーバ」で、ネットワーク共有フォルダとして FTP サーバを設定する場合にプロキシサーバを使用するかどうかを選択します。  
初期値は [無効] です。  
[有効] を選択すると、プロキシサーバを使用して接続します。
  - 1) 「アドレス」にプロキシサーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
    - IP アドレスを入力する場合  
xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
    - ホスト名または FQDN 名を入力する場合  
最大文字数は半角 255 文字です。
  - 2) 「ポート番号」にプロキシサーバのポート番号を、1 ~ 65535 の範囲で入力します。  
[無効] を選択すると、プロキシサーバを使用せずに接続します。



FTP サーバのフォルダをネットワーク共有フォルダとして設定する際にプロキシを[有効]にした場合、必ず[有効]を選択してください。[無効]を選択すると、FTP サーバのネットワーク共有フォルダが使用できなくなります。

FTP サーバのフォルダをネットワーク共有フォルダとして設定する方法については、「[4.7.14 ネットワーク共有フォルダを設定します](#)」(138 ページ)を参照してください。

#### 4. 「HTTP プロキシサーバ」で、SharePoint サーバと連携する場合、またはアップデートチェックを行う場合に、プロキシサーバを使用するかどうかを選択します。

初期値は[無効]です。

[有効]を選択すると、プロキシサーバを使用して接続します。

- 1) 「アドレス」にプロキシサーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
  - IP アドレスを入力する場合  
xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
  - ホスト名または FQDN 名を入力する場合  
最大文字数は半角 255 文字です。
- 2) 「ポート番号」にプロキシサーバのポート番号を、1 ~ 65535 の範囲で入力します。
- 3) 「例外」にプロキシサーバを経由しない IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
  - アドレスを複数指定する場合、「;」で区切ります。
  - アドレスに「\*」を指定すると、任意の文字とみなされます。
  - IP アドレスのあとに「/」で区切ってサブネットマスクを指定できます。

[無効]を選択すると、プロキシサーバを使用せずに接続します。

#### 5. [設定] ボタンを押します。

⇒ 入力内容が設定されます。

## 4.7.8 ログイン LDAP サーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

ログイン LDAP サーバを設定すると、ユーザーごとの認証が行えます。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ログイン LDAP サーバ] ボタンを押します。  
⇒「ログイン LDAP サーバ」画面が表示されます。

ログインLDAPサーバを設定します。

サーバ種別 無効

ポート番号 389 (1 - 65535)

SSL通信 無効

アドレス

検索ベース(DN)

(例: cn=Users, dc=example, dc=com)

検索タイムアウト時間 60秒

ログインユーザー属性 uid cn

ログアウト キャンセル 接続テスト 設定

3. ログイン用 LDAP サーバとの接続方法を選択します。  
[Active Directory] を選択した場合、Active Directory サーバと接続します。  
[Active Directory Global Catalog] を選択した場合、グローバルカタログサーバと接続します。  
[その他の LDAP サーバ] を選択した場合、Active Directory 以外の LDAP サーバと接続します。  
[無効] を選択した場合、LDAP サーバを使用しない設定になります。以降の入力はできません。[設定] ボタンを押して、設定を確定してください。
4. 「ポート番号」に本装置と LDAP サーバとの通信に使用するポート番号を、1 ~ 65535 の範囲で入力します。  
初期値は以下のとおりです。
  - 「SSL 通信」で [無効] を選択した場合
    - [Active Directory] または [その他の LDAP サーバ] を選択した場合、389 です。
    - [Active Directory Global Catalog] を選択した場合、3268 です。
  - 「SSL 通信」で [有効 (サーバ証明書を検証する)] または [有効 (サーバ証明書の証明機関を検証しない)] を選択した場合
    - [Active Directory] または [その他の LDAP サーバ] を選択した場合、636 です。

- [Active Directory Global Catalog] を選択した場合、3269 です。

#### 5. SSL 通信を行うかどうかを選択します。

[有効 (サーバ証明書を検証する)] を選択すると、SSL 通信を行います。この場合、サーバ証明書に対して以下の検証を行います。

- 認証パス検証  
LDAP サーバの証明書から順に、その証明書を発行した認証局をさかのぼり、信頼点 (署名検証する側が信頼すると認めた認証局) まで証明書のパスが正しいかを確認します。
- 証明書失効検証
  - 有効期限内であることを確認します。
  - 公開鍵証明書が改ざんされていないことを確認します。
  - 証明書が失効していないことを確認します。

[有効 (サーバ証明書の証明機関を検証しない)] を選択すると、SSL 通信を行います。この場合、サーバ証明書に対して以下の検証を行います。

- 証明書失効検証
  - 有効期限内であることを確認します。
  - 公開鍵証明書が改ざんされていないことを確認します。
  - 証明書が失効していないことを確認します。

[無効] を選択すると、SSL 通信を行いません。

#### 6. 「アドレス」に LDAP サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。

- IP アドレスを入力する場合  
xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
- ホスト名または FQDN 名を入力する場合  
最大文字数は半角 255 文字です。

#### 7. 「検索ベース (DN)」に LDAP 検索時の基点になる文字列を入力します。

ここで入力した文字列の配下にある LDAP のエントリーが検索対象になります。最大文字数は 255 文字です。半角および全角文字が使用できます。

[Active Directory] または [その他の LDAP サーバ] を選択した場合、指定を省略すると、LDAP サーバ内すべてが検索対象になります。

[Active Directory Global Catalog] を選択した場合、指定を省略すると、グローバルカタログサーバ内すべてが検索対象となります。

入力する文字列と LDAP 検索対象の関係については、「[LDAP 検索対象について](#)」(108 ページ) を参照してください。

#### 8. 「検索タイムアウト時間」のリストボタンを押します。

⇒ LDAP 検索時のタイムアウト時間を選択する画面が表示されます。

#### 9. LDAP 検索時のタイムアウト時間を選択します。

初期値は、60 秒です。

⇒ 「検索タイムアウト時間」に選択した値が表示されます。

## 10. ログインユーザー属性を選択します。

「サーバ種別」で[その他のLDAPサーバ]を選択した場合のみ、ログインするユーザーを、LDAP スキーマ名の uid または cn のどちらで検索するかを選択します。

[uid] を選択した場合、ログインするユーザーを uid で検索します。

[cn] を選択した場合、ログインするユーザーを cn で検索します。

## 11. LDAP サーバと正しく接続できるかどうかをテストする場合、[接続テスト] ボタンを押します。

⇒ 認証情報を設定する画面が表示されます。

### 1. LDAP サーバへの接続を確認するための認証情報を入力します。

- サーバ種別が[Active Directory]または [Active Directory Global Catalog] の場合
- サーバ種別が[その他のLDAPサーバ] の場合

The image shows two side-by-side screenshots of authentication dialog boxes. The left dialog is titled "認証情報を設定してください。" and contains two input fields: "ユーザー名" and "パスワード". Below the fields are four buttons: "キャンセル" (Cancel), "Num Lock", "Caps Lock", and "OK". The right dialog is titled "LDAPサーバアクセス用認証情報" and contains two input fields: "認証ユーザー(DN)\*" and "パスワード". Below the "認証ユーザー(DN)\*" field is an example: "(例: cn=root, dc=example, dc=com)". Below the "パスワード" field is a note: "\*認証ユーザー(DN)を省略した場合は匿名ユーザーとして接続します。". Below the fields are four buttons: "キャンセル", "Num Lock", "Caps Lock", and "OK".

- ユーザー名／認証ユーザー（DN）には、半角の英大文字、英小文字、数字、および記号が入力できます。
- 認証ユーザー（DN）は、DN 形式で入力します。
- パスワードには、大文字、小文字、数字、および記号が入力できます。なお、大文字と小文字は区別されます。



- Admin Tool から設定している場合、「サーバ種別」で [その他の LDAP サーバ] を選択したときは、[接続テスト] ボタンを押しても認証画面は表示されません。認証情報は「ログイン LDAP サーバ」画面上で入力してください。
- タッチパネルから管理者がログインしている場合、認証画面で「Caps Lock」および「Num Lock」が表示されます。キーボードが Caps Lock されている場合は、「Caps Lock」が点灯します。キーボードが Num Lock されている場合は、「Num Lock」が点灯します。

### 2. [OK] ボタンを押します。

⇒ 接続に成功すると、「ログイン LDAP サーバ」画面が表示されます。

## 12. [設定] ボタンを押します。

⇒ 「サーバ種別」で「その他の LDAP サーバ」以外を選択した場合、ログイン LDAP サーバが設定され、操作は完了です。

⇒ 「サーバ種別」で [その他の LDAP サーバ] を選択した場合、認証情報を設定する画面が表示されます。

LDAP サーバにログインするユーザーを検索するときの認証情報を入力して [OK] ボタンを押すと、ログイン LDAP サーバが設定されます。

LDAPサーバアクセス用認証情報

認証ユーザー (DN)\*

(例: cn=root, dc=example, dc=com)

パスワード

\*認証ユーザー (DN) を省略した場合は匿名ユーザーとして接続します。



キャンセル

Num Lock



Caps Lock





OK

- 認証ユーザー (DN) には、半角の英大文字、英小文字、数字、および記号が入力できます。
- 認証ユーザー (DN) は、DN 形式で入力します。
- パスワードには、大文字、小文字、数字、および記号が入力できます。なお、大文字と小文字は区別されます。



- Admin Tool から設定している場合、「サーバ種別」で [その他の LDAP サーバ] を選択したときは、[設定] ボタンを押しても認証画面は表示されません。認証情報は「ログイン LDAP サーバ」画面上で入力してください。
- タッチパネルから管理者がログインしている場合、認証画面で「Caps Lock」および「Num Lock」が表示されます。キーボードが Caps Lock されている場合は、「Caps Lock」が点灯します。キーボードが Num Lock されている場合は、「Num Lock」が点灯します。



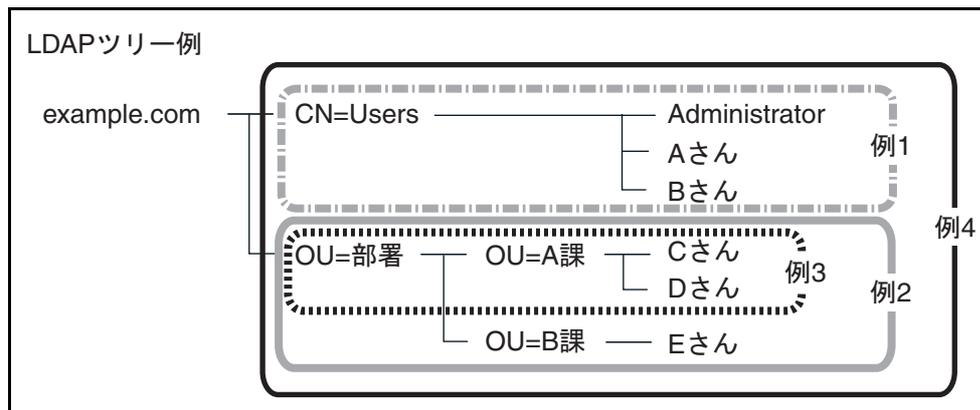
## ■ LDAP 検索対象について

LDAP サーバとの接続方法および検索ベース (DN) の設定 (「4.7.8 ログイン LDAP サーバを設定します」(104 ページ) の手順3 および手順7 の設定) によって、LDAP サーバ上での検索範囲および検索方法が異なります。

それぞれの設定と LDAP 検索対象の関係について説明します。

- LDAP サーバと接続する場合 (手順3 で [Active Directory] または [その他の LDAP サーバ] を選択した場合)

手順7 で入力する「検索ベース (DN)」の入力例 (ドメイン名が *example.com* の場合) を、以下に示します。斜体は可変文字列です。

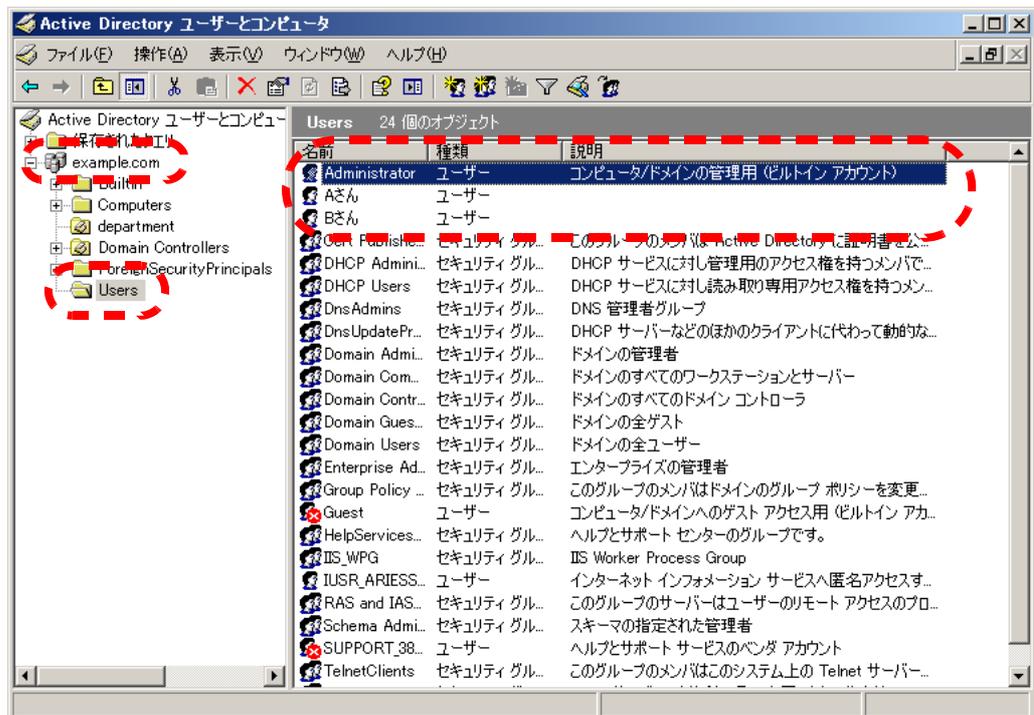


以降では、Active Directory の場合を例にして、検索対象について説明します。

例1 (Administrator、Aさん、Bさん) を検索対象にする場合

`CN=Users,DC=example,DC=com`

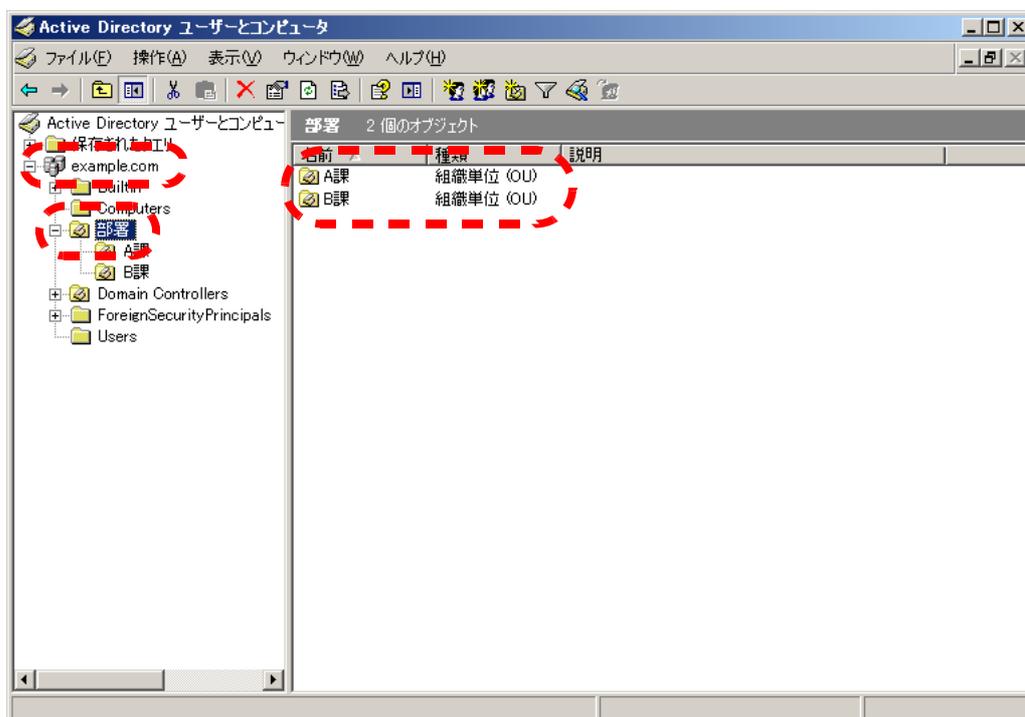
なお、Active Directory 構成は以下のようになります。



例 2 (C さん、D さん、E さん) を検索対象にする場合

OU= 部署,DC=example,DC=com

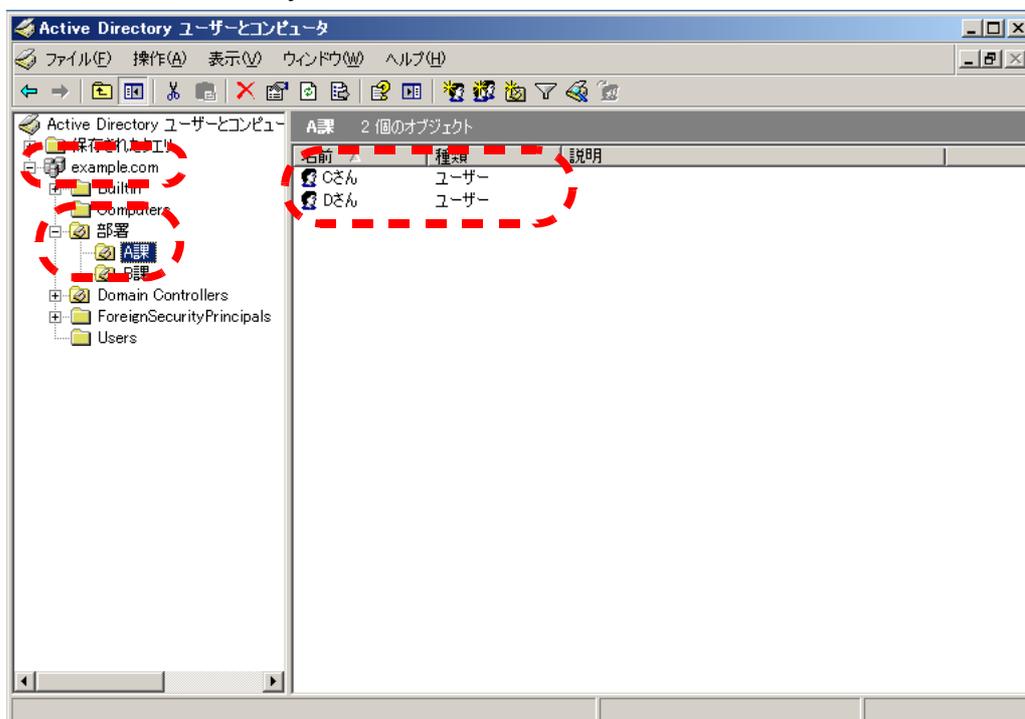
なお、Active Directory 構成は以下ようになります。



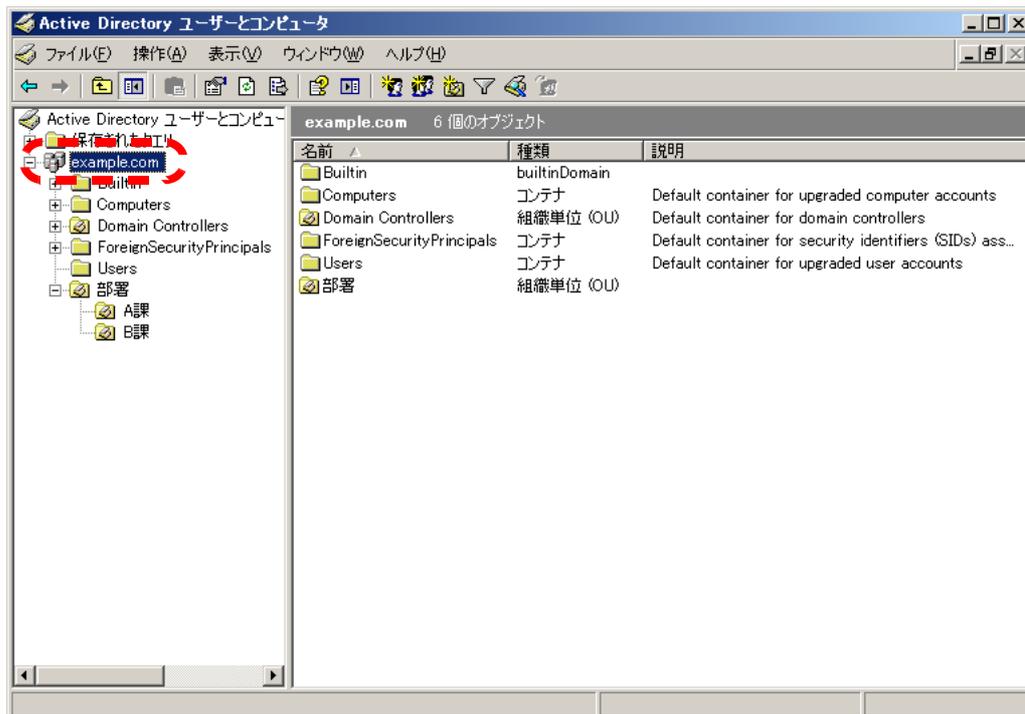
例 3 (C さん、D さん) を検索対象にする場合

OU=A 課,OU= 部署,DC=example,DC=com

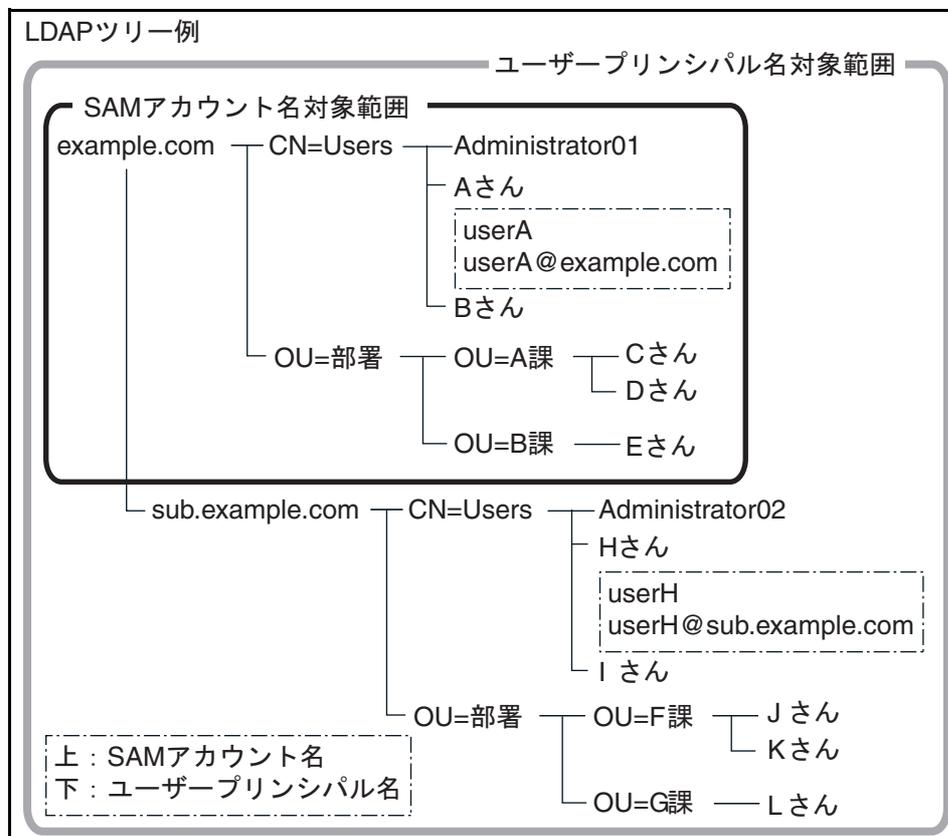
なお、Active Directory 構成は以下ようになります。



例 4 (全員) を検索対象にする場合  
省略または DC=example,DC=com



- グローバルカタログサーバと接続する場合（手順3で [Active Directory Global Catalog] を選択した場合）  
 手順7で入力する「検索ベース（DN）」の入力例（親ドメイン名が *example.com*、サブドメイン名が *sub.example.com* の場合）を、以下に示します。斜体は可変文字列です。



例（ドメイン全体）を検索対象にする場合  
 省略または *DC=example,DC=com*

なお、同じ利用者でもログイン名が SAM アカウント名かユーザープリンシパル名かによって、ログインの可否は以下のようになります。

利用者	ログイン名	ログインの可否
	上：SAM アカウント名 下：ユーザープリンシパル名	
A さん	userA	○
	userA@example.com	○
H さん	userH	—
	userH@sub.example.com	○

○：ログイン可能    —：ログイン不可

---

SAM アカウント名は、Active Directory のユーザーログイン名 (sAMAccountName) のことです。



SAM アカウント名にドメイン名を指定する場合は、「ドメイン名 ¥SAM アカウント名」と記述します。

ユーザープリンシパル名は、Active Directory のユーザーログイン名 (userPrincipalName) のことです。

### 4.7.9 メールアドレス LDAP サーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

メールアドレス LDAP サーバを設定すると、「メールアドレス台帳」画面の LDAP List の検索が行えます。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [メールアドレス LDAP サーバ] ボタンを押します。  
⇒ 「メールアドレス LDAP サーバ」画面が表示されます。

3. メールアドレス用 LDAP サーバとの接続方法を選択します。  
[ログイン LDAP と同じ] を選択した場合、ログイン LDAP サーバの設定と同じになります。以降の入力はできません。[設定] ボタンを押して、設定を確定してください。  
[Active Directory] を選択した場合、Active Directory サーバと接続します。  
[Active Directory Global Catalog] を選択した場合、グローバルカタログサーバと接続します。  
[その他の LDAP サーバ] を選択した場合、Active Directory 以外の LDAP サーバと接続します。
4. 「4.7.8 ログイン LDAP サーバを設定します」(104 ページ) の手順 4 ~ 手順 11 (手順 10 を除く) までの操作を行います。
5. 「最大表示件数」のリストボタンを押します。  
⇒ 最大表示件数の選択画面が表示されます。
6. メールアドレス LDAP 検索時の最大表示件数を選択します。  
初期値は、1000 です。  
⇒ 「最大表示件数」に選択した値が表示されます。

7. 「サーバ種別」で [ その他の LDAP サーバ ] を選択した場合のみ、[ スキーマ ] ボタンを押して、検索項目とスキーマを関連付けます。

⇒ LDAP 検索時の検索項目と LDAP サーバのスキーマを関連付ける画面が表示されます。

[ 初期値 ] ボタンを押すと、入力した内容が初期値に戻ります。

[ 設定 ] ボタンを押すと、関連付けが設定され、「メールアドレス LDAP サーバ」画面に戻ります。

検索項目にスキーマを関連付けます。

検索項目	初期値	説明
名	givenName	説明
姓	sn	事務所
共通名	cn	電話番号
表示名	displayName	メールアドレス
イニシャル	initials	Webページ
		description
		physicalDeliveryOfficeName
		telephoneNumber
		mail
		wwwHomePage

ログアウト キャンセル 初期値 設定

検索項目	説明
名	「名」と関連付けるスキーマ名を設定します。初期値は、「givenName」です。
姓	「姓」と関連付けるスキーマ名を設定します。初期値は、「sn」です。
共通名	「共通名」と関連付けるスキーマ名を設定します。初期値は、「cn」です。
表示名	「表示名」と関連付けるスキーマ名を設定します。初期値は、「displayName」です。
イニシャル	「イニシャル」と関連付けるスキーマ名を設定します。初期値は、「initials」です。
説明	「説明」と関連付けるスキーマ名を設定します。初期値は、「description」です。
事務所	「事務所」と関連付けるスキーマ名を設定します。初期値は、「physicalDeliveryOfficeName」です。

検索項目	説明
電話番号	「電話番号」と関連付けるスキーマ名を設定します。初期値は、「telephoneNumber」です。
電子メール	「電子メール」と関連付けるスキーマ名を設定します。初期値は、「mail」です。省略はできません。
Web ページ	「Web ページ」と関連付けるスキーマ名を設定します。初期値は、「wWWHomePage」です。

## 8. [設定] ボタンを押します。

⇒ メールアドレス LDAP サーバが設定されます。



メールアドレス LDAP サーバを利用するには、ログインユーザーのアカウントを使用します。ログイン LDAP サーバとメールアドレス LDAP サーバに異なるサーバを指定する場合、構成するドメインの環境やログイン名の形式によっては、メールアドレス LDAP サーバを利用できない場合があります。詳細については、「[LDAP 検索対象について](#)」(108 ページ)を参照してください。

## 4.7.10 LDAP 検索条件を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

LDAP 検索条件を設定すると、「メールアドレス台帳」画面の LDAP List での検索条件（以下の図の [ 姓 ] ボタンおよび [ 名 ] ボタン）をカスタマイズできます。



「メールアドレス台帳」画面の LDAP List については、「[6.4.1 メールアドレス台帳を使ってアドレスを入力します](#)」（264 ページ）を参照してください。

1. [ ネットワーク設定 ] ボタンを押します。
2. [ LDAP 検索条件 ] ボタンを押します。  
⇒ 「LDAP 検索条件」画面が表示されます。





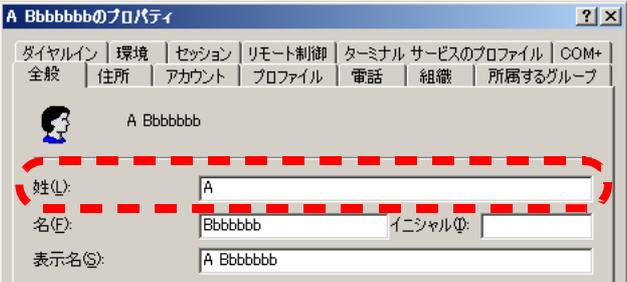
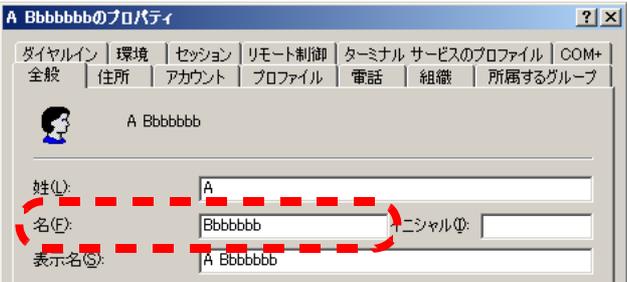
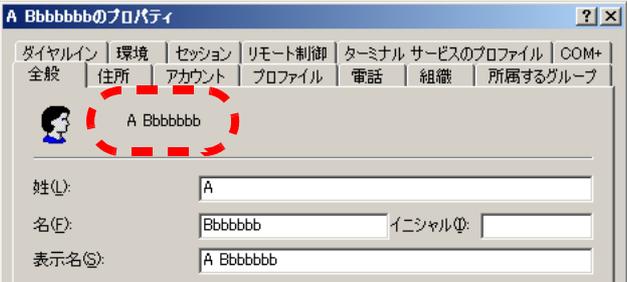
「LDAP 検索条件」画面での設定と「メールアドレス台帳」画面の LDAP List での検索条件ボタンとの対応について、以下の表に示します。

設定項目	説明
左ボタン	<p>「メールアドレス台帳」画面の LDAP List での検索条件の左側にあるボタンに対応します。</p> 
中央ボタン	<p>「メールアドレス台帳」画面の LDAP List での検索条件の中央にあるボタンに対応します。</p> 

### 3. 検索項目を選択します。

選択した検索項目を LDAP 検索します。

検索項目は複数選択することができます。複数選択した場合は、選択した項目のいずれかを含んでいる情報を検索します。

ボタン名	Active Directory における検索対象項目
姓	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの姓を検索します。</p>  <p>The screenshot shows the 'A Bbbbbbbのプロパティ' window. The '姓(L)' field is highlighted with a red dashed box. The '名(F)' field contains 'Bbbbbbb' and the '表示名(S)' field contains 'A Bbbbbbb'.</p>
名	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの名を検索します。</p>  <p>The screenshot shows the 'A Bbbbbbbのプロパティ' window. The '名(F)' field is highlighted with a red dashed box. The '姓(L)' field contains 'A' and the '表示名(S)' field contains 'A Bbbbbbb'.</p>
共通名	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの共通名を検索します。</p>  <p>The screenshot shows the 'A Bbbbbbbのプロパティ' window. The user name 'A Bbbbbbb' is highlighted with a red dashed box. The '姓(L)' field contains 'A' and the '表示名(S)' field contains 'A Bbbbbbb'.</p> <p>この項目は「Active Directory ユーザーとコンピュータ」で設定することができます。Active Directory グループ検索を行う場合は、[ 共通名 ] ボタンを押してください。</p>

ボタン名	Active Directory における検索対象項目
表示名	LDAP サーバに登録されているユーザーの表示名を検索します。 

- ヒント 
- [姓]ボタン、[名]ボタン、[共通名]ボタン、[表示名]ボタンが1つも選択されていない場合は、「メールアドレス台帳」画面のLDAP Listの対応する検索条件ボタンは選択できない状態になります。
  - [表示名]ボタンを選択した場合で、LDAP 検索結果の表示形式に「姓 - 名」または「名 - 姓」を指定して検索すると、検索結果は姓または名が登録されていなくても - で表示されます。  
例：LDAP 検索結果の表示形式が「姓 - 名」で、名が登録されていない場合  
検索結果の表示形式：姓 ----

4. 「検索結果」のリストボタンを押します。  
⇒ LDAP 検索結果の表示内容を選択する画面が表示されます。
5. LDAP 検索結果の表示形式を選択します。  
指定した表示形式に従って LDAP 検索結果を表示します。

リスト項目	説明
姓 - 名	LDAP サーバに登録されているユーザーを、「姓名」で表示します。
名 - 姓	LDAP サーバに登録されているユーザーを、「名姓」で表示します。
共通名	LDAP サーバに登録されているユーザーを、「共通名」で表示します。 Active Directory グループ検索を行ってグループ名を表示する場合は、[共通名]を選択してください。
表示名	LDAP サーバに登録されているユーザーを、「表示名」で表示します。

---

6. 「ボタンテキスト」にボタン名になる文字列を入力します。

ここで入力した文字列が「メールアドレス台帳」画面の LDAP List での検索条件ボタン名になります。

最大文字数は半角 18 文字です。半角および全角文字が使用できます。空白を入力するとボタン上の文字列が改行されます。空白は 1 つだけ入力できます。



ボタン名を変更する場合、実際の「メールアドレス台帳」画面の LDAP List での検索条件ボタンの表示イメージを確認してください。入力する文字列によってはすべて表示しきれない場合があります。



7. [設定] ボタンを押します。

⇒ LDAP 検索条件が設定されます。

4.7.11 メールサーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

メール送信時に認証を必要とするメールサーバを設定しないでください。設定すると、メール送信できません。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [SMTP サーバ] ボタンを押します。  
⇒ 「SMTP サーバ」画面が表示されます。

SMTPサーバを設定します。

SMTPサーバ

メールアドレス LDAPサーバ

LDAP 検索条件

SMTPサーバ

FAXサーバ

ログアウト キャンセル 設定

アドレス	<input type="text"/>
ポート番号	<input type="text" value="25"/> (1 - 65535)
接続タイムアウト時間	<input type="text" value="30"/> 秒 (1 << 300)
メール分割	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
メール分割サイズ	<input type="text" value="256"/> KB (64 << 10240)
添付ファイル最大サイズ	<input type="text" value="10"/> MB (1 << 20)
警告アドレス数	<input type="text" value="100"/> (2 << 1000)

3. 「アドレス」に SMTP サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
  - IP アドレスを入力する場合  
xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
  - ホスト名または FQDN 名を入力する場合  
最大文字数は半角 255 文字です。  
SMTP サーバの指定が不要な場合は、何も入力しないでください。
4. 「ポート番号」に本装置と SMTP サーバとの通信に使用するポート番号を、1 ~ 65535 の範囲で入力します。  
初期値は 25 です。

- 
5. 「接続タイムアウト時間」に、SMTP サーバへの接続タイムアウト時間を、1 ～ 300 秒の範囲で入力します。

初期値は 30 秒です。

6. 「メール分割」に、メールを分割して送信するかどうかを設定します。

初期値は [ 無効 ] です。

[ 有効 ] ボタンを押すと、メールを分割して送信します。

[ 無効 ] ボタンを押すと、メールを分割せずに送信します。

7. 「メール分割サイズ」に、メールを分割するときの最大サイズを、64 ～ 10240 までの数字で入力します。

初期値は 256KB です。

8. 「添付ファイル最大サイズ」にメール添付するファイルの最大サイズ（メール送信時の総合計データサイズ）を、1 ～ 20 までの数字で入力します。

初期値は 10MB です。



SMTP サーバに設定されているメッセージサイズの制限値を超えないように設定してください。



9. 「警告アドレス数」に、誤送信を防止するために、メールの宛先に何件以上のアドレスが指定されたら警告表示するかを、2 ～ 1000 までの数字で入力します。

初期値は 100 です。

10. [ 設定 ] ボタンを押します。

⇒ SMTP サーバが設定されます。

4.7.12 FAX 送信サーバを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [FAX サーバ] ボタンを押します。  
⇒ 「FAX サーバ」画面が表示されます。

The screenshot shows the 'FAXサーバ' configuration screen. The top navigation bar includes 'システム設定', 'ネットワーク設定' (selected), '装置状態', and '履歴管理'. The left sidebar has 'メールアドレスLDAPサーバ', 'LDAP検索条件', 'SMTPサーバ', and 'FAXサーバ' (selected). The main content area is titled 'FAXサーバメールアドレスを設定します。' and contains a text input field for 'FAXサーバメールアドレス'. At the bottom, there are buttons for 'ログアウト', 'キャンセル', and '設定'.

3. 「FAX サーバメールアドレス」に FAX サーバ (RightFax) が監視しているメールアドレスを入力します。  
FAX サーバの指定が不要な場合は、何も入力しないでください。  
「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430 ページ) を参照してください。
4. [設定] ボタンを押します。  
⇒ FAX サーバが設定されます。

## 4.7.13 ネットワーク共有プリンタを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

プリントサーバに接続されたネットワークプリンタをネットワーク共有プリンタとして設定します。

ネットワーク共有プリンタの設定の流れは、以下のようになります。

### 1. プリンタドライバを確認します。

詳細については、「[プリンタドライバを確認します](#)」(125 ページ) を参照してください。

### 2. プリンタのプロパティを設定します。

詳細については、「[プリンタのプロパティを設定します](#)」(126 ページ) を参照してください。

### 3. ネットワーク共有プリンタを登録します。

ネットワーク共有プリンタの最大登録数は、100 件です。

ネットワーク共有プリンタを登録するには、以下のいずれかの方法があります。

#### ● ツリー選択

ネットワーク共有プリンタをネットワークツリーから選択します。

詳細については、「[ネットワーク共有プリンタを登録します \(ツリー選択\)](#)」(129 ページ) を参照してください。

#### ● 直接入力

ネットワーク共有プリンタのパス名を直接入力で指定します。

詳細については、「[ネットワーク共有プリンタを登録します \(直接入力\)](#)」(133 ページ) を参照してください。



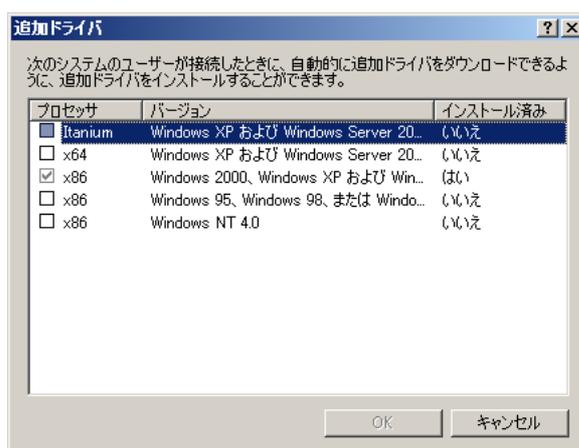
- プリンタの設定方法、ネットワーク共有プリンタの追加方法や留意事項が書かれているプリンタの説明書を事前によくお読みください。
- プリントサーバ上のスプールフォルダが存在するドライブに空き容量がない場合、印刷が止まってしまう。プリントサーバのスプールフォルダが存在するドライブには事前に空き容量を十分確保してください。
- 仮想プリンタは設定しないでください。
- 異なるプリントサーバに接続されている同じプリンタ機種をネットワーク共有プリンタとして複数登録する場合は、プリントサーバ上のプリンタドライバのソフトウェアを同一バージョンに合わせておく必要があります。プリンタドライバのソフトウェアを同一バージョンに合わせておかないと、正しく印刷ができないなどの問題が発生する可能性があります。

## ■ プリンタドライバを確認します

プリントサーバには、Windows XP に対応したドライバがインストールされている必要があります。

プリントサーバに、Windows XP に対応したドライバがインストールされているかどうかは、以下の手順で確認できます。

1. プリントサーバの [ スタート ] メニューから [ コントロールパネル ] - [ プリンタと FAX ] を選択します。  
⇒ 「プリンタと FAX」画面が表示されます。
2. プリンタを右クリックし、「プロパティ」を選択します。  
⇒ プリンタのプロパティが表示されます。
3. [ 共有 ] タブの [ 追加ドライバ ] ボタンを押します。  
⇒ 「追加ドライバ」画面が表示されます。
4. プロセッサが「x86」（または intel）で、「Windows XP」を含むバージョンが「はい」（インストール済み）になっているか確認します。



「はい」の場合はインストールされているのでネットワーク共有プリンタとして使用できます。[ キャンセル ] ボタンを押してください。

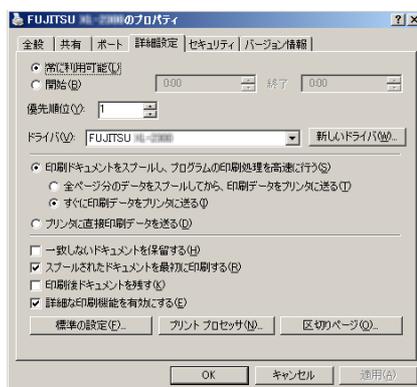
「いいえ」になっている場合は、「Windows XP」を含むバージョンを選択して [ OK ] ボタンを押します。

⇒ Windows XP に対応したドライバがインストールされます。

## ■ プリンタのプロパティを設定します

プリンタの設定は、以下の手順で行います。

1. プリントサーバの [スタート] メニューから「コントロールパネル」－「プリンタとFAX」を選択します。  
⇒ 「プリンタとFAX」画面が表示されます。
2. プリンタを右クリックし、「プロパティ」を選択します。  
⇒ プリンタのプロパティが表示されます。
3. [詳細設定] タブの [標準の設定] ボタンを押します。



⇒ プリンタの標準の設定画面が表示されます。

4. 設定内容を変更し、[OK] ボタンを押します。



⇒ プリンタのプロパティが設定されます。



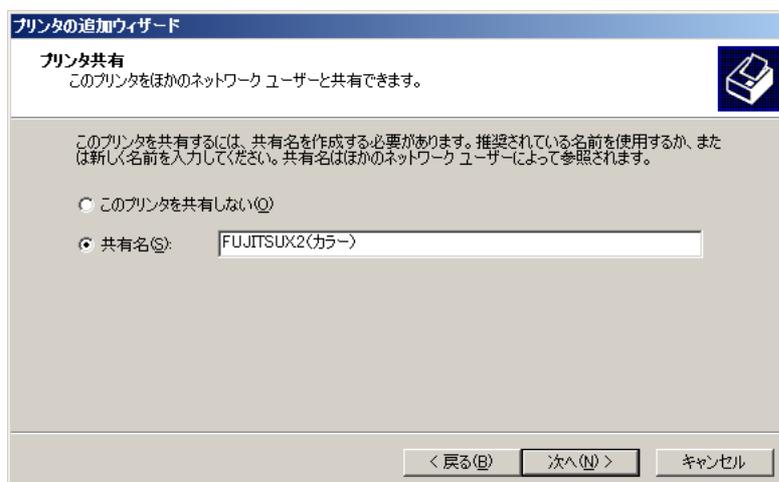
プロパティ設定ごとに、プリントサーバにプリンタを追加することをお勧めします。たとえば、使うプリンタが1台であっても、プリントサーバでプリンタの追加を行い、「カラー印刷用」、「白黒印刷用」など、用途によってプロパティを設定します。

ここでは、「カラー印刷用」のプリンタを追加する手順を例に説明します。

1. プリントサーバの [スタート] メニューから [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] を選択します。  
⇒ 「プリンタと FAX」 画面が表示されます。
2. 「プリンタの追加」 をダブルクリックします。  
⇒ 「プリンタの追加ウィザード」 画面が表示されます。
3. 「既存のドライバを使う」 が表示されるまで、画面の指示に従ってウィザードを進めます。
4. 「現在のドライバを使う (推奨)」 を選択して、[次へ] ボタンを押します。



5. 「プリンタ共有」 が表示されるまで、画面の指示に従ってウィザードを進めます。
6. 共有名を指定します。  
ここでは、「カラー印刷用」 のプリンタのため、「FUJITSUX.2(カラー)」 と指定します。



共有名は本装置で表示されるため、以下のようにプリンタ名とプロパティの設定内容がわかる名前を付けることをお勧めします。



⇒ 以降は、画面に従ってウィザードを進めてください。「プリンタの追加ウィザードの完了」と表示されればプリンタの追加終了です。[完了] ボタンを押してください。

⇒ プリンタの追加が完了すると、「プリンタとFAX」画面にプリンタが追加されます。

7. 追加したプリンタを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

⇒ プリンタのプロパティが表示されます。

8. [詳細設定] タブの [標準の設定] ボタンを押します。

⇒ プリンタの標準の設定画面が表示されます。

9. [その他] タブの「カラー」を選択して、[OK] ボタンを押します。



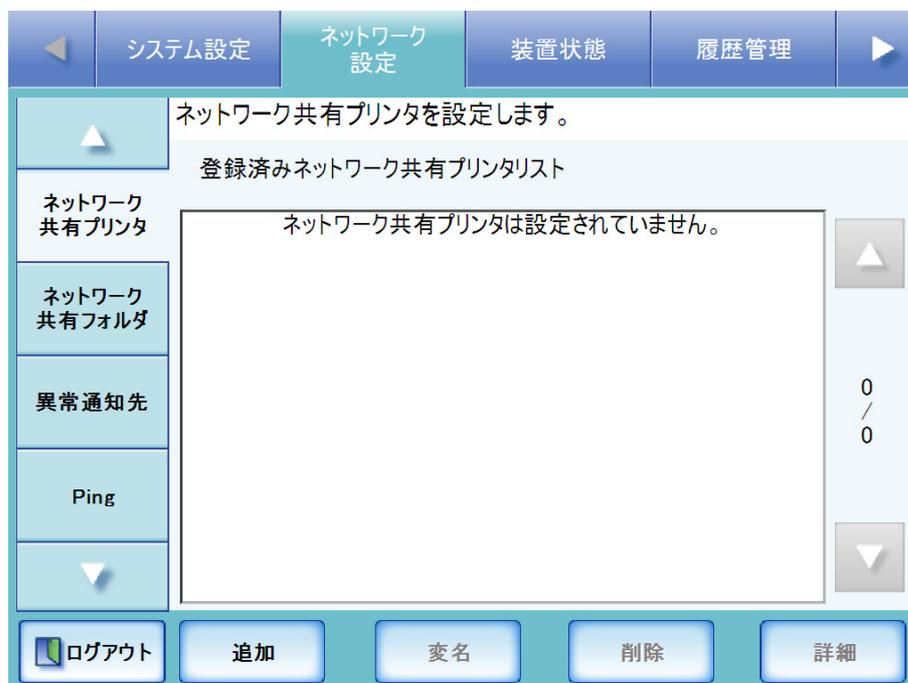
⇒ 「カラー」に設定されます。

その後、プリントサーバで設定した「カラープリンタ印刷用」のプリンタを本装置に追加すると、利用者がカラー印刷したい場合に、カラーの設定が行われているプリンタを指定することができます。

本装置にプリンタを追加する方法については、「[ネットワーク共有プリンタを登録します（ツリー選択）](#)」（129 ページ）または「[ネットワーク共有プリンタを登録します（直接入力）](#)」（133 ページ）を参照してください。

## ■ ネットワーク共有プリンタを登録します（ツリー選択）

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有プリンタ] ボタンを押します。  
⇒「ネットワーク共有プリンタ」画面が表示されます。



3. [追加] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有プリンタの選択画面が表示されます。



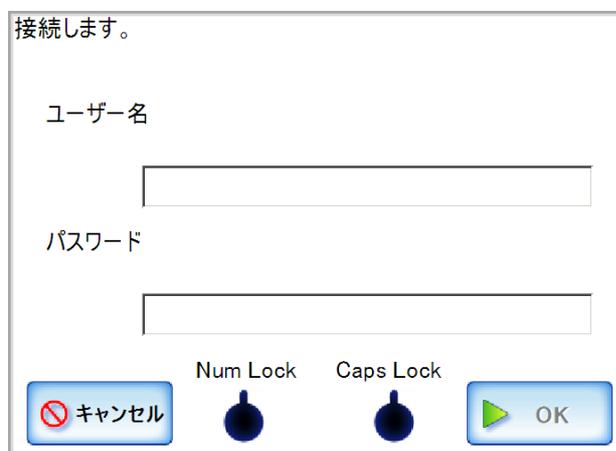
ネットワーク共有プリンタの選択画面において、ドメイン一覧で期待するドメインが表示されない場合があります。そのような場合は、直接入力で指定するか、しばらく待ってから再度ネットワーク共有プリンタの選択画面を表示してください。

4. ドメイン  を選択します。



⇒ ログインが必要な場合は、認証画面が表示されます。

必要ない場合は、ネットワークツリーが展開され、ドメインの下にコンピュータ名が表示されます。



タッチパネルから管理者がログインしている場合、認証画面で「Caps Lock」および「Num Lock」が表示されます。  
キーボードが Caps Lock されている場合は、「Caps Lock」が点灯します。  
キーボードが Num Lock されている場合は、「Num Lock」が点灯します。

1. ユーザー名を入力します。  
最大文字数は 256 文字です。
2. パスワードを入力します。  
最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。
3. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 認証されると、ネットワーク共有プリンタ選択画面のネットワークツリーが展開され、選択したドメインの下にコンピュータ名が表示されます。

5. コンピュータ  を選択します。

⇒ ログインが必要な場合は、認証画面が表示されます。

ログインが不要な場合は、ネットワークツリーが展開され、コンピュータの下にネットワーク共有プリンタ名が表示されます。

1. ユーザー名を入力します。  
最大文字数は 256 文字です。
2. パスワードを入力します。  
最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。
3. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 認証されると、ネットワーク共有プリンタ選択画面のネットワークツリーが展開され、選択したコンピュータの下にネットワーク共有プリンタ名が表示されます。

6. ネットワーク共有プリンタ  を選択します。



すでに登録されているネットワーク共有プリンタは追加できません。



## 7. [選択] ボタンを押します。

⇒「ネットワーク共有プリンタ」画面に戻り、登録済みネットワーク共有プリンタリストに追加されます。



- 登録済みネットワーク共有プリンタは、プリントサーバ上で共有名／プリンタ名は変更しないでください。
- 共有名、プリンタ名を変更する場合は、一度登録済みネットワーク共有プリンタを削除したあとに、共有名／プリンタ名を変更してください。



- ネットワーク共有プリンタ名は、ネットワークツリーで選択したネットワーク共有プリンタ名になります。名称を変更する場合は、「[ネットワーク共有プリンタ名を変更します](#)」(135 ページ) を参照してください。
- ネットワークツリーを表示している状態で、[検索]に検索したい文字列を入力して、[前候補] ボタンまたは[次候補] ボタンを押すと、入力した文字列を含むネットワークツリーにフォーカスが移動します。



## ■ ネットワーク共有プリンタを登録します（直接入力）

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有プリンタ] ボタンを押します。  
⇒ 「ネットワーク共有プリンタ」画面が表示されます。
3. [追加] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有プリンタの選択画面が表示されます。
4. [直接入力] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有プリンタの直接入力画面が表示されます。


 [ツリー選択] ボタンを押すと、ネットワークツリーで選択する画面に戻ります。

5. 「ネットワーク共有プリンタ名」を指定します。  
最大文字数は 80 文字です。¥は使用できません。  
「ネットワーク共有プリンタ名」を省略して [追加] ボタンを押した場合は、共有名がネットワーク共有プリンタ名になります。

6. 「ネットワーク共有プリンタのパス名」を指定します。

以下の形式で指定してください。

¥¥ドメイン名¥コンピュータ名¥プリンタ名

最大文字数は 255 文字です。

「ドメイン名」にはネットワーク共有プリンタが所属する NetBIOS ドメイン名またはワークグループ名を指定してください。

「コンピュータ名」には IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を指定してください。

「コンピュータ名」に IP アドレスまたは FQDN 名を指定する場合、プリントサーバのプライマリ DNS サフィックスの設定が必要です。

すでにプライマリ DNS サフィックスがプリントサーバに設定されている場合は、以下の設定は不要です。

プライマリ DNS サフィックスの設定方法は、以下のとおりです。

1. プリントサーバのコンピュータの [スタート] メニューの [コントロールパネル] - [システム] を選択します。  
⇒ 「システムのプロパティ」画面が表示されます。
2. [コンピュータ名] タブの [変更] ボタンを押します。  
Windows 2000 Server の場合は、[ネットワーク ID] タブの [プロパティ] ボタンを押します。  
⇒ 「コンピュータ名の変更」画面が表示されます。
3. [詳細] ボタンを押します。  
⇒ 「DNS サフィックスと NetBIOS コンピュータ名」画面が表示されます。
4. 「このコンピュータのプライマリ DNS サフィックス」に、このコンピュータの完全修飾ドメイン名 (FQDN 名) の作成時に付加する DNS サフィックスを設定します。  
例: example.com
5. これらの変更を適用後に、このコンピュータを再起動します。

7. [追加] ボタンを押します。

⇒ 「ネットワーク共有プリンタ」画面に戻り、登録済みネットワーク共有プリンタリストに追加されます。



- すでに登録されているネットワーク共有プリンタは追加できません。
- 登録済みネットワーク共有プリンタは、プリントサーバ上で共有名/プリンタ名は変更しないでください。
- 共有名、プリンタ名を変更する場合は、一度登録済みネットワーク共有プリンタを削除したあとに、共有名/プリンタ名を変更してください。





- ネットワーク共有プリンタ名は、直接入力で指定したネットワーク共有プリンタ名になります。名称を変更する場合は、「[ネットワーク共有プリンタ名を変更します](#)」(135 ページ)を参照してください。
- 認証画面が表示されることがあります。

## ■ ネットワーク共有プリンタ名を変更します

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有プリンタ] ボタンを押します。  
⇒ 「ネットワーク共有プリンタ」画面が表示されます。
3. 名前を変更するネットワーク共有プリンタを選択します。
4. [変名] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有プリンタ名の変更画面が表示されます。
5. ネットワーク共有プリンタ名を入力します。  
最大文字数は 80 文字です。半角および全角が使用できますが、¥を含むネットワーク共有プリンタ名、半角空白のみのネットワーク共有プリンタ名は設定できません。  
また、語尾の半角空白は省略されます。

ネットワーク共有プリンタ名を指定します。

ネットワーク共有プリンタ名:  
Printer02

ネットワーク共有プリンタのパス名:  
¥¥WORKGROUP¥WORK ¥FWJITSUX

キャンセル OK

6. [OK] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有プリンタ名が変更されます。

## ■ ネットワーク共有プリンタを削除します

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有プリンタ] ボタンを押します。  
⇒ 「ネットワーク共有プリンタ」画面が表示されます。
3. 削除するネットワーク共有プリンタを選択します。
4. [削除] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有プリンタの削除画面が表示されます。
5. 削除するネットワーク共有プリンタの情報を確認して[はい] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有プリンタが削除されます。

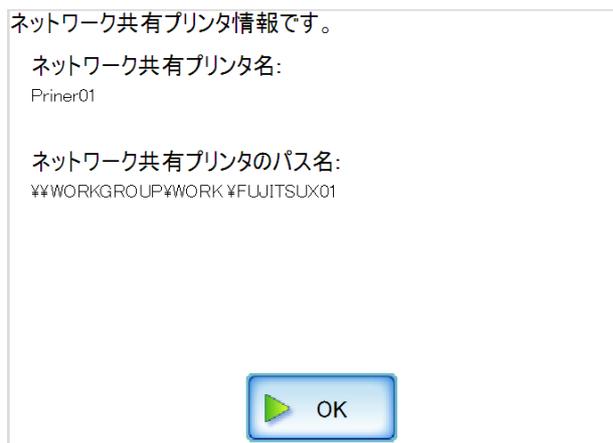


まって!

ネットワークに接続されていない場合、ネットワーク共有プリンタの削除を行うと、「削除中 ...」画面の状態で止まってしまう場合があります。ネットワークが正常に動作していることを確認してから、ネットワーク共有プリンタの削除を行ってください。

## ■ ネットワーク共有プリンタの詳細情報を参照します

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有プリンタ] ボタンを押します。  
⇒ 「ネットワーク共有プリンタ」画面が表示されます。
3. 詳細情報を表示するネットワーク共有プリンタを選択します。
4. [詳細] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有プリンタの詳細情報が表示されます。



## 4.7.14 ネットワーク共有フォルダを設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

スキャン画像の保存先とするネットワーク共有フォルダを設定します。  
ファイルサーバまたは FTP サーバの共有フォルダを、ネットワーク共有フォルダとして設定できます。

ネットワーク共有フォルダの最大登録数は、100 件です。

ネットワーク共有フォルダを登録するには、以下のいずれかの方法があります。

- ツリー選択  
ネットワーク共有フォルダをネットワークツリーから選択します。  
詳細については、「[ネットワーク共有フォルダを登録します \(ツリー選択\)](#)」(139 ページ) を参照してください。
- 直接入力 (ネットワークパス)  
ファイルサーバのネットワーク共有フォルダのパス名を直接入力で指定します。  
詳細については、「[ネットワーク共有フォルダを登録します \(直接入力 \(ネットワークパス\)\)](#)」(142 ページ) を参照してください。
- 直接入力 (FTP パス)  
FTP サーバのネットワーク共有フォルダのパス名を直接入力で指定します。  
詳細については、「[ネットワーク共有フォルダを登録します \(直接入力 \(FTP パス\)\)](#)」(144 ページ) を参照してください。



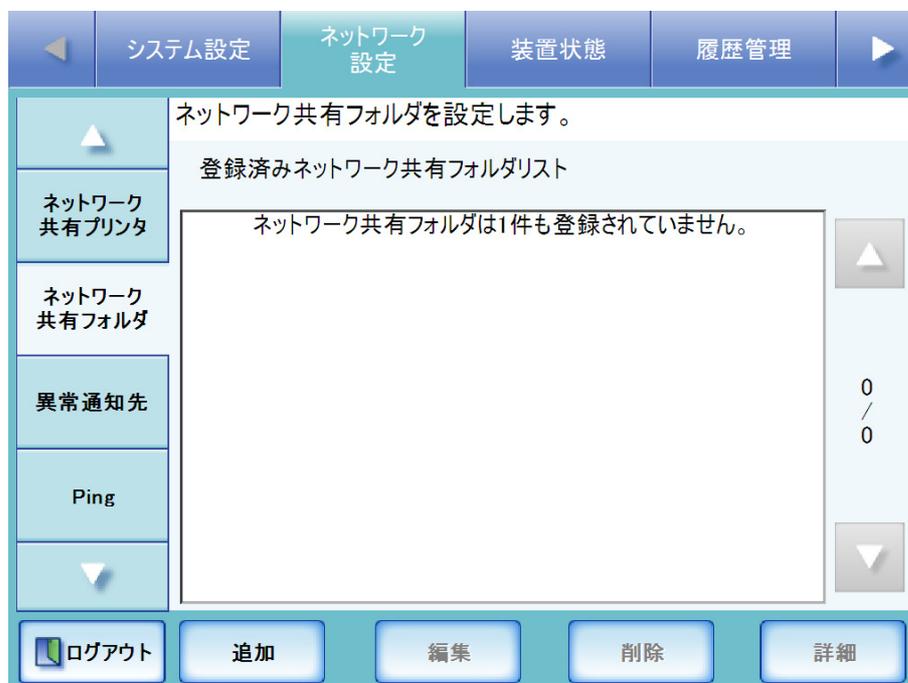
ネットワーク共有フォルダを登録する場合、以下の点に注意してください。

- 登録したネットワーク共有フォルダのパスはネットワークパスです。  
ネットワーク共有フォルダを共有設定している端末で、実際のフルパス長と、保存するスキャン画像ファイル名の合計が半角 259 文字を超える場合は、保存したデータファイルを参照できません。ネットワーク共有フォルダの登録前に実際のフルパス長と、保存するスキャン画像ファイル名の合計文字数を確認してください。
- 選択するフォルダが、当画面を閲覧しているオペレーティングシステムの言語とは異なる言語で作成されている場合は、ネットワーク共有フォルダの登録ができません。  
認識できないコードが含まれるため、ネットワーク共有フォルダ名が正しく表示されません。
- 表示するフォルダが多い場合、フォルダが表示されるまでに時間がかかる場合があります。



## ■ ネットワーク共有フォルダを登録します（ツリー選択）

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有フォルダ] ボタンを押します。  
⇒ 「ネットワーク共有フォルダ」画面が表示されます。



3. [追加] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有フォルダの選択画面が表示されます。



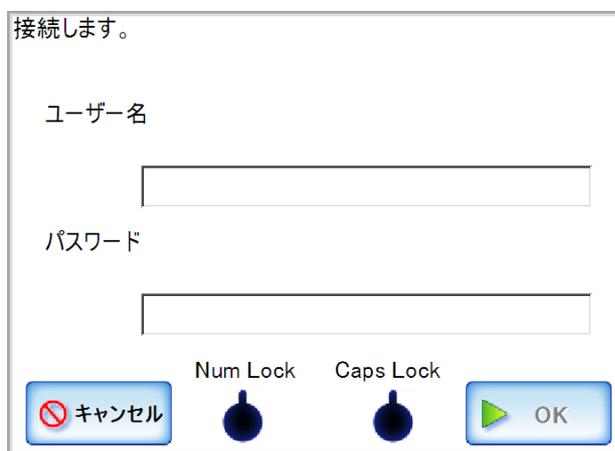
ネットワーク共有フォルダの選択画面において、ドメイン一覧で期待するドメインが表示されない場合があります。そのような場合は、直接入力で指定するか、しばらく待ってから再度ネットワーク共有フォルダの選択画面を表示してください。

4. ドメイン  を選択します。



⇒ ログインが必要な場合は、認証画面が表示されます。

ログインが不要な場合は、ネットワークツリーが展開され、ドメインの下にコンピュータ名が表示されます。



タッチパネルから管理者がログインしている場合、認証画面で「Caps Lock」および「Num Lock」が表示されます。  
キーボードが Caps Lock されている場合は、「Caps Lock」が点灯します。  
キーボードが Num Lock されている場合は、「Num Lock」が点灯します。

1. ユーザー名を入力します。  
最大文字数は 256 文字です。

2. パスワードを入力します。  
最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。
3. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 認証されると、ネットワーク共有フォルダ選択画面のネットワークツリーが展開され、選択したドメインの下にコンピュータ名が表示されます。

#### 5. コンピュータ を選択します。

- ⇒ ログインが必要な場合は、認証画面が表示されます。  
ログインが不要な場合は、ネットワークツリーが展開され、コンピュータの下にネットワーク共有フォルダ名が表示されます。

1. ユーザー名を入力します。  
最大文字数は 256 文字です。
2. パスワードを入力します。  
最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。
3. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 認証されると、ネットワーク共有フォルダ選択画面のネットワークツリーが展開され、選択したコンピュータの下にネットワーク共有フォルダ名が表示されます。

#### 6. ネットワーク共有フォルダ を選択します。

配下のフォルダも表示され、ドメインを含めて 7 階層まで選択することができます。

#### 7. [選択] ボタンを押します。

- ⇒ 「ネットワーク共有フォルダ」画面に戻り、登録済みネットワーク共有フォルダリストに追加されます。



ヒント

- ネットワーク共有フォルダ名は、ネットワークツリーで選択したフォルダ名になります。名称を変更する場合は、「[ネットワーク共有フォルダの設定を変更します](#)」(147 ページ)を参照してください。
- ネットワーク共有フォルダは、読み込みおよび書き込みができるフォルダを設定してください。
- 「ネットワーク共有フォルダ」画面に表示されるドメイン、コンピュータ、およびネットワーク共有フォルダは、タッチパネルの場合は最大で 400 個、Admin Tool の場合は最大で 10000 個表示可能です。
- ネットワークツリーを表示している状態で、[検索]に検索したい文字列を入力して、[前候補]ボタンまたは[次候補]ボタンを押すと、入力した文字列を含むネットワークツリーにフォーカスが移動します。

## ■ ネットワーク共有フォルダを登録します（直接入力（ネットワークパス））

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有フォルダ] ボタンを押します。  
⇒ 「ネットワーク共有フォルダ」画面が表示されます。
3. [追加] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有フォルダの選択画面が表示されます。
4. [直接入力] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有フォルダの直接入力（ネットワークパス）画面が表示されます。

システム設定   ネットワーク設定   装置状態   履歴管理

ネットワーク共有フォルダを追加します。

ネットワーク共有フォルダ名  
※省略した場合は共有名がネットワーク共有フォルダ名になります。

ネットワーク共有フォルダ

ネットワーク共有フォルダのパス名  
(例: ¥¥Domain¥Computer¥FolderName[¥FolderName])

ログアウト   キャンセル   ツリー選択   追加

ヒント



[ツリー選択] ボタンを押すと、ネットワークツリーで選択する画面に戻ります。

5. 「ネットワーク共有フォルダ名」を指定します。  
最大文字数は80文字です。¥は使用できません。  
「ネットワーク共有フォルダ名」を省略して[追加] ボタンを押した場合は、共有名がネットワーク共有フォルダ名になります。

## 6. 「ネットワーク共有フォルダのパス名」を指定します。

以下の形式で指定してください。

¥¥ドメイン名 ¥コンピュータ名 ¥フォルダ名 [¥フォルダ名]...

ネットワーク共有フォルダのパス名は、最小限、以下のパスが必要です。

¥¥ドメイン名 ¥コンピュータ名 ¥フォルダ名

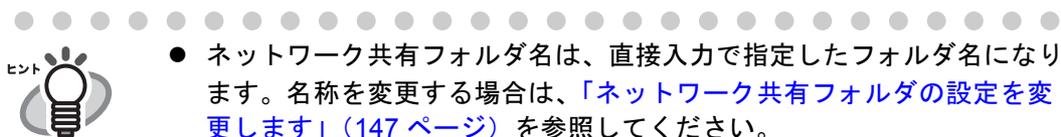
最大文字数は 255 文字です。

1つ下の階層のフォルダを指定する場合は、上記の形式における [¥フォルダ名] のようにしてください。なお、[¥フォルダ名] の [ ] は、省略できることを示します。フォルダの区切り文字は / または ¥ を使用できます。/ を区切り文字として使用した場合、ネットワーク共有フォルダ名は「フォルダ名 / フォルダ名」と登録されます。「ドメイン名」にはネットワーク共有フォルダが所属する NetBIOS ドメイン名またはワークグループ名を指定してください。

「コンピュータ名」には IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を指定してください。

## 7. [追加] ボタンを押します。

⇒ 「ネットワーク共有フォルダ」画面に戻り、登録済みネットワーク共有フォルダリストに追加されます。



ヒント

- ネットワーク共有フォルダ名は、直接入力で指定したフォルダ名になります。名称を変更する場合は、「[ネットワーク共有フォルダの設定を変更します](#)」(147 ページ) を参照してください。
- ネットワーク共有フォルダは、読み込みおよび書き込みができるフォルダを設定してください。
- 認証画面が表示されることがあります。



## ■ ネットワーク共有フォルダを登録します（直接入力（FTP パス））

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有フォルダ] ボタンを押します。  
⇒ 「ネットワーク共有フォルダ」画面が表示されます。
3. [追加] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有フォルダの選択画面が表示されます。
4. [FTP 入力] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有フォルダの直接入力（FTP パス）画面が表示されます。

FTPサーバを設定します。

フォルダ別名

格納先パス

ユーザー名  パスワード

記憶する 毎回入力

ポート番号  (1 - 65535)

プロトコル FTP FTPS

パッシブモード 使用する 使用しない

暗号化方式 Explicit Implicit

プロキシ ※ 有効 無効

※プロキシサーバメニューでの設定が必要です。

ログアウト キャンセル 設定

5. 「フォルダ別名」にネットワーク共有フォルダ名を入力します。  
最大文字数は 80 文字です。¥は使用できません。  
「フォルダ別名」を省略して[設定] ボタンを押した場合は、格納先パスが「フォルダ別名」になります。ただし、¥を使用して格納先パス名を指定した場合、最下層のフォルダ名になります。たとえば、格納先パスを「FTPSERVER¥folder」と指定した場合、フォルダ別名は「folder」になります。
6. 「格納先パス」にネットワーク共有フォルダのパス名を入力します。  
以下の形式で指定してください。  
コンピュータ名 ¥ フォルダ名  
最大文字数は 255 文字です。  
「コンピュータ名」には IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を指定してください。

7. FTP サーバへログインするための「ユーザー名」、「パスワード」を入力します。  
「ユーザー名」および「パスワード」の最大文字数は 256 文字です。なお、パスワードの英大文字と英小文字は区別されます。
8. 「認証」で、ユーザー名 / パスワードを保存するかどうかを選択します。  
[ 記憶する ] ボタンを押すと、一度入力したユーザー名 / パスワードを保存します。利用者画面でも認証時に保存したユーザー名 / パスワードを使用します。  
[ 毎回入力 ] ボタンを押すと、入力したユーザー名 / パスワードを保存しません。利用者画面では初回選択時に認証が必要です。ただし、LDAP サーバに登録されているユーザーでログインした場合は、ログイン画面で入力したユーザー名 / パスワードで認証を行います。
9. 「プロトコル」で、FTP サーバとの接続方法を選択します。  
初期値は [FTP] です。  
[FTP] ボタンを押すと、非暗号通信で FTP サーバと接続します。  
[FTPS] ボタンを押すと、暗号化通信 (SSL) で FTP サーバと接続します。
10. 「ポート番号」に FTP サーバの接続先ポート番号を入力します。  
初期値は 21 です。入力できる範囲は、1 ~ 65535 です。
11. 「パッシブモード」で、パッシブモードで接続するかどうかを選択します。  
初期値は [ 使用する ] です。  
手順 9 で [FTP] ボタンを押した場合のみ設定できます。なお、[FTPS] ボタンを押した場合は、パッシブモードで接続します。  
[ 使用する ] ボタンを押すと、パッシブモードで接続します。  
[ 使用しない ] ボタンを押すと、アクティブモードで接続します。
12. 「暗号化方式」で、暗号化の方法を選択します。  
手順 9 で [FTPS] ボタンを押した場合のみ設定できます。  
[Explicit] ボタンを押すと、非暗号化通信で FTP サーバと接続を開始したあと、ユーザー名とパスワードを認証する直前に、暗号化通信 (SSL) で接続します。  
[Implicit] ボタンを押すと、FTP サーバと接続を開始したときに、暗号化通信 (SSL) で接続します。
13. 「プロキシ」で、プロキシサーバを使用するかどうかを選択します。  
「プロキシサーバ」画面で、プロキシサーバを設定していない場合、本設定はできません。プロキシサーバの設定方法については、「[4.7.7 プロキシサーバを設定します](#)」(102 ページ) を参照してください。  
[ 有効 ] ボタンを押すと、「プロキシサーバ」画面で設定したプロキシサーバを使用して接続します。  
[ 無効 ] ボタンを押すと、プロキシサーバを使用せずに接続します。
14. [ 設定 ] ボタンを押します。  
⇒ FTP サーバへの認証確認が行われます。認証されると、「ネットワーク共有フォルダ」画面に戻り、登録済みネットワーク共有フォルダリストに追加されます。



まって!

Central Admin Console で、ファイアウォールが有効となっている集中管理サーバを使用する場合、「パッシブモード」を [使用する] に設定してください。



ヒント

ネットワーク共有フォルダは、読み込みおよび書き込みができるフォルダを設定してください。

## ■ ネットワーク共有フォルダの設定を変更します

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有フォルダ] ボタンを押します。  
⇒「ネットワーク共有フォルダ」画面が表示されます。
3. 変更するネットワーク共有フォルダを選択します。
4. [編集] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有フォルダの変更画面が表示されます。
5. ネットワーク共有フォルダ名を入力します。  
最大文字数は 80 文字です。半角および全角が使用できますが、¥を含むフォルダ名、半角空白のみのフォルダ名は設定できません。  
また、語尾の半角空白は省略されます。

ネットワーク共有フォルダ名を指定します。

ネットワーク共有フォルダ名

Folder02

ネットワーク共有フォルダのパス名

¥¥WORKGROUP¥WORK¥Folder

ログアウト キャンセル 設定



ネットワーク共有フォルダがFTPサーバのフォルダの場合は、以下の画面が表示されます。なお、「格納先パス」は変更できません。

The screenshot shows the 'FTPサーバを設定します。' (Configure FTP server) screen. It includes the following fields and options:

- フォルダ別名: Folder02FTP
- 格納先パス: (locked)
- ユーザー名: abc
- パスワード: (masked)
- 記憶する (Remember)
- 毎回入力 (Remember)
- ポート番号: 21 (1 - 65535)
- プロトコル: FTP (selected), FTPS
- パッシブモード: 使用する (selected), 使用しない
- 暗号化方式: Explicit, Implicit
- プロキシ ※: 有効, 無効

※プロキシサーバメニューでの設定が必要です。

6. [設定] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有フォルダ名が変更されます。

## ■ ネットワーク共有フォルダを削除します

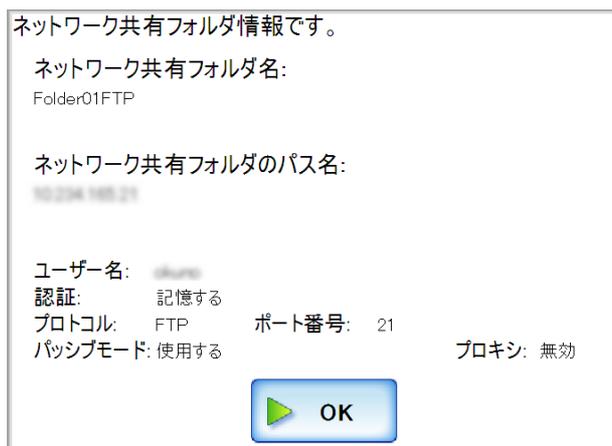
1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有フォルダ] ボタンを押します。  
⇒ 「ネットワーク共有フォルダ」画面が表示されます。
3. 削除するネットワーク共有フォルダを選択します。
4. [削除] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有フォルダの削除画面が表示されます。
5. 削除するネットワーク共有フォルダの情報を確認して[はい] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有フォルダが削除されます。

## ■ ネットワーク共有フォルダの詳細情報を参照します

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク共有フォルダ] ボタンを押します。  
⇒「ネットワーク共有フォルダ」画面が表示されます。
3. 詳細情報を表示するネットワーク共有フォルダを選択します。
4. [詳細] ボタンを押します。  
⇒ ネットワーク共有フォルダの詳細情報が表示されます。



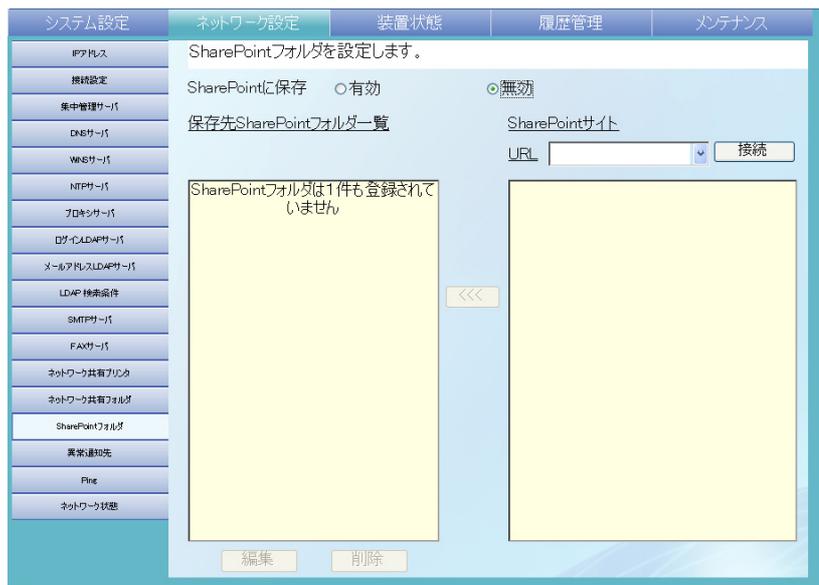
ネットワーク共有フォルダが FTP サーバのフォルダの場合は、以下の画面が表示されます。



## 4.7.15 SharePoint フォルダを設定します Admin Tool Central Admin Console

スキャン画像の保存先とする SharePoint フォルダを設定します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [SharePoint フォルダ] ボタンを押します。  
⇒ 「SharePoint フォルダ」画面が表示されます。



3. 「SharePoint に保存」で、SharePoint フォルダにスキャン画像を保存できるようにするかどうかを選択します。  
初期値は、[無効]です。  
[有効]を選択すると、SharePoint フォルダにスキャン画像を保存できます。  
[無効]を選択すると、SharePoint フォルダにスキャン画像を保存できません。
4. 「URL」に、SharePoint サーバの URL を指定します。  
以下の形式で指定してください。
  - SSL 通信を行わない場合  
http://SharePoint サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名 [: ポート番号] [サイト名]  
ポート番号を省略すると、80 が使用されます。
  - SSL 通信を行う場合  
https://SharePoint サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名 [: ポート番号] [サイト名]  
ポート番号を省略すると、443 が使用されます。サイト名を省略すると、URL のすべてのサイトが表示されます。  
最大文字数は 512 文字です。  
 を押すと、過去に指定した URL が最大 10 件まで一覧表示されます。URL は、一覧から選択して指定することもできます。

5. [接続] ボタンを押します。  
⇒「サインイン」画面が表示されます。

サインイン

ユーザー名  
パスワード  
ドメイン

OK キャンセル

SharePoint サーバにサインインするときの情報を指定します。

- ユーザー名を入力します。  
最大文字数は 256 文字です。
  - パスワードを入力します。  
最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。
  - ドメイン名を入力します。  
最大文字数は半角 64 文字です。
  - [OK] ボタンを押します。  
⇒ サインインに成功すると、SharePoint サーバのサイトおよびフォルダが「SharePoint サイト」の一覧に表示されます。
6. 保存先とするフォルダを「SharePoint サイト」の一覧から選択して、[<<<] ボタンを押します。  
⇒「保存先 SharePoint フォルダー一覧」に追加され、保存先として選択できるようになります。



- SharePoint のライブラリタイプが「スライドライブラリ」などの、画像ファイルを格納できないフォルダは設定しないでください。
- サイトおよびフォルダの URL パスが 184 文字を超える場合は設定できません。
- 「保存先 SharePoint フォルダー一覧」にフォルダを追加したときに、すでに同一のフォルダ名が存在した場合、追加したフォルダ名のあとに連番が 2 から順に ( ) で囲まれて付加されます。



- 集中管理サーバから SharePoint フォルダを設定する場合、集中管理サーバに .NET Framework 3.0 Service Pack 1 以降をインストールして、再起動する必要があります。
- 以下の場合、集中管理サーバから SharePoint フォルダを設定することはできません。
  - 集中管理サーバに .NET Framework 3.0 Service Pack 1 以降がインストールされていない場合
  - Windows 2000 Server に集中管理サーバをインストールした場合

## ■ SharePoint フォルダの表示名を変更します

SharePoint フォルダの表示名を変更します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [SharePoint フォルダ] ボタンを押します。  
⇒ 「SharePoint フォルダ」画面が表示されます。
3. 表示名を変更するフォルダを「保存先 SharePoint フォルダ一覧」から選択します。
4. [編集] ボタンを押します。  
⇒ 「SharePoint フォルダの編集」画面が表示されます。
5. 表示名を入力します。  
最大文字数は 80 文字です。半角および全角が使用できますが、半角空白のみの表示名は設定できません。  
また、語尾の半角空白は省略されます。

システム設定	ネットワーク設定	装置状態	履歴管理	メンテナンス
IPアドレス	SharePointフォルダの編集			
接続設定	表示名			
集中管理サーバ	<input type="text" value="キューズフォルダ"/>			
DNSサーバ	フォルダ階層			
Webサーバ	<input type="text" value="http://..."/>			
NTFSサーバ				
プロキシサーバ				
ログインLDAPサーバ				
メールアドレスLDAPサーバ				
LDAP 検索条件				
SMTPサーバ				
FAXサーバ				
ネットワーク共有プリンタ				
ネットワーク共有フォルダ				
SharePointフォルダ				
異常通知先				
File				
ネットワーク状態				

6. [設定] ボタンを押します。  
⇒ 表示名が変更されます。

## ■ SharePoint フォルダを削除します

保存先として設定した SharePoint フォルダを削除します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [SharePoint フォルダ] ボタンを押します。  
⇒ 「SharePoint フォルダ」画面が表示されます。
3. 削除するフォルダを「保存先 SharePoint フォルダ一覧」から選択します。
4. [削除] ボタンを押します。  
⇒ フォルダの削除画面が表示されます。
5. 削除するフォルダの情報を確認して [はい] ボタンを押します。  
⇒ フォルダが削除されます。

## 4.7.16 異常通知先を設定します タッチパネル AdminTool Central Admin Console

本装置に異常が起こった場合に、異常通知を行うメールアドレスを設定します。異常通知を行うには、事前に SMTP サーバの設定が必要です。SMTP サーバの設定方法については、「[4.7.11 メールサーバを設定します](#)」(121 ページ)を参照してください。異常通知先を設定しておく、登録したメールアドレスに装置監視メッセージが以下のタイトルで送信されます。

ネットワークスキャナ XXXX からのエラー通知

メールの本文にメッセージが出力された場合の対処方法については、「[F.1.3 本体装置監視が出力するシステムログのメッセージ](#)」(499 ページ)を参照してください。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [異常通知先] ボタンを押します。  
⇒ 「異常通知先」画面が表示されます。

システム設定   ネットワーク設定   装置状態   履歴管理

異常通知先のメールアドレスを設定します。

ネットワーク共有プリンタ

ネットワーク共有フォルダ

異常通知先

通知先メールアドレス

テスト送信

Ping

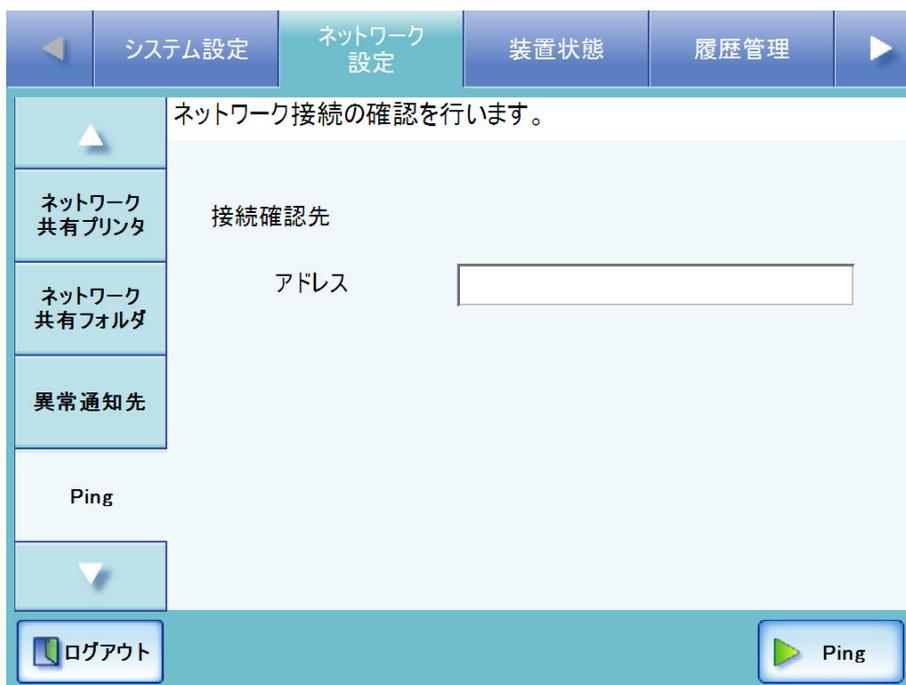
ログアウト   キャンセル   設定

3. 異常通知を行うメールアドレスを入力します。  
「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430 ページ)を参照してください。
4. 入力したメールアドレスが正しいか確認する場合は、[テスト送信]ボタンを押します。  
入力したメールアドレスにテストメールが受信されることを確認してください。
5. [設定] ボタンを押します。  
⇒ 異常通知先が設定されます。

4.7.17 Ping でネットワークへの接続状態を確認します タッチパネル AdminTool

Ping を使って、ネットワークへの接続ができていないか確認することができます。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [Ping] ボタンを押します。  
⇒ 「Ping」 画面が表示されます。



3. 「アドレス」に接続状態を確認するサーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
  - IP アドレスを入力する場合  
xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
  - ホスト名または FQDN 名を入力する場合  
最大文字数は半角 255 文字です。

#### 4. [Ping] ボタンを押します。

⇒ Ping が実行され、結果が表示されます。

結果の内容については、「[Ping によるネットワークの基本動作確認](#)」(398 ページ) を参照してください。



4.7.18 ネットワークの動作状態を確認します タッチパネル AdminTool

## ■ ネットワーク状態を確認します

ネットワークの動作状態を参照することができます。

表示される項目は以下のとおりです。値が表示されていない場合は、ネットワークが正常に動作していません。「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ) を参照して、設定を確認してください。

- MAC アドレス
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS サーバ
- WINS サーバ

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。

2. [ネットワーク状態] ボタンを押します。

⇒ 「ネットワーク状態」画面に、現在動作しているネットワーク状態が表示されます。





- LDAP サーバなどに接続できない場合は以下の対処を行ってください。
  1. LAN ケーブルを抜いて、タッチパネルの [電源切断] ボタンを押して本装置の電源を切断します。
  2. LAN ケーブルを抜いたままの状態でも電源ボタンを押して本装置を起動し、IP アドレスが重複しないよう設定します。
  3. LAN ケーブルを接続します。
- DHCP を [有効] に設定している際に、DHCP サーバと接続できない場合は、IP アドレスには「169.254.X.X」が設定されます (X は 0 ~ 255 までの任意の数字)。

## ■ Link Speed/Duplex Mode を設定します

ネットワーク動作状態が正しく表示されているにもかかわらず、ネットワーク通信が正しく行われない場合には、Link Speed/Duplex Mode の設定を変更します。

1. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
2. [ネットワーク状態] ボタンを押します。  
⇒ 「ネットワーク状態」画面に、現在動作しているネットワーク状態が表示されます。
3. 「Link Speed/Duplex Mode」のリストボタンを押します。  
⇒ Link Speed/Duplex Mode 一覧画面が表示されます。
4. 「自動検出」から、固定の Link Speed/Duplex Mode に変更します。
5. [設定] ボタンを押します。  
⇒ Link Speed/Duplex Mode の設定が変更されます。

## 4.8 装置状態メニューでの設定

### 4.8.1 装置管理情報を参照します タッチパネル AdminTool

1. [装置状態] ボタンを押します。
2. [装置情報] ボタンを押します。  
⇒ 「装置情報」画面が表示されます。



「装置情報」画面には、以下が表示されます。

項目名	意味
システム版数	本装置のシステム版数、およびセキュリティの版数が表示されます。
スキャナファーム版数	本装置のスキャナのファームウェア版数が表示されます。
使用開始日	本装置のスキャナを使用開始した日付が表示されます。
稼働時間	本装置の動作した累積の稼働時間が表示されます。

## 4.8.2 オプション機能の適用状況を参照します タッチパネル AdminTool

オプション機能の適用状況を参照します。

1. [装置状態] ボタンを押します。
2. [オプション機能] ボタンを押します。  
⇒ 「オプション機能」画面が表示されます。



「オプション機能」画面には、以下が表示されます。

項目名	意味
適用日付	オプション機能が適用された日付が表示されます。
適用時刻	オプション機能が適用された時刻が表示されます。
オプション機能名/説明	適用されているオプション機能名と説明が表示されます。

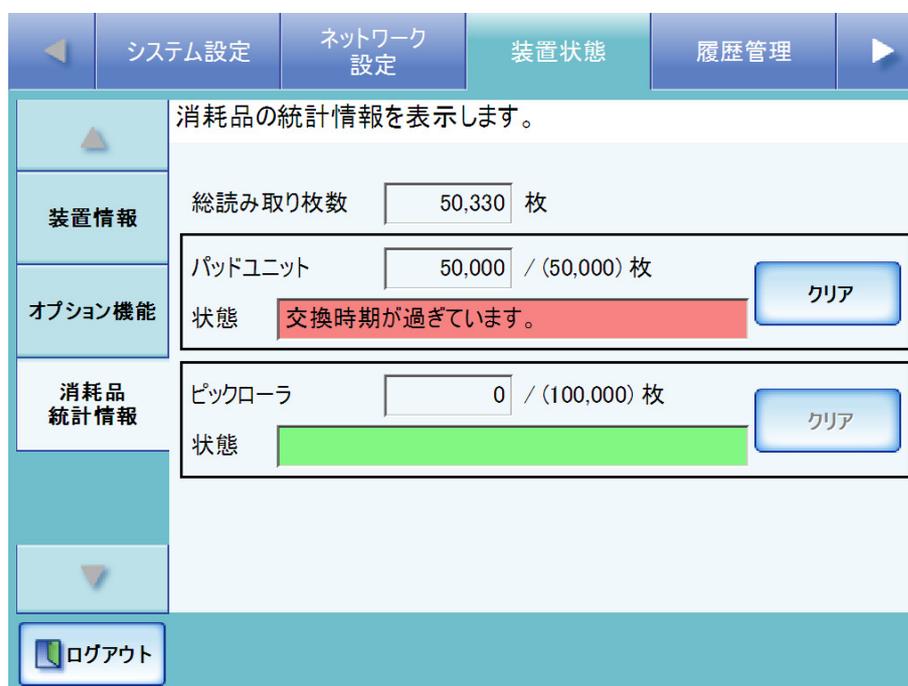
### 4.8.3 消耗品統計情報を参照します タッチパネル AdminTool

本装置が読み取った原稿枚数と消耗品（パッドユニットおよびピックアップローラ）の交換時期が表示されます。

消耗品の交換については、「7.6 消耗品／オプション品を交換します」（379 ページ）を参照してください。

#### ■ 消耗品の状態を参照します

1. [装置状態] ボタンを押します。
2. [消耗品統計情報] ボタンを押します。  
⇒ 「消耗品統計情報」画面が表示されます。



現在の読み取り枚数が表示され、それによってパッドユニットおよびピックアップローラの「状態」に状態が表示されます。

「総読み取り枚数」は 10 枚単位で読み取り枚数が表示されます。

「パッドユニット」と「ピックアップローラ」は 500 枚単位で読み取り枚数が表示されます。

項目	状態	状態の色の意味	本装置の状態
パッドユニット	緑	読み取り枚数が、0枚から4.5万枚未満です。	交換の必要はありません。
	橙	読み取り枚数が、4.5万枚から5万枚未満です。	パッドユニットの交換時期が近づいています。
	赤	読み取り枚数が、5万枚以上です。	パッドユニットの交換時期が過ぎています。パッドユニットを交換してください。
ピックアップローラ	緑	読み取り枚数が、0枚から9.5万枚未満です。	交換の必要はありません。
	橙	読み取り枚数が、9.5万枚から10万枚未満です。	ピックアップローラの交換時期が近づいています。
	赤	読み取り枚数が、10万枚以上です。	ピックアップローラの交換時期が過ぎています。ピックアップローラを交換してください。

## ■ カウンタをリセットします

消耗品を交換したあと、カウンタをリセットして正常状態に戻します。

消耗品の交換については、「[7.6 消耗品／オプション品を交換します](#)」(379 ページ) を参照してください。

1. [装置状態] ボタンを押します。
2. [消耗品統計情報] ボタンを押します。  
⇒ 「消耗品統計情報」画面が表示されます。
3. 交換した消耗品の [クリア] ボタンを押します。  
⇒ カウンタのリセットを確認する画面が表示されます。
4. [はい] ボタンを押します。  
⇒ カウンタが0になり、「状態」が緑色になります。

#### 4.8.4 Add-in 情報を参照します タッチパネル AdminTool

Add-in をインストールしている場合のみ、Add-in 情報を参照できます。  
Add-in とは、fi-6010N SDK（開発キット）を使用して作成したアプリケーションです。

1. [装置状態] ボタンを押します。
2. [Add-in 情報] ボタンを押します。  
⇒ 「Add-in 情報」画面が表示されます。



「Add-in 情報」画面には、以下が表示されます。

項目名	意味
Add-in 名	Add-in の名前が表示されます。
Add-in バージョン	Add-in の版数が表示されます。

4

## 4.9 履歴管理メニューでの設定

### 4.9.1 ユーザーログを管理します

本装置のユーザーログ（最新の 1000 件）が本装置に保存されます。



- ユーザーログにはメール送信先や FAX 番号などの個人情報のデータが含まれます。取り扱いには十分注意してください。
- 万一、装置運用中にログファイルの異常を検出した場合、ログファイルは初期化され、以下のシステムログが記録されます。  
エラー 81001004 ユーザーログが壊れていたため削除しました。

#### ■ ユーザーログの詳細情報を参照します タッチパネル AdminTool

ユーザーログ一覧は操作順に表示されます。

「タイムゾーン」画面や「日付／時刻」画面で設定を変更しても、表示順は変わりません。

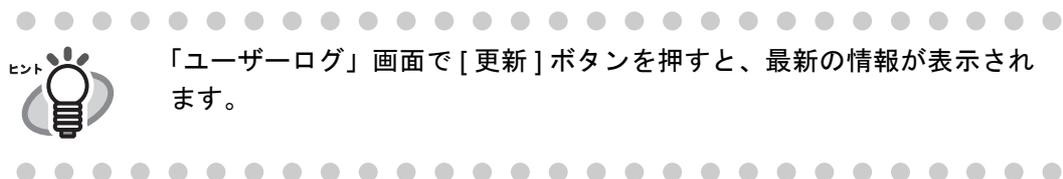
1. [履歴管理] ボタンを押します。
2. [ユーザーログ] ボタンを押します。  
⇒ 「ユーザーログ」画面が表示されます。

日付	時刻	ユーザー名	状態	コード	操作
2014/09/01	21:43:56	guest	正常終了	00000000	保存
2014/09/01	21:43:32	guest	正常終了	00000000	保存
2014/09/01	21:43:09	guest	正常終了	00000000	保存
2014/09/01	21:41:59	guest	正常終了	00000000	保存
2014/09/01	21:41:37	guest	正常終了	00000000	保存
2014/09/01	21:41:13	guest	正常終了	00000000	保存
2014/09/01	21:40:45	guest	正常終了	00000000	保存
2014/09/01	21:37:46	guest	エラー	12010002	メール

## 3. 詳細を参照する履歴を選択します。

⇒ 詳細情報が表示されます。

[確認] ボタンを押すと、「ユーザーログ」画面に戻ります。



表示される項目は以下のとおりです。

項目名	表示形式	説明
日付	MM/dd/yyyy dd/MM/yyyy yyyy/MM/dd	操作年月日が表示されます。 表示形式は「日付/時刻」画面で設定されます。 詳細については、を「 <a href="#">4.6.4 日時を設定します</a> 」 (63 ページ) を参照してください。
時刻	hh:mm:ss	操作時刻が表示されます。
ユーザー名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	操作を行ったユーザー名が以下の形式で表示されます。 SAM アカウント名 @ ドメイン名
状態	処理中	処理中です。
	正常終了	処理が成功しました。
	エラー	処理が失敗しました。
コード	XXXXXXXX	詳細コードが表示されます。 対処が必要な場合は、「 <a href="#">付録 F 操作メッセージ一覧</a> 」 (471 ページ) を参照してください。
操作	メール	スキャン画像をメール送信しました。
	FAX	スキャン画像を FAX 送信しました。
	印刷	スキャン画像をプリントサーバへ送信しました。 状態にはプリントサーバへスキャンデータの送信が完了するまでの結果が表示されます。ネットワーク共有プリンタの印刷結果は表示されません。
	保存	スキャン画像をネットワーク共有フォルダに保存しました。
ページ	xxx	スキャン画像ページ数が表示されます。
詳細情報	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	操作の詳細情報が表示されます。

## ■ ユーザーログをダウンロードします AdminTool

利用者のユーザーログが本装置に保存されます。

ファイル名の初期値は「OperationLog.csv」です。

ユーザーログ情報を CSV 形式でコンピュータにダウンロードします。CSV 形式のユーザーログ情報は、以下の形式で保存されます。

" 日付 "," 時刻 "," ユーザー名 "," 状態 "," コード "," 操作 "," ページ "," 詳細情報 "

1. [履歴管理] ボタンを押します。
2. [ユーザーログ] ボタンを押します。  
⇒ 「ユーザーログ」画面が表示されます。
3. [ダウンロード] ボタンを押します。  
⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。
4. [保存] ボタンを押します。



保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認してから [保存] ボタンを押してください。十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。

⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5. ファイル名を入力します。  
ファイルの保存形式は CSV です。
6. [保存] ボタンを押します。  
⇒ ファイルが保存されます。

## ■ ユーザーログをすべて削除します タッチパネル AdminTool

1. [履歴管理] ボタンを押します。
2. [ユーザーログ] ボタンを押します。  
⇒ 「ユーザーログ」画面が表示されます。
3. [全削除] ボタンを押します。  
⇒ 削除確認画面が表示されます。
4. [はい] ボタンを押します。  
⇒ ユーザーログが削除されます。

## 4.9.2 システムログを管理します

システム起動や電源切断など、システムで発生したこと（最新の 1000 件）が本装置に保存されます。



- システムログにはメール送信先や FAX 番号などの個人情報のデータが含まれます。取り扱いには十分注意してください。
- 万一、装置運用中にログファイルの異常を検出した場合、ログファイルは初期化され、以下のシステムログが記録されます。  
エラー 81001003 システムログが壊れていたため削除しました。

### ■ システムログの詳細情報を参照します タッチパネル AdminTool

システムログは操作順に表示されます。「タイムゾーン」画面や「日付／時刻」画面で設定を変更しても、表示順は変わりません。

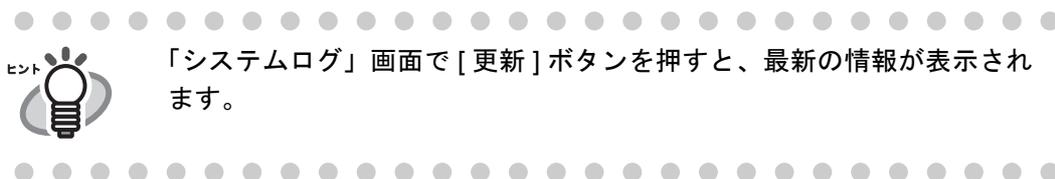
1. [履歴管理] ボタンを押します。
2. [システムログ] ボタンを押します。  
⇒ 「システムログ」画面が表示されます。

システム設定	ネットワーク設定	装置状態	履歴管理	メンテナンス																																				
ユーザーログ	システムログを表示します。																																							
システムログ																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>種別</th> <th>メッセージ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013/09/02</td> <td>21:44:03</td> <td>情報</td> <td>010D0002 ログアウトしました。ユーザー名:...</td> </tr> <tr> <td>2013/09/02</td> <td>21:42:45</td> <td>情報</td> <td>010D0001 ログインしました。ユーザー名: gu...</td> </tr> <tr> <td>2013/09/02</td> <td>21:42:13</td> <td>情報</td> <td>010D0002 ログアウトしました。ユーザー名:...</td> </tr> <tr> <td>2013/09/02</td> <td>21:40:17</td> <td>情報</td> <td>010D0001 ログインしました。ユーザー名: gu...</td> </tr> <tr> <td>2013/09/02</td> <td>21:37:53</td> <td>情報</td> <td>010D0002 ログアウトしました。ユーザー名:...</td> </tr> <tr> <td>2013/09/02</td> <td>21:37:46</td> <td>エラー</td> <td>1201 0002 メール送信時に、サーバに接続... @pfufujitsu.com</td> </tr> <tr> <td>2013/09/02</td> <td>21:34:24</td> <td>情報</td> <td>010D0001 ログインしました。ユーザー名: gu...</td> </tr> <tr> <td>2013/09/02</td> <td>21:33:58</td> <td>情報</td> <td>01000001 (SMTPサーバ) 設定を変更しま... 補足情報: アドレス = pfufujit...</td> </tr> </tbody> </table>					日付	時刻	種別	メッセージ	2013/09/02	21:44:03	情報	010D0002 ログアウトしました。ユーザー名:...	2013/09/02	21:42:45	情報	010D0001 ログインしました。ユーザー名: gu...	2013/09/02	21:42:13	情報	010D0002 ログアウトしました。ユーザー名:...	2013/09/02	21:40:17	情報	010D0001 ログインしました。ユーザー名: gu...	2013/09/02	21:37:53	情報	010D0002 ログアウトしました。ユーザー名:...	2013/09/02	21:37:46	エラー	1201 0002 メール送信時に、サーバに接続... @pfufujitsu.com	2013/09/02	21:34:24	情報	010D0001 ログインしました。ユーザー名: gu...	2013/09/02	21:33:58	情報	01000001 (SMTPサーバ) 設定を変更しま... 補足情報: アドレス = pfufujit...
日付	時刻	種別	メッセージ																																					
2013/09/02	21:44:03	情報	010D0002 ログアウトしました。ユーザー名:...																																					
2013/09/02	21:42:45	情報	010D0001 ログインしました。ユーザー名: gu...																																					
2013/09/02	21:42:13	情報	010D0002 ログアウトしました。ユーザー名:...																																					
2013/09/02	21:40:17	情報	010D0001 ログインしました。ユーザー名: gu...																																					
2013/09/02	21:37:53	情報	010D0002 ログアウトしました。ユーザー名:...																																					
2013/09/02	21:37:46	エラー	1201 0002 メール送信時に、サーバに接続... @pfufujitsu.com																																					
2013/09/02	21:34:24	情報	010D0001 ログインしました。ユーザー名: gu...																																					
2013/09/02	21:33:58	情報	01000001 (SMTPサーバ) 設定を変更しま... 補足情報: アドレス = pfufujit...																																					
<div style="text-align: right;"> <span>ダウンロード</span> <span>全削除</span> <span>更新</span> <span>詳細</span> </div>																																								

### 3. 詳細を参照するシステムログを選択します。

⇒ 詳細情報が表示されます。

⇒ [確認] ボタンを押すと、「システムログ」画面に戻ります。



表示される項目は以下のとおりです。

項目名	表示形式	意味
日付	MM/dd/yyyy dd/MM/yyyy yyyy/MM/dd	システムログ記録年月日が表示されます。 表示形式は「日付/時刻」画面で設定されます。詳細については、を「 <a href="#">4.6.4 日時を設定します</a> 」(63 ページ)を参照してください。
時刻	hh:mm:ss	システムログ記録時刻が表示されます。
種別	情報	情報が表示されます。 対処は必要ありません。
	エラー	エラーが表示されます。 この場合、「 <a href="#">4.7.16 異常通知先を設定します</a> 」(154 ページ)で設定したメールアドレスに、同じ内容が通知されます。 「 <a href="#">F.1.3 本体装置監視が出力するシステムログのメッセージ</a> 」(499 ページ)を参照して対処してください。
	警告	警告が表示されます。 この場合、「 <a href="#">4.7.16 異常通知先を設定します</a> 」(154 ページ)で設定したメールアドレスに、同じ内容が通知されます。 「 <a href="#">F.1.3 本体装置監視が出力するシステムログのメッセージ</a> 」(499 ページ)を参照して対処してください。
メッセージ	コード メッセージ本文	メッセージの詳細については、「 <a href="#">F.1.2 システムログのメッセージ</a> 」(492 ページ)を参照してください。

## ■ システムログをダウンロードします AdminTool

ファイル名の初期値は「SystemLog.csv」です。

システムログを CSV 形式でコンピュータにダウンロードします。CSV 形式のシステムログは、以下の形式で保存されます。

" 日付 "," 時刻 "," 種別 "," メッセージ "

1. [履歴管理] ボタンを押します。
2. [システムログ] ボタンを押します。  
⇒ 「システムログ」画面が表示されます。
3. [ダウンロード] ボタンを押します。  
⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。
4. [保存] ボタンを押します。



ヒント

保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認してから [保存] ボタンを押してください。十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。

⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5. ファイル名を入力します。  
ファイルの保存形式は CSV です。
6. [保存] ボタンを押します。  
⇒ ファイルが保存されます。

## ■ システムログをすべて削除します タッチパネル AdminTool

1. [履歴管理] ボタンを押します。
2. [システムログ] ボタンを押します。  
⇒ 「システムログ」画面が表示されます。
3. [全削除] ボタンを押します。  
⇒ 削除確認画面が表示されます。
4. [はい] ボタンを押します。  
⇒ システムログが削除されます。

## 4.10 メンテナンスメニューでの設定

### 4.10.1 ユーザー情報をメンテナンスします AdminTool

ユーザー情報の退避、復元、削除ができます。  
ユーザー情報とは以下のとおりです。

- メールアドレス台帳 (My List)
- 読み取り設定
- ユーザーログ
- FAX 番号台帳
- 選択ネットワーク共有プリンタ
- 選択ネットワーク共有フォルダ
- 選択 SharePoint フォルダ

LDAP サーバに登録されたユーザー名で本装置にログインすると、自動的に1件のユーザー情報として本装置に登録されます (同一ユーザー名はまとめて1件とします)。  
ユーザー情報の最大登録数は1000件です。



- ユーザー情報が1000件に達した場合、ユーザー情報を削除するまで他のユーザー名でログインすることはできません。  
ユーザー情報を削除する前に退避をとることをお勧めします。退避の方法については、「[ユーザー情報を退避します](#)」(172 ページ)を、削除の方法については、「[ユーザー情報を削除します](#)」(174 ページ)を参照してください。
- ユーザーごとの資源は、退避したときに存在したユーザー名と同名のユーザー資源がすべて上書きで復元されます。なお、ユーザー情報を復元することで、ユーザー情報が1000件を超える場合、復元できません。この場合はユーザー情報をすべて削除したあとに復元を行ってください。
- ユーザー情報を復元すると、FAX 番号台帳は上書きで復元されます。

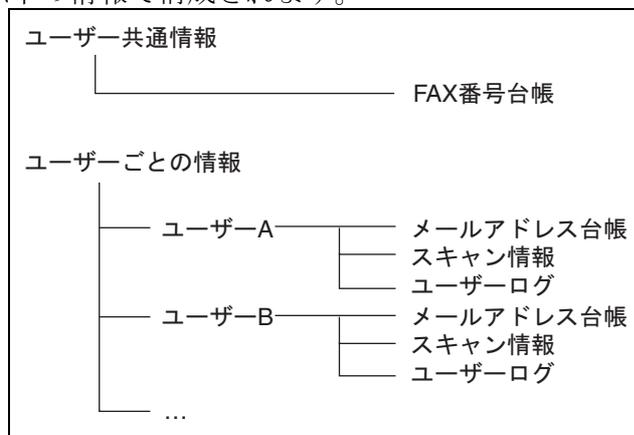


以下の場合、ユーザー情報が1000件を超えることになります。

1. 100ユーザー (A001 ~ A100) でログイン
2. 100ユーザー分 (A001 ~ A100) のユーザー情報を退避
3. 100ユーザー分 (A001 ~ A100) のユーザー情報を削除
4. 新たに960ユーザー (A001 ~ A050 と B001 ~ B910) でログイン
5. さらに2. で退避した100ユーザー分 (A001 ~ A100) を復元
  - ⇒ 復元するA001 ~ A100のうち、既存ユーザーA001 ~ A050のユーザー情報が上書き対象になり、ユーザーA051 ~ A100の50件のユーザー情報が追加対象になります。しかし、現時点で960ユーザー分保持しているため、 $960+50=1010$

となり、1000 を超えるため A051 ～ A100 の 50 ユーザー分の情報は復元できず、A001 ～ A100 の上書き・復元はできません。

ユーザー情報は、以下の情報で構成されます。



ユーザー情報には、メール送信先や FAX 番号などの個人情報のデータが含まれます。取り扱いには十分注意してください。

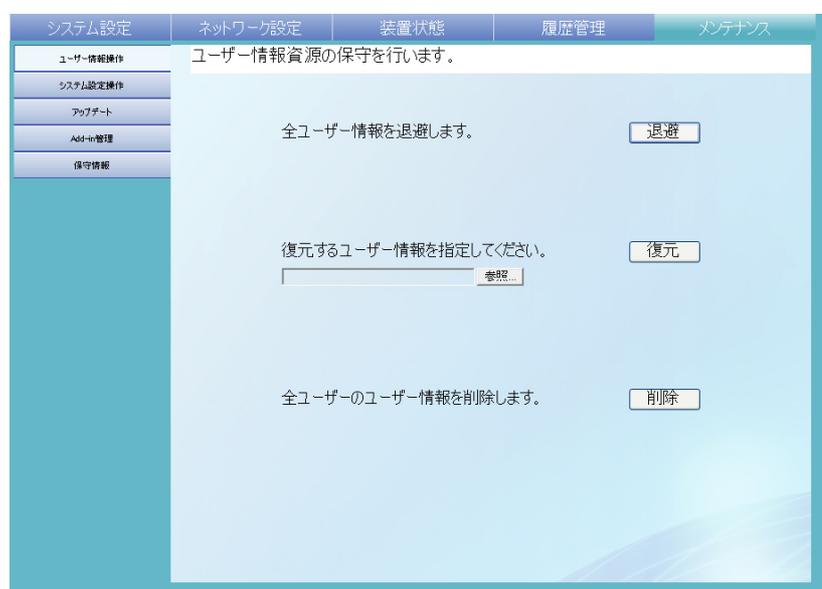
## ■ ユーザー情報を退避します

万一に備え、定期的にユーザー情報の退避を行ってください。  
ファイル名の初期値は「restored\_data」です。



ユーザーログは退避されません。

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [ユーザー情報操作] ボタンを押します。  
⇒「ユーザー情報操作」画面が表示されます。
3. [退避] ボタンを押します。



⇒「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

4. [保存] ボタンを押します。



保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認してから [保存] ボタンを押してください。十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。

⇒「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5. ファイル名を入力します。  
退避した日付やスキャナ名がわかるファイル名にすることをお勧めします。

## 6. [保存] ボタンを押します。

⇒ ユーザー情報が退避されます。



ユーザー情報の退避ファイルは、内容を変更しないでください。退避ファイルの内容を変更して復元した場合は、本装置が正常に動作しなくなる可能性があります。



## ■ ユーザー情報を復元します

退避したユーザー情報ファイルを本装置に戻して、ユーザー情報を復元します。



- ユーザー情報を復元すると、復元したときに存在したユーザー情報がすべて上書きされ、退避時点のメールアドレス台帳、FAX 番号台帳、および読み取り設定に戻ります。
- ユーザー情報の復元中に、電源ボタンを 4 秒以上押さないでください。本装置が正常に動作しなくなる可能性があります。



ヒント ユーザーログは復元されません。



## 1. [メンテナンス] ボタンを押します。

## 2. [ユーザー情報操作] ボタンを押します。

⇒ 「ユーザー情報操作」画面が表示されます。

## 3. 復元するユーザー情報のバックアップファイルを指定します。

[参照] ボタンでファイルの指定ができます。

## 4. [復元] ボタンを押します。

⇒ ユーザー情報を上書きする旨の確認メッセージが表示されます。

## 5. [はい] ボタンを押します。

⇒ ユーザー情報が復元され、復元が完了した旨のメッセージが表示されます。

## 6. [OK] ボタンを押します。

---

## ■ ユーザー情報を削除します

すべてのユーザー情報を削除します。



ユーザー情報を削除すると元に戻すことはできません。



1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [ユーザー情報操作] ボタンを押します。  
⇒ 「ユーザー情報操作」画面が表示されます。
3. [削除] ボタンを押します。  
⇒ 削除確認の画面が表示されます。
4. [はい] ボタンを押します。  
⇒ ユーザー情報が削除されます。

## 4.10.2 システム設定情報の保守を行います AdminTool

管理者が設定した本装置のシステム設定情報を CSV 形式で保存したり、退避、復元、および初期値に戻すことができます。

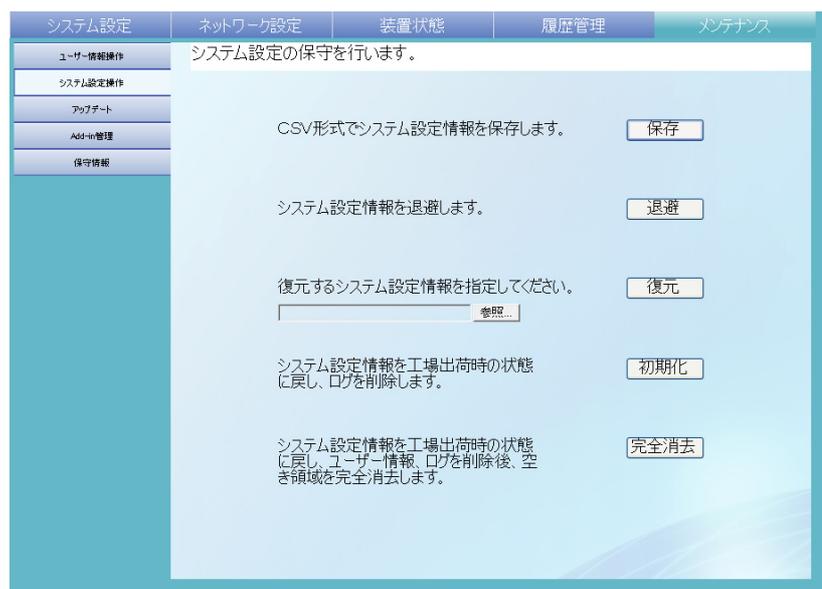
### ■ システム設定情報を CSV 形式で保存します

CSV 形式で保存したシステム設定情報は、設定を表計算ソフトなどで参照できます。CSV 形式のシステム設定情報は、以下の形式で保存されます。

" 機能名 "," 設定項目名 "," 設定値 "

ファイル名の初期値は「Cofiguration\_download.csv」です。

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [システム設定操作] ボタンを押します。  
⇒「システム設定操作」画面が表示されます。
3. [保存] ボタンを押します。



⇒「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

4. [保存] ボタンを押します。



ヒント

保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認してから [保存] ボタンを押してください。十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。

⇒「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5. 保存場所とファイル名を指定します。  
ファイルの保存形式は CSV です。
6. [保存] ボタンを押します。  
⇒ 本装置のシステム設定情報がダウンロードされます。

## ■ システム設定情報を退避します

管理者が設定した本装置のシステム設定情報を退避します。  
退避ファイルを使ってシステム設定情報を復元することができます。万一に備え、定期的に退避を行ってください。

ファイル名の初期値は「SystemSettingsFile」です。



システム設定情報にネットワーク共有プリンタの設定内容は含まれません。



1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [システム設定操作] ボタンを押します。  
⇒ 「システム設定操作」画面が表示されます。
3. [退避] ボタンを押します。  
⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。
4. [保存] ボタンを押します。



保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認してから [保存] ボタンを押してください。十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。



⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5. 保存場所とファイル名を指定します。  
ファイル名は、退避した日付やスキャナ名がわかるファイル名にすることをお勧めします。
6. [保存] ボタンを押します。  
⇒ 本装置のシステム設定情報が退避されます。



システム設定情報の退避ファイルは、内容を変更しないでください。退避ファイルの内容を変更して復元した場合は、本装置が正常に動作しなくなる可能性があります。

## ■ システム設定情報を復元します

退避したシステム設定情報ファイルを本装置に戻して、システム設定情報を復元します。

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [システム設定操作] ボタンを押します。  
⇒ 「システム設定操作」画面が表示されます。
3. 復元するシステム設定のバックアップファイルを指定します。  
[参照] ボタンでファイルの指定ができます。
4. [復元] ボタンを押します。  
⇒ システム設定情報の復元確認メッセージが表示されます。
5. [はい] ボタンを押します。  
⇒ システム設定情報が復元されます。システム設定情報の復元完了後、本装置が再起動されます。



システム設定情報の復元中に電源ボタンを4秒以上押さないでください。  
本装置が正常に動作しなくなる可能性があります。



システム設定情報が復元されると本装置は再起動されるため、Admin Tool の接続が切れます。設定を継続して行うには、装置起動後、時間をおいてから Admin Tool で再接続してください。  
退避時の IP アドレスおよびスキャナ名と、復元する直前の IP アドレスおよびスキャナ名が違う場合は、本装置で設定内容確認して、Admin Tool で再接続してください。

## ■ システム設定情報を工場出荷時の状態に戻します

管理者が各画面で設定したシステム設定情報およびシステムログを初期化して、工場出荷時の状態に戻します。

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [システム設定操作] ボタンを押します。  
⇒ 「システム設定操作」画面が表示されます。
3. 以下のどちらかの操作をします。
  - システム設定情報を工場出荷時の状態に戻す場合、「システム設定情報を工場出荷時の状態に戻し、ログを削除します。」の[初期化] ボタンを押します。
  - システム設定情報を工場出荷時の状態に戻して、ユーザー情報およびログを削除して、空き領域を完全に消去する場合、「システム設定情報を工場出荷時の状態に戻し、ユーザー情報、ログを削除後、空き領域を完全消去します。」の[完全消去] ボタンを押します。  
⇒ 確認の画面が表示されます。
4. [はい] ボタンを押します。  
⇒ [初期化] ボタンを押した場合、システム設定情報が工場出荷時の状態に戻り、Add-in およびログが削除されます。  
[完全消去] ボタンを押した場合、システム設定情報、ユーザー情報、Add-in、およびログが初期化されます。  
⇒ 工場出荷時の状態に戻ったあと、スキャナが再起動されます。



工場出荷時の状態に戻している間、電源ボタンを4秒以上押さないでください。  
本装置が正常に動作しなくなる可能性があります。



工場出荷時の状態に戻ることで、IPアドレスやスキャナ名などの設定が必要になります。「[システム設定メニューでの設定](#)」(57ページ)以降を参照して再設定を行ってください。



### 4.10.3 アップデートします AdminTool

本装置のシステム、セキュリティ、およびオプション機能をアップデートします。

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [アップデート] ボタンを押します。  
⇒「アップデート」画面が表示されます。

3. アップデート用のファイルを指定します。  
[参照] ボタンでファイルの指定ができます。
4. [アップロード] ボタンを押します。  
⇒「現システム版数」と「新システム版数」が表示されます。



オプション機能のアップデート、またはオプション機能を含むシステムのアップデートの場合、以下のような画面が表示されます。

システム設定	ネットワーク設定	装置状態	履歴管理	メンテナンス				
ユーザー情報操作	システムをアップデートします。							
システム設定操作								
アップデート								
Address管理								
保守情報								
	現システム版数	<input type="text"/>						
	アップデート実施日付	<input type="text" value="09/08/"/>						
	新システム版数	<input type="text"/>						
	オプション機能	<table border="1"> <tr> <td>オプション機能</td> <td>有効</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>			オプション機能	有効		
オプション機能	有効							
	<p>アップデートを実行するとシステムを再起動します。 アップデートを行いますか？</p> <p>実行:アップデートを実行します。しばらくしてから再度接続してください。 キャンセル:前の画面に戻ります。</p>							
	<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="キャンセル"/>							

## 5. [実行] ボタンを押します。

⇒ アップデートが開始されます。

アップデート完了後、本装置が再起動されます。



- アップデート中は操作を行わないでください。
- アップデート中に電源ボタンを4秒以上押さないでください。本装置が正常に動作しなくなる可能性があります。



Admin Tool からアップデートを行った場合、接続が切れます。設定を継続して行うには、装置起動後、時間をおいてから Admin Tool で再接続してください。

#### 4.10.4 アップデートの公開をチェックします タッチパネル AdminTool

スキヤナのシステム、セキュリティ、およびオプション機能のアップデートが、アップデート公開サーバから公開されているかどうかをチェックします。また、アップデートが公開されていた場合に、管理者にメールで通知するかどうかを設定します。



アップデートの公開をチェックするときにプロキシサーバを使用する場合、必要に応じて HTTP プロキシサーバを設定します。設定については、「[4.7.7 プロキシサーバを設定します](#)」（102 ページ）を参照してください。

### ■ 今すぐにアップデートの公開をチェックします

PFU のアップデート公開サーバに対して、アップデートが公開されているかを今すぐチェックします。

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [アップデート] ボタンを押します。  
⇒ 「アップデート」画面が表示されます。

3. [アップデートチェック] ボタンを押します。  
⇒ アップデートチェックが行われます。  
適用する必要があるアップデートがあった場合は、メッセージが表示されます。必要に応じて、アップデートを適用してください。

---

## ■ スキャナの起動時にアップデートの公開をチェックします

スキャナを起動するたびに、アップデートをチェックするように設定します。

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [アップデート] ボタンを押します。  
⇒ 「アップデート」画面が表示されます。
3. 「起動時にアップデートチェックを行う。」チェックボックスをチェックします。  
⇒ 最新のアップデートが公開されている場合、アップデートの情報がシステムログに出力されます。

## ■ アップデートの公開を管理者にメール通知します

最新のアップデートが公開されたら、管理者にメールで通知されるように設定します。

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [アップデート] ボタンを押します。  
⇒ 「アップデート」画面が表示されます。
3. 「起動時にアップデートチェックを行う。」チェックボックスをチェックします。
4. 「最新バージョンが公開されている場合、メール通知する。」チェックボックスをチェックします。  
⇒ 最新のアップデートが公開されると、「このメールはネットワークスキャナXXXXXXXXXXからのイベント通知です。」(XXXXXXXXXXはスキャナ名)というタイトルのメールが、「異常通知先」画面で設定したメールアドレスに送信されるようになります。通知先のメールアドレスの設定については、「[4.7.16 異常通知先を設定します](#)」(154 ページ)を参照してください。

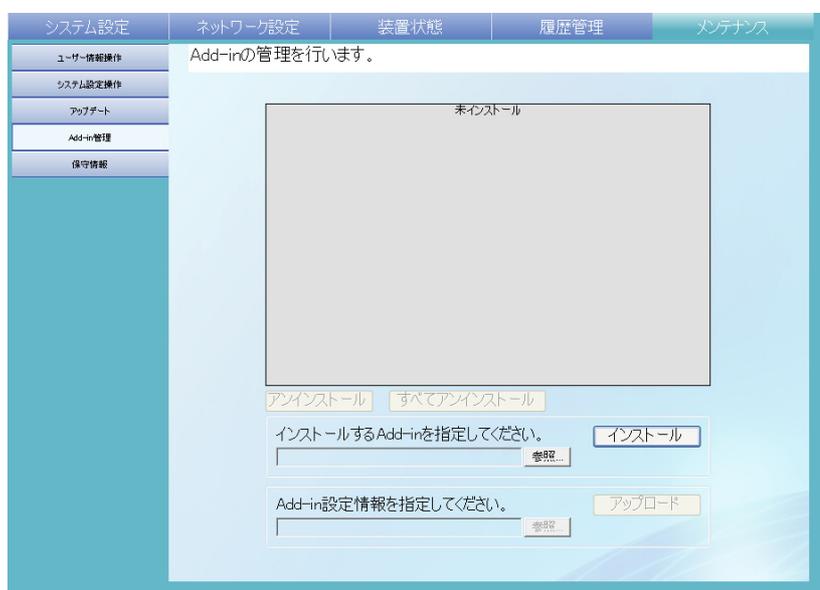
### 4.10.5 Add-in を管理します

Add-in とは、fi-6010N SDK（開発キット）を使用して作成したアプリケーションです。Add-in をインストール/アンインストールする方法、Add-in の環境設定ファイルをアップロードする方法を説明します。

#### ■ Add-in をインストールします AdminTool

Add-in は、最大 6 個までインストールできます。

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [Add-in 管理] ボタンを押します。  
⇒ 「Add-in 管理」画面が表示されます。



3. 「インストールする Add-in を指定してください。」の [参照] ボタンを押して、Add-in インストール用のファイルを指定します。
4. [インストール] ボタンを押します。  
⇒ Add-in がインストールされて、一覧に Add-in 名が表示されます。

## ■ Add-in をアンインストールします AdminTool

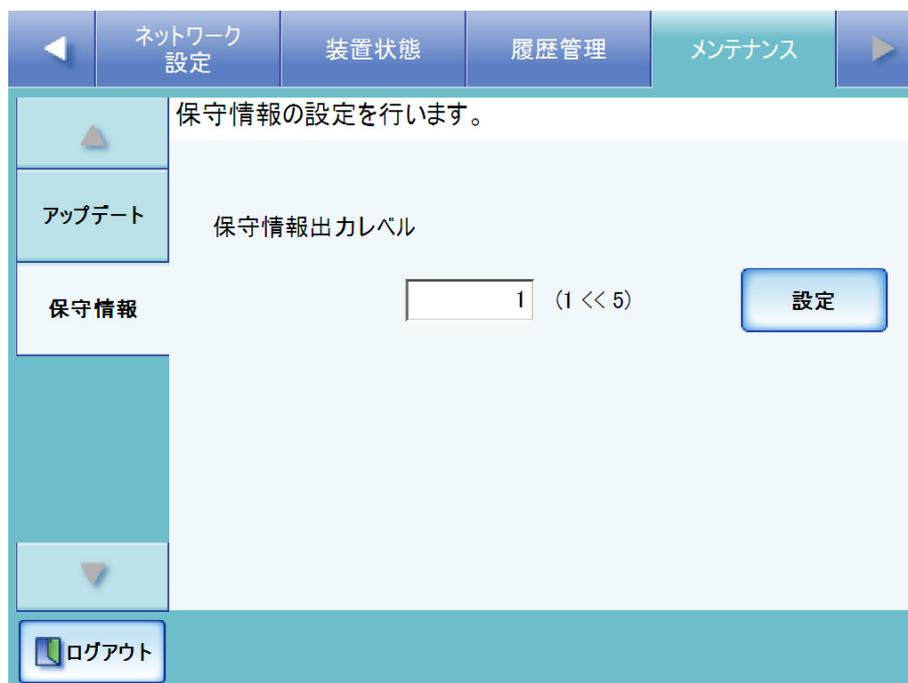
1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [Add-in 管理] ボタンを押します。  
⇒ 「Add-in 管理」画面が表示されます。
3. 以下のどちらかの操作をします。
  - 1つの Add-in をアンインストールする場合、一覧から Add-in を選択して、[アンインストール] ボタンを押します。
  - 一覧に表示されている Add-in をすべてアンインストールする場合、[すべてアンインストール] ボタンを押します。⇒ アンインストール確認の画面が表示されます。
4. [はい] ボタンを押します。  
⇒ Add-in がアンインストールされて、一覧から Add-in 名が削除されます。

## ■ Add-in の環境設定ファイルをアップロードします AdminTool

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [Add-in 管理] ボタンを押します。  
⇒ 「Add-in 管理」画面が表示されます。
3. 複数の Add-in がインストールされている場合、対象とする Add-in を一覧から選択します。
4. 「Add-in 設定情報を指定してください。」の [参照] ボタンを押して、アップロードする環境設定ファイルを指定します。
5. [アップロード] ボタンを押します。  
⇒ Add-in の環境設定ファイルが、スキャナのアドイン管理用のフォルダに格納されます。

### 4.10.6 保守情報の採取レベルを設定します タッチパネル AdminTool

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [保守情報] ボタンを押します。  
⇒ 「保守情報」画面が表示されます。



3. 保守情報として出力するレベルを指定します。  
初期値は 1 です。  
この値を大きくするほど、詳細に保守情報が出力されますが、性能が低下します。  
値の変更は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターの指示に従ってください。
4. [設定] ボタンを押します。  
⇒ 保守情報のレベルが設定されます。

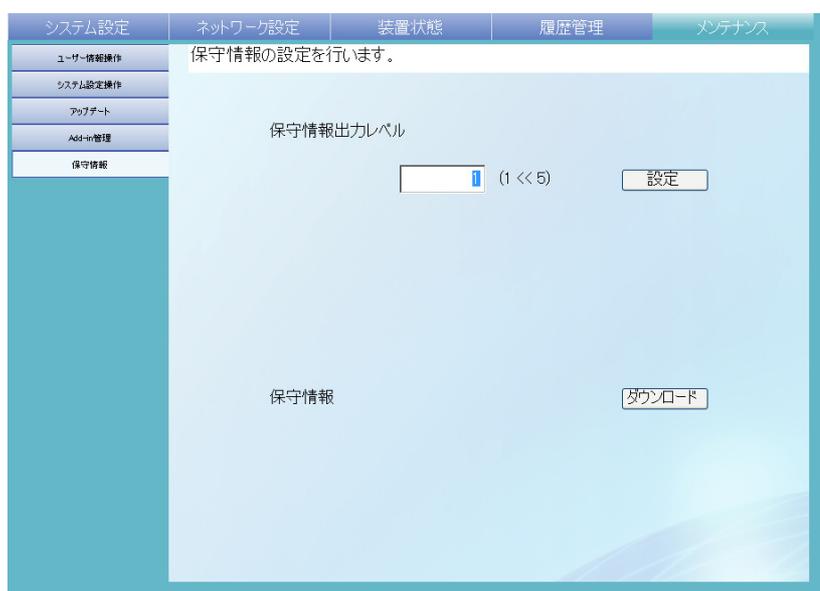


「保守情報出力レベル」を 5 にした場合は、メール送信先などの個人情報のデータが含まれます。取り扱いには十分注意してください。

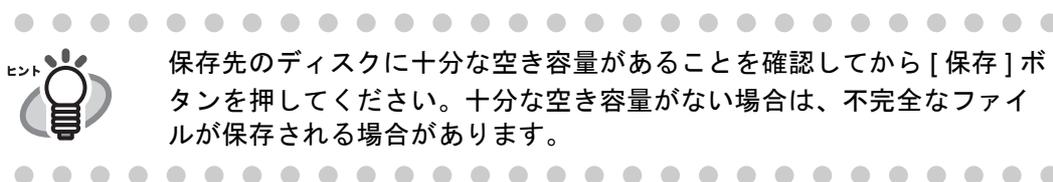
## 4.10.7 保守情報を採取します Admin Tool

本装置をはじめて導入する際や本装置の運用中になんらかのトラブルが発生した際に、原因を究明するために、本装置が保持している保守情報を採取することができます。採取した保守情報は、本装置を修理に出すときに、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターへ送ります。

1. [メンテナンス] ボタンを押します。
2. [保守情報] ボタンを押します。  
⇒ 「保守情報」画面が表示されます。



3. [ダウンロード] ボタンを押します。  
⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。
4. [保存] ボタンを押します。



⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5. 保存場所とファイル名を指定します。
6. [保存] ボタンを押します。  
⇒ 保守情報が採取されます。

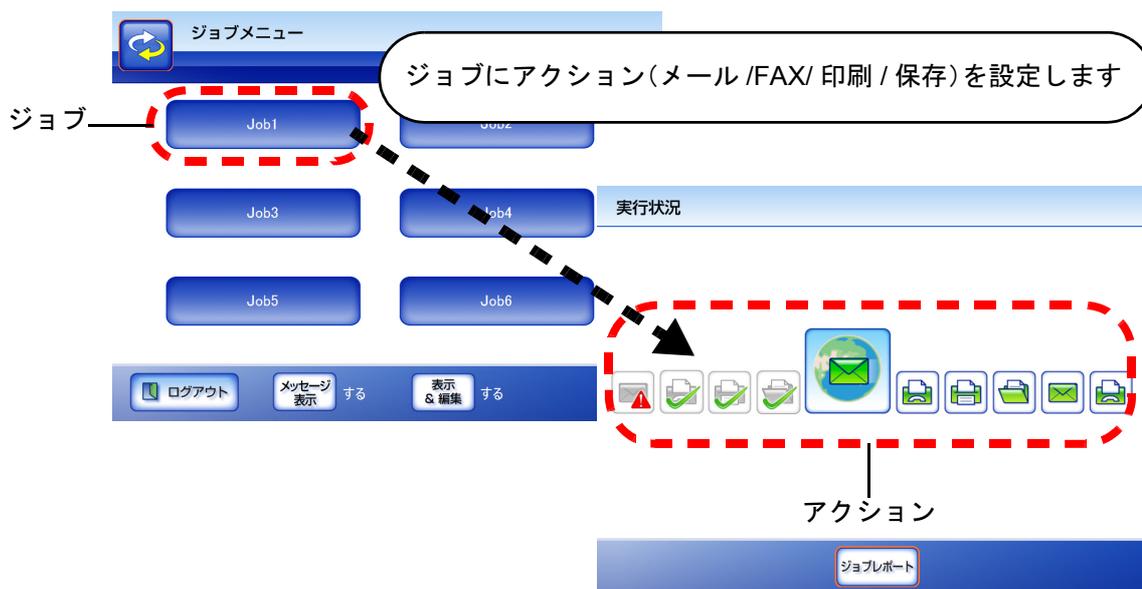
## 4.11 ジョブ設定メニューでの設定

ジョブ設定メニューで、ジョブ設定、ジョブメニュー設定、ジョブグループ設定を行うことで、利用者がログインしたときに、各自に割り当てられたジョブメニューが表示され、ジョブを実行できます。

### 1. ジョブ設定

ジョブとは、読み取り時の設定やアクション（メール/FAX/印刷/保存）などの一連の動作を設定したものです。

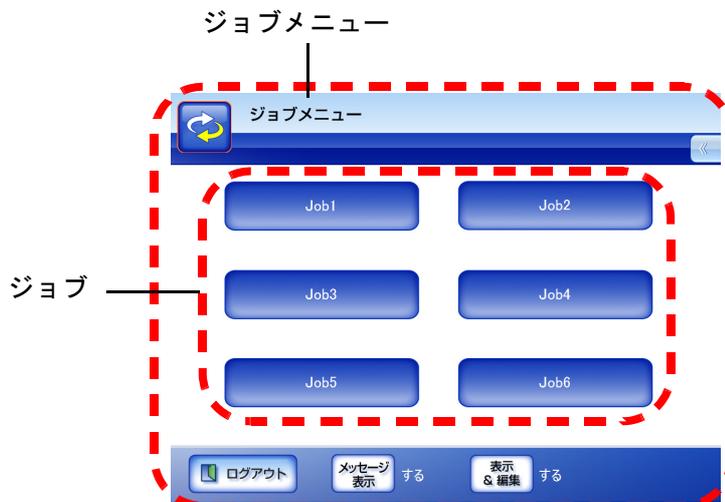
たとえば、スキャン画像をメールで送信してフォルダに保存する動作を、1つのジョブとして設定できます。



### 2. ジョブメニュー設定

ジョブメニューとは、設定したジョブをメニューに配置したものです。

たとえば、スキャン画像をメールで送信してフォルダに保存するジョブをジョブボタンに割り当てて、ジョブメニューとして設定できます。

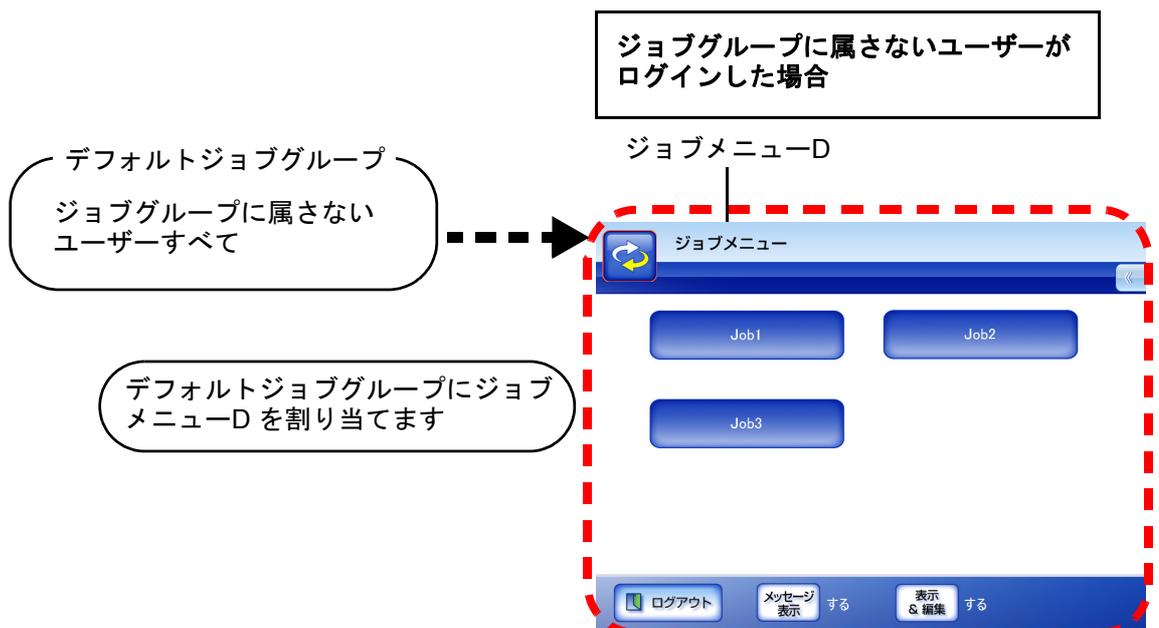
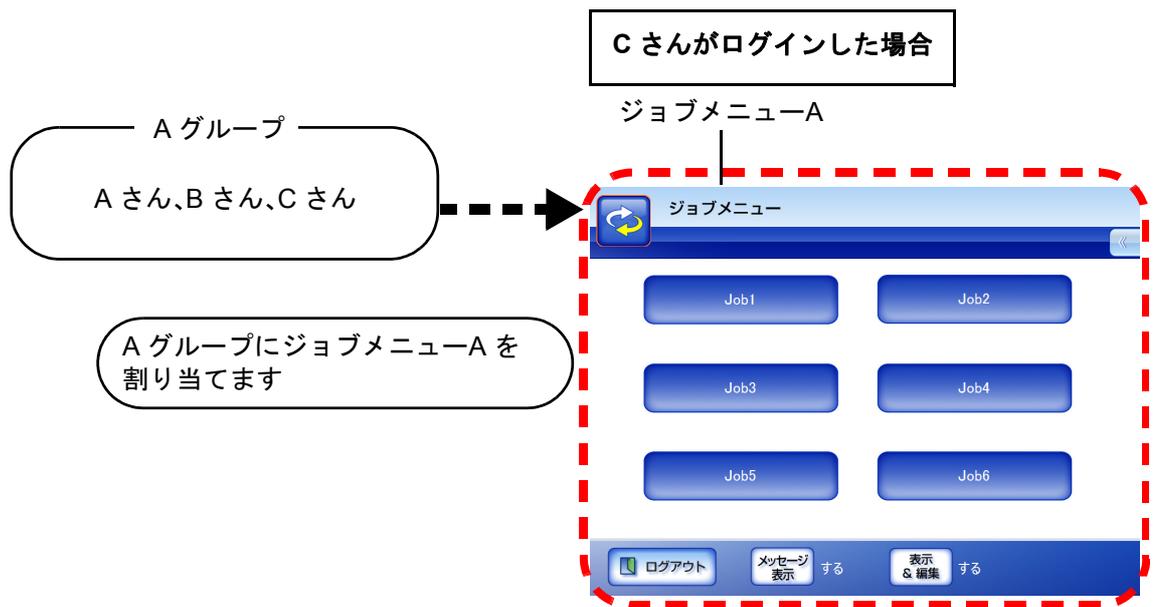


### 3. ジョブグループ設定

ジョブグループとは、同じジョブメニューを使用するユーザーの集まりのことです。

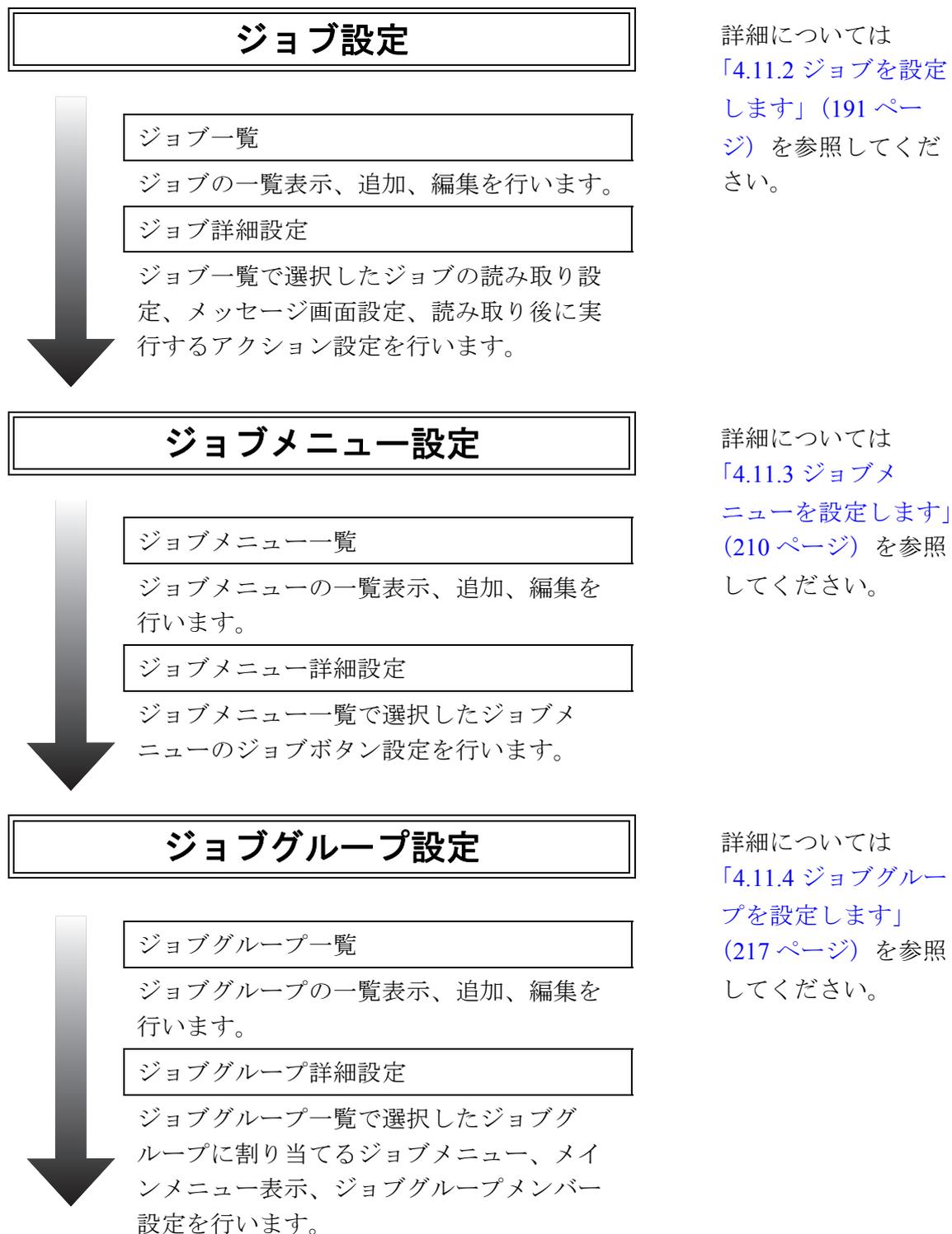
ジョブグループに属しているユーザーが共通で使用できるジョブメニューを設定します。どのジョブグループにも属さないユーザーが使うジョブメニューはデフォルトジョブグループに設定します。

たとえば、AグループにジョブメニューAを割り当て、デフォルトジョブグループにジョブメニューDを割り当てます。Aグループに属しているCさんはジョブメニューAを使用できるようになります。ジョブグループに属さないユーザーはジョブメニューDを使用できるようになります。



### 4.11.1 ジョブ設定の流れ

ジョブを利用する場合に管理者が行うジョブ設定の流れは、以下のようになります。



---

## ジョブ実行

- 「ネットワーク設定」の「集中管理サーバ」画面で「ジョブ設定共有」を有効にして、Central Admin Consoleの「共有ジョブ設定」画面で共有ジョブ設定を公開すると、Central Admin Consoleの「ジョブ設定編集」画面で設定した共有ジョブが実行されます。
- 「ネットワーク設定」の「集中管理サーバ」画面で「ジョブ設定共有」を無効にすると、Admin Toolのジョブ設定メニューで設定したジョブが実行されます。

詳細については  
[「6.14 ジョブを実行します」\(357 ページ\)](#)  
を参照してください。

## 4.11.2 ジョブを設定します AdminTool Central Admin Console

読み取り時の設定やアクション（メール / FAX / 印刷 / 保存）などの一連の動作をジョブとして設定します。

ジョブは最大 1000 個まで設定することができます。

### ■ ジョブを追加します

ジョブを追加する方法について説明します。

#### 1. [ジョブ設定] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブ一覧」画面が表示されます。

#### 2. [追加] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブ詳細設定」画面が表示されます。

#### 3. 「ジョブ名」、「説明」を設定します。

「ジョブ名」で、ジョブの名前を入力します。最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できます。

「説明」で、ジョブに対するコメントを入力します。最大文字数は 256 文字です。半角および全角文字が使用できます。

4. 「共通設定」の左側にある [▶] ボタンを押して、ジョブを実行したときの動作を設定します。

● **メッセージ画面設定**

ジョブを実行したときに、ジョブの内容を確認するための「ジョブメッセージ」画面に表示する内容を設定します。

「ジョブメッセージ」画面については、「[6.14.1 「ジョブメッセージ」画面の表示を設定します](#)」(361 ページ)を参照してください。

「ジョブメッセージ」画面に表示するメッセージのタイトルとメッセージ本文を入力してください。

タイトルの最大文字数は 24 文字です。半角および全角文字が使用できます。

メッセージ本文の最大文字数は 256 文字です。半角および全角文字が使用できます。



メッセージ画面設定で表示されるメッセージのレイアウトと、本装置の「ジョブメッセージ」画面に表示されるレイアウトは異なる場合があります。本装置でレイアウトを確認してメッセージを設定してください。



- 「メッセージ画面設定」で設定したタイトルとメッセージを表示するかどうかは、「ジョブメニュー」画面の [メッセージ表示] ボタンの「する」と「しない」の選択に従います。
- 「メッセージ画面設定」にタイトルおよびメッセージのどちらも設定していない場合、「ジョブメニュー」画面の [メッセージ表示] ボタンを「する」に選択しても「ジョブメッセージ」画面は表示されません。



- 共通ファイル名

ジョブ実行時に、スキャン画像をメール送信 / フォルダ保存するときのファイル名を変更できるようにする場合、「ジョブごとに変更可能」のチェックボックスをチェックします。

また、スキャン画像をメール送信 / フォルダ保存するときのファイル名の形式を設定します。



[設定] ボタンを押して、「共通ファイル名設定」画面からファイル名を指定します。

「フォルダ」は、スキャン画像をフォルダに保存する場合のみ有効となります。

設定値の詳細については、「[4.6.9 保存ファイル名を設定します](#)」(75 ページ)を参照してください。

- スキャン枚数チェック

読み取る用紙の枚数がジョブごとに決まっている場合などに、ジョブ実行時に、決められた枚数の読み取りが行われたかをチェックするかどうかを設定します。

- [する]を選択した場合

ジョブ実行時に読み取り枚数をチェックします。

- 「チェック枚数」で、チェックする読み取り枚数を1～999の範囲で入力します。



- ジョブのアクションに[印刷]が含まれる場合、設定できる読み取り枚数は「1～999」ではなく、「1～100」の範囲になります。
- 読み取りできる最大ページ数は印刷の場合は100ページ、それ以外の場合は999ページです。両面読み取りを行う場合、これらの最大ページ数を超えない範囲で、読み取り枚数を設定してください。



- ジョブ実行時に、「読み取り枚数入力」画面を表示して、読み取り枚数を変更できるようにする場合、「ジョブごとに変更可能」のチェックボックスをチェックします。
- 読み取りが完了したら、読み取り枚数を確認する画面表示する場合、「読み取り枚数を確認する」のチェックボックスをチェックします。

- [しない]を選択した場合

ジョブ実行時に読み取り枚数をチェックしません。

- 異常時のジョブの継続

ジョブ実行時にエラーが発生した場合、以降のアクションを実行してからジョブを終了するかどうかを設定します。

- [する]を選択した場合

ジョブ実行時にエラーが発生した場合、以降のアクションを実行してからジョブを終了します。

- [しない]を選択した場合

ジョブ実行時にエラーが発生した場合、以降のアクションを実行せずにジョブを終了します。

- 正常時の終了確認

ジョブ実行後に、すべての処理が正常に終了した場合、ジョブが終了したことを確認できるようにするかどうかを設定します。

- [する]を選択した場合

ジョブが正常終了した場合、「実行状況」画面を表示して、ジョブが終了したことを確認できるようにします。

- [しない]を選択した場合

ジョブが正常終了した場合、すぐに「ジョブメニュー」画面に戻ります。

## 5. 「読み取り設定」の左側にある [▶] ボタンを押して、読み取り設定をします。

キャリアシート、カラーモード、用紙サイズなど読み取りに関する設定をします。設定値の詳細については、「6.9 読み取り設定をします」(311 ページ)を参照してください。

読み取り設定		
ファイル	出力ファイル形式	<input checked="" type="radio"/> PDF <input type="radio"/> TIFF <input type="radio"/> MTIFF <input type="radio"/> JPEG <small>※ FAXでは「TIFF」が使用されます。 ※ 印刷では「JPEG」が使用されます。</small>
	検索可能なPDF出力	しない 検索可能なPDFページ指定 検索ページ <input type="text"/> ~ <input type="text"/> テキスト認識する言語 日本語
	PDFパスワードロック	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する PDFパスワード <input type="text"/> 確認パスワード <input type="text"/>
	圧縮	推奨
	キャリアシート	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> A3 <input type="radio"/> B4 <input type="radio"/> 11 × 17 インチ
基本	カラーモード	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> カラー <input type="radio"/> グレースケール <input type="radio"/> 白黒 <small>※ FAXでは「白黒」が使用されます。</small>
	用紙サイズ	自動 カスタム用紙サイズ 幅 <input type="text"/> 2 inch <input type="text"/> 50.8 mm 長さ <input type="text"/> 2.91 inch <input type="text"/> 74 mm 長尺帳票指定 <input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
	解像度	<input type="radio"/> 150dpi <input checked="" type="radio"/> 200dpi <input type="radio"/> 300dpi <input type="radio"/> 600dpi
	読み取り面	<input type="radio"/> 片面 <input checked="" type="radio"/> 両面
	明るさ	推奨
画質	コントラスト	推奨
	シャープネス	しない
	ドロップアウトカラー	しない
	裏写り除去	中間
拡張	白紙ページ削除	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する
	原稿向き補正	自動 <input checked="" type="radio"/> 長辺とじ <input type="radio"/> 短辺とじ <small>※ 印刷では「しない」が使用されます。</small>
	マルチフィード検出	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> 重なり検出 <input type="radio"/> 長さ検出 <input type="radio"/> 重なりと長さ検出
	枠消し	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
		枠消し幅 上下 <input type="text"/> 0 mm (0 - 50) 左右 <input type="text"/> 0 mm (0 - 50)

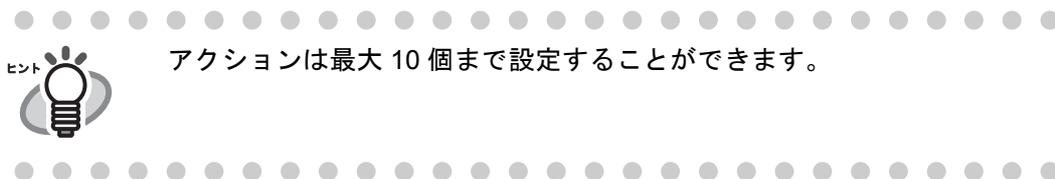
## 6. アクションを設定します。

「アクション設定」のリストボタンを押すと、以下のアクションを選択できます。

- メール
- FAX
- 印刷
- 保存

[削除] ボタンを押すと、アクションの削除確認画面が表示され、[OK] ボタンを押すと、削除されます。

[挿入] ボタンを押すと、現在のアクションの前に、アクションが挿入されます。



アクションは最大 10 個まで設定することができます。

## 7. 手順 6 でアクションに [メール] を選択した場合、メール送信に関する設定をします。

設定値の詳細については、「6.4 スキャン画像をメールで送信します」(259 ページ)を参照してください。

なお、「宛先」および「送信者」で [ジョブ実行者のメールアドレス] を選択すると、ジョブを実行したとき、ログインしたユーザーのメールアドレスが設定されます。ただし、以下の場合、ジョブ実行時にエラーとなります。

- ログインしたユーザーのメールアドレスがない場合
- guest アカウントでログインした場合



[参照] ボタンを押して、「LDAP 一覧」画面からメールアドレスを指定することができます。

以下で設定されている内容が初期表示されます。

- Admin Tool の場合  
「メールアドレス LDAP サーバ」画面
- Central Admin Console の場合  
「Central Admin サーバ動作環境設定」画面の「LDAP サーバ設定」  
ただし、SSL 通信を使用するかどうかについては、各 LDAP サーバ設定に従って動作します。  
LDAP 一覧を絞り込みたい場合、「LDAP 一覧を絞り込みます」(206 ページ)を参照してください。



[設定] ボタンを押して、「添付ファイル名設定」画面からファイル名を指定します。

設定値の詳細については、「[4.6.10 添付ファイル名を設定します](#)」(79 ページ) を参照してください。

## 8. 手順6 でアクションに [FAX] を選択した場合、FAX 送信に関する設定をします。

設定値の詳細については、「6.5 スキャン画像を FAX で送信します」(276 ページ)を参照してください。

なお、「結果通知先メールアドレス」で[ジョブ実行者のメールアドレス]を選択すると、ジョブを実行したとき、ログインしたユーザーのメールアドレスが設定されます。ただし、以下の場合、ジョブ実行時にエラーとなります。

- ログインしたユーザーのメールアドレスがない場合
- guest アカウントでログインした場合



[参照] ボタンを押して、「LDAP 一覧」画面からメールアドレスを指定することができます。

以下で設定されている内容が初期表示されます。

- Admin Tool の場合  
「メールアドレス LDAP サーバ」画面
- Central Admin Console の場合  
「Central Admin サーバ動作環境設定」画面の「LDAP サーバ設定」  
ただし、SSL 通信を使用するかどうかについては、各 LDAP サーバ設定に従って動作します。  
LDAP 一覧を絞り込みたい場合、「LDAP 一覧を絞り込みます」(206 ページ)を参照してください。

9. **手順6** でアクションに [印刷] を選択した場合、印刷に関する設定をします。  
 設定値の詳細については、「6.6 スキャン画像を印刷します」(285 ページ) を参照してください。

 [参照] ボタンを押して、「プリンター一覧」画面からネットワーク共有プリンタを指定します。

ネットワーク共有プリンタ名	ネットワーク共有プリンタのパス名
FUJITSUX.2(白黒)	\\DOMAIN01\SERVER\FUJITSUX.2(Black&White)
FUJITSUX.2(カラー)	\\DOMAIN01\SERVER\FUJITSUX.2(RGB Color)
FUJITSUX.2(両面A4)	\\DOMAIN01\SERVER\FUJITSUX.2(Duplex A4)
Printer02	\\DOMAIN01\SERVER\FUJITSUX
Printer01	\\DOMAIN01\SERVER\FUJITSUX2

10. 手順 6 でアクションに [ 保存 ] を選択した場合、フォルダ保存に関する設定をします。  
「処理結果ファイル」以外の設定値の詳細については、「6.7 スキャン画像をフォルダに保存します」(298 ページ) を参照してください。

● 処理結果ファイル

スキャン画像をフォルダに保存するジョブが実行されたときに、ジョブの処理結果を XML 形式ファイル (処理結果ファイル) として、スキャン画像を保存するフォルダに出力するかどうかを設定します。

● [ 出力する ] を選択した場合

スキャン画像を保存するときに、処理結果ファイルも出力します。出力する処理結果ファイル名は、保存したスキャン画像のファイル名 (拡張子を含む) に、拡張子「.xml」が付いた形式となります。たとえば、保存したスキャン画像のファイル名が「abc.pdf」の場合、「abc.pdf.xml」となります。TIFF または JPEG で複数のファイルを保存する場合、ファイル名のあとに連番が付加され、「abc-0001.tif.xml」「abc-0001.jpg.xml」のようになります。



- 同名の処理結果ファイルがすでに存在した場合に、上書き保存するかどうかは、「保存詳細設定」の「上書き」で設定します。
- 読み取りが失敗した要因によっては、処理結果ファイルも出力できない場合があります。
- TIFF または JPEG で複数のファイルを保存する場合、処理結果ファイルは、最初に出力されたファイル名に「.xml」が付加されて出力されます。保存した複数のファイル名は、処理結果ファイルの「FileName」に出力されます。

● [ 出力しない ] を選択した場合

スキャン画像を保存するときに、処理結果ファイルを出しません。処理結果ファイルの詳細は、以下のとおりです。

- ファイルの形式は、XML 形式です。
- 文字コードは UTF-8 です。
- 処理結果ファイルの内容は、以下のとおりです。

項目名	出力内容
ResultFileVersion	V1.0
ScannerName	スキャナ名

項目名	出力内容
User	ユーザー名
Date	保存完了日付
Time	保存完了時刻
Result	保存処理結果
ResultCode	結果コード
ResultDescription	結果詳細
Pages	保存ページ数
SheetCount_Job	ジョブで指定された読み取り枚数
SheetCount_User	ユーザーが指定した読み取り枚数
SheetCount_Scan	実際に読み取った用紙の枚数
FileName	保存ファイル名（複数ファイル有り）
Path	保存ファイルパス名


**[参照]** ボタンを押して、「フォルダー一覧」画面からネットワーク共有フォルダを指定します。



ネットワーク共有フォルダ名	ネットワーク共有フォルダのパス名
Folder01	\\DOMAIN01\SERVER\Folder01
Folder02	\\DOMAIN01\SERVER\Folder
Folder03	\\DOMAIN01\SERVER\Catalog
Folder04	\\DOMAIN01\SERVER\Letter
Folder05	\\DOMAIN01\SERVER\Photo



ヒント

[設定] ボタンを押して、「保存ファイル名設定」画面からファイル名を指定します。

設定値の詳細については、「4.6.9 保存ファイル名を設定します」(75 ページ) を参照してください。

11. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブ一覧」画面にジョブが追加されます。

---

## ■ ジョブを参照して追加します

ジョブを参照して追加する方法について説明します。

1. [ジョブ設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブ一覧」画面が表示されます。
2. 参照するジョブを選択します。
3. [参照して追加] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブ詳細設定」画面が表示されます。
4. ジョブ詳細設定の内容を参照して設定します。
5. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブ一覧」画面にジョブが追加されます。

## ■ ジョブを編集します

ジョブを編集する方法について説明します。

1. [ジョブ設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブ一覧」画面が表示されます。
2. 変更するジョブを選択します。
3. [編集] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブ詳細設定」画面が表示されます。
4. ジョブ詳細設定の内容を変更します。
5. [OK] ボタンを押します。  
⇒ ジョブの内容が変更されます。

## ■ ジョブを削除します

ジョブを削除する方法について説明します。

1. [ジョブ設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブ一覧」画面が表示されます。
2. 削除するジョブを選択します。
3. [削除] ボタンを押します。  
⇒ 削除確認画面が表示されます。
4. [OK] ボタンを押します。  
⇒ ジョブが削除されます。

## ■ ジョブを絞り込みます

ジョブを絞り込む方法について説明します。

1. [ジョブ設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブ一覧」画面が表示されます。
2. 「ジョブ名」と「説明」を入力します。  
絞り込むジョブの「ジョブ名」と「説明」の一部またはすべてを入力します。  
「ジョブ名」の最大文字数は 64 文字です。  
「説明」の最大文字数は 256 文字です。  
半角および全角文字が使用できます。
3. [絞り込み] ボタンを押します。  
⇒ 絞り込み結果が表示されます。



ヒント

絞り込み結果の表示を解除したい場合、「ジョブ名」と「説明」をすべて削除して [絞り込み] ボタンを押してください。

## ■ LDAP 一覧を絞り込みます

「LDAP 一覧」画面で、LDAP 一覧を絞り込む方法について説明します。

1. 「ユーザー名」のリストボタンを押して、ユーザー名・メールアドレスの一覧に表示するユーザー名の表示形式を選択します。
2. 「検索ベース」に LDAP サーバと LDAP 検索時の基点になる文字列を入力します。  
ここで入力した文字列の配下にある LDAP のエントリが検索対象になります。  
最大文字数は半角 520 文字です。
3. 「絞り込み方法」のリストボタンを押して、絞り込み方法を選択します。  
初期値は、[ 前方一致 (abc...) ] です。

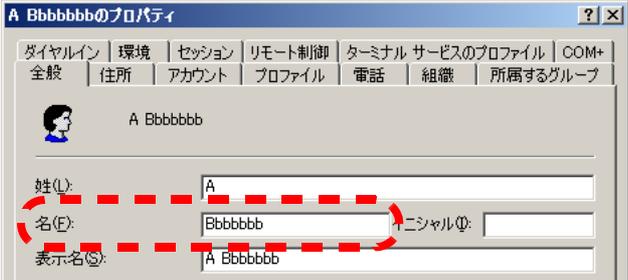
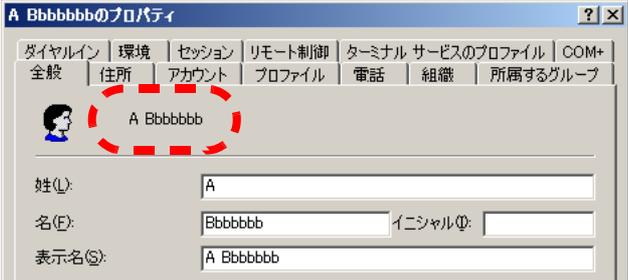
絞り込み方法	説明	入力例	一致例
前方一致 (abc...)	手順 4 で入力する絞り込み文字列から始まる絞り込み対象が絞り込まれます。	abc	abc、abc1、abcd など
部分一致 (...abc...)	手順 4 で入力する絞り込み文字列を含んでいる絞り込み対象が絞り込まれます。	abc	abc、abc1、xabc、xabcy など
後方一致 (...abc)	手順 4 で入力する絞り込み文字列で終わる絞り込み対象が絞り込まれます。	abc	abc、1abc、xabc など

4. 絞り込み文字列を入力します。  
絞り込むユーザー名とメールアドレスの一部またはすべてを入力します。  
ユーザー名とメールアドレスの最大文字数は 256 文字です。  
ユーザー名とメールアドレスのどちらも入力した場合は、どちらも含んでいる情報が検索されます。

## 5. 絞り込み対象を選択します。

絞り込み対象が複数選択されている場合は、選択した対象のいずれかを含んでいる情報が検索されます。

- ログイン LDAP サーバのサーバ種別が [Active Directory] または [Active Directory Global Catalog] の場合

チェックボックス名	Active Directory/Active Directory Global Catalog における絞り込み対象項目
名	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの名を絞り込みます。</p> 
姓	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの姓を絞り込みます。</p> 
共通名	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの共通名を絞り込みます。</p>  <p>この項目は「Active Directory ユーザーとコンピュータ」で設定することができます。Active Directory グループ名で絞り込みを行う場合は、「共通名」のチェックボックスをチェックしてください。</p>

チェックボックス名	Active Directory/Active Directory Global Catalog における絞り込み対象項目
表示名	LDAP サーバに登録されているユーザーの表示名を絞り込みます。 

- メールアドレス LDAP サーバのサーバ種別が [ その他の LDAP サーバ ] の場合

チェックボックス名	LDAP における絞り込み対象項目
名	「メールアドレス LDAP サーバ」画面の検索項目とスキーマを関連付ける画面の「名」で関連付けされているユーザーの名を絞り込みます。
姓	「メールアドレス LDAP サーバ」画面の検索項目とスキーマを関連付ける画面の「姓」で関連付けされているユーザーの姓を絞り込みます。
共通名	「メールアドレス LDAP サーバ」画面の検索項目とスキーマを関連付ける画面の「共通名」で関連付けされている共通名を絞り込みます。
表示名	「メールアドレス LDAP サーバ」画面の検索項目とスキーマを関連付ける画面の「表示名」で関連付けされている表示名を絞り込みます。

## 6. [絞り込み] ボタンを押します。

⇒ 絞り込み結果が表示されます。



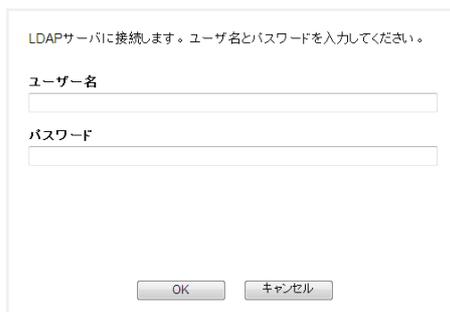
- [絞り込み] ボタンを押すと、認証画面が表示されます。

以下の手順で認証を行ってください。

1. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

ユーザー名の最大文字数は 129 文字です。

パスワードの最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。



2. [OK] ボタンを押します。

- 絞り込み結果の表示を解除したい場合、絞り込み文字列をすべて削除して [絞り込み] ボタンを押してください。

### 4.11.3 ジョブメニューを設定します AdminTool Central Admin Console

「4.11.2 ジョブを設定します」(191 ページ) で設定したジョブをジョブボタンに割り当て、ジョブボタンをジョブメニューに配置します。  
ジョブメニューは最大 100 個まで設定することができます。

#### ■ ジョブメニューを追加します

ジョブメニューを追加する方法について説明します。

##### 1. [ジョブメニュー設定] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Job Menu List' (ジョブメニュー一覧) screen. At the top, there are tabs for 'Job Setting' (ジョブ設定), 'Job Menu Setting' (ジョブメニュー設定), and 'Job Group Setting' (ジョブグループ設定). Below the tabs, there are buttons for 'Add' (追加), 'Add Reference' (参照して追加), 'Edit' (編集), and 'Delete' (削除). The main area is a table with columns 'Job Menu Name' (ジョブメニュー名) and 'Update Date' (更新日時). To the right, there is a 'Job Menu Detail Setting' (ジョブメニュー詳細設定) panel. This panel includes a 'Job Menu Name' input field, a 'Job Button Setting' (ジョブボタン設定) section with a list of buttons (1-6) and 'Edit' (編集) and 'Delete' (削除) buttons, and a table for assigning jobs to buttons. The table has columns 'Job Button Name' (ジョブボタン名) and 'Job Name' (ジョブ名). Below the table are dropdown menus for 'Message Display' (メッセージ表示) and 'Display & Edit' (表示 & 編集), both set to 'Changeable at Job Execution' (ジョブ実行時に変更可能). At the bottom are 'OK' and 'Cancel' (キャンセル) buttons.

##### 2. [追加] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブメニュー詳細設定」画面が追加用のモードに切り替わります。

The screenshot shows the 'Job Menu Detail Setting' (ジョブメニュー詳細設定) screen. The layout is similar to the previous screenshot, but the 'Add' (追加) button is highlighted in blue, indicating it is the active mode. The 'Job Button Setting' (ジョブボタン設定) section shows the buttons (1-6) with a blue highlight on button (1). The table for assigning jobs to buttons is also visible, with the first row (1) highlighted in blue. The 'Message Display' (メッセージ表示) and 'Display & Edit' (表示 & 編集) dropdown menus are still set to 'Changeable at Job Execution' (ジョブ実行時に変更可能). The 'OK' and 'Cancel' (キャンセル) buttons are at the bottom.

3. ジョブメニュー名を入力します。  
最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できます。
4. (1) ~ (6) のジョブボタンの位置に対応する行を一覧から選択して、[編集] ボタンを押します。  
⇒ 「ボタン設定」画面が表示されます。

ジョブ名	説明	更新日時
Job1		1/12/07 10:46:43
Job2		/12/07 10:46:52
Job3		/12/07 10:47:01
Job4		/12/07 10:47:08
Job5		/12/07 10:47:15
Job6		/12/07 10:47:22

5. ジョブボタン名を入力します。  
最大文字数は 32 文字です。半角および全角文字が使用できます。
6. 「ジョブボタンイメージ」のリストボタンを押して、ジョブボタンイメージを選択します。  
ジョブボタンイメージを選択すると、選択域右側に選択したジョブボタンのイメージが表示されるため、ボタンの表示イメージを確認しながら選択できます。
7. ジョブボタンを押したときに Add-in を起動させる場合、起動する Add-in を「Add-in」から選択します。  
Add-in を選択すると、ジョブボタンには、ジョブではなくここで選択した Add-in が割り当てられます。このとき、「ジョブボタン名」および「ジョブボタンイメージ」の設定は無効となります。ジョブメニューには Add-in で設定したボタンが表示されます。



Add-in をインストールしていない場合、選択できません。



---

8. ジョブを選択します。



ジョブを絞り込みたい場合、「ジョブ名」と「説明」の一部またはすべてを入力して、[絞り込み]ボタンを押します。

「ジョブ名」の最大文字数は64文字です。

「説明」の最大文字数は256文字です。

半角および全角文字が使用できます。

絞り込み結果の表示を解除したい場合、「ジョブ名」と「説明」をすべて削除して[絞り込み]ボタンを押してください。

9. [OK] ボタンを押します。

⇒「ジョブメニュー詳細設定」画面にジョブボタンが設定されます。

10. 設定するジョブボタンの数に応じて、**手順4**～**手順9**までの操作を繰り返します。



- ジョブボタンは最大6個まで設定することができます。

- ジョブボタンを削除したい場合、削除したいジョブボタンを選択して[削除]ボタンを押してください。

## 11. 必要に応じて、ボタン位置を変更します。

移動したいジョブボタンを選択して、[▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して、移動してください。

「ジョブメニュー詳細設定」画面のジョブボタンの順番と「ジョブメニュー」画面のボタン配置との対応を以下に示します。

The screenshot shows the 'ジョブメニュー詳細設定' (Job Menu Detailed Settings) window. It contains a table with the following data:

ジョブボタン名	ジョブ名
(1) Job1	Job1
(2) Job2	Job2
(3) Job3	Job3
(4) Job4	Job4
(5) Job5	Job5
(6) Job6	Job6

Below the table, there are options for 'メッセージ表示' (Message Display) and '表示 & 編集' (Display & Edit), both set to 'ジョブ実行時に変更可能' (Changeable during job execution).

The main 'ジョブメニュー' (Job Menu) window shows a grid of buttons labeled Job1 through Job6, arranged in two columns and three rows. A dashed red box highlights this grid, and a dashed red box highlights the table in the detailed settings window. An arrow points from the table to the buttons, indicating the mapping.

At the bottom of the main window, there are three buttons: 'ログアウト' (Logout), 'メッセージ表示' (Message Display), and '表示 & 編集' (Display & Edit).

---

12. 「メッセージ表示」で、「ジョブメニュー」画面の [メッセージ表示] ボタンの動作を設定します。

- [ジョブ実行時に変更可能] を選択した場合  
「ジョブメニュー」画面の [メッセージ表示] ボタンの操作を有効にして、ジョブ実行時にメッセージを表示するかどうかを変更できるようにします。
- [表示する (固定)] を選択した場合  
「ジョブメニュー」画面の [メッセージ表示] ボタンの操作を無効にして、ジョブ実行時にメッセージを表示します。
- [表示しない (固定)] を選択した場合  
「ジョブメニュー」画面の [メッセージ表示] ボタンの操作を無効にして、ジョブ実行時にメッセージを表示しません。

13. 「表示&編集」で、「ジョブメニュー」画面の [表示&編集] ボタンの動作を設定します。

- [ジョブ実行時に変更可能] を選択した場合  
「ジョブメニュー」画面の [表示&編集] ボタンの操作を有効にして、読み取り時に「表示&編集」画面を表示するかどうかを変更できるようにします。
- [表示する (固定)] を選択した場合  
「ジョブメニュー」画面の [表示&編集] ボタンの操作を無効にして、読み取り時に「表示&編集」画面を表示します。
- [表示しない (固定)] を選択した場合  
「ジョブメニュー」画面の [表示&編集] ボタンの操作を無効にして、読み取り時に「表示&編集」画面を表示しません。

14. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面にジョブメニューが追加されます。

## ■ ジョブメニューを参照して追加します

ジョブメニューを参照して追加する方法について説明します。

1. [ジョブメニュー設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面が表示されます。
2. 参照するジョブメニューを選択します。
3. [参照して追加] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブメニュー詳細設定」画面が参照追加用のモードに切り替わります。
4. ジョブメニュー詳細設定の内容を参照して設定します。
5. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面にジョブメニューが追加されます。

## ■ ジョブメニューを編集します

ジョブメニューを編集する方法について説明します。

1. [ジョブメニュー設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面が表示されます。
2. 変更するジョブメニューを選択します。
3. [編集] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブメニュー詳細設定」画面が編集用のモードに切り替わります。
4. ジョブメニュー詳細設定の内容を変更します。
5. [OK] ボタンを押します。  
⇒ ジョブメニューの内容が変更されます。

## ■ ジョブメニューを削除します

ジョブメニューを削除する方法について説明します。

1. [ジョブメニュー設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面が表示されます。
2. 削除するジョブメニューを選択します。
3. [削除] ボタンを押します。  
⇒ 削除確認画面が表示されます。
4. [OK] ボタンを押します。  
⇒ ジョブメニューが削除されます。

## ■ ジョブメニューの詳細設定を参照します

ジョブメニューの詳細設定を参照する方法について説明します。

1. [ジョブメニュー設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブメニュー一覧」画面が表示されます。
2. 参照するジョブメニューを選択します。  
⇒ 「ジョブメニュー詳細設定」画面に参照用のモードでジョブメニューの詳細が表示されます。



「ジョブメニュー詳細設定」画面が参照用のモードの場合、ジョブメニュー詳細設定の内容は編集できません。編集する場合は、編集するジョブメニューを選択して、[編集] ボタンを押してください。





## 7. メインメニューを表示するかどうかを設定します。

## ● [する] を選択した場合

メインメニューを表示します。「初期表示メニュー」で、利用者がログインして最初に表示される画面を設定します。

## ● [メインメニュー] を選択した場合

利用者がログインして最初に表示される画面は、「メインメニュー」画面となります。

## ● [ジョブメニュー] を選択した場合

利用者がログインして最初に表示される画面は、「ジョブメニュー」画面となります。

利用者は「メインメニュー」画面と「ジョブメニュー」画面をメニュー切り替えボタンで切り替えることができます。

## ● [しない] を選択した場合

メインメニューを表示しません。利用者がログインして最初に表示される画面は、常に「ジョブメニュー」画面となります。

利用者は「メインメニュー」画面と「ジョブメニュー」画面を切り替えることはできません。



同一ユーザーが複数のジョブグループに属する場合、そのユーザーが属するジョブグループのうち、「ジョブグループ一覧」画面の「ジョブグループ名」に最初に表示されるジョブグループの「メインメニュー表示」の設定が適用されます。たとえば、ジョブグループ名の一覧の上から3番目と5番目に属している場合、3番目の設定が適用されます。

このため、どのジョブグループでも動作が同じになるように、「メインメニュー表示」の設定は統一してください。

## 8. [編集] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブグループメンバー設定」画面が表示されます。

9. メンバー名の表示形式を設定します。

「メンバー名の表示形式」で選択した表示形式に従って、「ジョブグループメンバー一覧」および「LDAP 一覧」の「メンバー名」が表示されます。

10. 検索ベースに LDAP サーバと LDAP 検索時の基点になる文字列を入力します。

ここで入力した文字列の配下にある LDAP のエントリーが検索対象になります。最大文字数は半角 520 文字です。

以下で設定されている内容が初期表示されます。

- Admin Tool の場合

「ログイン LDAP サーバ」画面

- Central Admin Console の場合

「Central Admin サーバ動作環境設定」画面の「LDAP サーバ設定」

ただし、SSL 通信を使用するかどうかについては、各 LDAP サーバ設定に従って動作します。

11. LDAP 一覧からジョブグループに登録したいユーザーまたは Active Directory グループのチェックボックスをチェックします。



ヒント

- ユーザーまたは Active Directory グループの詳細情報を参照したい場合、「メンバー名」または「ドメイン名」のリンクを押します。

- ユーザーおよび Active Directory グループのチェックボックスをすべてチェックしたい場合、[全選択] ボタンを押します。  
ユーザーおよび Active Directory グループのチェックボックスのチェックをすべて解除したい場合、[全解除] ボタンを押します。
- LDAP 一覧を絞り込みたい場合、「LDAP 一覧を絞り込みます」(225 ページ) を参照してください。

## 12. [ &lt;&lt;&lt; ] ボタンを押します。

⇒ ジョブグループメンバー一覧にユーザーまたは Active Directory グループが登録されます。

ジョブグループメンバー一覧に登録されたユーザーまたは Active Directory グループは、LDAP 一覧ではグレー表示になり選択できなくなります。



ヒント

- ジョブグループメンバーには、ユーザーまたは Active Directory グループを最大 1000 件まで登録することができます。
- ジョブグループメンバー一覧に登録したユーザーまたは Active Directory グループを削除したい場合、削除したいユーザーまたは Active Directory グループのチェックボックスをチェックして [ >>> ] ボタンを押してください。グループメンバー一覧から削除したユーザーまたは Active Directory グループは、LDAP 一覧に戻ります。
- ジョブグループメンバーを絞り込みたい場合、「メンバー名」と「ドメイン名」の一部またはすべてを入力して、[ 絞り込み ] ボタンを押します。  
メンバー名の表示形式に「ユーザープリンシパル名」を選択した場合、「メンバー名」の最大文字数は 1024 文字です。  
メンバー名の表示形式に「SAM アカウント名」を選択した場合、「メンバー名」の最大文字数は 20 文字です。  
「ドメイン名」の最大文字数は 256 文字です。  
半角および全角文字が使用できます。  
絞り込み結果の表示を解除したい場合、「メンバー名」と「ドメイン名」をすべて削除して [ 絞り込み ] ボタンを押してください。
- ログイン LDAP サーバのサーバ種別が変更された場合、変更前のサーバ種別のジョブグループメンバーは、ジョブグループメンバーの編集時に自動的に削除されます。

## 13. [ OK ] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブグループ詳細設定」画面の「メンバー登録件数」にジョブグループメンバーに登録した件数が表示されます。

## 14. guest アカウントをジョブグループメンバーに含める場合、「guest アカウントをメンバーに含める」のチェックボックスをチェックします。

## 15. すべての LDAP ユーザーをジョブグループメンバーに含める場合、「すべての LDAP のユーザーをメンバーに含める」チェックボックスをチェックします。



ヒント

チェックボックスにチェックを付けると、「ジョブグループメンバー一覧」の設定に関わらず、すべての LDAP ユーザーが対象となります。

## 16. [ OK ] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブグループ一覧」画面にジョブグループが追加されます。

---

## ■ ジョブグループを編集します

ジョブグループを編集する方法について説明します。

1. [ジョブグループ設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。
2. 変更するジョブグループを選択します。
3. [編集] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブグループ詳細設定」画面が編集用のモードに切り替わります。
4. ジョブグループ詳細設定の内容を変更します。
5. [OK] ボタンを押します。  
⇒ ジョブグループの内容が変更されます。

## ■ ジョブグループを削除します

ジョブグループを削除する方法について説明します。

1. [ジョブグループ設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。
2. 削除するジョブグループを選択します。
3. [削除] ボタンを押します。  
⇒ 削除確認画面が表示されます。
4. [OK] ボタンを押します。  
⇒ ジョブグループが削除されます。

## ■ ジョブグループの詳細設定を参照します

ジョブグループの詳細設定を参照する方法について説明します。

1. [ジョブグループ設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。
2. 参照するジョブグループを選択します。  
⇒ 「ジョブグループ詳細設定」画面に参照用のモードでジョブグループの詳細が表示されます。



「ジョブグループ詳細設定」画面が参照用のモードの場合、ジョブグループ詳細設定の内容は編集できません。編集する場合は、編集するジョブグループを選択して、[編集] ボタンを押してください。

## ■ ジョブグループに属していないユーザーにジョブメニューを設定します

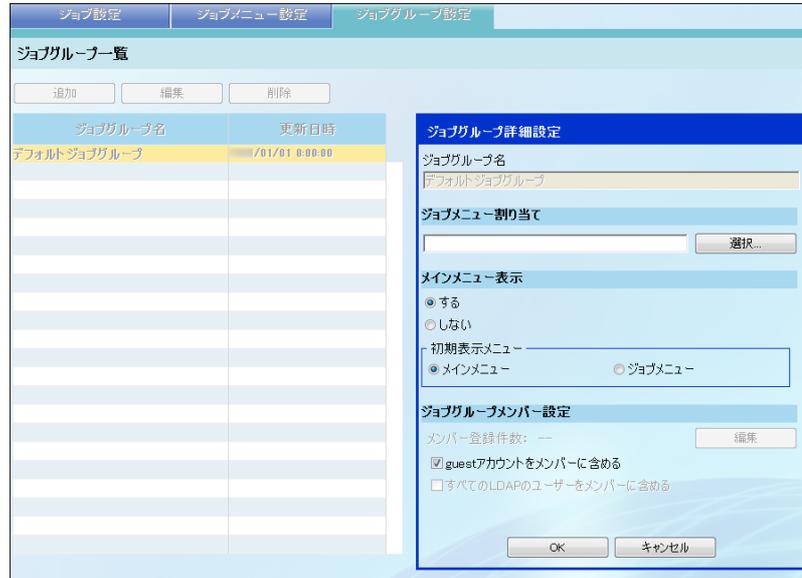
どのジョブグループにも属していないユーザーは、デフォルトジョブグループに属していることとなります。  
これらのユーザーにジョブメニューを割り当てる方法について説明します。

1. [ジョブグループ設定] ボタンを押します。  
⇒ 「ジョブグループ一覧」画面が表示されます。

2. デフォルトジョブグループを選択します。

3. [編集] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブグループ詳細設定」画面が編集用のモードに切り替わります。



4. [選択] ボタンを押します。

⇒ 「メニュー選択」画面が表示されます。

5. ジョブメニューを選択します。

6. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「ジョブグループ詳細設定」画面にジョブメニューが設定されます。

7. メインメニューを表示するかどうかを設定します。

● [する] を選択した場合

メインメニューを表示します。「初期表示メニュー」で、利用者がログインして最初に表示される画面を設定します。

● [メインメニュー] を選択した場合

利用者がログインして最初に表示される画面は、「メインメニュー」画面となります。

● [ジョブメニュー] を選択した場合

利用者がログインして最初に表示される画面は、「ジョブメニュー」画面となります。

利用者は「メインメニュー」画面と「ジョブメニュー」画面をメニュー切り替えボタンで切り替えることができます。

● [しない] を選択した場合

メインメニューを表示しません。利用者がログインして最初に表示される画面は、常に「ジョブメニュー」画面となります。

利用者は「メインメニュー」画面と「ジョブメニュー」画面を切り替えることはできません。

8. [OK] ボタンを押します。

⇒ ジョブグループに属していないユーザーにジョブメニューが設定されます。

## ■ LDAP 一覧を絞り込みます

「ジョブグループメンバー設定」画面で、LDAP 一覧を絞り込む方法について説明します。

1. LDAP 一覧の「絞り込み条件」のリストボタンを押して、絞り込み方法を選択します。

初期値は、[ 前方一致 (abc...) ] です。

絞り込み方法	説明	入力例	一致例
前方一致 (abc...)	手順 2 で入力する絞り込み文字列から始まる絞り込み対象が絞り込まれます。	abc	abc、abc1、abcd など
部分一致 (...abc...)	手順 2 で入力する絞り込み文字列を含んでいる絞り込み対象が絞り込まれます。	abc	abc、abc1、xabc、xabcy など
後方一致 (...abc)	手順 2 で入力する絞り込み文字列で終わる絞り込み対象が絞り込まれます。	abc	abc、1abc、xabc など

2. 絞り込み文字列を入力します。

絞り込み対象の一部またはすべてを入力します。

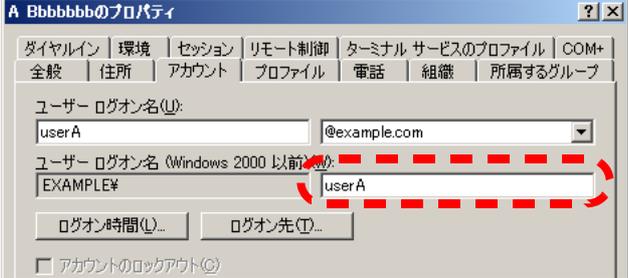
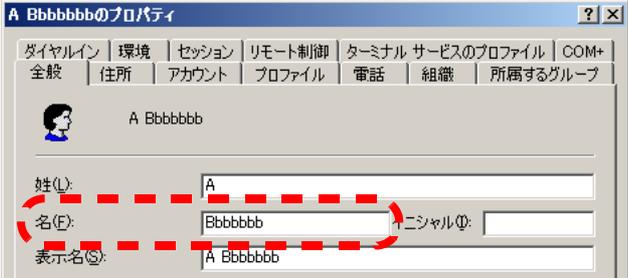
最大文字数は 256 文字です。半角および全角文字が使用できます。

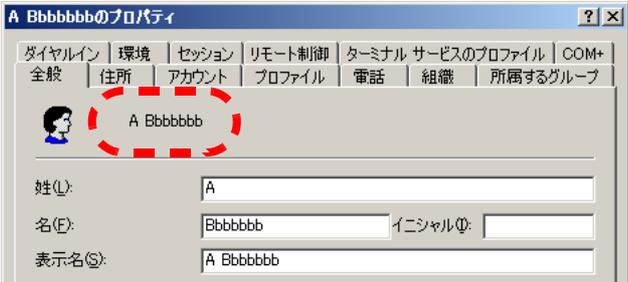
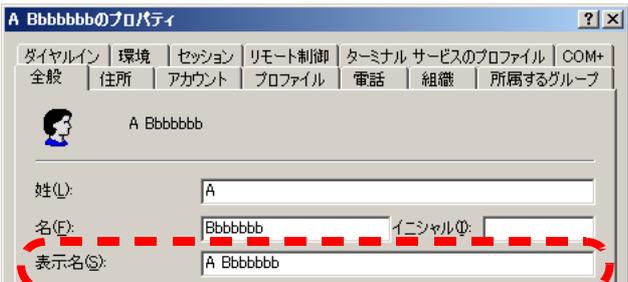
3. 絞り込み対象を選択します。

絞り込み対象が複数選択されている場合は、選択した対象のいずれかを含んでいる情報が検索されます。

- ログイン LDAP サーバのサーバ種別が [Active Directory] または [Active Directory Global Catalog] の場合

チェックボックス名	Active Directory/Active Directory Global Catalog における絞り込み対象項目
ユーザープリンシパル名	<p>LDAP サーバに登録されているユーザープリンシパル名を絞り込みます。</p> 

チェックボックス名	Active Directory/Active Directory Global Catalog における絞り込み対象項目
SAM アカウント名	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの SAM アカウント名を絞り込みます。</p> 
名	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの名を絞り込みます。</p> 
姓	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの姓を絞り込みます。</p> 

チェックボックス名	Active Directory/Active Directory Global Catalog における絞り込み対象項目
共通名	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの共通名を絞り込みます。</p>  <p>この項目は「Active Directory ユーザーとコンピュータ」で設定することができます。Active Directory グループ名で絞り込みを行う場合は、「共通名」のチェックボックスをチェックしてください。</p>
表示名	<p>LDAP サーバに登録されているユーザーの表示名を絞り込みます。</p> 

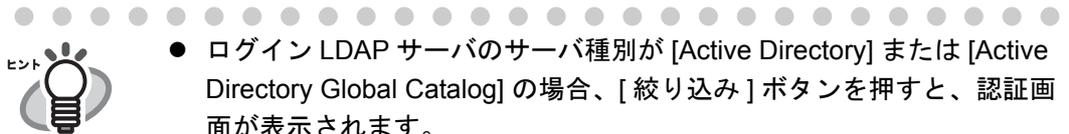
- ログイン LDAP サーバのサーバ種別が [ その他の LDAP サーバ ] の場合

チェックボックス名	LDAP における絞り込み対象項目
cn	cn でユーザーを絞り込みます。
uid	uid でユーザーを絞り込みます。
名	「メールアドレス LDAP サーバ」画面の検索項目とスキーマを関連付ける画面の「名」で関連付けされているユーザーの名を絞り込みます。
姓	「メールアドレス LDAP サーバ」画面の検索項目とスキーマを関連付ける画面の「姓」で関連付けされているユーザーの姓を絞り込みます。
共通名	「メールアドレス LDAP サーバ」画面の検索項目とスキーマを関連付ける画面の「共通名」で関連付けされている共通名を絞り込みます。

チェックボックス名	LDAP における絞り込み対象項目
表示名	「メールアドレス LDAP サーバ」画面の検索項目とスキーマを関連付ける画面の「表示名」で関連付けされている表示名を絞り込みます。

4. [絞り込み] ボタンを押します。

⇒ 絞り込み結果が表示されます。



- ログイン LDAP サーバのサーバ種別が [Active Directory] または [Active Directory Global Catalog] の場合、[絞り込み] ボタンを押すと、認証画面が表示されます。

以下の手順で認証を行ってください。

1. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

ユーザー名の最大文字数は 129 文字です。

パスワードの最大文字数は半角 256 文字です。なお、英大文字と英小文字は区別されます。

2. [OK] ボタンを押します。

- 絞り込み結果の表示を解除したい場合、絞り込み文字列をすべて削除して [絞り込み] ボタンを押してください。
- 「LDAP 一覧」画面の絞り込み結果やジョブグループメンバーへの登録件数が多数（最大 1000 件）の場合、「ジョブグループメンバー設定」画面の表示に数十秒程度時間がかかることがあります。このような場合、以下のような操作で表示件数を減らしてください。
  - 指定する絞り込み条件を追加する
  - 「メールアドレス LDAP サーバ」画面で設定する「最大表示件数」を少なくする
  - ジョブグループを分割する
  - Active Directory グループを指定する



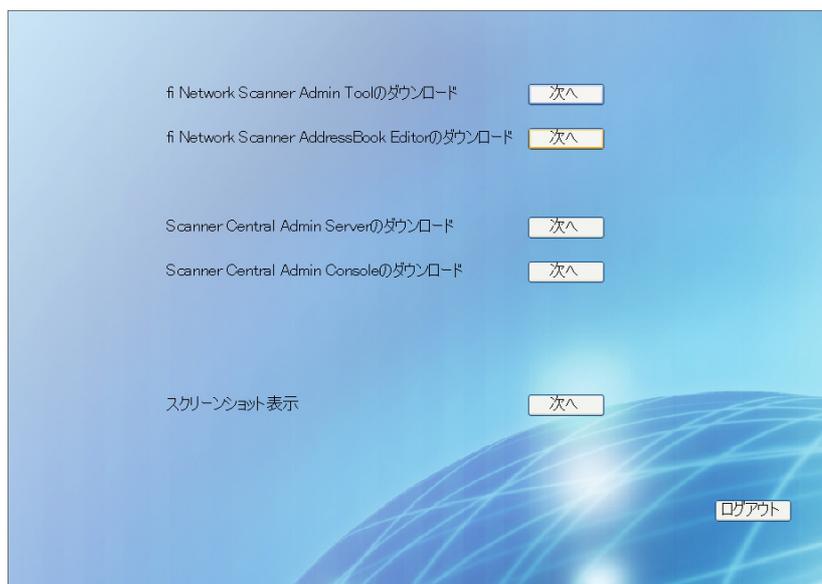
## 4.12 タッチパネルに表示されている画面を採取します

タッチパネルに表示されている画面をネットワーク経由で取得して、BMP または JPEG の形式で保存します。

1. Web ブラウザから、スキャナ名を URL に指定して接続し、ダウンロード画面を表示します。

ダウンロード画面を表示するまでの操作については、「[4.4.3 Admin Tool をインストールします](#)」(48 ページ) の手順 1 ~ 手順 3 を参照してください。

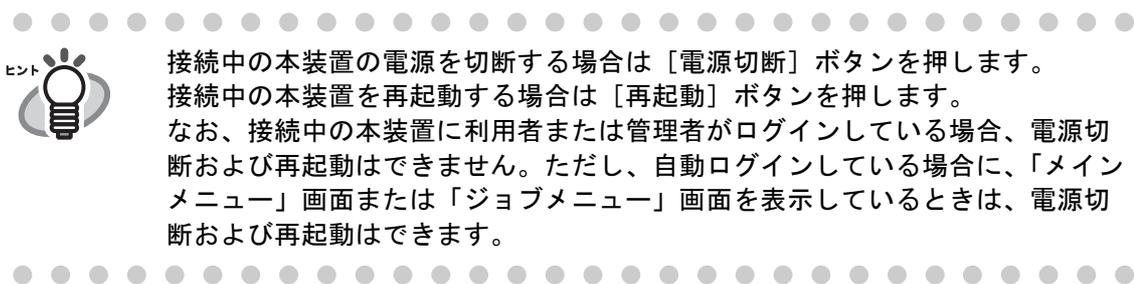
2. ダウンロード画面の「スクリーンショット表示」の [次へ] ボタンを押します。



⇒ タッチパネルに表示されている画面を採取するための画面が表示されます。



6. [保存] ボタンを押します。  
⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。
7. [保存] ボタンを押します。  
⇒ 「名前を付けて保存」画面が表示されます。
8. ファイル名および保存先を指定します。
9. [保存] ボタンを押します。  
⇒ 画面が指定したファイル形式で保存されます。





# 第 5 章

## 管理者の操作 (Central Admin Console)

管理者

Central Admin Console で複数台のスキヤナの環境設定や管理をするには、集中管理サーバおよび Central Admin Console をコンピュータにインストールする必要があります。ここでは、集中管理サーバおよび Central Admin Console のダウンロード方法を説明します。

集中管理サーバおよび Central Admin Console のインストールおよび操作については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

本章の操作中にメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示された場合の対処については、「[F.1.2 システムログのメッセージ](#)」(492 ページ) を参照してください。

5.1 集中管理サーバをダウンロードします .....	234
5.2 Central Admin Console をダウンロードします .....	236
5.3 本装置の環境設定を行います .....	238

## 5.1 集中管理サーバをダウンロードします

集中管理サーバをコンピュータにダウンロードしてインストールします。



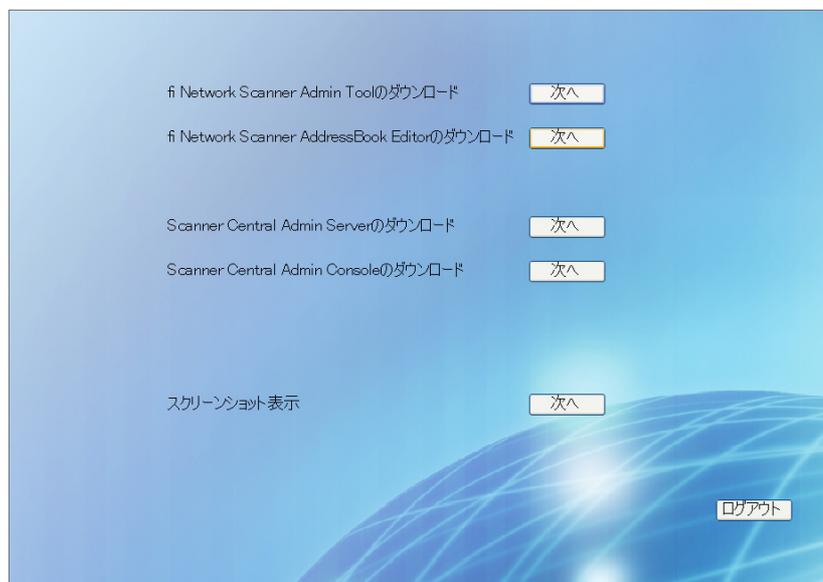
ヒント

- 集中管理サーバをインストールする場合の動作環境については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。
- 集中管理サーバをインストールするには、事前に Admin Tool でログインする場合の事前設定と同様の設定が必要です。詳細については、「[4.4 Admin Tool でログインする場合の事前設定](#)」(46 ページ)を参照してください。

1. 「[4.4.3 Admin Tool をインストールします](#)」(48 ページ)の手順 1 ~ 手順 3 までの操作を行います。

⇒ ダウンロード画面が表示されます。

2. 「Scanner Central Admin Server のダウンロード」の [次へ] ボタンを押します。

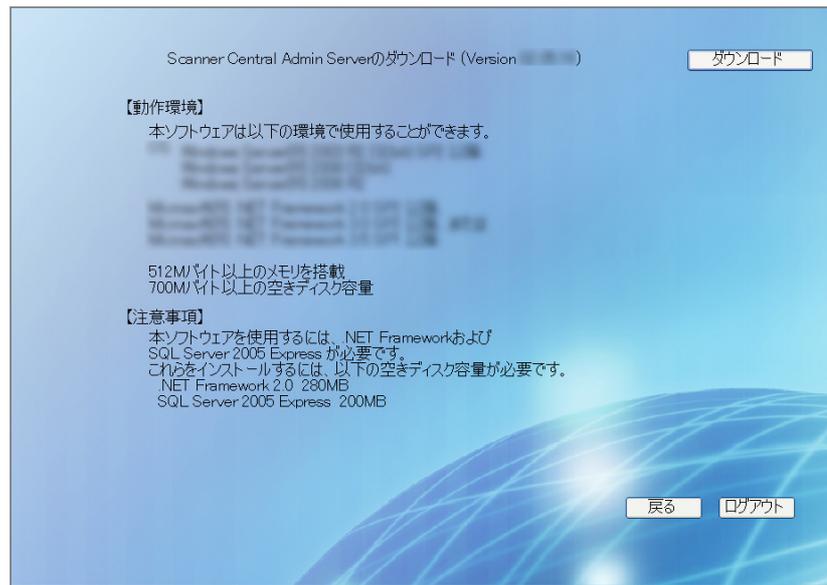


ヒント

集中管理サーバのバージョンが 4.0 より前の場合、「iScanner Central Admin Server のダウンロード」と表示されます。

⇒ 集中管理サーバのダウンロード画面が表示されます。

## 3. [ダウンロード] ボタンを押します。



- 管理者または利用者がスキャナで操作中の場合、ダウンロードすることはできません。
- インストールが完了するまで、Web ブラウザを閉じたり、ログアウトしないようにしてください。
- 動作環境として必要となる 700M バイト以上の空きディスク容量には、SQL Server 2005 Express Edition をインストールする際に必要な空きディスク容量 200M バイトが含まれています。



集中管理サーバのバージョンが 4.0 以降の場合、Scanner Central Admin のマニュアルをダウンロードするための [ダウンロード] ボタンが表示されます。

⇒ 以降は、画面の指示に従ってウィザードを進めてください。

インストール方法の詳細については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

## 5.2 Central Admin Console をダウンロードします

Central Admin Console をコンピュータにダウンロードしてインストールします。

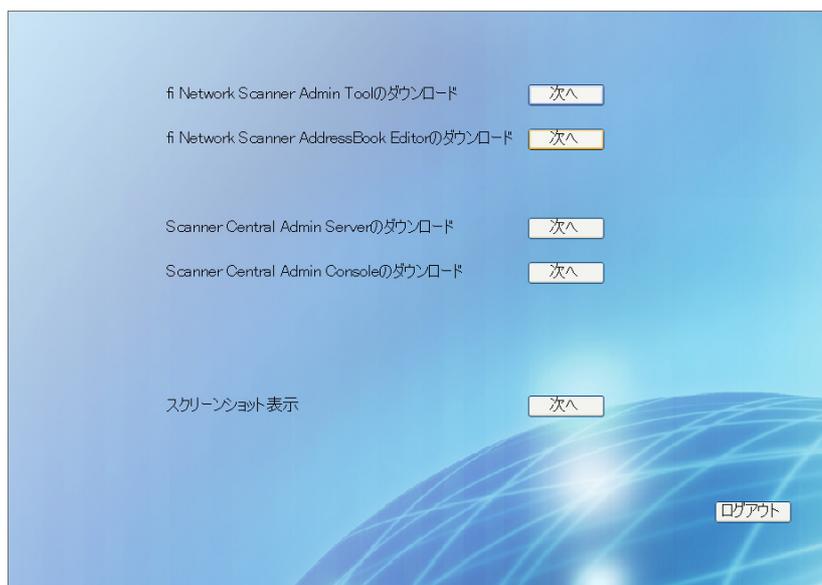


- Central Admin Console をインストールする場合の動作環境については、「[1.4.2 連携するサーバの動作環境](#)」(17 ページ) を参照してください。
- Central Admin Console をインストールするには、事前に Admin Tool でログインする場合の事前設定と同様の設定が必要です。詳細については、「[4.4 Admin Tool でログインする場合の事前設定](#)」(46 ページ) を参照してください。

1. 「[4.4.3 Admin Tool をインストールします](#)」(48 ページ) の手順 1 ～手順 3 までの操作を行います。

⇒ ダウンロード画面が表示されます。

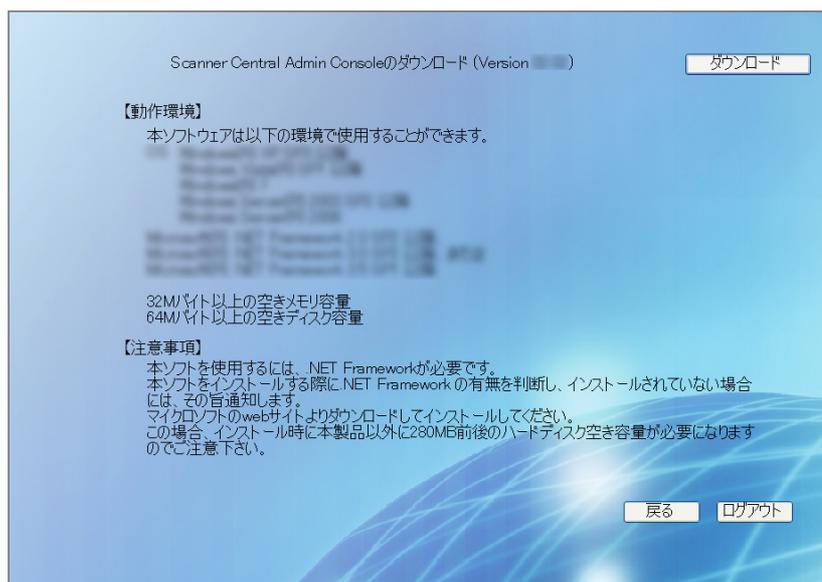
2. 「Scanner Central Admin Console のダウンロード」の[次へ]ボタンを押します。



Central Admin Console のバージョンが 4.0 より前の場合、「iScanner Central Admin Console のダウンロード」と表示されます。

⇒ Central Admin Console のダウンロード画面が表示されます。

### 3. [ダウンロード] ボタンを押します。



- 管理者または利用者がスキャナで操作中の場合、ダウンロードすることはできません。
- インストールが完了するまで、Web ブラウザを閉じたり、ログアウトしないようにしてください。



⇒ 以降は、画面の指示に従ってウィザードを進めてください。

インストール方法の詳細については、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

---

## 5.3 本装置の環境設定を行います

本装置の環境設定について説明します。

Central Admin Console で管理するためには、以下の管理者画面で、本装置と集中管理サーバを接続できるように設定する必要があります。

- [ネットワーク設定]の「接続設定」画面  
詳細については、「[4.7.2 接続設定をします](#)」(91 ページ) を参照してください。
- [ネットワーク設定]の「集中管理サーバ」画面  
詳細については、「[4.7.3 集中管理サーバを設定します](#)」(93 ページ) を参照してください。

# 第 6 章

## 利用者の操作

利用者

本装置を利用して読み取ったスキャン画像をメール送信、FAX 送信、印刷、およびネットワーク共有フォルダに保存します。

本章での操作を行う場合、本装置の環境設定を行う必要があります。

本装置の環境設定方法については、「[第 4 章 管理者の操作 \(タッチパネル・Admin Tool\)](#)」(39 ページ) を参照してください。

また、本章の操作中にメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示された場合の対処については、「[F.2 利用者のメッセージ](#)」(503 ページ) を参照してください。

6.1 原稿をセットします .....	240
6.2 タッチパネル (利用者) の画面について .....	245
6.3 利用者モードでログインします .....	255
6.4 スキャン画像をメールで送信します .....	259
6.5 スキャン画像を FAX で送信します .....	276
6.6 スキャン画像を印刷します .....	285
6.7 スキャン画像をフォルダに保存します .....	298
6.8 スキャン画像を SharePoint フォルダに保存します .....	303
6.9 読み取り設定をします .....	311
6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します .....	347
6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します .....	350
6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します .....	354
6.13 メンテナンスします .....	356
6.14 ジョブを実行します .....	357



## 6.1 原稿をセットします

原稿を本装置にセットする方法について説明します。

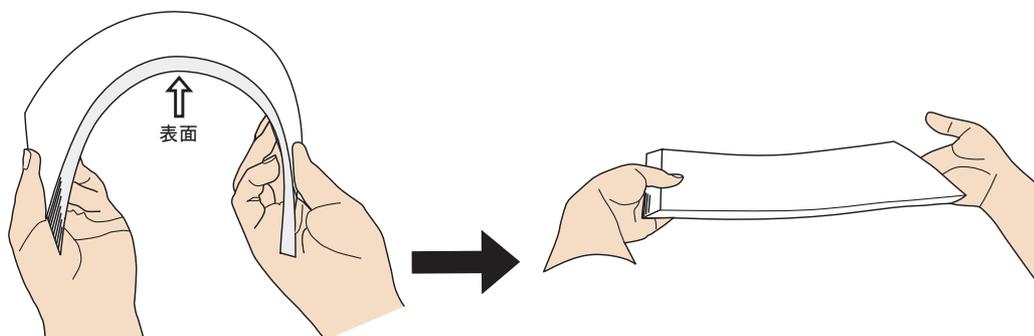
### 6.1.1 一般的な原稿をセットします

#### 1. 原稿枚数を確認します。

原稿枚数の目安については「[A.3 セットできる原稿の枚数](#)（424 ページ）を参照してください。

#### 2. 原稿をさばきます。

1. 両手で原稿の両端を軽くつかみ、原稿を湾曲させます。この動作を2～3回繰り返してください。

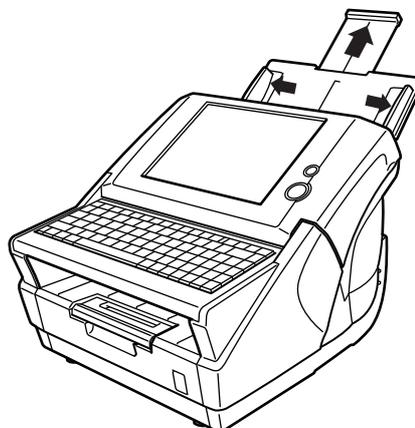


2. 原稿の向きを90度回転し、同じようにさばきます。

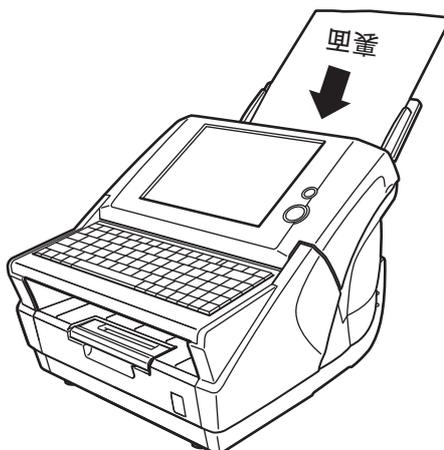
3. 原稿の端をそろえます。

#### 3. ADF 給紙シュートに原稿をセットします。

1. 原稿の大きさに合わせて ADF 給紙シュートの取っ手を引き上げ、サイドガイドを移動します。



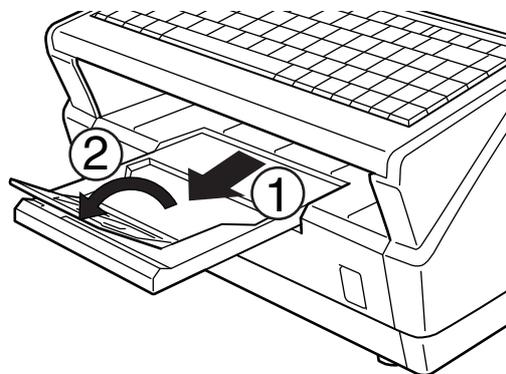
- 原稿の表面（読み取り面）を ADF 給紙シート側になるようにし、かつ原稿上部が下向きになるようセットします。



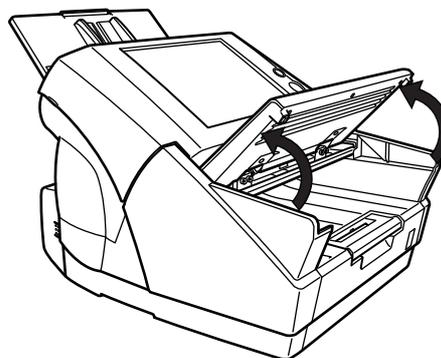
- 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。  
サイドガイドを左右に動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。



- スタッカーを使うと、読み取りが終了した原稿がばらばらにならず、便利です。原稿の大きさに合わせて、引き出すことができます。
  - 手前に引き出します。
  - スタッカーのくぼみに指をかけ、手前に起こします。



- 小さな原稿は、読み取り後にキーボードを跳ね上げて回収できます。



## 6.1.2 キャリアシートを使用した原稿をセットします

キャリアシートは、原稿搬送用シートです。

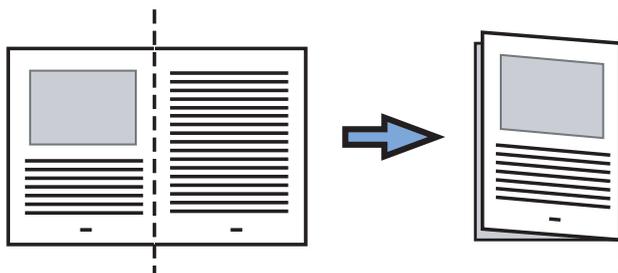
そのままでは読み取ることができない、A3 または B4 サイズのような、A4 サイズより大きい原稿を 2 つ折りにしてキャリアシートにはさみ、両面読み取りすることにより、最大 A3 サイズ（片面）まで読み取ることができます。読み取った原稿は、1 つの画像になぎ合わせて出力します。また、A4 サイズ以下の両面印刷された原稿を読み取って、見開き状態にして 1 つの画像に出力することもできます。



- キャリアシートを使用する場合は、読み取った原稿を出力する用紙サイズを設定してください。設定方法については、「[6.9.1 キャリアシートを設定します](#)」（318 ページ）を参照してください。
- キャリアシートを使用する場合は、複数枚連続で読み取ることはできません。1 枚ずつセットして読み取ってください。

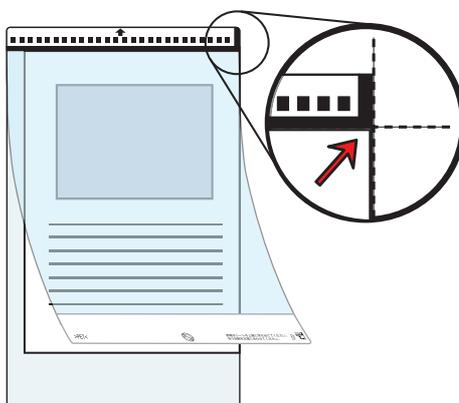
### 1. 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。

原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。折り曲げ部分がふくらんだまま読み取ると、傾きの原因となります。

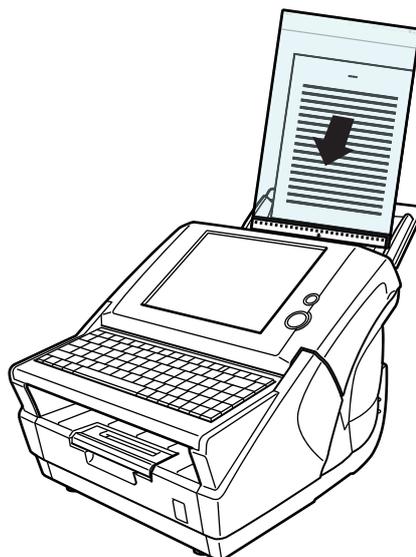


### 2. キャリアシートを開いて、原稿をセットします。

原稿の上側をキャリアシートの上端、折り目側を右端に、隙間のないようにしっかりと合わせます。



3. キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にして、矢印の向きにセットセットします。

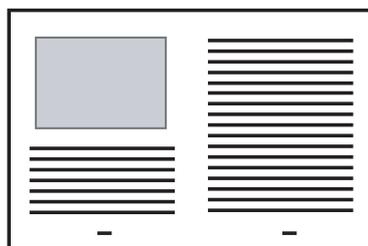


4. キャリアシートの幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを左右に動かして、サイドガイドとキャリアシートの間隙がでないようにします。サイドガイドとキャリアシートの間隙があると、キャリアシートが斜めに読み込まれることがあります。

5. 読み取りを開始します。

⇒ 両面読み取りすると、裏と表の原稿を読み取って、見開き状態にして1つの画像に出力されます。





出力された画像の継ぎ目部分に隙間やズレ、線が入ったりする場合があります。また、厚い原稿を読み取った場合に継ぎ目部分を境にして画像がハの字に傾く傾向があります。これらの現象は、原稿の折り曲げ方や、セットのしかたによってばらつきます。その場合は、以下を確認してください。改善される場合があります。

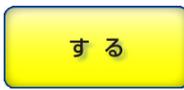
- 原稿が、しっかりと折り曲げられているか。
- 原稿の端がキャリアシートの端にきちりと合っているか。
- キャリアシートを裏と表逆にセットしてみたらどうか。

また、原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。その場合には、原稿の折り曲げ部分をキャリアシートの端から、1mmほど内側にセットして読み取ってください。

## 6.2 タッチパネル（利用者）の画面について

### 6.2.1 画面共通の項目について

利用者がログインして表示される画面の共通項目について説明します。

ボタン	本書内での表記	機能
	[▲] ボタン [▼] ボタン	項目を上下にスクロールします。
	[OK] ボタン	画面の内容を決定します。
	[キャンセル] ボタン	画面の内容を確定しない、または前の画面に戻ります。
	[する] ボタン	ボタンの選択状態について、[する] ボタンを例にして説明します。 黄色のボタンは、ボタンが選択されている状態を表します。
	[しない] ボタン	ボタンの選択状態について、[しない] ボタンを例にして説明します。 青色のボタンは、ボタンが選択されていない状態を表します。
	[Caps Lock]	Caps Lock キーの状態を表します。Caps Lock されている場合は点灯します。
	[Num Lock]	Num Lock キーの状態を表します。 Num Lock されている場合は点灯します。

ボタン	本書内での表記	機能
	入力モードボタン	<p>入力域に複数の文字種が入力できる場合に以下の文字種を選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ひらがな : </li> <li>● 全角カタカナ : </li> <li>● 全角英数 : </li> <li>● 半角カタカナ : </li> <li>● 半角英数 : </li> <li>● 直接入力 : </li> </ul> <p>選択されている文字種がボタンに表示されます。</p>
	入力方式ボタン	<p>入力モードボタンが、ひらがな、全角カタカナ、または半角カタカナの場合、入力域での入力方式を以下から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ローマ字入力 : </li> <li>● かな入力 : </li> </ul> <p>選択されている入力方式がボタンに表示されます。</p>



[OK] ボタンを押さずに [ログアウト] ボタンおよび [キャンセル] ボタンを押した場合、設定内容は反映されません。



## 6.2.2 利用者ごとの設定について

利用者ごとに、以下を設定しておくことができます。

- ログイン
 

電源投入時および再起動時、「ログイン」画面を表示せずに、自動的にログインするように設定できます。

また、**guest** アカウントでログインできるようにするかどうかも設定できます。
- メインメニュー表示
 

「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面の表示について設定できます。

利用者ごとに、「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面を切り替えられるようにしたり、常に「ジョブメニュー」画面を表示するようにしたりできます。
- ユーザー情報共有
 

集中管理サーバでユーザー情報を管理することで、利用者ごとの設定を複数のスキャナで共有するように設定できます。

同一の利用者が、別のスキャナからログインしても利用者ごとの設定を利用できます。

共有できるユーザー情報は、以下のとおりです。

  - メールアドレス台帳（My List）
  - 読み取り設定
  - 選択ネットワーク共有プリンタ
  - 選択ネットワーク共有フォルダ

なお、選択ネットワーク共有プリンタ・共有フォルダは、装置ごとに同じネットワーク共有プリンタ・フォルダが設定されていない場合、選択状態は解除されます。
- ジョブ設定共有
 

集中管理サーバでジョブ設定を管理することで、利用者ごとに設定されているジョブを複数のスキャナで共有するように設定できます。

同一の利用者が、別のスキャナからログインしても利用者ごとの「ジョブメニュー」画面を表示できます。



ヒント

[ネットワーク設定]の「集中管理サーバ」画面で、ユーザー情報共有またはジョブ設定共有が有効になっている状態で、ログイン時に集中管理サーバと通信できない場合、確認画面が表示されます。この画面で[OK]ボタンを押して続行した場合は、本装置に保存されている設定情報で動作します。[キャンセル]ボタンを押した場合は、ログイン画面に戻ります。

## 6.2.3 「メインメニュー」画面について

「メインメニュー」画面に表示されるボタンの種類（メール/FAX/印刷/保存）は、連携するサーバなどの設定内容により異なります。

以下に、メール/FAX/印刷/保存の設定を行った場合の「メインメニュー」画面について説明します。



ボタン	本書内での表記	機能
	メニュー切り替えボタン	「ジョブメニュー」画面を表示します。詳細については、「 <a href="#">6.2.4 「ジョブメニュー」画面について</a> 」(251 ページ)を参照してください。
	[メンテナンス]ボタン	「メンテナンス」画面を表示します。操作方法については、「 <a href="#">6.13 メンテナンスします</a> 」(356 ページ)を参照してください。

ボタン	本書内での表記	機能
	[ 消耗品状態 ] ボタン	「消耗品」画面を表示します。 消耗品の状態によってボタンのアイコンが変化します。  : 交換の必要はありません。  : 消耗品の交換時期が近づいています。 管理者に連絡してください。  : 消耗品の交換時期が過ぎました。早急に消耗品を交換してください。 操作方法については、「 <a href="#">7.6 消耗品／オプション品を交換します</a> 」(379 ページ)を参照してください。
	[ ユーザーログ ] ボタン	「ユーザーログ」画面を表示します。 操作ログの操作方法については、「 <a href="#">6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します</a> 」(354 ページ)を参照してください。
	[メール] ボタン	「メール送信」画面を表示します。 操作方法については、「 <a href="#">6.4 スキャン画像をメールで送信します</a> 」(259 ページ)を参照してください。
	[FAX] ボタン	「FAX 送信」画面を表示します。 操作方法については、「 <a href="#">6.5 スキャン画像をFAXで送信します</a> 」(276 ページ)を参照してください。
	[印刷] ボタン	「印刷」画面を表示します。 操作方法については、「 <a href="#">6.6 スキャン画像を印刷します</a> 」(285 ページ)を参照してください。
	[保存] ボタン	「保存」画面を表示します。 操作方法については、「 <a href="#">6.7 スキャン画像をフォルダに保存します</a> 」(298 ページ)を参照してください。

ボタン	本書内での表記	機能
	[SharePoint に保存] ボタン	「SharePoint に保存」画面を表示します。操作方法については、「 <a href="#">6.8 スキャン画像を SharePoint フォルダに保存します</a> 」( <a href="#">303 ページ</a> )を参照してください。
	[ログアウト] ボタン	ログアウトします。

## 6.2.4 「ジョブメニュー」画面について

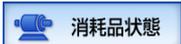
「ジョブメニュー」画面の表示されるボタンの種類は、ジョブの設定内容により異なります。

以下に、ジョブの設定を行った場合の「ジョブメニュー」画面の表示例について説明します。



なお、利用者が複数のジョブグループに属している場合、以下のように、ジョブメニュー名や「ジョブメニュー」画面を切り替えるボタンが表示されます。



表示項目	本書内での表記	機能
	メニュー切り替えボタン	「メインメニュー」画面を表示します。詳細については、「6.2.3 「メインメニュー」画面について」(248 ページ)を参照してください。
	[メニュー切り替え]ボタン	[メンテナンス]ボタン、[消耗品状態]ボタン、[ユーザーログ]ボタンが表示されたメニューの表示 / 非表示を切り替えます。
	[メンテナンス]ボタン	「メンテナンス」画面を表示します。詳細については、「6.2.3 「メインメニュー」画面について」(248 ページ)を参照してください。
	[消耗品状態]ボタン	「消耗品」画面を表示します。詳細については、「6.2.3 「メインメニュー」画面について」(248 ページ)を参照してください。
	[ユーザーログ]ボタン	「ユーザーログ」画面を表示します。詳細については、「6.2.3 「メインメニュー」画面について」(248 ページ)を参照してください。
	ジョブメニュー名表示域	複数のジョブグループに属している場合のみ表示されます。現在選択されているジョブメニュー名が表示されます。

表示項目	本書内での表記	機能
	ジョブメニュー切り替えボタン	<p>複数のジョブグループに属している場合のみ表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  を押すと、属しているジョブグループのジョブメニュー名が一覧表示されます。ジョブメニュー名を選択すると、そのジョブメニュー名の「ジョブメニュー」画面が表示されます。</li> <li>●  を押すと、前の「ジョブメニュー」画面が表示されます。</li> <li>●  を押すと、次の「ジョブメニュー」画面が表示されます。</li> </ul>
	ジョブボタン	<p>各ジョブボタンに割り当てられた処理を実行します。</p> <p>操作方法については、「<a href="#">6.14 ジョブを実行します</a>」(357 ページ) を参照してください。</p>
	[ ログアウト ] ボタン	ログアウトします。
 <p>(ボタンの操作が有効の場合)</p>	[ メッセージ表示 ] ボタン	<p>ジョブの内容を確認する「ジョブメッセージ」画面を表示するかどうかを設定できます。</p> <p>操作方法については、「<a href="#">6.14.1 「ジョブメッセージ」画面の表示を設定します</a>」(361 ページ) を参照してください。</p>
 <p>(ボタンの操作が無効の場合)</p>	—	<p>ジョブの内容を確認する「ジョブメッセージ」画面を表示するかどうかは設定できません。</p> <p>管理者が設定した内容によって、ジョブ実行時に「ジョブメッセージ」画面が表示されるかどうか異なります。</p>
 <p>(ボタンの操作が有効の場合)</p>	[ 表示 & 編集 ] ボタン	<p>スキャン画像を確認する「表示 &amp; 編集」画面を表示するかどうかを設定できます。</p> <p>操作方法については、「<a href="#">6.10 「表示 &amp; 編集」画面の表示を設定します</a>」(347 ページ) を参照してください。</p>

表示項目	本書内での表記	機能
 <p>(ボタンの操作が無効の場合)</p>	—	<p>スキャン画像を確認する「表示&amp;編集」画面を表示するかどうかは設定できません。</p> <p>管理者が設定した内容によって、ジョブ実行時に「表示&amp;編集」画面が表示されるかどうか異なります。</p>

## 6.3 利用者モードでログインします

### 注意



電源を入れたまま、持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。  
本製品内部のハードディスクを損傷し、データを消失する原因となります。

ユーザー認証では、LDAP サーバ上のユーザー情報の定義内容に従って、ユーザー名を指定してください。

本装置は、指定されたユーザー名に応じて、以下のように認証処理を行います。

- LDAP サーバのサーバ種別が [Active Directory] または [Active Directory Global Catalog] の場合

分類	認証処理
SAM アカウント名 「@」を含まないユーザー名が指定された場合	ユーザーログイン名 (sAMAccountName) で認証処理を行います。 例：user
ユーザープリンシパル名 「@」を含むユーザー名が指定された場合	ユーザーログイン名 (userPrincipalName) で認証処理を行います。 例：user@example.com



SAM アカウント名にドメイン名を指定する場合は、「ドメイン名¥SAM アカウント名」と記述します。

- LDAP サーバのサーバ種別が [その他の LDAP サーバ] の場合

分類	認証処理
uid	ユーザーログイン名 (uid) で認証処理を行います。 例：user
cn	ユーザーログイン名 (cn) で認証処理を行います。 例：user

また、認証されたユーザー情報は、ネットワーク共有フォルダ保存時のユーザー情報としても利用されます。

電源投入時および再起動時、「ログイン」画面を表示せずに、自動的にログインするようにもできます。

Active Directory のアカウントオプションで「ユーザーは次回ログオン時にパスワード変更が必要」となっている場合はログインすることができません。管理者に連絡してパスワードを設定してからログインを行ってください。



- LDAP サーバが存在しない環境で本装置を使用する場合、ユーザー名およびパスワードは以下のとおりです。LDAP サーバについては、「[LDAP サーバ](#)」(18 ページ)を参照してください。  
ユーザー名 :guest  
パスワード :guest  
ただし、guest アカウントが無効になっている場合は使用できません。
- 自動ログインおよび guest アカウントの有効無効を設定する方法については、「[4.6.6 ログイン設定をします](#)」(67 ページ)を参照してください。
- 同時に複数人がログインすることはできません。ログインできるのは常に 1 人です。

1. 電源ボタンを押します。



⇒ 「ログイン」画面が表示されます。

2. LDAP サーバに登録されている「ユーザー名」および「パスワード」を入力します。

ログイン

ユーザー名:

パスワード:

電源切断 ログイン

設定項目	説明
ユーザー名	<p>最大文字数は 64 文字です。  半角および全角が使用できます。  ユーザー名には、以下の文字が使用できません。また、ユーザー名  の先頭に @ と . (ドット) は使用できません。  /¥[ ] : ;   = , + * ? &lt; &gt; "</p>
パスワード	<p>最大文字数は半角 256 文字です。  パスワードには、大文字、小文字、数字、および記号が入力でき  ます。なお、大文字と小文字は区別されます。</p>



- キーボードが Caps Lock されている場合は、「Caps Lock」が点灯します。
- キーボードが Num Lock されている場合は、「Num Lock」が点灯します。
- ログイン LDAP サーバが Active Directory Global Catalog の場合、UPN サフィックスの入力域が表示されます。

ログイン

ユーザー名:  
user

パスワード:  
\*\*\*\*\*

UPN サフィックス:  
example.com

電源切断 ログイン

UPN サフィックスの最大文字数は 64 文字です。入力した UPN サフィックスは保存され、次回ログイン時にもそのまま使用できます。UPN サフィックスを入力すると、「ユーザー名」のうしろに、「@」と「UPN サフィックス」を付加して認証されます。たとえば、ユーザー名に「user」、UPN サフィックスに「example.com」と入力する場合、「user@example.com」として認証されます。この「user@example.com」が「ユーザープリンシパル名」です。UPN サフィックスを使用しない場合は、入力しないでください。UPN サフィックスは、guest アカウントでログインする場合、入力する必要はありません。入力しても無効になります。

### 3. [ログイン] ボタンを押します。

⇒ 認証されると、「メインメニュー」画面が表示されます。

## 6.4 スキャン画像をメールで送信します



まって!

LDAP サーバを設定している場合、LDAP サーバにユーザーのメールアドレスを必ず登録してください。登録していない場合、メール送信できません。

### 1. 「メインメニュー」画面で [メール] ボタンを押します。

⇒ 「メール送信」画面が表示されます。



ヒント

[読み取り設定] ボタンを押すと、読み取り設定を変更できます。詳細については、「[6.9 読み取り設定をします](#)」(311 ページ) を参照してください。

### 2. 「宛先」、「Cc」、「Bcc」に、送信先のグループ、同報リスト、またはアドレスを入力します。

グループを入力すると、グループに登録されているすべての送信先に送信できます。詳細については、「[E.6 グループを設定します](#)」(457 ページ) を参照してください。

同報リストを入力すると、同報リストに登録されているすべての送信先に送信できます。詳細については、「[E.7 同報リストを設定します](#)」(459 ページ) を参照してください。

「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430 ページ) を参照してください。

複数の送信先に送る場合は、送信先を「;」で区切ります。最大 30 件の送信先に同時に送信することができます。



ヒント

メールアドレス台帳を使ってメールアドレスを簡単に入力することもできます。詳細については、「[6.4.1 メールアドレス台帳を使ってアドレスを入力します](#)」(264 ページ) を参照してください。

メール送信 A ローマ字入力 Caps Lock Num Lock

宛先：

Cc：

添付ファイル名：

Bcc：

送信者：

件名：

本文：



キャンセル 読み取り設定 初期値 表示 & 編集 する スキャン

3. 「添付ファイル名」に添付するスキャン画像の名前を入力します。

最大文字数は 128 文字です。半角および全角文字が使用できます。以下の文字は使用できません。

¥/:\*?"<>|

初期値は管理者画面の「添付ファイル名設定」画面で設定したファイル名です。詳細については、「[4.6.10 添付ファイル名を設定します](#)」(79 ページ)を参照してください。



以下のファイル名は設定することができません。

- CON
- PRN
- AUX
- CLOCK\$
- NUL
- COM0 ~ COM9
- LPT0 ~ LPT9



## 4. 「送信者」に送信者のメールアドレスを入力します。

- guest アカウントでログインした場合のみ入力できます。送信者のメールアドレスを入力してください。「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430 ページ)を参照してください。



メールアドレス台帳を使ってメールアドレスを簡単に入力することもできます。

詳細については、「[6.4.1 メールアドレス台帳を使ってアドレスを入力します](#)」(264 ページ)を参照してください。

- guest アカウント以外でログインした場合、送信者の入力域は表示されませんが、LDAP サーバに登録されているユーザーのメールアドレスが設定されます。

## 5. 「件名」にメールの題名を入力します。

最大文字数は 128 文字です。半角および全角文字が使用できます。



半角カタカナを入力した場合は、全角カタカナに変換されて送信されます。

## 6. 「本文」にメールの本文を入力します。

最大文字数は 512 文字です。半角および全角文字が使用できます。



半角カタカナを入力した場合は、全角カタカナに変換されて送信されます。

## 7. 開封確認をするかどうかを選択します。

開封確認  を押して  にした場合、開封確認要求が行われます。

## 8. [スキャン] ボタンを押します。

[表示&編集] ボタンが「しない」の場合は、[スキャン&送信] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は読み取り順番に 1 ページずつプレビューされます。

スキャン読み取りできる最大ページ数は 999 ページです。

[白紙ページ削除] を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。

白紙ページ削除された分は最大ページ数まで追加読み取りすることができます。読み取りが完了すると「表示&編集」画面が表示されます。

---

「表示&編集」画面での編集については、「6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します」(350 ページ) を参照してください。



- [表示&編集] ボタンの初期値は「する」です。
- [表示&編集] ボタンが「しない」の場合([スキャン&送信] ボタンを押した場合) は、読み取り中画面で最終ページを表示したあと、スキャン画像を添付したメールがすぐに送信され、「メインメニュー」画面に戻ります。  
詳細については、「6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します」(347 ページ) を参照してください。

9. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面での確認については、「6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します」(350 ページ) を参照してください。

10. 「表示&編集」画面で [送信] ボタンを押します。

- ⇒ 指定したファイル形式のファイルを添付したメールが送信されます。  
メール分割が有効になっている場合、メールが分割されて送信されます。  
宛先に指定できるアドレス数を超過していた場合、警告が表示されます。



cdef@example.com へ送信しています。

- ⇒ 「メインメニュー」画面に戻ります。



- 以下は、事前に管理者が設定した値です。
    - 宛先に指定できるアドレスの数
    - メールを分割して送信するかどうかの設定、および分割サイズ
    - 添付するファイルの最大サイズ
- 設定を変更する場合は、管理者に連絡してください。設定方法については、「[4.7.11 メールサーバを設定します](#)」(121 ページ) を参照してください。
- 写真や図などの原稿の場合は、圧縮率を高くすると、ファイルサイズを小さくすることができます。詳細については、「[6.9.9 圧縮率を設定します](#)」(333 ページ) を参照してください。
  - ファイル形式が JPEG または TIFF の場合、ページ数分のファイルがメールに添付されます。
    - [表示&編集] ボタンが「する」の場合、ページ数が 10 ページを超えると「メール送信」画面で [送信] ボタンを押したあとに確認メッセージが表示されます。
    - [表示&編集] ボタンが「しない」の場合、「メール送信」画面で [スキャン&送信] ボタンを押したあとに確認メッセージが表示されません。
  - メール送信に失敗した場合、「送信者」に入力されたメールアドレスに本装置からエラー通知のメールが以下のタイトルで送信されます。  
ネットワークスキャナ XXXX からのエラー通知

## 6.4.1 メールアドレス台帳を使ってアドレスを入力します

「6.4 スキャン画像をメールで送信します」(259 ページ) の手順 2 および手順 4 でアドレスを直接入力せずに、メールアドレス台帳を使用してアドレスを入力する方法について説明します。

メールアドレス台帳には、My List と LDAP List があります。検索方法の操作以外、操作方法は同じです。検索方法は「前方一致」、「部分一致」、「後方一致」から選択できます。

- My List とは、利用者ごとに作成できるメールアドレス台帳です。



ヒント

My List は、AddressBook Editor を使って編集することもできます。  
詳細については、「付録 E メールアドレス台帳の編集 (AddressBook Editor)」(443 ページ) を参照してください。

- LDAP List とは、LDAP サーバに登録されている情報を利用したメールアドレス台帳です。編集はできません。  
以下の場合、[LDAP List] タブは表示されず使用できません。
  - LDAP サーバを利用しない場合
  - guest アカウントでログインした場合

アドレスの入力時には、以下の送信先をメールアドレス台帳から選択できます。

送信先	メールアドレス台帳に表示されるアイコン	My List	LDAP List
グループ		○	— (*)
同報リスト		○	— (*)
アドレス		○	○

○ : 選択できます。      — : 選択できません

(\*) : LDAP List では、表示されません。

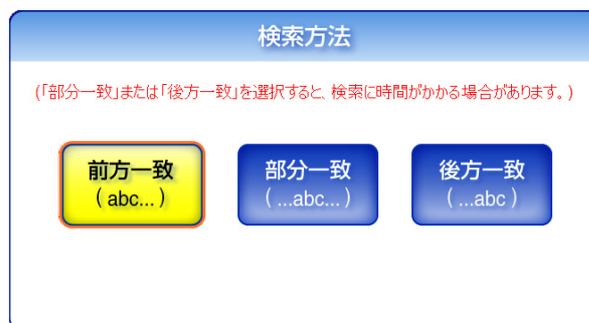
ここでは、LDAP List でアドレスを入力する方法を説明します。



1. 「メール送信」画面で、メールアドレスを入力する項目の横にある  を押します。  
⇒ 「メールアドレス台帳」画面の LDAP List が表示されます。

2. 検索条件を選択します。  
左ボタンおよび中央ボタンの検索条件とボタン名をカスタマイズすることができます。検索条件とボタン名をカスタマイズする方法については、「[4.7.10 LDAP 検索条件を設定します](#)」(116 ページ) を参照してください。  
左ボタンおよび中央ボタンを押した場合の検索結果は、検索条件によってアルファベットの昇順で一覧表示されます。検索項目が複数選択されている場合は、選択した項目のいずれかを含んでいる情報が検索されます。  
[メールアドレス] ボタンを押した場合の検索結果は、登録されているメールアドレスのアルファベットの昇順で一覧表示されます。
3. [検索方法] ボタンを押します。  
⇒ 「検索方法」画面が表示されます。

4. 検索方法を選択します。  
初期値は、[ 前方一致 (abc...) ] です。



検索方法	説明	入力例	一致例
前方一致 (abc...)	手順 5 で入力する検索文字列から始まる宛先が検索されます。	abc	abc、abc1、abcd など
部分一致 (...abc...)	手順 5 で入力する検索文字列を含んでいる宛先が検索されます。	abc	abc、abc1、xabc、xabcy など
後方一致 (...abc)	手順 5 で入力する検索文字列で終わる宛先が検索されます。	abc	abc、1abc、xabc など



LDAP サーバ上に数万件以上のデータが登録されている場合、  
[ 部分一致 ] または [ 後方一致 ] を選択して検索を行うと、検索に  
時間がかかります。



⇒ 「メールアドレス台帳」画面の LDAP List に戻ります。選択した内容が [ 検索方法 ]  
ボタンの右に表示されます。

5. 検索文字列を入力します。

検索する宛先の一部またはすべてを入力します。  
最大文字数は 256 文字です。半角および全角文字が使用できます。  
ワイルドカード検索はできません。\*?[ ] を文字として検索します。



My List の場合、 を押して、入力した検索文字列を消去できます。



6. [検索] ボタンを押します。  
⇒ 検索結果が右側に 5 件ずつ表示されます。



- 検索結果表示件数は LDAP サーバの設定で指定できます。LDAP サーバの設定は管理者が行います。  
詳細については、「[4.7.9 メールアドレス LDAP サーバを設定します](#)」(113 ページ) を参照してください。
- 検索結果で表示形式に該当する項目が登録されていない場合、検索結果は ---- で表示されます。  
たとえば、表示形式が「姓 名」で、LDAP サーバに「姓：富士通 名：なし」のユーザーが登録されている場合、検索結果は以下のようになります。  
検索結果の表示形式：富士通 ----
- My List と LDAP List では検索内容に以下の違いがあります。

検索文字	My List	LDAP List
全角、半角 (英数字、カタカナ、記号)	区別しない	区別しない
半角英大文字、半角英小文字	区別しない	区別しない
濁音、半濁音、拗音、促音	区別する	区別しない

また、My List で検索する場合、以下のようになります。

- 現在表示している階層、および階層の配下に含まれるものすべてが検索対象となります。
- 検索結果に表示されるグループには  は表示されず、配下の階層に移動できません。

## 7. 検索結果の中からメールアドレスを選択します。



- メールアドレスを選択して[+]ボタンを押すと、現在選択しているメールアドレスを追加することができます。複数のメールアドレスを追加する場合は、再度メールアドレスを選択して[+]ボタンを押して追加してください。
- メールアドレスを選択して[My Listに追加]ボタンを押すと、現在選択しているメールアドレスをMy Listに追加することができます。
- メールアドレスを選択して[詳細]ボタンを押すと、現在選択しているメールアドレスの詳細情報を確認することができます。

### メールアドレス詳細

姓	富士通
名	花子
メールアドレス	xyz@example.com
ユーザー識別名	富士通 花子
ユーザー表示名	富士通 花子



## 8. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「メール送信」画面にアドレスが入力されます。

メールアドレス台帳を使って複数アドレスを入力した場合は、アドレスの間に「;」が自動的に追加されます。

一度に入力できるアドレスは1通あたり30件です。

## 6.4.2 メールアドレス台帳にアドレスを追加します

My List にメールアドレスおよび同報リストを追加する方法について説明します。LDAP List には追加できません。

なお、メールアドレス台帳の最大登録件数は、以下のとおりです。

- グループ、同報リスト、アドレスを含む場合、合計で 5000 件です。
- アドレスのみの場合、10000 件です。

1. 以下のいずれかの方法で、「メールアドレス台帳」画面を表示します。

- 「メール送信」画面で、メールアドレスを入力する項目の横にある  を押します。
- 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [メールアドレス編集] ボタンを押します。詳細については、「[6.13 メンテナンスします](#)」(356 ページ) を参照してください。

2. [My List] タブを押します。



3. [追加] ボタンを押します。

⇒ 「メールアドレス追加」画面が表示されます。



グループにアドレスを追加する場合、追加先のグループを表示して [ 追加 ] ボタンを押します。  
以下の操作でグループの階層を表示します。



を押すと、表示しているグループの1つ上の階層が表示されます。



を押すと、表示しているグループの1つ下の階層が表示されます。

#### 4. 追加するアドレスの情報を入力します。

- メールアドレスを追加する場合

[ メールアドレス ] タブで、「姓」、「名」、「メールアドレス」を入力します。「姓」および「名」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できます。なお、「姓」、「名」は省略できます。「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430 ページ) を参照してください。

メールアドレス追加 A ローマ字入力 Caps Lock Num Lock

メールアドレス 同報リスト ¥

姓：

名：

メールアドレス：

キャンセル OK

- 同報リストを追加する場合

[同報リスト] タブで、「同報リスト名」および同報リストに含める「メールアドレス」を入力します。

「同報リスト名」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できません。以下の文字は使用できません。

；@

「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430 ページ) を参照してください。

同報リストには、最大 100 件のアドレスを設定できます。アドレスを複数指定する場合、「；」で区切ります。



「メールアドレス」は、 を押して、メールアドレス台帳を使用して入力することもできます。

5. [OK] ボタンを押します。

⇒ My List にアドレスが追加されます。



ヒント

My List は、AddressBook Editor を使って編集することもできます。

詳細については、「[付録 E メールアドレス台帳の編集 \(AddressBook Editor\)](#)」(443 ページ) を参照してください。

### 6.4.3 メールアドレス台帳を編集します

メールアドレス台帳の My List を編集する方法について説明します。LDAP List は編集できません。

1. 以下のいずれかの方法で、「メールアドレス台帳」画面を表示します。



- 「メール送信」画面で、メールアドレスを入力する項目の横の  を押します。
  - 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [メールアドレス編集] ボタンを押します。詳細については、「[6.13 メンテナンスします](#)」(356 ページ) を参照してください。
2. [My List] タブを押します。
  3. 変更するメールアドレスまたは同報リストを選択します。
  4. [編集] ボタンを押します。  
⇒ 「メールアドレス編集」画面が表示されます。
  5. 変更する内容に書き換えます。
    - メールアドレスを編集する場合  
「姓」、「名」、「メールアドレス」を編集します。  
「姓」および「名」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できません。なお、「姓」、「名」は省略できます。  
「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430 ページ) を参照してください。

メールアドレス編集 あ ローマ字入力 Caps Lock Num Lock

 メールアドレス ¥

姓:

名:

メールアドレス:



キャンセル OK

- 同報リストを編集する場合

「同報リスト名」および同報リストに含める「メールアドレス」を入力します。「同報リスト名」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できません。以下の文字は使用できません。

;@

「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430 ページ)を参照してください。

同報リストには、最大 100 件のアドレスを設定できます。アドレスを複数指定する場合、「;」で区切ります。



「メールアドレス」は、を押して、メールアドレス台帳を使用して入力することもできます。

6. [OK] ボタンを押します。

⇒ メールアドレス台帳の内容が変更されます。



ヒント

My List は、AddressBook Editor を使って編集することもできます。詳細については、「[付録 E メールアドレス台帳の編集 \(AddressBook Editor\)](#)」(443 ページ)を参照してください。

## 6.4.4 メールアドレス台帳からアドレスを削除します

My List からメールアドレスおよび同報リストを削除する方法について説明します。LDAP List からは削除できません。

1. 以下のいずれかの方法で、「メールアドレス台帳」画面を表示します。

- 「メール送信」画面で、メールアドレスを入力する項目の横にある  を押します。
- 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [メールアドレス編集] ボタンを押します。詳細については、「[6.13 メンテナンスします](#)」(356 ページ) を参照してください。

2. [My List] タブを押します。

3. 削除するメールアドレスまたは同報リストを選択します。

4. [削除] ボタンを押します。

⇒ 「メールアドレス削除」画面が表示されます。

ここでは、メールアドレスを削除した場合の画面を例に説明します。

5. 削除内容を確認して、[OK] ボタンを押します。

**メールアドレス削除**

以下のデータを削除してよろしいでしょうか？

姓 : 富士通

名 : 太郎

メールアドレス : cdef@example.com



 キャンセル

 OK

⇒ メールアドレスが削除されます。



ヒント

My List は、AddressBook Editor を使って編集することもできます。  
詳細については、「[付録 E メールアドレス台帳の編集 \(AddressBook Editor\)](#)」  
(443 ページ) を参照してください。

## 6.5 スキャン画像を FAX で送信します

1. 「メインメニュー」画面で [FAX] ボタンを押します。

⇒ 「FAX 送信」画面が表示されます。



[読み取り設定] ボタンを押すと、読み取り設定を変更できます。  
詳細については、「[6.9 読み取り設定をします](#)」(311 ページ) を参照してください。

2. 「FAX 番号」に送信先の FAX 番号を入力します。

最大文字数は半角 64 文字です。数字と以下の記号が使用できます。

- \* #



FAX 番号台帳を使って FAX 番号を簡単に入力することもできます。  
詳細については、「[6.5.1 FAX 番号台帳を使って FAX 送信宛先を入力します](#)」(278 ページ) を参照してください。

FAX送信

あ ローマ字入力 Caps Lock Num Lock

FAX番号:

結果通知先メールアドレス:

キャンセル 読み取り設定 初期値 表示 & 編集 しない スキャン & 送信

3. 「結果通知先メールアドレス」に FAX 送信の結果を通知するメールアドレスを入力します。

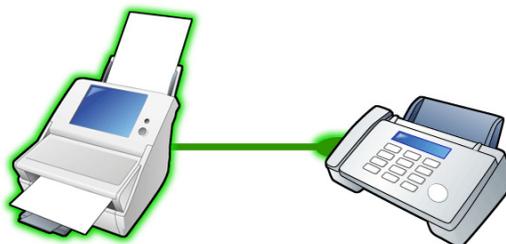
「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430 ページ) を参照してください。

## 4. [スキャン&amp;送信] ボタンを押します。

[表示&編集] ボタンが「する」の場合は、[スキャン] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中画面で最終ページを表示したあと、スキャン画像がすぐに FAX 送信され、「メインメニュー」画面に戻ります。



123456789へ送信しています。



ヒント

- [表示&編集] ボタンの初期値は「しない」です。
- [表示&編集] ボタンが「する」の場合 ([スキャン] ボタンを押した場合) は、読み取り中は読み取り順番に 1 ページずつプレビューされます。スキャン読み取りできる最大ページ数は 999 ページです。  
[白紙ページ削除] を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。  
白紙ページ削除された分は最大ページ数まで追加読み取りすることができます。  
読み取りが完了すると「表示&編集」画面が表示されます。  
「表示&編集」画面での編集については、「6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します」(350 ページ) を参照してください。  
また、「表示&編集」画面の表示については、「6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します」(347 ページ) を参照してください。
- 正常に送信されたかどうかの FAX 送信結果を本装置から通知先アドレスに以下のタイトルでメール通知されます。  
ネットワークスキャナ XXXX からのエラー通知

## 6.5.1 FAX 番号台帳を使って FAX 送信宛先を入力します

「6.5 スキャン画像を FAX で送信します」(276 ページ) の手順 2 で FAX 番号を直接入力せずに、FAX 番号台帳を使用して FAX 番号を入力する方法について説明します。



1. 「FAX 送信」画面で、 を押します。

⇒ 「FAX 番号台帳」画面が表示されます。

2. 検索条件を選択します。

[宛先] ボタンを押した場合の検索結果は、登録されている宛先のアルファベットの昇順で一覧表示されます。

[FAX 番号] ボタンを押した場合の検索結果は、登録されている FAX 番号の数字の昇順で一覧表示されます。



The screenshot shows the 'FAX番号台帳' (FAX Number Directory) screen. At the top, there is a title bar with 'FAX番号台帳' on the left and 'A' and 'ローマ字入力' (Roman Input) buttons on the right, along with 'Caps Lock' and 'Num Lock' indicators. The main area is divided into two sections: '宛先' (Destination) and 'FAX番号' (FAX Number). Under '宛先', there is a search input field labeled '検索文字列:' and a '検索' (Search) button. Below this is a '検索方法' (Search Method) section with a dropdown menu currently set to '前方一致 (abc...)' (Front Match). At the bottom of this section are three buttons: '+ 追加' (Add), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). The search results are displayed in a list with five entries: 'AAEEEE Co.', 'BBB Co.', 'CCC Co.', 'DDD Co.', and 'EEE Co.'. To the right of the list are up and down arrow buttons and a '1 / 1' indicator. At the bottom of the screen, there are 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons.

3. [検索方法] ボタンを押します。

⇒ 「検索方法」画面が表示されます。

## 4. 検索方法を選択します。

初期値は、[ 前方一致 (abc...) ] です。



検索方法	説明	入力例	一致例
前方一致 (abc...)	手順 5 で入力する検索文字列から始まる宛先が検索されます。	abc	abc、abc1、abcd など
部分一致 (...abc...)	手順 5 で入力する検索文字列を含んでいる宛先が検索されます。	abc	abc、abc1、xabc、xabcy など
後方一致 (...abc)	手順 5 で入力する検索文字列で終わる宛先が検索されます。	abc	abc、1abc、xabc など

⇒ 「FAX 番号台帳」画面に戻ります。選択した内容が [ 検索方法 ] ボタンの右に表示されます。

## 5. 検索文字列を入力します。

検索する送信先の一部またはすべてを入力します。

入力できる最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できます。

ワイルドカード検索はできません (\*?[ ] を文字として検索します)。

6. [検索] ボタンを押します。  
⇒ 検索結果が右側に名前で5件ずつ表示されます。

FAX番号台帳

A ローマ字入力 Caps Lock Num Lock

宛先 FAX番号

検索文字列:  
EEE 検索

検索方法 前方一致 (abc...)

EEE Co.

1 / 1

+ 追加 編集 削除

キャンセル OK

7. 検索結果の中から FAX 送信宛先を選択します。
8. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 「FAX 送信」画面に FAX 番号が入力されます。  
一度に入力できる番号は1回の送信あたり1件です。

## 6.5.2 FAX 番号台帳に FAX 送信宛先を追加します

FAX 番号台帳に登録できる FAX 番号の最大登録件数は 1000 件です。すでに 1000 件登録されている場合は、追加できません。  
追加した FAX 送信宛先は、全ユーザーが共有して利用することができます。

1. 以下のどちらかの方法で、「FAX 番号台帳」画面を表示します。



- 「FAX 送信」画面で、 を押します。
- 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [FAX 番号編集] ボタンを押します。詳細については、「[6.13 メンテナンスします](#)」(356 ページ) を参照してください。

2. [追加] ボタンを押します。



⇒ 「FAX 番号追加」画面が表示されます。

3. 追加する FAX 番号の情報を入力します。

「宛先」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できます。

「FAX 番号」の最大文字数は半角 64 文字です。数字と以下の記号が使用できます。

- \* #

FAX番号追加

A ローマ字入力 Caps Lock Num Lock

宛先 :

FAX番号 :



キャンセル OK

4. [OK] ボタンを押します。

⇒ FAX 番号台帳に FAX 番号が追加されます。

### 6.5.3 FAX 番号台帳を編集します

編集した FAX 送信宛先は、全ユーザーが共有して利用することができます。

1. 以下のどちらかの方法で、「FAX 番号台帳」画面を表示します。



- 「FAX 送信」画面で、 を押します。
  - 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [FAX 番号編集] ボタンを押します。詳細については、「[6.13 メンテナンスします](#)」(356 ページ) を参照してください。
2. 編集する宛先を選択します。
  3. [編集] ボタンを押します。  
⇒ 「FAX 番号編集」画面が表示されます。
  4. 変更する内容に書き換えます。  
「宛先」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できます。  
「FAX 番号」の最大文字数は半角 64 文字です。数字と以下の記号が使用できます。  
- \* #

**FAX番号編集**

あ    ローマ字入力    Caps Lock    Num Lock

宛先：

FAX番号：

5. [OK] ボタンを押します。  
⇒ FAX 番号台帳の内容が変更されます。

## 6.5.4 FAX 番号台帳から FAX 送信宛先を削除します

削除した FAX 送信宛先は、全ユーザーが利用できなくなります。

1. 以下のどちらかの方法で、「FAX 番号台帳」画面を表示します。



- 「FAX 送信」画面で、 を押します。
- 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で [メンテナンス] ボタンを押して、「メンテナンス」画面で [FAX 番号編集] ボタンを押します。詳細については、「[6.13 メンテナンスします](#)」(356 ページ) を参照してください。

2. 削除する宛先を選択します。

3. [削除] ボタンを押します。

⇒ 「FAX 番号削除」画面が表示されます。

4. 削除内容を確認して、[OK] ボタンを押します。

### FAX番号削除

以下のデータを削除してよろしいでしょうか？

宛先：○×△株式会社

FAX番号：987654321



 キャンセル

 OK

⇒ FAX 番号が削除されます。

## 6.6 スキャン画像を印刷します

1. 「メインメニュー」画面で [印刷] ボタンを押します。

⇒ 「印刷」画面が表示されます。

「印刷」画面には、ユーザーごとに前回ログイン時に設定した設定が表示されます。



[読み取り設定] ボタンを押すと、読み取り設定を変更できます。  
詳細については、「[6.9 読み取り設定をします](#)」(311 ページ) を参照してください。

2. プリンタを変更する場合は、[選択] ボタンを押します。

初回ログイン時、「プリンタ名」には管理者が最初に登録したネットワーク共有プリンタが表示されます。2回目以降のログイン時には前回使用したネットワーク共有プリンタ名が表示されます。

印刷

プリンタ名:

FUJITSUX.2(カラー)  
¥¥SERVER¥FUJITSUX.2(RGB Color)

印刷比率 等倍

印刷位置 用紙中央

両面/片面 両面  
↓  
両面(長辺とじ)

部数 1

初期値

キャンセル 読み取り設定 初期値 表示 & 編集 する スキャン

⇒ 「プリンター一覧」画面が表示されます。

### 3. プリンタを選択します。



- 「プリンター一覧」画面で [詳細] ボタンを押すと、選択したネットワーク共有プリンタの詳細が表示されます。プリンタ名が長い場合は、単語単位で改行されて表示されます。非表示部分のプリンタ名は、プリンタ名を手でドラッグしてスクロールすると表示できます。
- 選択できるプリンタは事前に管理者が登録したプリンタです。登録内容を変更する場合は、管理者に連絡してください。  
プリンタの追加方法については、「[4.7.13 ネットワーク共有プリンタを設定します](#)」(124 ページ) を参照してください。

#### プリンター一覧

 FUJITSUX.2(カラー)	 1 / 1 
 FUJITSUX.2(白黒)	
 FUJITSUX.2(両面A4)	
 Printer01	
 Printer02	

 キャンセル

詳細

 OK

## 4. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「印刷」画面に戻ります。



- 設定によっては、ネットワーク共有プリンタにアクセスするために認証が必要な場合があります。認証が必要な場合は、「プリントサーバ認証」画面が表示されます。  
以下の手順で認証を行ってください。

## 1. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

なお、パスワードの英大文字と英小文字は区別されません。

## 2. [OK] ボタンを押します。

- 本装置では、印刷前にプリントサーバの印刷権限を参照し、事前に印刷可否をチェックしています。ここで、印刷権限を参照するとき、一時的にスプールデータが発生する場合がありますが、異常ではありません。

## 5. 必要に応じて印刷設定を変更します。

[印刷比率]、[印刷位置]、および[両面／片面]を変更することができます。変更の詳細については「[6.6.1 印刷比率を設定します](#)」(290 ページ)、「[6.6.2 印刷位置を設定します](#)」(295 ページ)、および「[6.6.3 両面／片面を設定します](#)」(297 ページ)を参照してください。

印刷設定を出荷時の設定に戻したい場合は、[初期値]ボタンを押してください。なお、プリンタによってはプリントサーバでのプリンタ設定が有効になる場合があります。

## 6. 「部数」を入力します。

初期値は 1 です。入力できる範囲は、1 から 99 です。

なお、プリンタによってはプリントサーバでのプリンタ設定が有効になる場合があります。

## 7. [スキャン] ボタンを押します。

[表示&編集] ボタンが「しない」の場合は、[スキャン&印刷] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は読み取り順番に1ページずつプレビューされます。

スキャン読み取りできる最大ページ数は100ページです。

[白紙ページ削除] を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。

白紙ページ削除された分は最大ページ数まで追加読み取りすることができます。

読み取りが完了すると「表示&編集」画面が表示されます。

「表示&編集」画面での編集については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(350ページ)を参照してください。



- [表示&編集] ボタンの初期値は「する」です。
- [表示&編集] ボタンが「しない」の場合([スキャン&印刷] ボタンを押した場合)は、読み取り中画面で最終ページを表示したあと、スキャン画像がすぐに印刷され、「メインメニュー」画面に戻ります。  
詳細については、「[6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します](#)」(347ページ)を参照してください。
- 本装置では、印刷前にプリントサーバの印刷権限を参照し、事前に印刷可否をチェックしています。ここで、印刷権限を参照するとき、一時的にスプールデータが発生する場合がありますが、異常ではありません。



## 8. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面での確認については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(350ページ)を参照してください。

## 9. 「表示&amp;編集」画面で[印刷]ボタンを押します。

⇒ 印刷データがプリントサーバへ送信されます。

送信されたスキャンデータのドキュメント名は、本装置のスキヤナ名になります。



FUJITSUX.2(カラー)へ印刷しています。



まって!

ユーザーログにはプリントサーバへスキャンデータの送信が完了するまでの結果が表示されます。ネットワーク共有プリンタの印刷結果は表示されません。ユーザーログについては、「[6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します](#)」(354 ページ)を参照してください。



ヒント

印刷に失敗した場合、LDAP サーバ認証でログインしたユーザーのメールアドレスに、本装置から以下のタイトルでエラー通知メールが送信されます。

ネットワークスキャナ XXXX からのエラー通知

## 6.6.1 印刷比率を設定します

スキャン画像を印刷する用紙サイズに合わせて印刷するかどうかを設定します。  
ここで設定した内容は、ユーザー単位で前回利用した印刷情報が表示されます。

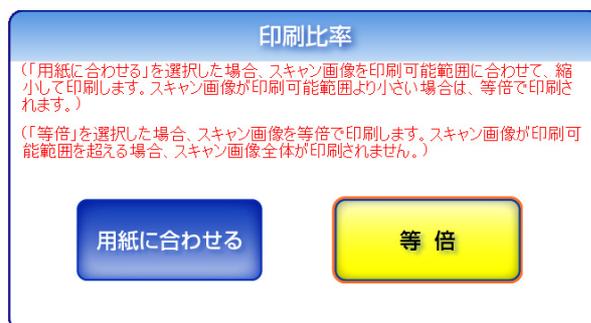
1. [印刷比率] ボタンを押します。



⇒ 「印刷比率」画面が表示されます。

## 2. スキャン画像の印刷比率を選択します。

初期値は、[ 等倍 ] です。



## ● 用紙に合わせる

印刷可能領域（点線内）にスキャン画像全体が納まるよう縮小されて印刷されます。拡大はされません。

印刷位置が [ 用紙中央 ] の場合は、印刷用紙の印刷可能領域の中央を基準点に印刷され、[ 用紙左上 ] の場合は印刷可能領域の左上を基準点に印刷されます。印刷位置については、「6.6.2 印刷位置を設定します」(295 ページ) を参照してください。

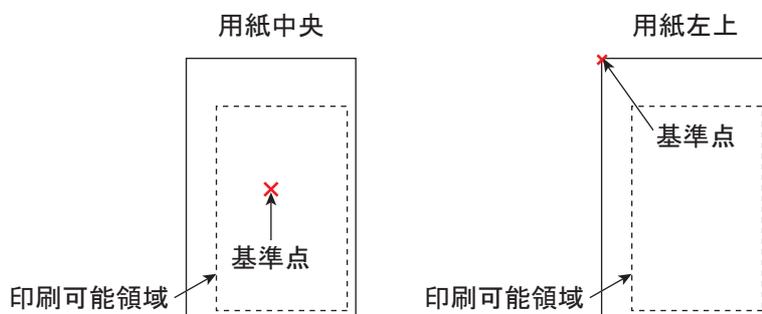


印刷用紙	スキャン画像	印刷位置	印刷結果
小さい 印刷用紙	大きい スキャン画像 A	用紙中央	スキャン画像 A
		用紙左上	スキャン画像 A

印刷用紙	スキャン画像	印刷位置	印刷結果
大きい 	小さい 	用紙中央	
		用紙左上	
同じ 	同じ 	用紙中央	
		用紙左上	

● 等倍

スキャン画像は、印刷用紙の大きさに関係なくそのままの大きさを印刷されます。印刷位置が [用紙中央] の場合は、印刷用紙の中央を基準点に印刷され、[用紙左上] の場合は印刷用紙の左上を基準点に印刷されます。印刷位置については、「6.6.2 印刷位置を設定します」(295 ページ) を参照してください。



印刷用紙	スキャン画像	印刷位置	印刷結果
小さい 印刷用紙	大きい スキャン画像 A	用紙中央	スキャン画像 A
		用紙左上	スキャン画像 A
大きい 印刷用紙	小さい スキャン画像 B	用紙中央	スキャン画像 B
		用紙左上	スキャン画像 B

印刷用紙	スキャン画像	印刷位置	印刷結果
同じ 	同じ 	用紙中央	
		用紙左上	

⇒ 「印刷」画面に戻ります。選択した内容が [印刷比率] ボタンの右に表示されます。



- プリンタで設定されている余白部分には印刷されません。そのため、枠消し設定を行っていても、枠消し設定以上に印刷されない部分が増える可能性があります。枠消し設定については、「[6.9.18 スキャン画像の枠消し幅を調整します](#)」(345 ページ) を参照してください。
- 「用紙に合わせる」を設定した場合、枠消しした部分は印刷データに含まれません。「等倍」を設定した場合、枠消しした部分も印刷データに含まれます。
- 等倍印刷時、プリンタ機種によって印刷開始位置および印刷領域が異なるため、原紙と比較した場合、位置がずれて印刷されることがあります。



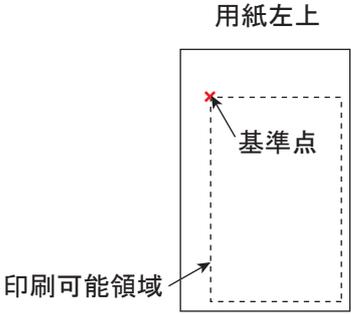
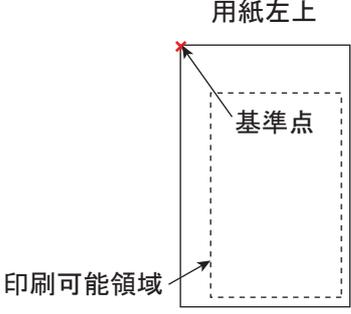
## 6.6.2 印刷位置を設定します

スキャン画像を用紙のどこに印刷するかを設定します。  
ここで設定した内容は、ユーザー単位で前回利用した印刷情報が表示されます。

1. [印刷位置] ボタンを押します。  
⇒ 「印刷位置」画面が表示されます。
2. 印刷位置を選択します。  
初期値は、[用紙中央]です。



ボタン	印刷比率	基準点
用紙中央	用紙に合わせる	印刷用紙の印刷可能領域の中央を基準点に印刷されます。  
	等倍	印刷用紙の中央を基準点に印刷されます。  

ボタン	印刷比率	基準点
用紙左上	用紙に合わせる	印刷可能領域の左上を基準点に印刷されます。  <p>The diagram shows a dashed rectangle representing the '印刷可能領域' (printable area). A red 'x' marks the top-left corner, labeled '基準点' (reference point). An arrow points from the text '用紙左上' (top-left of paper) to this red 'x'. Another arrow points from the text '印刷可能領域' (printable area) to the bottom-left corner of the dashed rectangle.</p>
	等倍	印刷用紙の左上を基準点に印刷されます。  <p>The diagram shows a solid rectangle representing the paper. A red 'x' marks the top-left corner, labeled '基準点' (reference point). An arrow points from the text '用紙左上' (top-left of paper) to this red 'x'. Another arrow points from the text '印刷可能領域' (printable area) to the bottom-left corner of a dashed rectangle inside the paper.</p>

印刷比率については、「[6.6.1 印刷比率を設定します](#)」(290 ページ) を参照してください。

⇒ 「印刷」画面に戻ります。選択した内容が [印刷位置] ボタンの右に表示されます。

### 6.6.3 両面／片面を設定します

両面印刷か片面印刷かを設定します。

1. [両面／片面] ボタンを押します。  
⇒ 「両面／片面」画面が表示されます。
2. 印刷面を選択します。

初期値は、[両面（長辺とじ）]です。

長辺とじは原稿の長い方がとじしろとして印刷され、短辺とじは原稿の短い方がとじしろとして印刷されます。



ご使用のプリンタによっては、長辺とじおよび短辺とじの設定が無効になる場合があります。



⇒ 「印刷」画面に戻ります。選択した内容が [両面／片面] ボタンの右に表示されます。

## 6.7 スキャン画像をフォルダに保存します

1. 「メインメニュー」画面で [保存] ボタンを押します。

⇒ 「保存」画面が表示されます。

「保存」画面には、ユーザーごとに前回ログイン時に設定したネットワーク共有フォルダが表示されます。



ヒント

[読み取り設定] ボタンを押すと、読み取り設定を変更できます。  
詳細については、「6.9 読み取り設定をします」(311 ページ) を参照してください。

2. [選択] ボタンを押します。

⇒ 「フォルダ一覧」画面が表示されます。

## 3. 保存先のネットワーク共有フォルダを選択します。



- 「フォルダー一覧」画面で [ 詳細 ] ボタンを押すと、選択したネットワーク共有フォルダの詳細が表示されます。フォルダ名が長い場合は、単語単位で改行されて表示されます。非表示部分のフォルダ名は、フォルダ名を手でドラッグしてスクロールすると表示できます。
- 選択できるネットワーク共有フォルダは事前に管理者が登録したフォルダです。登録内容を変更する場合は、管理者に連絡してください。ネットワーク共有フォルダの追加方法については、「[4.7.14 ネットワーク共有フォルダを設定します](#)」(138 ページ) を参照してください。



4. [OK] ボタンを押します。

⇒「保存」画面に戻ります。



設定によっては、ファイルサーバにアクセスするために認証が必要な場合があります。認証が必要な場合は、「ファイルサーバ認証」画面が表示されます。

以下の手順で認証を行ってください。

1. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

なお、パスワードの英大文字と英小文字は区別されません。

2. [OK] ボタンを押します。

5. 「ファイル名」に保存するスキャン画像の名前を入力します。

最大文字数は 128 文字です。半角および全角文字が使用できます。¥と / はフォルダの区切り文字として扱われます。以下の文字は使用できません。

: \* ? " < > |

初期値は管理者画面の「保存ファイル名設定」画面で設定したファイル名です。

詳細については、「[4.6.9 保存ファイル名を設定します](#)」(75 ページ) を参照してください。



まっぴー!

- 以下のファイル名は設定することができません。
  - CON
  - PRN
  - AUX
  - CLOCK\$
  - NUL
  - COM0 ~ COM9
  - LPT0 ~ LPT9
- FTP サーバへ保存する際に、ファイル名に全角文字を使用する場合、ファイル名が長すぎると保存できないことがあります。
- [読み取り設定] でファイル形式を変更した場合、「ファイル名」には「保存ファイル名設定」画面で設定したファイル名が再設定されます。

#### 6. 上書き保存するかどうかを選択します。

初期値は [いいえ] です。

同名ファイルが指定された場合、上書きはされません。処理が成功したかどうかは、ユーザーログを参照してください。

ユーザーログの参照方法については、「[6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します](#)」(354 ページ) を参照してください。

#### 7. [スキャン] ボタンを押します。

[表示&編集] ボタンが「しない」の場合は、[スキャン&保存] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は読み取り順番に 1 ページずつプレビューされます。

スキャン読み取りできる最大ページ数は 999 ページです。

[白紙ページ削除] を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。

白紙ページ削除された分は最大ページ数まで追加読み取りすることができます。

読み取りが完了すると「表示&編集」画面が表示されます。

「表示&編集」画面での編集については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(350 ページ) を参照してください。



ヒント

- [表示&編集] ボタンの初期値は「する」です。
- [表示&編集] ボタンが「しない」の場合([スキャン&保存] ボタンを押した場合) は、読み取り中画面で最終ページを表示したあと、スキャン画像がすぐに保存され、「メインメニュー」画面に戻ります。詳細については、「[6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します](#)」(347 ページ) を参照してください。

8. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面での確認については、「6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します」(350 ページ)を参照してください。

9. 「表示&編集」画面で[保存]ボタンを押します。

⇒ 指定したファイル形式のファイルがネットワーク共有フォルダに保存されます。



Folder01へ保存しています。



⇒ 「メインメニュー」画面に戻ります。



ヒント

ネットワーク共有フォルダへの保存に失敗した場合、LDAP サーバ認証でログインしたユーザーのメールアドレスに、本装置から以下のタイトルでエラー通知メールが送信されます。

ネットワークスキャナ XXXX からのエラー通知



## 6.8 スキャン画像を SharePoint フォルダに保存します

1. 「メインメニュー」画面で [SharePoint に保存] ボタンを押します。

⇒ 「SharePoint に保存」画面が表示されます。



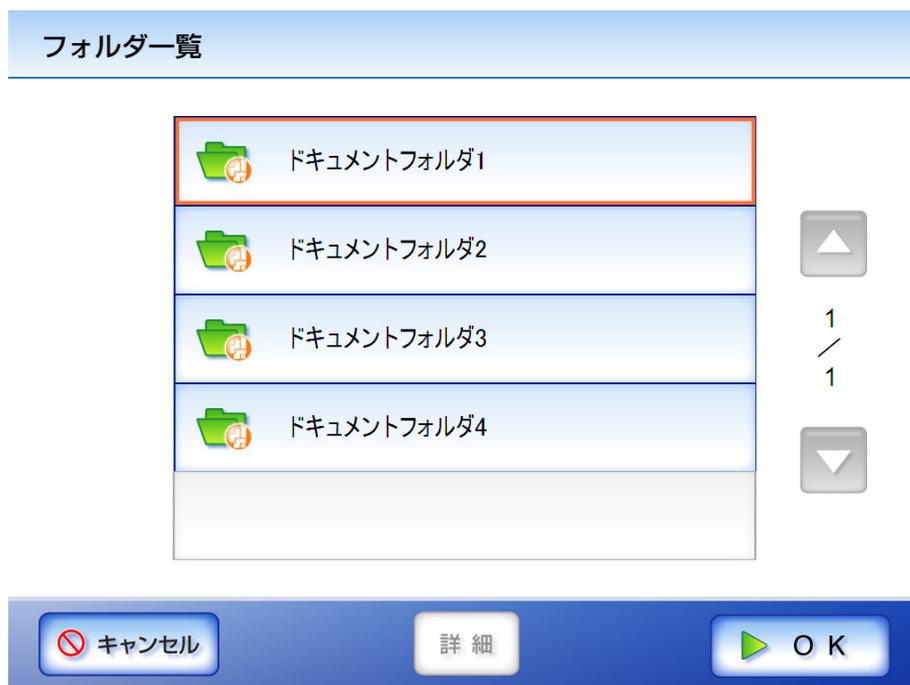
[読み取り設定] ボタンを押すと、読み取り設定を変更できます。  
詳細については、「6.9 読み取り設定をします」(311 ページ) を参照してください。

2. 「保存先」の [選択] ボタンを押します。

⇒ 「フォルダー一覧」画面が表示されます。

### 3. 保存先のフォルダを選択します。

- ヒント 
- 「フォルダー一覧」画面で [ 詳細 ] ボタンを押すと、選択したフォルダの詳細が表示されます。フォルダ名が長い場合は、単語単位で改行されて表示されます。非表示部分のフォルダ名は、フォルダ名を手でドラッグしてスクロールすると表示できます。
  - 選択できるフォルダは事前に管理者が登録したものです。登録内容を変更する場合は、管理者に連絡してください。フォルダの追加方法については、「[4.7.15 SharePoint フォルダを設定します](#)」(150 ページ) を参照してください。



## 4. [OK] ボタンを押します。



設定によっては、SharePoint サーバにアクセスするために認証が必要な場合があります。認証が必要な場合は、「サインイン」画面が表示されます。

以下の手順で認証を行ってください。

1. 「ユーザー名」、「パスワード」、「ドメイン」を入力します。  
なお、パスワードの英大文字と英小文字は区別されます。

## 2. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「SharePoint に保存」画面に戻ります。

## 5. 「ファイル名」に保存するスキャン画像の名前を入力します。

最大文字数は 113 文字です。半角および全角文字が使用できます。¥と / はフォルダの区切り文字として扱われます。以下の文字は使用できません。

~"#%&\*:<>?{|}

初期値は管理者画面の「保存ファイル名設定」画面で設定したファイル名です。詳細については、「[4.6.9 保存ファイル名を設定します](#)」(75 ページ)を参照してください。



- 以下のファイル名は設定することができません。
  - CON
  - PRN
  - AUX
  - CLOCK\$
  - NUL
  - COM0 ~ COM9
  - LPT0 ~ LPT9
- SharePoint サーバへ保存する際に、ファイル名に全角文字を使用する場合、ファイル名が長すぎると保存できないことがあります。
- [読み取り設定] でファイル形式を変更した場合、「ファイル名」には「保存ファイル名設定」画面で設定したファイル名が再設定されます。

## 6. [分割設定] ボタンを押します。

⇒ 「分割設定」画面が表示されます。

スキャン画像のファイルサイズが上限を超えている場合に、ファイルを分割して保存するための設定をします。

分割設定

ファイルサイズが45MBを超える場合、ファイルを分割して格納する必要があります。  
分割するファイルサイズを指定してください。

上限ファイルサイズ：  [MB]

上限ページ数のめやす：

 カラー：	80 ページ
 グレースケール：	80 ページ
 白黒：	202 ページ

キャンセルOK

1. 「上限ファイルサイズ」に、ファイルを分割するときの 1 ファイルのファイルサイズの上限を入力します。

初期値は 45 です。入力できる範囲は、1 ~ 45M バイトです。

なお、1 ファイルに保存できるページ数は、スキャン画像の解像度とカラーモードによって異なります。

1 ページのサイズの目安は、以下を参考にしてください。

読み取り設定は初期値の状態から、用紙サイズを A4 にし、カラーモードと解像度をそれぞれ変更した時の値になります。

原稿サイズ :A4 (一般カタログ)

ファイル形式 :PDF

用紙サイズ指定 :A4

解像度	1 ページのファイルサイズ (KB) の目安		
	カラー	グレースケール	白黒
150dpi	310		124
200dpi	550		220
300dpi	1250		500
600dpi	5000		2000



- 1 ページのファイルサイズが、設定した上限ファイルサイズよりも大きい場合は、1 ページずつ保存されます。
- 分割したファイル名の形式は、「元のファイル名 - ファイル番号 - 総ファイル数」です。  
ファイル番号および総ファイル数は、4 桁で付加されます。たとえば、総ファイル数が「5」の場合は「0005」となります。

2. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「SharePoint に保存」画面に戻ります。

7. 「コンテンツタイプ」で、SharePoint サーバでスキャン画像を管理するときのコンテンツタイプを設定します。

1. 「コンテンツタイプ」の [ 選択 ] ボタンを押します。

⇒ コンテンツタイプを選択する画面が表示されます。

2. コンテンツタイプを選択して、[OK] ボタンを押します。



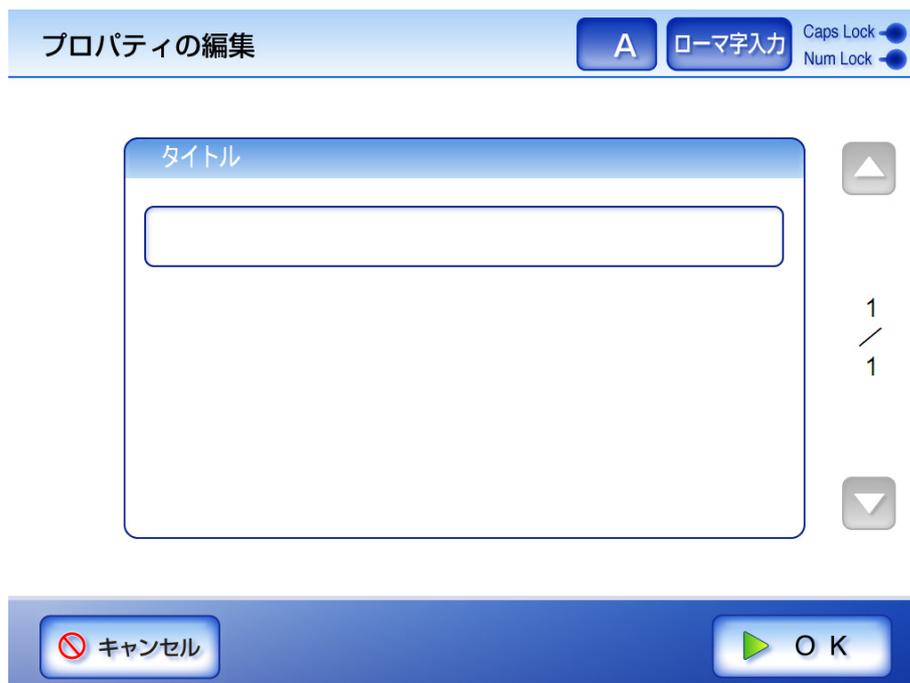
⇒ コンテンツタイプが設定されます。

また、選択したコンテンツタイプに応じて、SharePoint サーバ上で定義されているプロパティが「SharePoint に保存」画面に一覧表示されます。

8. 以下のどちらかの方法で、プロパティを設定します。

- 「SharePoint に保存」画面でプロパティを直接入力して設定します。
- 編集するプロパティの横にあるボタンを押して、「プロパティの編集」画面でプロパティを設定します。

-  は、任意に入力するプロパティの場合に表示されます。「SharePoint に保存」画面で直接入力することもできます。
-  は、項目を選択して設定するプロパティの場合に表示されます。



- 以下のプロパティは、「プロパティの編集」画面からは設定できません。
  - 説明
  - カテゴリ
  - 画像の作成日
- 「プロパティの編集」画面で設定できないプロパティが SharePoint サーバ側で必須入力になっている場合、SharePoint フォルダにスキャン画像を保存すると、チェックアウト状態で登録されます。チェックアウト状態は、Web ブラウザから必須プロパティを入力すると解除できます。また、チェックアウト状態のファイルは上書きできません。





設定できるプロパティは、以下のとおりです。

- 1行テキスト
- 複数行テキスト
- 選択肢
- 数値
- 通貨
- 日付と時刻
- はい/いいえ
- ユーザーまたはグループ
- ハイパーリンクまたは画像

#### 9. 上書き保存するかどうかを選択します。

初期値は [いいえ] です。

同名ファイルが指定された場合、上書きはされません。処理が成功したかどうかは、ユーザーログを参照してください。

ユーザーログの参照方法については、「[6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します](#)」(354 ページ) を参照してください。

#### 10. [スキャン] ボタンを押します。

[表示&編集] ボタンが「しない」の場合は、[スキャン&保存] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は読み取り順番に 1 ページずつプレビューされます。

スキャン読み取りできる最大ページ数は 999 ページです。

[白紙ページ削除] を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。

白紙ページ削除された分は最大ページ数まで追加読み取りすることができます。

読み取りが完了すると「表示&編集」画面が表示されます。

「表示&編集」画面での編集については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(350 ページ) を参照してください。



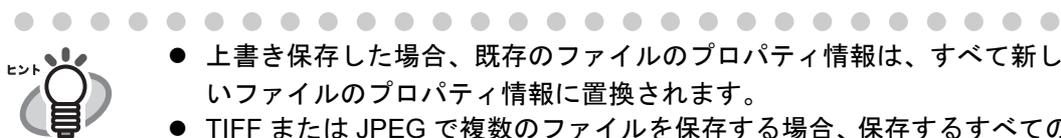
- [表示&編集] ボタンの初期値は「する」です。
- [表示&編集] ボタンが「しない」の場合([スキャン&保存] ボタンを押した場合) は、読み取り中画面で最終ページを表示したあと、スキャン画像がすぐに保存され、「メインメニュー」画面に戻ります。詳細については、「[6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します](#)」(347 ページ) を参照してください。

#### 11. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面での確認については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(350 ページ) を参照してください。

---

12. 「表示&編集」画面で [保存] ボタンを押します。



- 上書き保存した場合、既存のファイルのプロパティ情報は、すべて新しいファイルのプロパティ情報に置換されます。
- TIFF または JPEG で複数のファイルを保存する場合、保存するすべてのファイルに対して、同一のプロパティ情報が設定されます。
- 保存先にしたフォルダのコンテンツタイプのプロパティの種別に、「一行テキスト」または「複数行テキスト」以外の入力必須項目が設定されていた場合、SharePoint フォルダに保存されたファイルはチェックアウト状態になります。チェックアウト状態を解除するには、Web ブラウザを使用して、設定されている必須項目に値を入力してから、チェックインを行ってください。

⇒ 指定したファイル形式のファイルが SharePoint フォルダに保存されます。



ドキュメントフォルダ1へ保存しています。



⇒ 「メインメニュー」画面に戻ります。

## 6.9 読み取り設定をします

以下の画面で [ 読み取り設定 ] ボタンを押すと、「読み取り設定」画面が表示されます。

- 「メール送信」画面
- 「FAX 送信」画面
- 「印刷」画面
- 「保存」画面
- 「SharePoint に保存」画面

「読み取り設定」画面には、以下の項目があります。

- [ 基本 ] タブ



- [ファイル] タブ



- [画質] タブ



- [ 拡張 ] タブ



「読み取り設定」画面には、以下の2つの設定方法があります。

- 初期値  
出荷時の設定に戻す簡易設定です。[ 初期値 ] ボタンを押すと自動的に推奨の値が設定されます。
- カスタム  
初期値の状態からユーザーの利用形態に合わせて変更した状態です。各設定ボタンを押して個別の値を設定します。設定した値はユーザーごとに機能単位（メール、FAX、印刷、および保存）で保存され、次回ログイン時も同じ設定で利用できます。詳細については、「[6.9.1 キャリアシートを設定します](#)」(318 ページ) 以降を参照してください。

[ 初期値 ] を押した直後の各読み取り設定は以下のとおりです。

タブ	項目	初期値					参照ページ
		メール	FAX	印刷	保存	Share Point に保存	
基本	キャリアシート	しない	しない	しない	しない	しない	318 ページ
	カラーモード	自動	白黒 (*)	自動	自動	自動	319 ページ
	用紙サイズ	自動	自動	自動	自動	自動	320 ページ
	解像度	200dpi	200dpi	200dpi	200dpi	200dpi	324 ページ
	読み取り面	両面	両面	両面	両面	両面	325 ページ
ファイル	出力ファイル形式	PDF	TIFF(*)	JPEG(*)	PDF	PDF	326 ページ
	検索可能な PDF 出力	しない	しない (*)	しない (*)	しない	しない	328 ページ
	PDF パスワード ロック	しない	しない (*)	しない (*)	しない	しない	331 ページ
	圧縮	推奨	推奨 (*)	低い (*)	推奨	推奨	333 ページ
画質	明るさ	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	335 ページ
	コントラスト	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	336 ページ
	シャープネス	しない	しない	しない	しない	しない	337 ページ
	ドロップアウトカ ラー	しない	しない	しない	しない	しない	338 ページ
	裏写り除去	中間	中間	中間	中間	中間	339 ページ
拡張	白紙ページ削除	する	する	しない	する	する	340 ページ
	原稿向き補正	自動	しない	しない (*)	自動	自動	341 ページ
	マルチフィード検 出	重なり 検出	重なり検 出	重なり検 出	重なり 検出	重なり 検出	344 ページ
	枠消し	しない	しない	しない	しない	しない	345 ページ

(\*): 固定値です。変更できません。



- 設定した値は各ボタンの右に表示されます。
- 設定した値はログインユーザーごとに記憶され、前回の設定から変更した値は、赤い文字で表示されます。
- 「FAX 送信」画面および「印刷」画面から「読み取り設定」画面を表示した場合、[ファイル]タブは表示されません。

読み取り設定をすると、ほかの読み取り設定項目に影響を与える場合があります。

- 項目を設定した場合に、ほかの項目が設定不可になる
- ほかの項目で設定されていると、設定不可になっている

読み取り設定項目ごとの影響範囲については、以下のとおりです。

タブ	項目		項目を設定した場合に設定不可になる項目	項目が設定不可になる条件
基本	キャリアシート		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 用紙サイズ</li> <li>● 解像度の 600dpi</li> <li>● 読み取り面</li> <li>● 明るさ</li> <li>● コントラスト</li> <li>● ドロップアウトカラー</li> <li>● 裏写り除去</li> <li>● 白紙ページ削除</li> <li>● 原稿向き補正の自動以外</li> <li>● マルチフィード検出</li> </ul>	—
	カラーモード	自動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 用紙サイズの長尺帳票</li> <li>● ファイル形式の JPEG</li> <li>● ドロップアウトカラー</li> </ul>	—
		カラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ドロップアウトカラー</li> </ul>	—
		グレースケール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ドロップアウトカラーのしない (解像度が 600dpi の場合)</li> <li>● 圧縮の高圧縮 PDF</li> </ul>	—
		白黒	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル形式の JPEG</li> <li>● 圧縮</li> </ul>	—
	用紙サイズ	自動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 解像度の 600dpi</li> </ul>	● キャリアシート
		長尺帳票	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 解像度の 600dpi</li> <li>● 検索可能な PDF 出力</li> <li>● 白紙ページ削除</li> <li>● 原稿向き補正</li> <li>● マルチフィード検出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キャリアシート</li> <li>● カラーモードの自動</li> </ul>
		自動と長尺帳票以外	—	● キャリアシート

タブ	項目		項目を設定した場合に 設定不可になる項目	項目が設定不可に なる条件
基本	解像度	600dpi	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 検索可能な PDF 出力の全ページとページ指定</li> <li>● 圧縮の高圧縮 PDF</li> <li>● ドロップアウトカラーのしない (カラーモードがグレースケールの場合)</li> <li>● 原稿向き補正の自動以外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キャリアシート</li> <li>● 用紙サイズの自動と長尺帳票</li> </ul>
		600dpi 以外	—	—
	読み取り面		—	● キャリアシート
ファイル	出力ファイル形式	PDF	—	—
		JPEG	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 検索可能な PDF 出力</li> <li>● PDF パスワードロック</li> </ul>	● カラーモードの自動または白黒
		TIFF MTIFF	● 圧縮率の高圧縮 PDF	—
	検索可能な PDF 出力	先頭ページのみ	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 用紙サイズの長尺帳票</li> <li>● 出力ファイル形式の PDF 以外</li> </ul>
		全ページ ページ指定	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 用紙サイズの長尺帳票</li> <li>● 出力ファイル形式の PDF 以外</li> <li>● 解像度の 600dpi</li> </ul>
	PDF パスワードロック		—	● 出力ファイル形式の PDF 以外
	圧縮	高圧縮 PDF	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カラーモードのグレースケールまたは白黒</li> <li>● 解像度の 600dpi</li> <li>● 出力ファイル形式の PDF 以外</li> </ul>
高圧縮 PDF 以外		—	● カラーモードの白黒	

タブ	項目		項目を設定した場合に 設定不可になる項目	項目が設定不可に なる条件
画質	明るさ		—	● キャリアシート
	コントラスト		—	● キャリアシート
	シャープネス		—	—
	ドロップ アウトカラー	しない	—	● キャリアシート ● カラーモードの自動またはカラー ● 解像度の 600dpi (カラーモードが グレースケールの場合)
		しない以外	—	● キャリアシート ● カラーモードの自動またはカラー
裏写り除去		—	● キャリアシート	
拡張	白紙ページ削除		—	● キャリアシート ● 用紙サイズの長尺帳票
	原稿向き補正	自動	—	● 用紙サイズの長尺帳票
		自動以外	—	● キャリアシート ● 用紙サイズの長尺帳票 ● 解像度の 600dpi
	マルチフィード検出		—	● キャリアシート ● 用紙サイズの長尺帳票
	枠消し		—	—

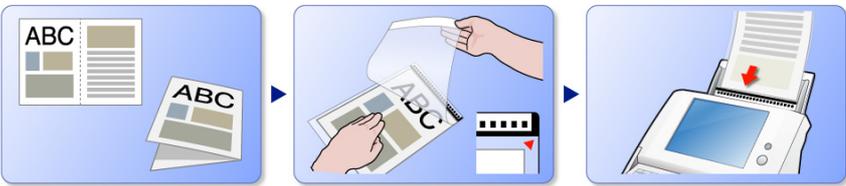
## 6.9.1 キャリアシートを設定します

キャリアシートを使用するかしないかと、使用する場合は読み取った原稿の出力用紙サイズを設定します。

1. 「読み取り設定」画面で[基本]タブを押します。
2. [キャリアシート]ボタンを押します。  
⇒「キャリアシート」画面が表示されます。
3. キャリアシート使用の有無と、使用する場合は出力する用紙サイズを選択します。

### キャリアシート

**見開き設定**  
表と裏の画像を見開き状態にし、1ページの画像を出力します。  
出力する用紙サイズを設定してください。



原稿はシートの上端に突き当ててください。  
また、原稿の折り目側を、太い縦線のあるほうの端へぴったりと合わせてください。

しないA 3B 411×17インチ

キャリアシート	状態
しない	キャリアシートを使用しないで読み取ります。
A3	キャリアシートを使用して、A3サイズ（297 × 420mm）に出力します。
B4	キャリアシートを使用して、B4サイズ（257 × 364mm）に出力します。
11 × 17 インチ	キャリアシートを使用して、11 × 17 インチ（279.4 × 431.8mm）に出力します。

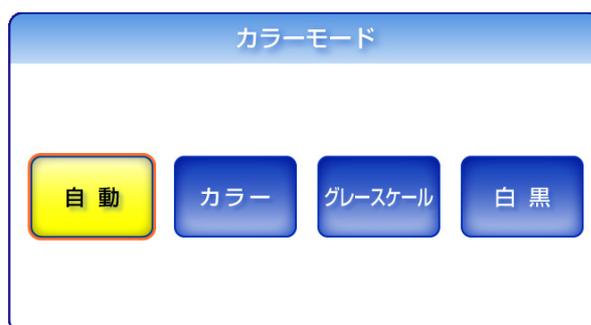
\*: 用紙サイズはすべて縦型です。

⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が[キャリアシート]ボタンの右に表示されます。

## 6.9.2 カラーモードを設定します

原稿をカラーで読み取るか、白黒で読み取るかを設定します。

1. 「読み取り設定」画面で [ 基本 ] タブを押します。
2. [ カラーモード ] ボタンを押します。  
⇒ 「カラーモード」画面が表示されます。
3. カラーモードを選択します。



カラーモード	状態
自動	原稿ごとにカラーと白黒を自動的に識別し、読み取ります。
カラー	カラー画像として読み取ります。
グレースケール	グレースケール画像として読み取ります。
白黒	白黒画像として読み取ります。

⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [ カラーモード ] ボタンの右に表示されます。



通常は、[ 自動 ] を選択してください。

読み取るたびに原稿に合わせてカラーモードを変更する必要がなくなります。

ただし、原稿によっては白黒と判別される場合があります。

例：

- 全体的に薄い色がついた原稿
- 一部分に少しだけカラーがある原稿
- カラー2色刷りで、使用している色が濃い灰色（グレー）などの黒に近い色を多用している原稿

カラーとして読み取りたい場合は、カラーモードの選択で [ カラー ] ボタンを押してください。

### 6.9.3 用紙サイズを設定します

スキャン画像の用紙サイズを設定します。

1. 「読み取り設定」画面で[基本]タブを押します。
2. [用紙サイズ]ボタンを押します。  
⇒「用紙サイズ」画面が表示されます。
3. スキャン画像の用紙サイズを選択します。



ボタン	用紙サイズ (mm)	ボタン	用紙サイズ (mm)
A4	210 × 297	レター	215.9 × 279.4
A5	148 × 210	リーガル	215.9 × 355.6
A6	105 × 148	エグゼクティブ	184.2 × 266.7
B5	182 × 257	はがき	100 × 148
B6	128 × 182	名刺	55 × 91

\*: 用紙サイズはすべて縦型です。

⇒「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が[用紙サイズ]ボタンの右に表示されます。



[自動]の場合は、原稿と同じサイズ（最大 215.9 × 355.6mm）で出力しますが、以下のような原稿を読み取ると、用紙サイズが検出できない場合があります。

- 厚さが 52g/m<sup>2</sup> 未満の原稿
- 長方形でない原稿
- 端を濃く塗りつぶした原稿



ヒント

- [自動] 以外の用紙サイズを選択した場合、片面原稿をスキャンすると、スキャン画像の裏面に表面の印刷内容が写りやすくなります。裏写りすると白紙ページとして認識されにくくなるため、白紙ページを削除する設定にしても削除されない場合があります。白紙ページの削除については、「[6.9.15 読み取った原稿から白紙ページを削除します](#)」(340 ページ) を参照してください。
- [カスタム用紙サイズ] ボタンを押すと、スキャン画像の用紙サイズをお好みの大きさに指定することができます。
  1. [カスタム用紙サイズ] ボタンを押します。  
⇒ 「カスタム用紙サイズ」画面が表示されます。
  2. スキャン画像の用紙サイズを入力します。  
入力できる範囲は、幅が 50.8 ~ 216mm (2 ~ 8.5inch)、長さが 74 ~ 355.6mm (2.91 ~ 14inch) です。長さが 355.6mm 以上の用紙サイズを設定する場合は長尺帳票指定を設定する必要があります。詳細については、「[長尺読み取り用紙サイズを設定する](#)」(322 ページ) を参照してください。

カスタム用紙サイズ

A ローマ字入力 Caps Lock Num Lock

幅	長さ
2.00 inch 2.00 ~ 8.50	2.91 inch 2.91 ~ 14.00
50.8 mm 50.8 ~ 216.0	74.0 mm 74.0 ~ 355.6

長尺帳票指定を設定しますか？

しない する

(カラーモードが「自動」の場合、長尺帳票は選択できません。)

キャンセル OK

3. [OK] ボタンを押します。  
⇒ カスタム用紙サイズが設定されます。

## ■ 長尺読み取り用紙サイズを設定する

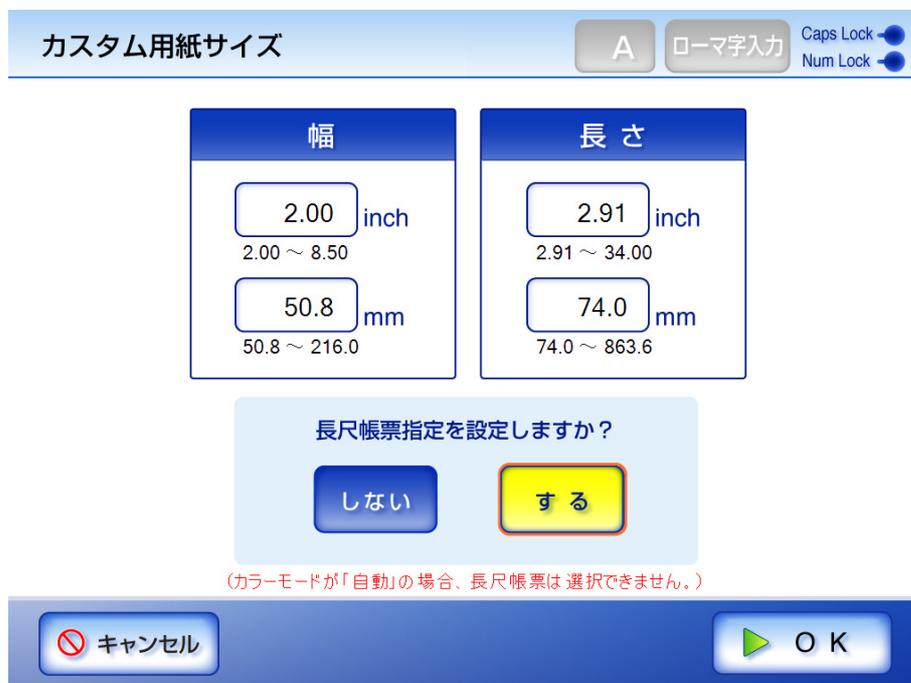
規定のサイズより長い原稿を読み取る場合は、長尺帳票指定の設定が必要です。

1. 「読み取り設定」画面で[基本]タブを押します。
2. [用紙サイズ]ボタンを押します。  
⇒「用紙サイズ」画面が表示されます。
3. [カスタム用紙サイズ]ボタンを押します。



⇒「カスタム用紙サイズ」画面が表示されます。

4. 「長尺帳票指定を設定しますか？」で[する]ボタンを押します。



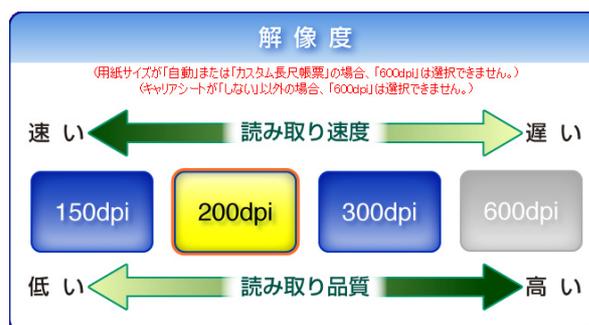
5. スキャン画像の用紙サイズを入力します。  
入力できる範囲は、幅が 50.8 ～ 216mm (2 ～ 8.5inch)、長さが 74 ～ 863.6mm (2.91 ～ 34inch) です。
6. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。[用紙サイズ] ボタンの右に「カスタム用紙サイズ」と表示されます。

## 6.9.4 出力する解像度を設定します

解像度によってスキャン画像が以下のように変化します。

	解像度が高い場合	解像度が低い場合
読み取り速度	遅い	速い
読み取り品質	高品質	低品質
データサイズ	大きい	小さい

1. 「読み取り設定」画面で [ 基本 ] タブを押します。
2. [ 解像度 ] ボタンを押します。  
⇒ 「解像度」画面が表示されます。
3. 解像度を選択します。

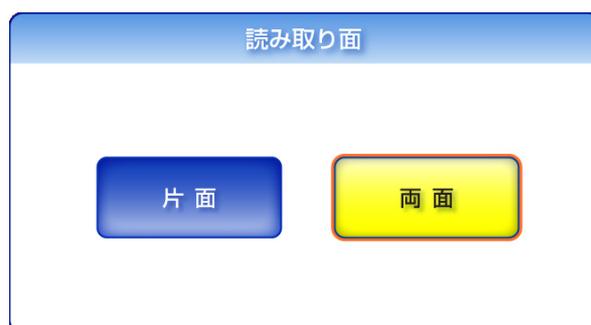


⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [ 解像度 ] ボタンの右に表示されます。

### 6.9.5 読み取り面を設定します

原稿を表面だけ読み取るか、表裏両面読み取るかを設定します。

1. 「読み取り設定」画面で [ 基本 ] タブを押します。
2. [ 読み取り面 ] ボタンを押します。  
⇒ 「読み取り面」画面が表示されます。
3. セットした原稿の読み取り面を選択します。



- ⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [ 読み取り面 ] ボタンの右に表示されます。

## 6.9.6 ファイル形式を設定します

スキャン画像のファイル形式を設定します。  
ファイル形式によって設定できない読み取り設定項目があります。

設定項目	PDF	JPEG	TIFF	MTIFF
検索可能な PDF 出力	○	—	—	—
PDF パスワードロック	○	—	—	—
圧縮	○(*1)	○	○(*1)	○(*1)

○：設定可    —：設定不可

\*1：カラーモードが [ 自動 ] または [ カラー ] のときのみ設定できます。

また、ファイル形式によって、圧縮方法が以下のように異なります。

カラーモード	読み取り原稿	出力ファイル形式		
		PDF	JPEG	TIFF/MTIFF
自動	カラー	JPEG 高圧縮	JPEG	JPEG
	白黒	MMR	—	MMR
カラー	カラー 白黒	JPEG 高圧縮	JPEG	JPEG
グレースケール	カラー 白黒	JPEG	JPEG	JPEG
白黒	カラー 白黒	MMR	—	MMR

—：設定不可



ヒント

- PDF を選択した場合、高圧縮にするかどうか選択できます。高圧縮にした場合、文字部分と背景部分を分離して背景部分を圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字がきれいなままファイルサイズを小さくすることができます。一方、写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、画像が劣化します。写真などの画像の読み取りには適していません。高圧縮を指定するとコントラストが高くなる傾向があります。
- PDF を選択した場合、作成される PDF を表示できる Adobe Reader のバージョンは、Adobe Reader 4.0 以上です。

1. 「読み取り設定」画面で [ファイル] タブを押します。
2. [出力ファイル形式] ボタンを押します。  
⇒ 「出力ファイル形式」画面が表示されます。
3. 出力ファイル形式を選択します。



- ⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [出力ファイル形式] ボタンの右に表示されます。

## 6.9.7 スキャン画像を文字が検索できる PDF ファイルにします

ファイル形式が PDF の場合、スキャン画像の文字を検索できる PDF にすることができます。



以下のような原稿（文字）は、正しくテキスト認識できない場合があります。また、カラー設定や解像度を上げて読み取ることでテキスト認識が可能となる場合があります。

- 手書き文字の原稿
- 低解像度で読み取った小さな文字
- 傾いた原稿
- イタリック文字で書かれた原稿
- 上下添え字、複雑な数式
- 文字の背景に不均一色背景や模様がある原稿
  - 影、白抜きなど装飾がされている文字
  - 網掛け内の文字
- 複雑なレイアウトの原稿および、ノイズの多い原稿  
(このような原稿では認識時間が非常にかかる場合があります)



検索可能な PDF を出力する機能は、処理に時間がかかります。

1. 「読み取り設定」画面で [ファイル] タブを押します。
2. [検索可能な PDF 出力] ボタンを押します。  
⇒ 「検索可能な PDF 出力」画面が表示されます。

## 3. 検索可能な PDF を出力する範囲を選択します。

**検索可能な PDF 出力**

(テキスト認識には非常に時間がかかる場合があります。)  
(解像度が「600dpi」の場合、「全ページ」と「ページ指定」は選択できません。)

しない
先頭ページのみ
全ページ
ページ指定

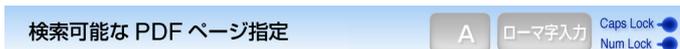
テキスト認識する言語
日本語

❌ キャンセル
▶ OK

検索可能な PDF 出力	状態
しない	検索できない PDF を出力します。
先頭ページのみ	先頭ページのみ検索可能な PDF を出力します。
全ページ	すべてのページが検索可能な PDF を出力します。
ページ指定	指定したページのみが検索可能な PDF を出力します。



- 設定した値の有効範囲は、「読み取り処理中」画面または「表示&編集」画面に表示されるページ数に対応します。
- [ページ指定] ボタンを押した場合、「検索可能な PDF ページ指定」画面が表示されます。ページ範囲の複数設定はできません。
  1. [ページ指定] ボタンを押します。  
⇒ 「検索可能な PDF ページ指定」画面が表示されます。
  2. ページ範囲を入力します。  
入力できる範囲は、1～999 です。



開始ページ:  ~ 終了ページ:

1 ≤ 開始ページ ≤ 終了ページ ≤ 999

この数値は「スキャン中」、「表示&編集」画面で表示している数値と同じです。



3. [OK] ボタンを押します。
  - [先頭ページのみ]、[全ページ]、[ページ指定] を選択する場合、[テキスト認識する言語] を選択できます。
    1. [テキスト認識する言語] ボタンを押します。  
⇒ 「テキスト認識する言語」画面が表示されます。
    2. テキスト認識する言語を選択します。
    3. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 「検索可能な PDF 出力」画面に戻ります。選択した内容が [テキスト認識する言語] ボタンの右に表示されます。
4. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [検索可能な PDF 出力] ボタンの右に表示されます。

## 6.9.8 パスワードロックを設定します

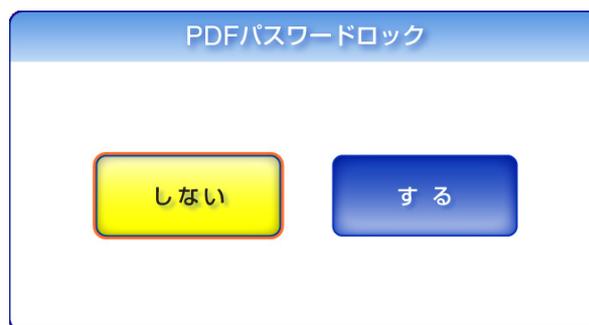
ファイル形式が PDF の場合、パスワードロックが設定できます。



パスワードをつけた PDF ファイルは、パスワードを入力しないとファイルを開くことができなくなります。ご注意ください。



1. 「読み取り設定」画面で [ファイル] タブを押します。
2. [PDF パスワードロック] ボタンを押します。  
⇒ 「PDF パスワードロック」画面が表示されます。
3. パスワードロックの有無を選択します。



⇒ [する] ボタンを押した場合は、「PDF パスワード」画面が表示されます。

4. パスワードおよび確認パスワードを入力します。

最大文字数は半角 16 文字です。

英数字以外にスペースおよび以下の記号が使用できます。

!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>@[¥]^\_`{|}~

なお、大文字と小文字は区別されます。

PDF パスワード

A ローマ字入力 Caps Lock Num Lock

パスワード:

確認パスワード:



キャンセル OK



ヒント

- キーボードが Caps Lock されている場合は、「Caps Lock」が点灯します。
- キーボードが Num Lock されている場合は、「Num Lock」が点灯します。

5. [OK] ボタンを押します。

⇒ PDF のパスワードが設定されます。



ヒント

設定したパスワードは、「PDF パスワードロック」画面で [しない] ボタンを押すと解除されます。  
次回設定時に、[する] ボタンを押すと、前回設定したパスワードが初期値になります。

### 6.9.9 圧縮率を設定します

「6.9.2 カラーモードを設定します」(319 ページ) で [ 自動 ] ボタン、[ カラー ] ボタン、または [ グレースケール ] ボタンを押した場合に、圧縮率を設定することができます。

写真や図などの原稿の場合は、圧縮率を高くすると、ファイルサイズを小さくすることができます。

圧縮率によってスキャン画像が以下のように変化します。

	圧縮率が高い場合	圧縮率が低い場合
品質	低品質	高品質
ファイルサイズ	小さい	大きい

1. 「読み取り設定」画面で [ ファイル ] タブを押します。

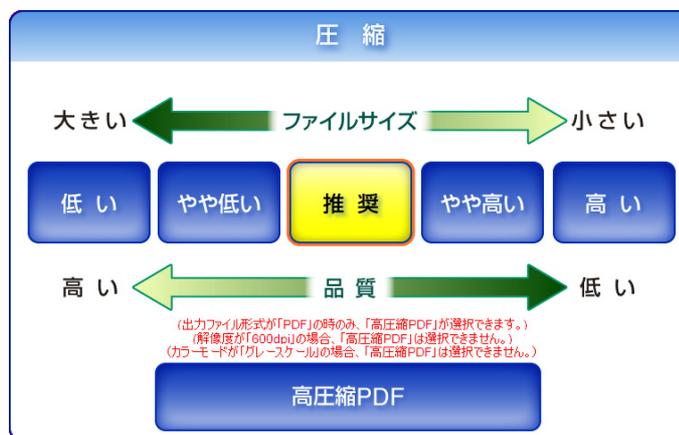
2. [ 圧縮 ] ボタンを押します。

⇒ 「圧縮」画面が表示されます。

3. 圧縮率を選択します。

圧縮率が低いほどファイルサイズが大きく、スキャン画像の品質が高くなります。

「6.9.6 ファイル形式を設定します」(326 ページ) で PDF を選択した場合は、[ 高圧縮 PDF ] ボタンを押して高圧縮することができます。



⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [ 圧縮 ] ボタンの右に表示されます。



- [ 高圧縮 PDF ] ボタンを押した場合、文字部分と背景部分を分離して背景部分を圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字がきれいなままファイルサイズを小さくすることができます。一方、写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、画像が劣化します。写真などの画像の読み取りには適していません。[ 高圧縮 PDF ] を指定するとコントラストが高くなる傾向があります。
- [ 高圧縮 PDF ] ボタンを押した場合、原稿によっては標準の圧縮と比べて、ファイルサイズが大きくなる場合があります。
  - 写真や図が多く、黒い文字が少ない原稿
  - 段組があるなど、レイアウトが複雑な原稿
  - 文字の背景に模様がある原稿

- 文字の多い原稿を、解像度 300dpi で読み取る場合は、高圧縮 PDF 形式にすることでファイルサイズをより小さくすることができます。
- カラー原稿1枚を片面で以下のように読み取ったときのファイルサイズの目安を示します。

原稿サイズ :A4 (一般カタログ)

ファイル形式 :PDF

用紙サイズ指定 :A4

- カラーの場合のファイルサイズ (KB) の目安

解像度	圧縮率					
	低い	やや低い	推奨	やや高い	高い	高圧縮 PDF
150dpi	406	232	197	153	94	158
200dpi	647	358	302	238	149	140
300dpi	1319	693	580	448	272	115
600dpi	3827	2034	1736	1377	854	—

- グレースケールの場合のファイルサイズ (KB) の目安

解像度	圧縮率					
	低い	やや低い	推奨	やや高い	高い	高圧縮 PDF
150dpi	380	233	186	153	85	—
200dpi	618	373	293	239	133	—
300dpi	1422	825	606	494	245	—
600dpi	3416	2147	1827	1338	720	—

- 白黒の場合のファイルサイズ (KB) の目安

解像度	圧縮率は指定できません
150dpi	104
200dpi	176
300dpi	382
600dpi	1430



### 6.9.10 スキャン画像の明るさを調整します

スキャン画像の明るさを調整して、見やすくできます。

1. 「読み取り設定」画面で [画質] タブを押します。
2. [明るさ] ボタンを押します。  
⇒ 「明るさ」画面が表示されます。
3. 明るさを選択します。



- ⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [明るさ] ボタンの右に表示されます。

## 6.9.11 スキャン画像のコントラストを調整します

スキャン画像の色の対比を明確にして、見やすくできます。

1. 「読み取り設定」画面で [画質] タブを押します。
2. [コントラスト] ボタンを押します。  
⇒ 「コントラスト」画面が表示されます。
3. コントラストを選択します。



- ⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [コントラスト] ボタンの右に表示されます。

### 6.9.12 スキャン画像の輪郭強調を調整します

スキャン画像の輪郭を強調することによって、文字を見やすくできます。ここでは、スキャン画像の輪郭強調をするかしないかと、輪郭強調する場合の調整レベルを設定します。

1. 「読み取り設定」画面で [画質] タブを押します。
2. [シャープネス] ボタンを押します。  
⇒ 「シャープネス」画面が表示されます。
3. 輪郭強調の有無と、輪郭強調する場合は調整レベルを選択します。



シャープネス	状態
しない	輪郭強調しません。
弱い	弱いレベルで輪郭強調します。
やや弱い	やや弱いレベルで輪郭強調します。
中間	中間レベルで輪郭強調します。
やや強い	やや強いレベルで輪郭強調します。
強い	強いレベルで輪郭強調します。

⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [シャープネス] ボタンの右に表示されます。

## 6.9.13 スキャン画像の色情報を取り除きます

赤、緑、青（光の三原色）の中から、選択した色情報を取り除くことができます。たとえば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取ることができます。

ここでは、色情報を取り除くかどうかと、取り除く場合の取り除く色を設定します。



暗い色（濃い密度）の場合、色情報を取り除かないことがあります。



1. 「読み取り設定」画面で [画質] タブを押します。
2. [ドロップアウトカラー] ボタンを押します。  
⇒ 「ドロップアウトカラー」画面が表示されます。
3. 色情報を取り除くかどうかと、取り除く場合は取り除く色を選択します。



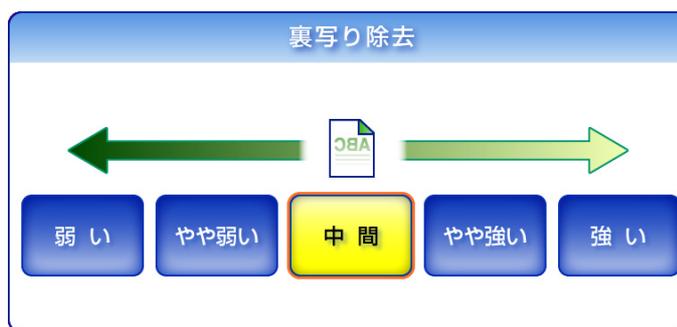
ドロップアウトカラー	状態
しない	色情報を取り除かずに読み取ります。
赤	赤色を取り除いて読み取ります。
緑	緑色を取り除いて読み取ります。
青	青色を取り除いて読み取ります。

⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [ドロップアウトカラー] ボタンの右に表示されます。

### 6.9.14 スキャン画像の裏写り除去レベルを調整します

スキャン画像の裏写り除去レベルを調整して、裏写りしているスキャン画像を見やすくできます。

1. 「読み取り設定」画面で [画質] タブを押します。
2. [裏写り除去] ボタンを押します。  
⇒ 「裏写り除去」画面が表示されます。
3. 裏写り除去レベルを選択します。



⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [裏写り除去] ボタンの右に表示されます。



「スキャナ詳細設定」画面の読み取りモードに「画質重視」が設定されている場合、裏写り除去の調整はできません。詳細については、「[4.6.13 スキャナの詳細設定をします](#)」(86 ページ) を参照してください。

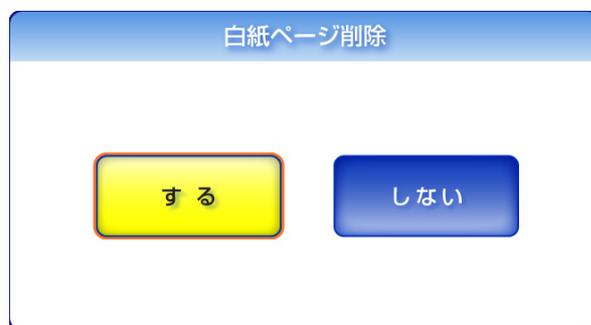
## 6.9.15 読み取った原稿から白紙ページを削除します

読み取った原稿から、不要な白紙ページを自動的に取り除くことができます。たとえば、両面原稿と片面原稿が混在した状態で、両面読み取りを行うと、片面原稿の裏面（白紙ページ）だけを取り除いて出力することができます。



- 「6.9.10 スキャン画像の明るさを調整します」(335 ページ) で明るさの設定を [ 暗い ] や [ やや暗い ] にすると、白紙と認識されない場合があります。
- 読み取った原稿がすべて白紙と認識された場合は、スキャン画像になりません。
- 以下のような原稿は、白紙ページとして判別される場合があります。読み取った原稿を廃棄される場合は、誤って削除されたページがないかどうかを必ずご確認ください。
  - 白紙原稿内に、2、3文字以内の文字だけが書かれている場合。
  - 白色でなくても、ページ全体が一様色（無地）の場合（黒色も含まれます）。

1. 「読み取り設定」画面で [ 拡張 ] タブを押します。
2. [ 白紙ページ削除 ] ボタンを押します。  
⇒ 「白紙ページ削除」画面が表示されます。
3. 白紙ページ削除の有無を選択します。



⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [ 白紙ページ削除 ] ボタンの右に表示されます。

## 6.9.16 読み取った原稿の向きを補正します

自動的にスキャン画像を回転して、原稿の向きを補正することができます。



原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。このような原稿を読み取る場合は、原稿向き補正を設定しないでください。

- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が、極端にせまかったり、文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 写真や図が多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿
- 手書き文字の原稿
- 薄い文字、かすれた文字

1. 「読み取り設定」画面で [ 拡張 ] タブを押します。
2. [ 原稿向き補正 ] ボタンを押します。  
⇒ 「原稿向き補正」画面が表示されます。
3. 原稿向き補正を選択します。

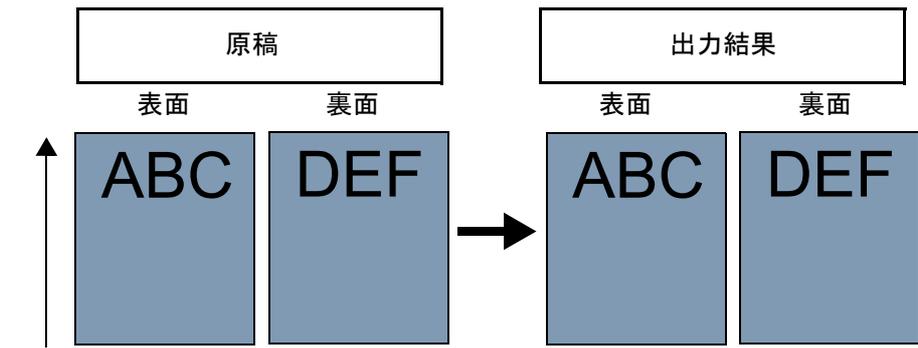
## 原稿向き補正

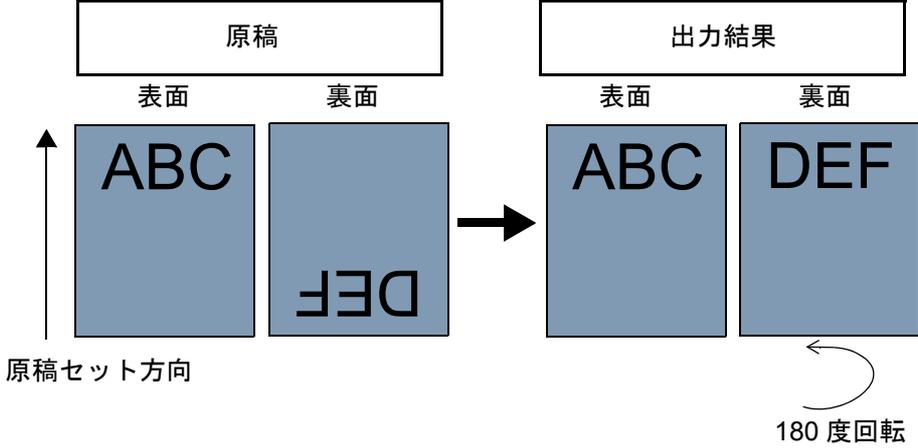
原稿向き補正を設定しますか？

しない

毎ページ同じ方向に回転する場合は、角度を設定してください。  
(キャリアシントを使用する、または解像度が「600dpi」の場合、「しない」または「自動」しか選択できません。)

とじ方はどちらですか？ (両面の時のみ有効です。)

原稿向き補正	状態
しない	原稿の向きを補正しません。
自動	自動的に原稿の向きを補正します。
0° 	原稿は回転しません。
左 90° 	原稿が左へ 90 度回転します。
右 90° 	原稿が右へ 90 度回転します。
180° 	原稿が 180 度回転します。
長辺とじ 	<p>[0°] ボタン、[左 90°] ボタン、[右 90°] ボタン、[180°] ボタンを選択した場合のみ設定できます。</p> <p>左右見開きで書かれた原稿を、両面読み取りする場合に選択します。読み取った原稿が、そのままの向きで出力されます。</p> <div style="text-align: center;">  <p>原稿セット方向</p> </div>

原稿向き補正	状態
短辺とじ 	<p>[0°] ボタン、[左 90°] ボタン、[右 90°] ボタン、[180°] ボタンを選択した場合のみ設定できます。</p> <p>上下見開きで書かれた原稿を、両面読み取りする場合に選択します。読み取った原稿が、表面はそのままの向きで出力され、裏面は180度回転して出力されます。</p> <div style="text-align: center;">  <p>原稿</p> <p>表面 裏面</p> <p>出力結果</p> <p>表面 裏面</p> <p>原稿セット方向</p> <p>180度回転</p> </div>

⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [原稿向き補正] ボタンの右に表示されます。



誤って補正された場合は、「表示&編集」画面で修正することができます。詳細については、「6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します」(350 ページ) を参照してください。

## 6.9.17 マルチフィードを検出します

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なって ADF 給紙シュートに送り込まれてしまう現象のことです。マルチフィードを検出すると、読み取りを中止し、エラーメッセージが表示されるように設定することができます。

マルチフィードは、原稿の重なりまたは長さで検出します。ここでは、マルチフィード検出をするかしないかと、検出する場合の検出方法を設定します。

マルチフィードを検出する原稿の条件については、「[A.5 マルチフィードの検出条件](#)」(426 ページ) を参照してください。

1. 「読み取り設定」画面で [ 拡張 ] タブを押します。
2. [ マルチフィード検出 ] ボタンを押します。  
⇒ 「マルチフィード検出」画面が表示されます。
3. マルチフィード検出の有無と、検出する場合は検出方法を選択します。



マルチフィード検出	検出方法
しない	マルチフィードを検出しません。 プラスチックカードを読み取る時は、[ しない ] を選択してください。プラスチックカードの読み取りについては、「 <a href="#">A.2 原稿について</a> 」(421 ページ) を参照してください。
重なり検出	マルチフィードを原稿の重なりで検出します。
長さ検出	マルチフィードを原稿の長さで検出します。
重なりと長さ検出	マルチフィードを原稿の重なりと長さで検出します。



[ 長さ検出 ] または [ 重なりと長さ検出 ] に設定した場合、用紙サイズを [ 自動 ] にして、用紙サイズが異なるものをまとめてスキャンすると、エラーになります。

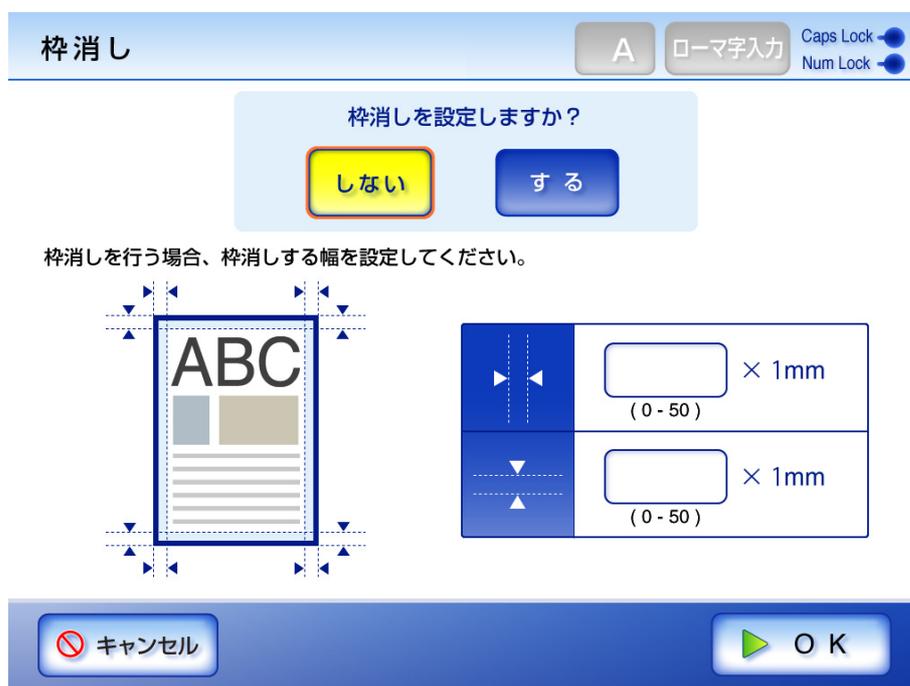


⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [ マルチフィード検出 ] ボタンの右に表示されます。

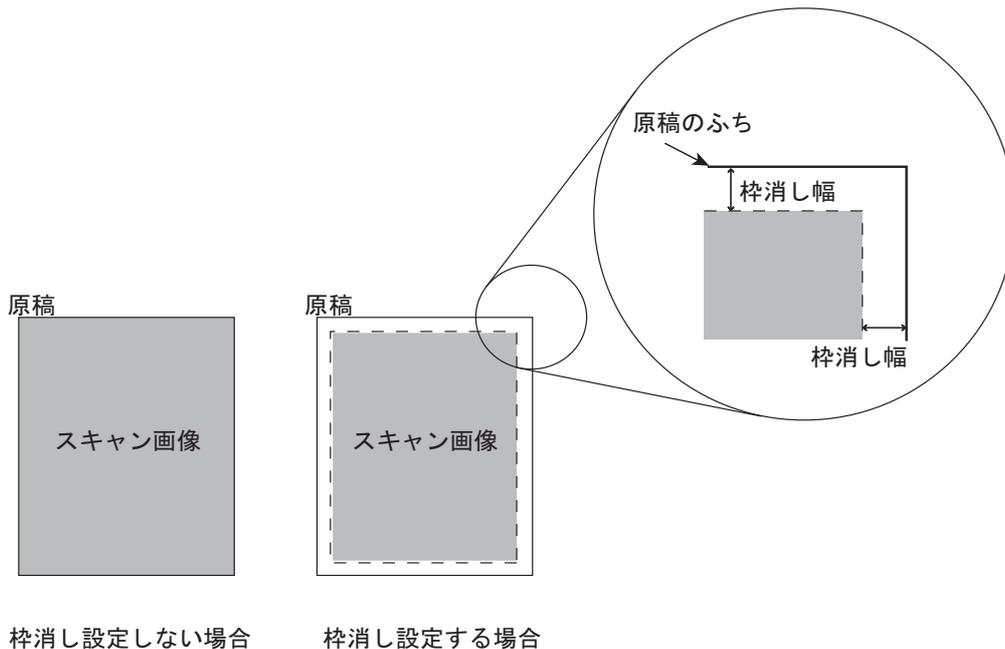
## 6.9.18 スキャン画像の枠消し幅を調整します

スキャン画像の枠消し幅を調整して、読み取りたくない外側の枠部分を取り除きます。ここでは、スキャン画像の枠消しをするかしないかと、枠消しする場合の枠消し幅を設定します。

1. 「読み取り設定」画面で [ 拡張 ] タブを押します。
2. [ 枠消し ] ボタンを押します。  
⇒ 「枠消し」画面が表示されます。
3. 枠消しの有無と、枠消しする場合は枠消し幅を設定します。



枠消し	状態
しない	枠を消しません。
する	枠を消します。 枠を消す場合は、上下・左右の枠消し幅を 0～50 の範囲で入力してください。1mm 単位で入力できます。

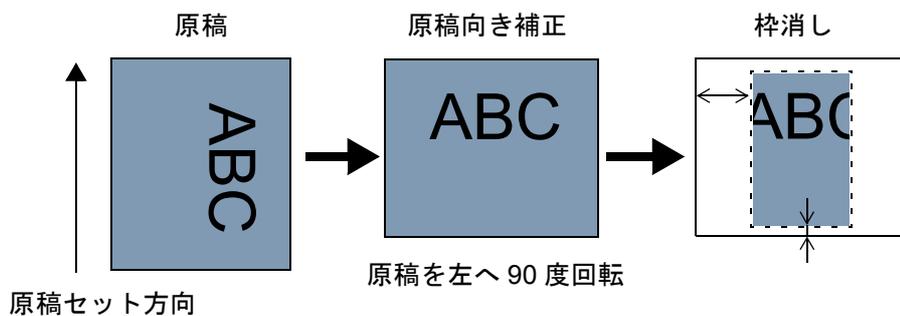


4. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「読み取り設定」画面に戻ります。選択した内容が [ 枠消し ] ボタンの右に表示されます。



- 枠消し幅（上下・左右の枠消し幅の合計）が原稿よりも大きい場合は枠消しされません。
- 原稿向き補正が設定されている場合、原稿向き補正を行った後に枠消しを行います。以下に、原稿向き補正で [ 左 90° ] を選択した場合の例を示します。



## 6.10 「表示&編集」画面の表示を設定します

スキャン画像を確認する「表示&編集」画面を表示するかどうか設定します。「表示&編集」画面では、スキャン画像の確認や編集が行えます。詳細については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(350 ページ)を参照してください。「表示&編集」画面を表示するかどうかは以下の画面で設定できます。

- 「メール送信」画面
- 「FAX 送信」画面
- 「印刷」画面
- 「保存」画面
- 「SharePoint に保存」画面
- 「ジョブメニュー」画面



「ジョブメニュー」画面では、[表示&編集] ボタンの操作が無効の場合、「表示&編集」画面を表示するかどうかは設定できません。

ここでは、「メール送信」画面で設定する方法について説明します。

### 1. 「メール送信」画面で [表示&編集] ボタンを押します。

⇒ [表示&編集] ボタンが「する」になっていた場合は、「しない」に切り替わります。

また、[表示&編集] ボタンが「しない」になっていた場合は、「する」に切り替わります。

[表示&編集] ボタンの「する」と「しない」では、操作の流れが異なります。  
メール送信を例に説明します。

**[表示&編集] ボタンが「する」で  
メールを送信する場合**

**[表示&編集] ボタンが「しない」で  
メールを送信する場合**

「メール送信」画面で [ スキャン ] ボタン  
を押します。

「メール送信」画面で [ スキャン&送信 ]  
ボタンを押します。

読み取りが開始されます。

読み取った内容が、「表示&編集」画面  
に表示されます。



「表示&編集」画面でスキャン画像を確  
認・編集し、[ 送信 ] ボタンを押します。

メールが送信されます。



- 読み取り中には、以下の画面が表示されます。  
画面右側にスキャン画像の合計ファイルサイズが 10KB 単位で表示されます。  
[高圧縮 PDF] を設定した場合は、高圧縮前のファイルサイズが表示されます。  
表示されるファイルサイズは、最終的なファイルを生成する前なので、おおよその目安です。正確な値ではありません。  
また、白紙ページとして削除されたページは、ページ数にカウントされません。



- [表示&編集] ボタンが「しない」の場合は、読み取ったスキャン画像の最後のページで [キャンセル] ボタンが 5 秒間表示されます。



[キャンセル] ボタンを押すとスキャンを中止する確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンを押すとスキャン画像がなくなり、以下のいずれかの画面に戻ります。

- メール送信
- FAX 送信
- 印刷
- 保存
- SharePoint に保存
- ジョブメニュー

## 6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します

読み取り時に「表示&編集」画面を表示する設定になっている場合、スキャン画像を「表示&編集」画面で確認し、編集することができます。



### 6.11.1 スキャン画像を参照します

「表示&編集」画面に表示されたスキャン画像を原寸表示や拡大表示させることができます。表示されたスキャン画像をドラッグすると、移動します。

1. 「表示&編集」画面で、以下のボタンを押して、参照するページを表示します。

 を押すと、先頭ページのスキャン画像が表示されます。

 を押すと、前ページのスキャン画像が表示されます。

 を押すと、次ページのスキャン画像が表示されます。

 を押すと、末尾ページのスキャン画像が表示されます。

2. 表示内容を参照します。

 を押すと、スキャン画像が拡大または縮小されずに表示されます。

 を押すと、表示領域の横幅に合わせてスキャン画像が表示されます。

 を押すと、表示領域の縦幅に合わせてスキャン画像が表示されます。

## 6.11.2 スキャン画像を回転します

「表示&編集」画面に表示されたスキャン画像を90度単位で回転することができます。編集したスキャン画像は、たとえば90度回転したら、90度回転した状態のスキャン画像のまま、メール送信、FAX送信、印刷、またはネットワーク共有フォルダ保存されます。

1. 「表示&編集」画面で、以下のボタンを押して、回転させるページを表示します。

 を押すと、先頭ページのスキャン画像が表示されます。

 を押すと、前ページのスキャン画像が表示されます。

 を押すと、次ページのスキャン画像が表示されます。

 を押すと、末尾ページのスキャン画像が表示されます。

2. 回転ボタンを押します。

 を押すと、ページが左へ90度回転します。

 を押すと、ページが右へ90度回転します。

 を押すと、ページが180度回転します。

.....  
 ページが回転した時点でスキャン画像は編集されます。  
[キャンセル]ボタンを押すとスキャン画像がなくなり、以下のいずれかの画面に戻ります。

- メール送信
  - FAX送信
  - 印刷
  - 保存
  - SharePointに保存
  - ジョブメニュー
- .....

---

### 6.11.3 スキャン画像を追加します

「表示&編集」画面からスキャン画像を追加で読み取ることができます。

1. ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
2. 「表示&編集」画面で [ 追加読み取り ] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は読み取り順番に 1 ページずつプレビューされます。表示されるページ数は、追加前のページ数から続きます。

読み取りできる最大ページ数は印刷の場合は 100 ページ、それ以外の場合は 999 ページです。

[ 白紙ページ削除 ] を有効にしている場合、白紙ページ削除されたページ数が表示されます。

白紙ページ削除された分は最大ページ数まで追加読み取りすることができます。読み取りが完了すると「表示&編集」画面に戻り、スキャン画像が追加されます。

### 6.11.4 スキャン画像を削除します

「表示&編集」画面に表示されたスキャン画像から、特定のページだけを削除できます。特定のページを削除したスキャン画像は、削除された状態のスキャン画像のまま、メール送信、FAX 送信、印刷、またはネットワーク共有フォルダ保存されます。

1. 「表示&編集」画面で [ 前ページ ] ボタンまたは [ 次ページ ] ボタンを押して、削除するページを表示します。
2. [ 削除 ] ボタンを押します。  
⇒ 削除の確認メッセージが表示されます。
3. [OK] ボタンを押します。  
⇒ ページが削除されます。



- スキャン画像が1ページの場合、ページを削除することはできません。読み取りをやり直す場合は、[キャンセル]ボタンを押してください。
- ページを削除した時点でスキャン画像は編集されません。元に戻すことはできません。
- [キャンセル]ボタンを押すとスキャンを中止する確認メッセージが表示されます。[OK]ボタンを押すとスキャン画像がなくなり、以下のいずれかの画面に戻ります。
  - メール送信
  - FAX 送信
  - 印刷
  - 保存
  - SharePoint に保存
  - ジョブメニュー

## 6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します

ログインユーザーのユーザーログ（最新の 100 件）が参照できます。

ユーザーログ一覧は操作順に表示されます。

「タイムゾーン」画面や「日付／時刻」画面で設定を変更しても、表示順は変わりません。

1. 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で、[ユーザーログ] ボタンを押します。

⇒ 「ユーザーログ」画面が表示されます。

ユーザーログ

状態	コード	日付	時刻	操作	ページ
エラー	12020004	09/25/2008	09:20:12	FAX	1
正常終了	00000000	09/25/2008	09:19:41	メール	1
正常終了	00000000	09/25/2008	09:18:56	保存	1
正常終了	00000000	09/25/2008	09:12:47	印刷	2
正常終了	00000000	09/25/2008	07:21:35	FAX	1
正常終了	00000000	09/25/2008	07:21:12	メール	1

更新

1/1

OK

2. 詳細を参照する履歴を選択します。

⇒ 詳細情報が表示されます。

[OK] ボタンを押すと、「ユーザーログ」画面に戻ります。

ヒント  [更新] ボタンを押すと、最新の情報が表示されます。

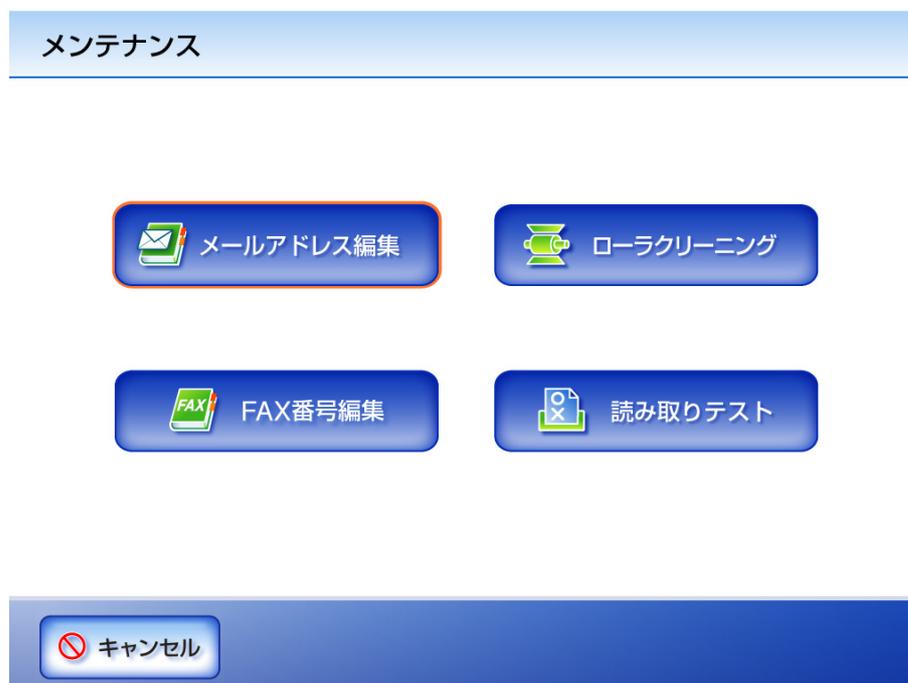
表示される項目は以下のとおりです。

項目名	表示形式	説明
状態	処理中	処理中です。
	正常終了	処理が成功しました。
	エラー	処理が失敗しました。
コード	XXXXXXXX	詳細コードが表示されます。 対処が必要な場合は、「 <a href="#">F.2 利用者のメッセージ</a> 」(503 ページ) を参照してください。
日付	MM/dd/yyyy dd/MM/yyyy yyyy/MM/dd	操作年月日が表示されます。 表示形式は「日付/時刻」画面で設定されます。詳細については、を「 <a href="#">4.6.4 日時を設定します</a> 」(63 ページ) を参照してください。
時刻	hh:mm:ss	操作時刻が表示されます。
操作	メール	スキャン画像をメール送信しました。
	FAX	スキャン画像を FAX 送信しました。
	印刷	スキャン画像をプリントサーバへ送信しました。 状態にはプリントサーバへスキャンデータの送信が完了するまでの結果が表示されます。ネットワーク共有プリンタの印刷結果は表示されません。
	保存	スキャン画像をネットワーク共有フォルダに保存しました。
ページ	xxx	スキャン画像ページ数が表示されます。
詳細情報	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	状態と操作の詳細情報が表示されます。

## 6.13 メンテナンスします

1. 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で、[メンテナンス] ボタンを押します。

⇒ 「メンテナンス」画面が表示されます。



- [メールアドレス編集] ボタンを押すと、「メールアドレス台帳」画面が表示されます。  
「メールアドレス台帳」画面では、メールアドレスの追加、編集、および削除ができます。  
詳細については、「[6.4.2 メールアドレス台帳にアドレスを追加します](#)」(269 ページ)、「[6.4.3 メールアドレス台帳を編集します](#)」(272 ページ)、および「[6.4.4 メールアドレス台帳からアドレスを削除します](#)」(274 ページ)を参照してください。
- [FAX 番号編集] ボタンを押すと、「FAX 番号台帳」画面が表示されます。  
「FAX 番号台帳」画面では、FAX 番号の追加、編集、および削除ができます。  
詳細については、「[6.5.2 FAX 番号台帳に FAX 送信宛先を追加します](#)」(281 ページ)、「[6.5.3 FAX 番号台帳を編集します](#)」(283 ページ)、および「[6.5.4 FAX 番号台帳から FAX 送信宛先を削除します](#)」(284 ページ)を参照してください。
- [ローラクリーニング] ボタンを押すと、メッセージが表示されます。  
メッセージ画面では、ADF 清掃時のフィードローラ / 排出ローラの回転方法が表示されます。  
詳細については、「[フィードローラ / 排出ローラ](#)」(373 ページ)を参照してください。
- [読み取りテスト] ボタンを押すと、読み取りテストが行われます。スキャン画像は「表示&編集」画面に表示され確認することができます。  
本装置が正常に読み取りを行うか確認したい際にご利用ください。  
詳細については、「[7.7 読み取りテストをします](#)」(388 ページ)を参照してください。

## 6.14 ジョブを実行します

ここでは、[Job1] ボタン～ [Job6] ボタンのジョブボタンを設定した場合の例を示します。

1. 「ジョブメニュー」画面でジョブボタンを押します。



複数のジョブグループに属している場合、ジョブメニュー切り替えボタンで、「ジョブメニュー」画面の表示を切り替えることができます。



⇒ 「ジョブメッセージ」画面が表示されます。



- 「ジョブ詳細設定」画面の「メッセージ画面設定」にタイトルおよびメッセージのいずれも設定していない場合、[メッセージ表示] ボタンを「する」に設定しても「ジョブメッセージ」画面は表示されません。詳細については、「[4.11.2 ジョブを設定します](#)」(191 ページ) の手順 4 を参照してください。
- [メッセージ表示] ボタンが「しない」の場合は、「ジョブメッセージ」画面を表示せずに、読み取りが開始され、ジョブが実行されます。詳細については、「[6.14.1 「ジョブメッセージ」画面の表示を設定します](#)」(361 ページ) を参照してください。
- [メッセージ表示] ボタンの操作が無効の場合は、管理者が設定した内容によって、「ジョブメッセージ」画面が表示されるかどうか異なります。

---

## 2. 「ジョブメッセージ」画面で[スキャン]ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取り中は読み取り順番に1ページずつプレビューされます。

読み取りが完了すると「表示&編集」画面が表示されます。

「表示&編集」画面での編集については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(350 ページ)を参照してください。



ヒント

- [表示&編集]ボタンが「しない」の場合、「表示&編集」画面は表示されません。
- ファイル名を変更できる設定になっている場合、読み取り開始前に「ファイル名入力」画面が表示されます。操作については、「[6.14.2 メール送信 / ファイル保存するときのファイル名を変更します](#)」(363 ページ)を参照してください。
- 読み取り枚数を変更する設定になっている場合、読み取り開始前に「読み取り枚数入力」画面が表示されます。操作については、「[6.14.3 読み取る枚数を確認します](#)」(364 ページ)を参照してください。

## 3. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面での確認については、「[6.11 スキャン画像を「表示&編集」画面で確認します](#)」(350 ページ)を参照してください。

## 4. 「表示&amp;編集」画面で [OK] ボタンを押します。

⇒ ジョブが実行されます。

ジョブ実行中は「実行状況」画面がリアルタイムで表示されます。

実行状況



ジョブレポート

アイコン				説明
メール	FAX	印刷	保存	
				大きいアイコンは、アクションが実行中であることを示します。
				実行前のアクションを示します。
				アクションが成功したことを示します。
				アクションが異常終了したことを示します。
				アクションを中止したことを示します。



- ジョブレポートを参照したい場合、「実行状況」画面で [ ジョブレポート ] ボタンを押します。

ジョブレポート

機能名	実行結果
1:メール	エラー 12010100
2:FAX	正常終了
3:印刷	正常終了
4:保存	正常終了
5:メール	正常終了
6:FAX	正常終了

詳細      実行状況      OK

- ジョブレポートの詳細情報を参照したい場合、「ジョブレポート」画面で機能名を選択して [ 詳細 ] ボタンを押します。

ジョブレポート詳細

状態	エラー
コード	12010100
日付	
時刻	09:22:59
操作	メール
ページ	1
詳細情報	メール送信処理でエラーが発生しました。

管理者へ通知      OK

- 状態が「エラー」だった場合、「ジョブレポート詳細」画面に [ 管理者へ通知 ] ボタンが表示されます。 [ 管理者へ通知 ] ボタンを押すと、ジョブレポートの詳細情報を管理者（管理者画面の「異常通知先」画面で設定した通知先メールアドレス）にメール送信することができます。

⇒ ジョブの実行が成功した場合、「ジョブメニュー」画面に戻ります。

ジョブの実行が失敗した場合、「実行状況」画面および「ジョブレポート」画面に [OK] ボタンが表示されます。 [OK] ボタンを押して、「ジョブメニュー」画面に戻ってください。

### 6.14.1 「ジョブメッセージ」画面の表示を設定します

ジョブの内容を確認する「ジョブメッセージ」画面を表示するかどうかを設定します。



[メッセージ表示] ボタンの操作が無効の場合、「ジョブメッセージ」画面を表示するかどうかは設定できません。

ここでは、[Job1] ボタン～ [Job6] ボタンのジョブボタンを設定した場合の例を示します。

#### 1. 「ジョブメニュー」画面で [メッセージ表示] ボタンを押します。

⇒ [メッセージ表示] ボタンが「する」になっていた場合は、「しない」に切り替わります。

また、[メッセージ表示] ボタンが「しない」になっていた場合は、「する」に切り替わります。



[メッセージ表示] ボタンの「する」と「しない」では、操作の流れが異なります。

- [メッセージ表示] ボタンが「する」でジョブを実行する場合、「ジョブメッセージ」画面が表示されます。

### Job1を実行します

スキャン画像をメール送信→FAX送信→印刷→フォルダ保存  
→メール送信→FAX送信→印刷→フォルダ保存→メール送  
信→FAX送信します。



メッセージの確認後、次の処理がある場合、画面上の [OK] ボタンを押して処理を続けます。次の処理がない場合、[スキャン] ボタンを押して読み取りを開始します。

- [メッセージ表示] ボタンが「しない」でジョブを実行する場合、「ジョブメッセージ」画面は表示されず、ジョブが実行されます。

## 6.14.2 メール送信 / ファイル保存するときのファイル名を変更します

ジョブ実行時に、スキャン画像をメール送信またはファイル保存するときの名前を変更します。



「ファイル名入力」画面を表示しない設定になっている場合はファイル名を変更できません。

1. 「ジョブメニュー」画面でジョブボタンを押します。
2. 「ファイル名入力」画面が表示されたら、スキャン画像をメール送信またはファイル保存するときの名前を入力します。

最大文字数は 128 文字です。半角および全角文字が使用できます。¥と / はフォルダの区切り文字として扱われます。以下の文字は使用できません。

: \* ? " < > |

初期値は管理者画面の「ジョブ詳細設定」画面の「共通ファイル名」で設定したファイル名です。詳細については、「[4.11.2 ジョブを設定します](#)」(191 ページ)を参照してください。



ファイル名を入力してください。

ファイル名の後ろに連番が付与されます。



- 連番の設定がされている場合、初期表示されているファイル名の後ろに連番が付与されます。また、画面には「ファイル名の後ろに連番が付与されます。」のガイダンスが表示されます。
- ファイル名を編集した場合、連番は付与されません。
- ファイル名の入力後、次の処理がある場合、画面上の [OK] ボタンを押して処理を続けます。次の処理がない場合、[スキャン] ボタンを押して読み取りを開始します。

### 6.14.3 読み取る枚数を確認します

ジョブ実行時に、読み取る原稿の枚数を指定して、読み取った枚数に誤りがないかを確認します。



ヒント

以下のどれかの設定になっている場合、「読み取り枚数入力」画面は表示されません。

- 読み取り枚数をチェックしない
- 読み取り枚数をチェックするが、「読み取り枚数入力」画面を表示しない設定になっている（「ジョブ詳細設定」画面の「スキャン枚数チェック」の[ジョブごとに変更可能]のチェックボックスが無効の状態）



1. 「ジョブメニュー」画面でジョブボタンを押します。
2. 「読み取り枚数入力」画面が表示されたら、読み取る原稿の枚数を 1～999 の範囲で入力します。



まって!

- ジョブのアクションに [印刷] が含まれる場合、設定できる読み取り枚数は「1～999」ではなく、「1～100」の範囲になります。
- 読み取りできる最大ページ数は印刷の場合は 100 ページ、それ以外の場合は 999 ページです。このため、両面読み取りを行う場合、これらの最大ページ数を超えない範囲で、読み取り枚数を設定してください。



#### 読み取り枚数入力

スキャンする用紙枚数を入力してください。

スキャン枚数:

5

枚 (1-999)

キャンセル

スキャン

## 3. [スキャン] ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。



読み取り完了後、「表示 & 編集」画面が表示される場合、「読み取り枚数入力」画面で指定した読み取り枚数と、実際に読み取った枚数が一致しているかどうかを  の部分で確認できます。



「表示 & 編集」画面でページを削除した場合や、白紙ページ削除された場合でも、読み取った枚数は変更されません。

読み取り完了後、読み取り枚数を確認する設定になっている場合、以下の確認画面が表示されます。読み取り枚数を確認するかどうかを変更する場合は、管理者に連絡してください。詳細については、「4.11.2 ジョブを設定します」(191 ページ) を参照してください。

読み取った枚数は、以下のとおりです。

読み取り枚数: 4  
指定枚数: 5

ジョブを継続する場合は“OK”、キャンセルする場合は“キャンセル”を押してください。また、追加して読み取る場合は“追加読み取り”を押してください。





[ 追加読み取り ] ボタンが表示されている場合、継続して追加で原稿を読み取れます。

ジョブを実行する場合は、[OK] ボタンを押してください。

ジョブを中止してスキャン画像を削除する場合は、[キャンセル] ボタンを押してください。

# 第 7 章

## 本装置のお手入れ

管理者

利用者

本装置のお手入れ方法、消耗品／オプション品の交換時期と交換方法について説明しています。

### 注意



スキャナ使用時は ADF 内部のガラスは高温になります。  
内部の清掃を行うときは、電源を切断し、AC アダプターをコンセントから抜いて 15 分以上待つて温度が下がってから行ってください。  
フィードローラと排出ローラの清掃をするときは、電源を投入した状態で行います。  
また、消耗品の交換は、電源を切断し、AC アダプターをコンセントから抜いて 15 分以上待つて温度が下がってから行ってください。

### 警告



清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。  
また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。

7.1 清掃について .....	368
7.2 ADF を清掃します .....	370
7.3 タッチパネルを清掃します .....	376
7.4 キーボードを清掃します .....	377
7.5 キャリアシートを清掃します .....	378
7.6 消耗品／オプション品を交換します .....	379
7.7 読み取りテストをします .....	388

## 7.1 清掃について

### 7.1.1 清掃用具

清掃用具を以下に示します。

清掃用品	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1 ボトル (100 ml) 布にしみこませて清掃します。
クリーニングペーパー	FI-C100CP	1 冊 (10 枚入り) クリーナ F1 と共に使用します。
クリーニングワイプ	FI-C100CW	1 箱 (24 袋入り) クリーナ F1 をしみこませた ウェットティッシュタイプのク リーナです。クリーナ F1 を布 にしみこませる代わりに、本品 を使用することができます。
乾いた布	市販のもの	
ScanAid (*)	FI-601SA	—

(\*): ScanAid の詳細については、「[ScanAid の購入](#)」(595 ページ) を参照してください。

清掃用具のご購入については、「[消耗品／清掃用品の購入先](#)」(593 ページ) を参照してください。

## 7.1.2 清掃箇所と頻度

1000 枚読み取りごとに以下を清掃してください。

- パッドユニット
- フィードローラ
- 排出ローラ
- ピックローラ
- プラスチックローラ
- ガラス
- 超音波センサー



以下のような原稿を使用している場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷されている原稿
- ノーカーボン紙のように化学物質で加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿を多数読み取る場合
- トナーが十分定着していない原稿

## 7.2 ADF を清掃します

ADF の清掃は、目安として 1,000 枚読み取りごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。たとえば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

 注意



スキャナ使用時は ADF 内部のガラスは高温になります。  
内部の清掃を行うときは、電源を切断し、AC アダプターをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから行ってください。

 注意

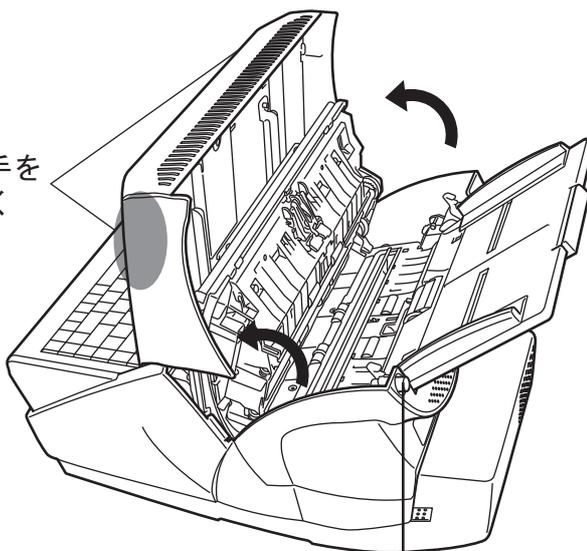


清掃時は、スキャナ内部を確認しながら、ピックバネ（金属部）に手や布が引っかからないように注意してください。ピックバネ（金属部）が変形して、けがの原因となることがあります。

### 7.2.1 ADF の清掃方法

1. ADF ボタンを押しながら、LCD カバーの側面に手を添え手前側に起こして、LCD カバーを開きます。

両側面に手を添えて開く

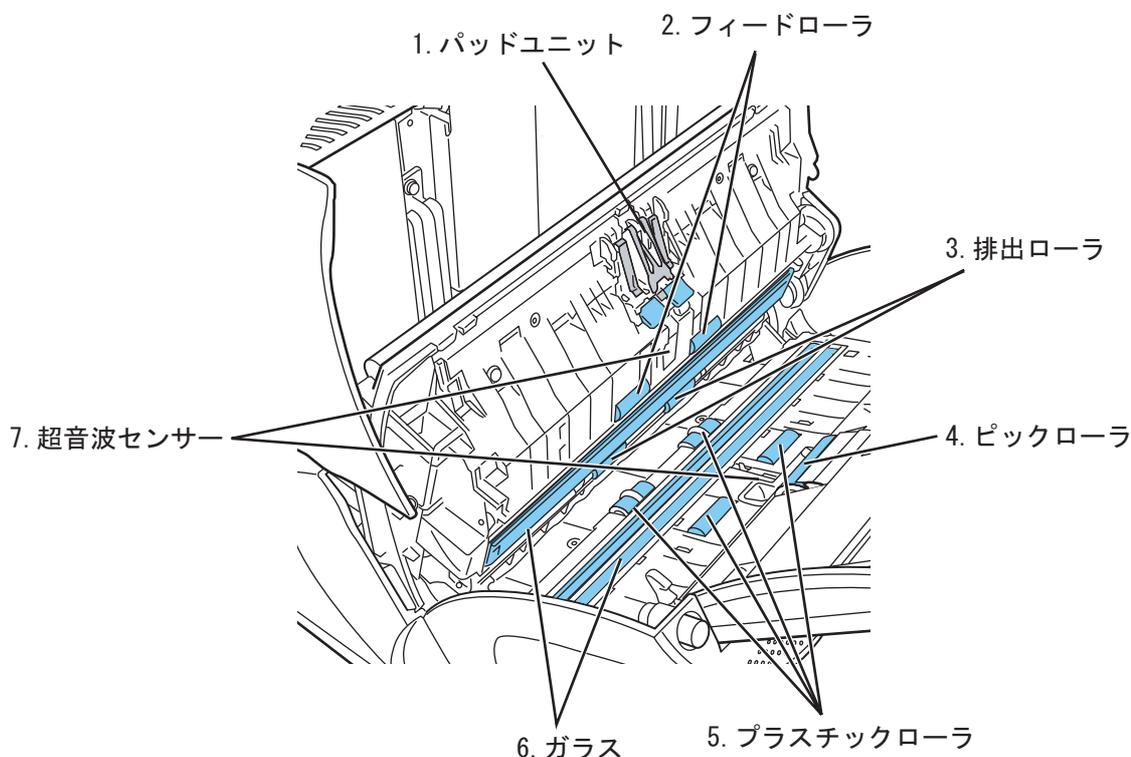


押しながら開きます

**注意**

LCD カバーが閉まり、指などはさむおそれがあります。ご注意ください。

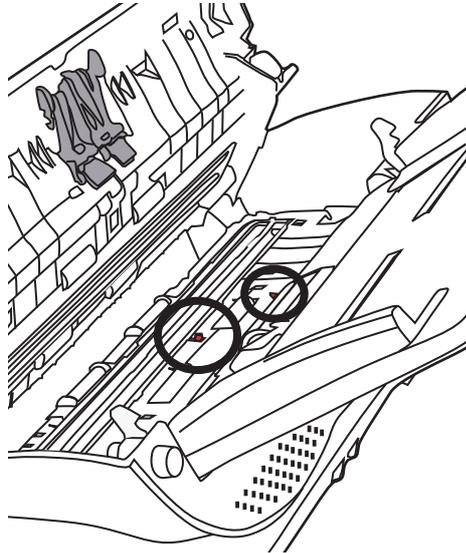
2. クリーナ F1 を浸した布で、以下の場所を清掃します。



No.	名称	清掃方法
1	パッドユニット	「パッドユニット」(372 ページ) を参照してください。
2	フィードローラ (2 個)	「フィードローラ / 排出ローラ」(373 ページ) を参照してください。
3	排出ローラ (2 個)	「フィードローラ / 排出ローラ」(373 ページ) を参照してください。
4	ピックローラ (1 個)	「ピックローラ」(374 ページ) を参照してください。
5	プラスチックローラ (4 個)	「プラスチックローラ」(374 ページ) を参照してください。
6	ガラス (2 箇所)	「ガラス」(374 ページ) を参照してください。
7	超音波センサー (2 箇所)	「超音波センサー」(375 ページ) を参照してください。

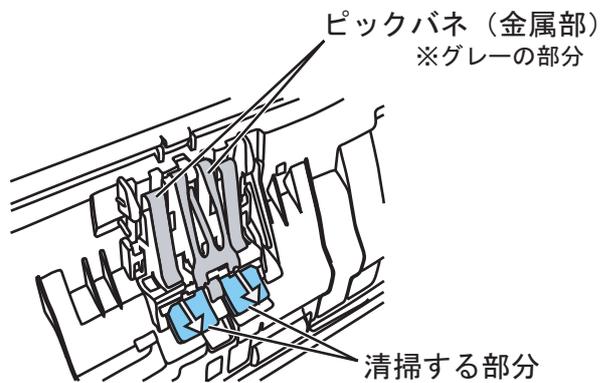


清掃の際は、布を原稿検知センサーに引っかけて破損しないように注意してください。



- パッドユニット

ゴム製のパッド表面に付着したよごれやほこりを、上から下に向かって拭き取ります。このとき、ピックバネ（金属部）に、手や布が引っかからないように注意してください。



- フィードローラ / 排出ローラ

フィードローラ / 排出ローラを清掃する場合は、以下の手順で行います。

- 1) 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で、[メンテナンス] ボタンを押します。  
⇒ 「メンテナンス」画面が表示されます。
- 2) [ローラクリーニング] ボタンを押します。

### メンテナンス



メールアドレス編集



ローラクリーニング



FAX番号編集



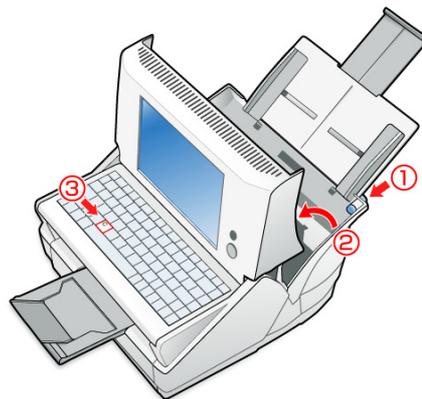
読み取りテスト

キャンセル

⇒ メッセージが表示されます。

### ローラクリーニング

キーボードの「C」キーを押して、フィードローラを回転させながら清掃してください。  
フィードローラの清掃が完了したら「OK」ボタンを押してください。



OK

- 3) LCD カバーを開きます。
- 4) クリーナ F1 を浸した布をローラ表面に押し当てます。

5) キーボードの [c] キーを押します。

⇒ 一定量フィードローラ / 排出ローラが回転します。

クリーナ F1 を浸した布をローラ表面に押し当て、ローラを回転させながらローラの表面を軽く清掃してください。[c] キーを 7 回押すと、ローラが 1 回転します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので、清掃を十分に行ってください。

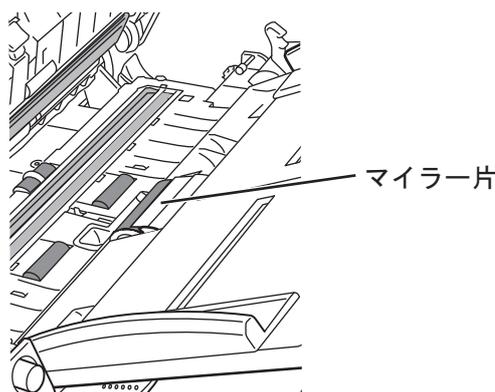


手順 5 でローラを回転させると、フィードローラおよび排出ローラが同時に回転します。フィードローラまたは 排出ローラを清掃する場合、回転中のローラに手が触れないように、注意してください。



● ピックローラ

ローラの表面を傷めないように、ローラを回しながら軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので、清掃を十分に行ってください。また、マイラー片（黒色）を傷つけないように注意してください。



● プラスチックローラ

ローラの表面を荒らさないように、軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので、清掃を十分に行ってください。この時、プラスチックローラのスポンジを傷めないように注意してください。

● ガラス

軽く清掃します。



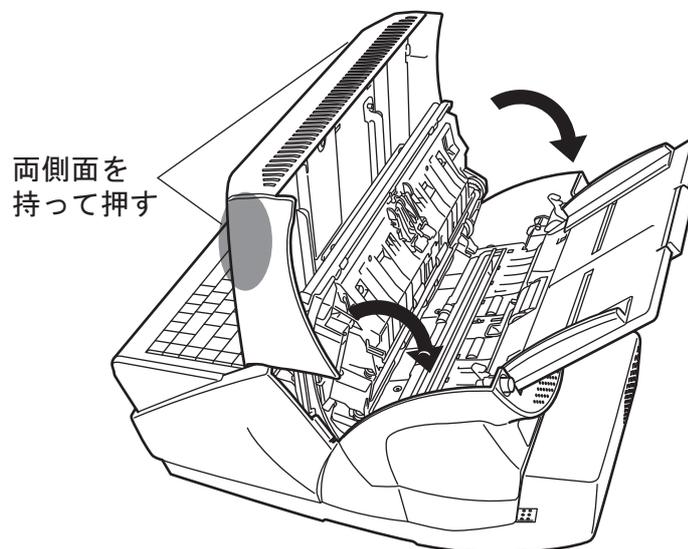
ガラスが汚れていると、スキャン画像に黒い縦線が出る場合があります。



- 超音波センサー  
軽く清掃します。
3. LCD カバーの側面に手を添えて、元の位置に戻します。  
カチンという音がします。



- LCD カバーを閉じる際に、手などをはさまないように注意してください。
- 元の位置に戻したときに、ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。
- タッチパネルを押して LCD カバーを元に戻さないでください。タッチパネルが破損するおそれがあります。



---

## 7.3 タッチパネルを清掃します

タッチパネル表面に、ほこりや汚れがついた場合は、乾いた柔らかい布で定期的に軽く拭いてください。

タッチパネルは、慎重に取り扱ってください。表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。



水分を含んだ布などで、タッチパネルを拭かないでください。  
タッチパネルと画面の境目にタッチパネル表面に付着したほこりが固まって噛み込みを起し、タッチパネルが誤動作する原因となります。



## 7.4 キーボードを清掃します

キーボード表面に、ほこりや汚れがついた場合は、乾いた柔らかい布で定期的に軽く拭いてください。



水分を含んだ布などで、キーボードを拭かないでください。クリーナー F1 は使用しないでください。



---

## 7.5 キャリアシートを清掃します

キャリアシート表面や内部に、ほこりや汚れがついた場合は、乾いた柔らかい布や、「クリーナ F1（別売）」または中性洗剤を少量しみこませた柔らかい布を用いて、キャリアシート表面や内部の汚れやほこりを、軽く拭き取ります。



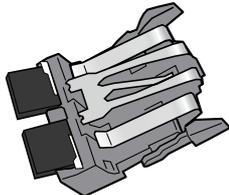
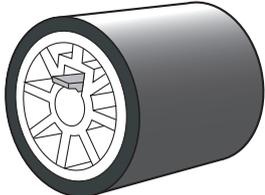
- シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 強くこすると、キャリアシートが傷ついたり、変形したりするおそれがあります。
- キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤で清掃したあとは、十分乾かしてからキャリアシートを閉じてください。
- キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することをお勧めします。キャリアシートの購入については、以下のホームページを参照していただくか、スキャナを購入された販社 / 販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。  
お問合せ先については、「[消耗品／清掃用品の購入先](#)」（593 ページ）を参照してください。

## 7.6 消耗品／オプション品を交換します

### 7.6.1 消耗品／オプション品の番号と交換周期

#### ■ 消耗品の番号と交換周期

消耗品の品名と交換周期、消耗品の使用回数を見方を示します。

品名	型名	交換周期（目安）	消耗品の状態
パッドユニット 	FI-C601P	スキャンした原稿の枚数が5万枚、または1年ごと (A4原稿 (80g/m <sup>2</sup> )の上質紙、または中質紙を使用した場合)	スキャンした原稿の枚数が4.5万枚未満のときは、緑色で表示されます。 4.5万枚スキャンすると、橙色で表示されます。 5万枚で赤色表示されます。 消耗品の状態を確認する方法については、「 <a href="#">7.6.2 消耗品の状態を確認します</a> 」(381ページ)を参照してください。
ピックローラ 	FI-C601PR	スキャンした原稿の枚数が10万枚または1年ごと (A4原稿 (80g/m <sup>2</sup> )の上質紙、または中質紙を使用した場合)	スキャンした原稿の枚数が9.5万枚未満のときは、緑色で表示されます。 9.5万枚スキャンすると、橙色で表示されます。 10万枚で赤色表示されます。 消耗品の状態を確認する方法については、「 <a href="#">7.6.2 消耗品の状態を確認します</a> 」(381ページ)を参照してください。
ScanAid (*)	FI-601SA	—	—

(\*): ScanAidの詳細については、「[ScanAidの購入](#)」(595ページ)を参照してください。

交換周期は、目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。

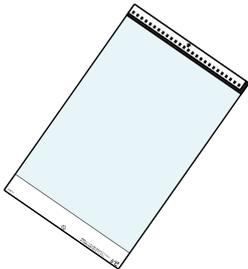


- 消耗品の状態が橙色または赤色になったら管理者に連絡して、消耗品を交換してください。
- 当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品のご購入については、「消耗品／清掃用品の購入先」(593 ページ) を参照してください。

## ■ オプション品の番号と交換周期

オプション品の品名と交換周期を示します。

品名	数量	型名	交換周期 (目安)	備考
キャリアシート 	5 枚	FI-511ES	500 回読み取るごと	キャリアシートの購入については、「7.6.5 キャリアシートを購入します」(387 ページ) を参照してください。

交換周期は、使用状況によって異なります。傷や汚れが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。



当社指定のオプション品以外は使用しないでください。

オプション品のご購入については、以下のホームページを参照していただくか、スクヤナを購入された販社 / 販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/purchase/>

株式会社 PFU PFU ダイレクト

TEL : 0120-14-4541

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

E-Mail : [shop@pfu.fujitsu.com](mailto:shop@pfu.fujitsu.com)

電話お問い合わせ受付時間 : 月～金 / 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00

(土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く)

## 7.6.2 消耗品の状態を確認します

1. 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で、[消耗品状態] ボタンを押します。

⇒「消耗品」画面が表示されます。

2. 交換部品を確認し、[OK] ボタンを押します。

カウンタが「交換の目安」を超えている部品は交換が必要です。

カウンタは 500 枚単位で読み取り枚数が表示されます。

管理者画面で交換部品の確認をする場合は、「[4.8.3 消耗品統計情報を参照します](#)」(161 ページ) を参照してください。

## 消耗品

部 品	カウンタ	交換の目安	状 態
パッドユニット 	50,000	50,000	交換時期が過ぎています。
ピックローラ 	50,000	100,000	

▶ OK

3. 部品を交換します。

パッドユニットの交換については、「[7.6.3 パッドユニットを交換します](#)」(382

ページ) を、ピックローラの交換については、「[7.6.4 ピックローラを交換します](#)」

(383 ページ) を参照してください。

### 7.6.3 パッドユニットを交換します

1. ADF 給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. ADF ボタンを押しながら、LCD カバーの側面に手を添え手前側に起こして、LCD カバーを開きます。

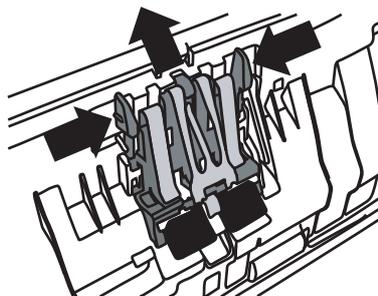


LCD カバーが閉まり、指などをはさむおそれがあります。ご注意ください。



3. パッドユニットをスキャナから取り外します。  
パッドユニットの両端のツマミを押して、上にずらしながら手前に引きます。

左右のツマミを押しながら引き上げる



4. 新しいパッドユニットを取り付けます。  
パッドユニットの両端を持ち、元の位置に取り付けます。  
このとき、金属部分に手を引っかかないように注意してください。



パッドユニットが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。



## 5. LCD カバーを閉じます。

カチンという音がします。



LCD カバーを閉じる際に、手などをはさまないように注意してください。



## 6. パッドのカウンタをリセットします。

カウンタのリセットは管理者が行います。詳細については、「[カウンタをリセットします](#)」(162 ページ) を参照してください。

### 7.6.4 ピックローラを交換します

1. ADF 給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. ADF 給紙シュートを取り外します。
3. ADF ボタンを押しながら、LCD カバーの側面に手を添え手前側に起こして、LCD カバーを開きます。

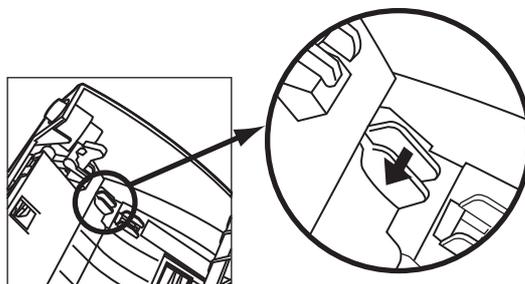


LCD カバーが閉まり、指などをはさむおそれがあります。ご注意ください。

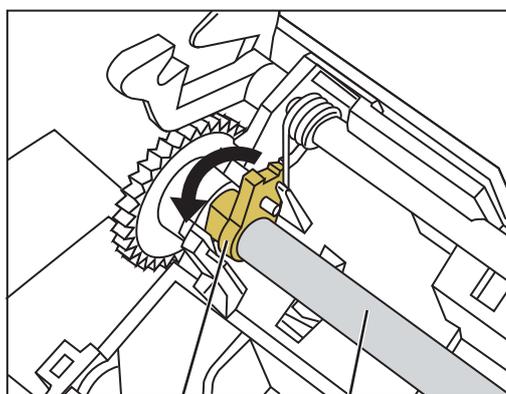


4. ピックローラをスキャナから取り外します。

1. シートガイドのツメをつまんで上に持ち上げながら、シートガイドを取り外します。

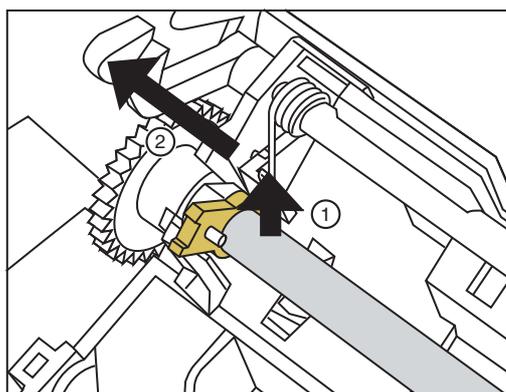


2. ピックローラ軸受けを、矢印の方向に回転させます。



ピックローラ軸受け      ピックローラ軸

3. 持ち上げて、左へスライドさせながら取り外します。



ピックローラ軸受けは堅いため、指のツメでピックローラ軸受けを回転させることはおやめください。指でうまく回転させることができない場合は、クリップなどを使って回転させてください。

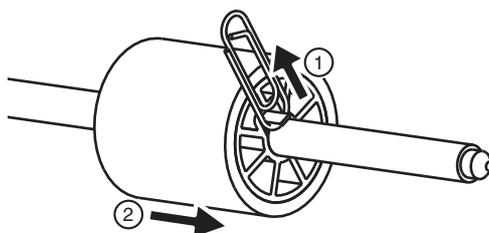


## 5. ピックローラを、軸から外します。

ピックローラのツメを持ち上げながら、ピックローラを軸から取り外します。

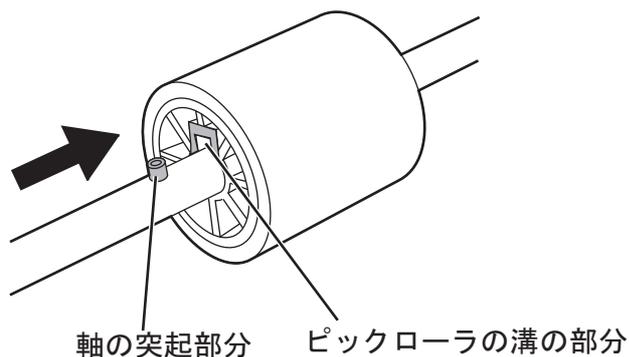


指のツメを使って持ち上げると、指のツメが傷ついたり、欠けたりする可能性があります。指でうまく持ち上げられない場合は、クリップなどを使ってピックローラのツメを持ち上げてください。



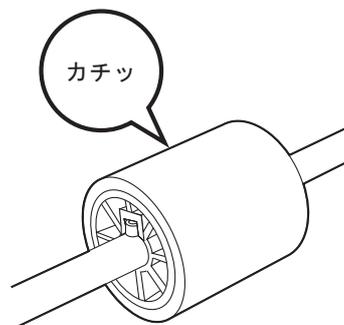
## 6. 新しいピックローラを、軸に取り付けます。

軸の突起部分をピックローラの溝にはめ込みます。



ピックローラが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

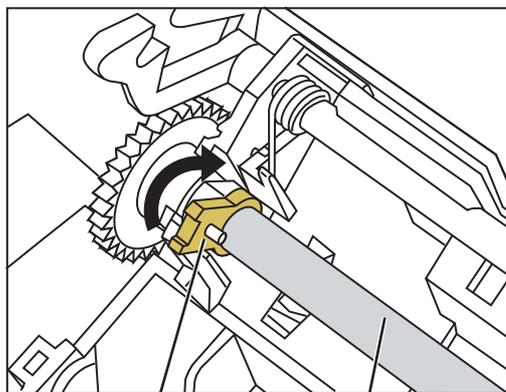
なお、ピックローラは取り付けるとき、「カチッ」という音が鳴ります。音が鳴るように取り付けてください。



7. ピックローラをスキヤナに取り付けます。

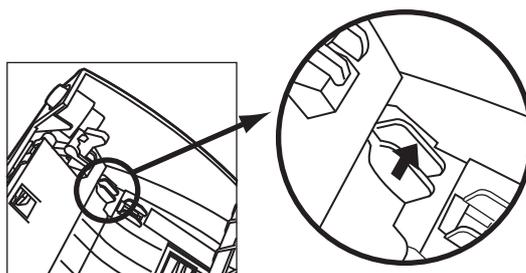
ピックローラをスキヤナに取り付けるには、ピックローラをスキヤナから取り外した手順の逆の手順で行います。

1. ピックローラ軸受けを、矢印の方向に回転させます。



ピックローラ軸受け      ピックローラ軸

2. シートガイドを取り付け、ツメを矢印の方向に動かしてシートガイドを固定します。



8. LCD カバーを閉じます。

カチンという音がします。



LCD カバーを閉じる際に、手などをはさまないように注意してください。



9. ADF 給紙シュートを取り付けます。

10. ピックローラのカウンタをリセットします。

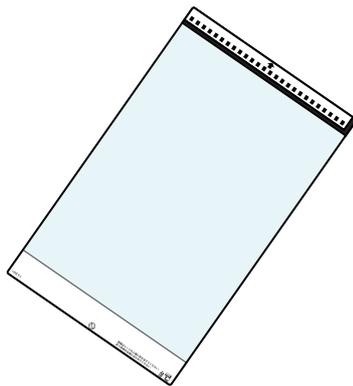
カウンタのリセットは管理者が行います。詳細については、「[カウンタをリセットします](#)」(162 ページ) を参照してください。

### 7.6.5 キャリアシートを購入します

本製品に添付されているキャリアシートが、破損、磨耗などによって、読み取りができなくなった場合は、キャリアシートのみを別途ご購入いただくことができます。

キャリアシートは、目安として、500回読み取るごとに交換することをお勧めします。ただし、使用状況によって異なります。傷や汚れが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

以下に、購入するキャリアシートを図示します。

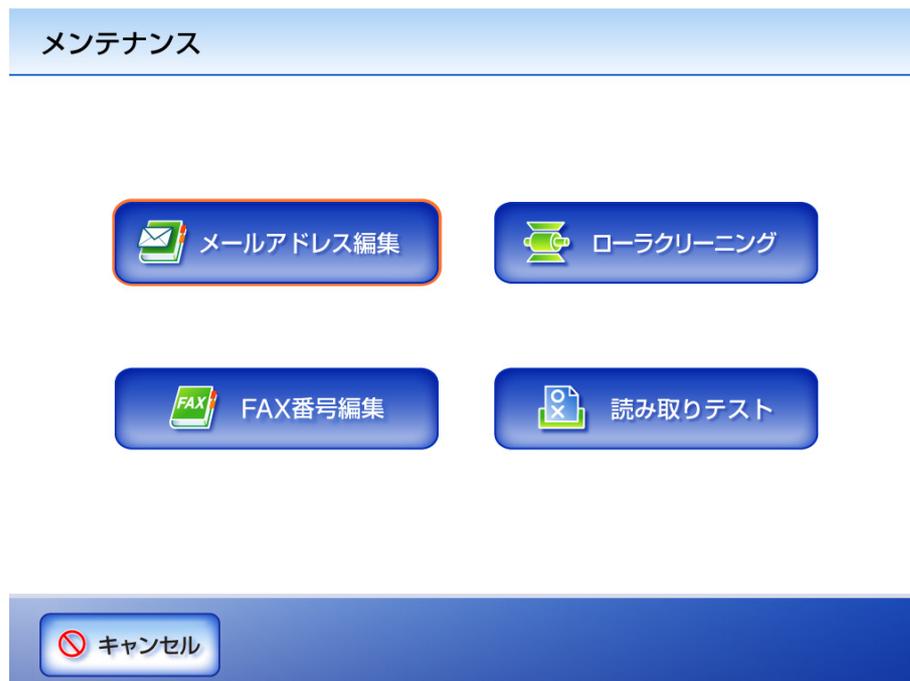


キャリアシートのご購入については、「[消耗品／清掃用品の購入先](#)」(593 ページ) を参照してください。

## 7.7 読み取りテストをします

本装置の清掃や消耗品交換のあとに、本装置の読み取りテストをします。

1. 「メインメニュー」画面または「ジョブメニュー」画面で、[メンテナンス]ボタンを押します。  
⇒「メンテナンス」画面が表示されます。
2. [読み取りテスト]ボタンを押します。



⇒「読み取りテスト」画面が表示されます。

3. 読み取りテストのための原稿を、ADF 給紙シュートにセットします。

## 4. [スキャン] ボタンを押します。

## 読み取りテスト

用紙をセットして、[スキャン] ボタンを押してください。

## ■ 読み取り設定情報 ■

項目	設定値	項目	設定値
 カラーモード	自動	 シャープネス	しない
 用紙サイズ	自動	 ドロップアウトカラー	しない
 解像度	200dpi	 裏書き除去	中間
 読み取り面	両面	 原稿向き補正	しない
 圧縮	推奨	 白紙ページ削除	しない
 明るさ	推奨	 マルチフィード検出	重なり検出
 コントラスト	推奨	 枠消し	しない

 キャンセル

 スキャン

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取りが完了すると、「表示&編集」画面が表示されます。

うまく読み取れなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。対処方法については、「F.2 利用者のメッセージ」(503 ページ) を参照してください。

## 5. スキャン画像を確認します。

「表示&編集」画面については、「6.11.1 スキャン画像を参照します」(350 ページ) および「6.11.2 スキャン画像を回転します」(351 ページ) を参照してください。



## 6. [OK] ボタンを押します。

⇒ 「メンテナンス」画面に戻ります。



# 第 8 章

## 困ったときには

管理者

利用者

原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および本装置のラベル確認方法について説明します。

管理者の設定時には、設定する機能により「[F.1.1 管理者画面のメッセージ](#)」(473 ページ) に示すエラーメッセージが表示されます。対処方法を参照してください。

装置使用中または清掃中に、「[F.2 利用者のメッセージ](#)」(503 ページ) に示すエラーメッセージが表示されます。対処方法を参照してください。

「[4.9 履歴管理メニューでの設定](#)」(164 ページ) でログ情報を取得した場合、「[F.1.2 システムログのメッセージ](#)」(492 ページ) が表示されます。対処方法を参照してください。

装置の状態によって「[F.1.3 本体装置監視が出力するシステムログのメッセージ](#)」(499 ページ) が表示されます。対処方法を参照してください。

8.1 原稿づまりが発生したときは .....	392
8.2 キートップが外れたときは.....	396
8.3 ネットワーク通信ができないときには.....	398
8.4 困ったときには.....	411
8.5 サービスセンターに連絡する前に .....	414
8.6 ラベルの確認 .....	417
8.7 装置を保守に出すときの処置 .....	418

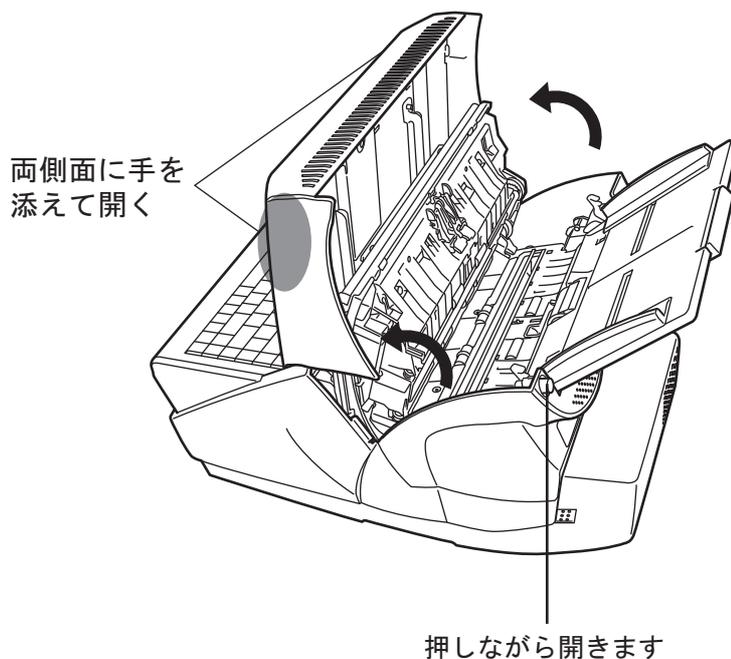
## 8.1 原稿づまりが発生したときは

原稿がつまった場合は、以下の要領で原稿を取り除いてください。



- つまった原稿を取り除くときは、ケガをしないように注意してください。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイやネックレスなどがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
- ガラスが高温になっている場合があります。やけどをしないように注意してください。

1. ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
2. ADF ボタンを押しながら、LCD カバーの側面に手を添え手前側に起こして、LCD カバーを開きます。



LCD カバーが閉まり、指などをはさむおそれがあります。ご注意ください。

## 3. つまっている原稿を取り除きます。



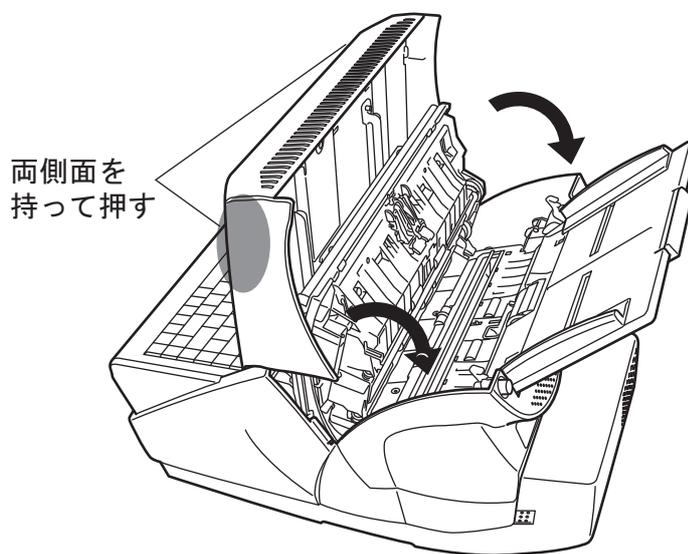
- ステープラーの針やクリップなどは原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。また、読み取りを行う前に、ステープラーの針やクリップなどは必ず原稿から取り外してください。
- つまった原稿を取り外すときに、金属部分を引っ張らないように注意してください。

## 4. LCD カバーの側面に手を添えて、元の位置に戻します。

カチンという音がします。



- LCD カバーを閉じる際に、手などをはさまないように注意してください。
- 元の位置に戻したときに、ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。
- タッチパネルを押して LCD カバーを元に戻さないでください。タッチパネルが破損するおそれがあります。

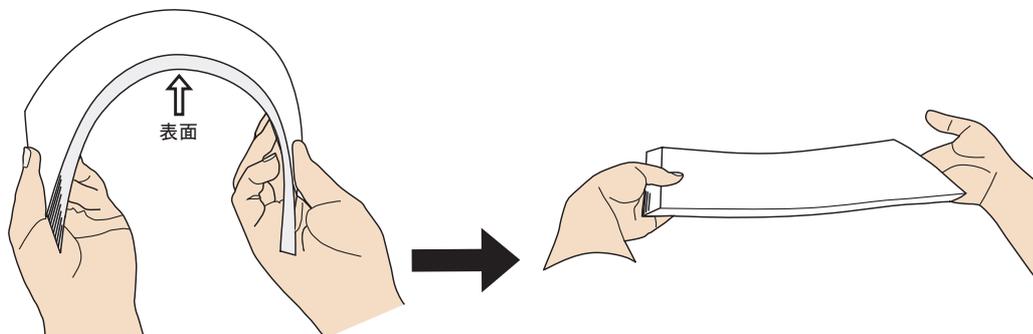




- 読み取り終了時または読み取りをキャンセルしたとき、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF の内部に残る場合があります。原稿が ADF 内部に残った場合は、以下の手順に従って取り除いてください。
  1. ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
  2. ADF ボタンを押しながら、LCD カバーの側面に手を添え手前側に起こして、LCD カバーを開きます。
  3. 残っている原稿を取り除きます。
  4. LCD カバーを閉じます。
- 原稿がつまった場合、スキャン画像を確認してください。読み取りの途中で原稿がつまった場合、正しく読み取れなかったスキャン画像が残ることがあります。この場合は、「表示&編集」画面の [削除] ボタンで正しく読み取れなかったスキャン画像を削除してください。「表示&編集」画面での削除操作については、「[6.11.4 スキャン画像を削除します](#)」(352 ページ) を参照してください。

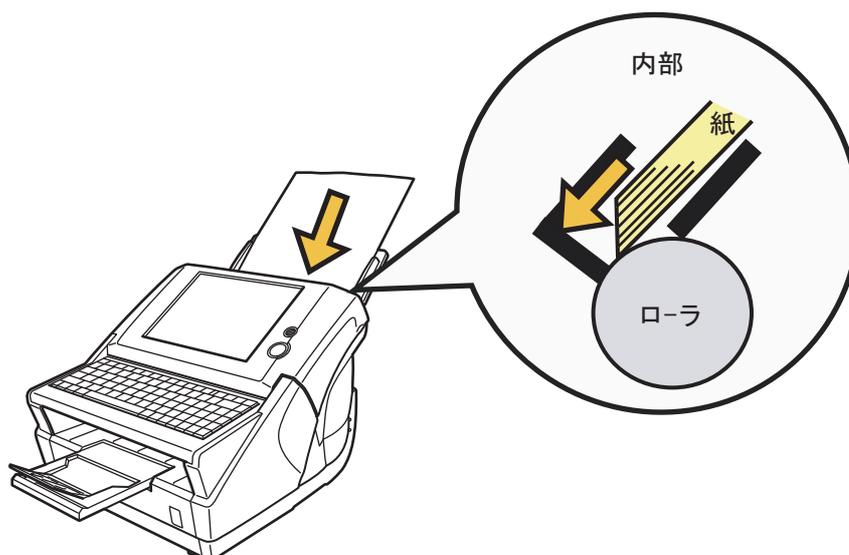
原稿づまりやマルチフィードが多発する場合は、以下の手順で原稿をセットしてください。

1. 原稿の先端をそろえます。
2. 原稿の先端と後端部分をつかみ、図のように湾曲させて後端部分を離します。



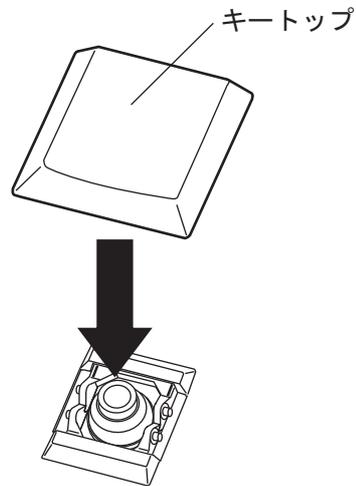
⇒ 原稿の先端部分が少し斜めにずれた状態になります。

3. 図のように ADF 給紙シュートに原稿をセットします。



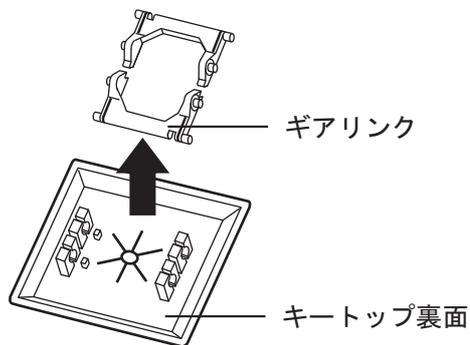
## 8.2 キートップが外れたときは

キーボードのキートップが外れた場合は、元の位置に戻して、カチッと音が鳴るまでキーボードに押し付けます。

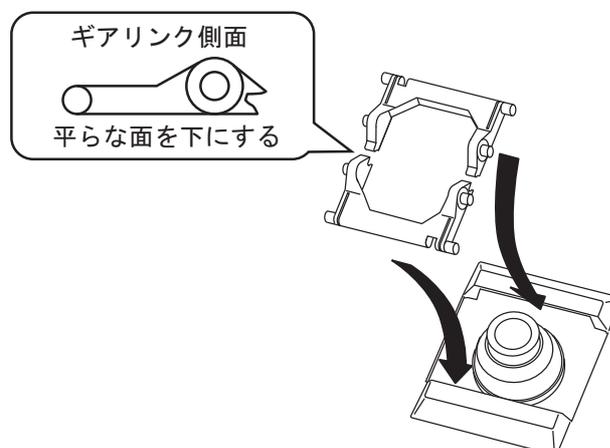


キートップとギアリンクが外れた場合は、以下の手順で取り付けます。

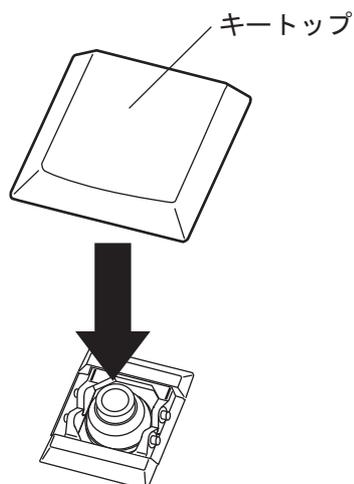
1. キートップからギアリンクを取り外します。



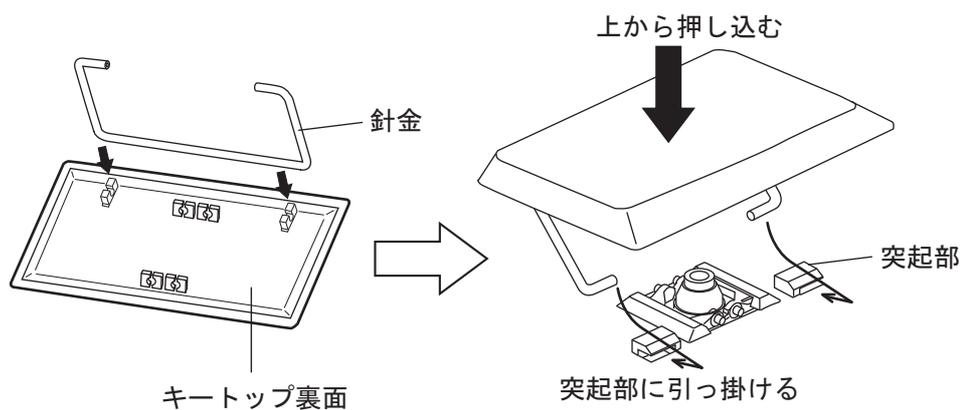
2. ギアリンクの平らな面を下にして、取り付けます。



3. キートップを元の位置に戻して、カチッと音が鳴るまでキーボードに垂直に押し付けます。



針金がついているキーが外れた場合は、キートップに針金を取り付けて突起部に引っ掛け、キートップの中心を合わせてカチッと音が鳴るまでキーボードに垂直に押し付けます。



## 8.3 ネットワーク通信ができないときには

ネットワーク通信ができない場合は、本装置の動作状況や環境設定内容を見直してください。

以下に、発生すると考えられる代表的なトラブルについて説明します。

原因の特定ができない場合や現象が解消されない場合は、「[8.5 サービスセンターに連絡する前に](#)」(414 ページ) の各項目を確認して、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに問い合わせしてください。

### 8.3.1 ネットワーク動作テスト

ネットワーク設定が完了したら、管理者画面で以下のネットワーク動作テストをしてください。

- Ping によるネットワークの基本動作確認
- ネットワーク動作状態の確認
- 時刻同期による NTP サーバ環境の確認 (NTP サーバを使用する場合)
- テストメールによるメールサーバ環境の確認 (スキャン画像のメール送信、FAX 送信、またはメールによる異常通知機能を使用する場合)

#### ■ Ping によるネットワークの基本動作確認

ネットワーク連携を行う以下のサーバとコンピュータのネットワーク接続状態を確認します。

確認手順については、「[4.7.17 Ping でネットワークへの接続状態を確認します](#)」(155 ページ) を参照してください。

- Admin Tool をインストールしたコンピュータ
- Central Admin Console をインストールしたコンピュータ
- 集中管理サーバをインストールしたコンピュータ
- AddressBook Editor をインストールしたコンピュータ
- DNS サーバ
- WINS サーバ
- NTP サーバ
- LDAP サーバ
- SMTP サーバ
- フォルダ保存を行うサーバ
- FTP サーバ
- プリントサーバ
- SharePoint サーバ
- ドメインコントローラー



サーバの設定によっては ping の応答を返さない場合があります。

IP アドレスでサーバのネットワーク接続状態を確認した場合は、以下の結果になります。「結果」を確認し、それぞれの対処に従ってください。

結果	対処
「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=0 (0% loss)」	正常に接続されています。
「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=4 (100% loss)」	Ping 先に指定した IP アドレスが正しく指定されているかを確認してください。
	Ping 先に指定した IP アドレスが正しく指定されている場合は、「 <a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a> 」(404 ページ) を参照して、対処してください。
「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=N(1 ~ 99% loss)」	LAN ケーブルの品質に問題がある可能性があります。LAN ケーブルを交換して再度実行してください。
	<a href="#">「4.7.18 ネットワークの動作状態を確認します」</a> (157 ページ) で、「Link Speed / Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed / Duplex Mode に変更してください。
「Hardware error」	Ping 中に LAN ケーブルが抜けた可能性があります。LAN ケーブルの接続状態を確認して、再度実行してください。

ホスト名または FQDN 名でサーバのネットワーク接続状態を確認した場合は、以下の結果になります。

それぞれの対処に従ってください。

結果	対処
「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=0 (0% loss)」	正常に接続されています。
「Ping request could not find host xxxxxxxx. Please check the name and try again.」	Ping 先のホスト名または FQDN 名の指定が誤っていないか確認してください。
	DNS サーバまたは WINS サーバの設定が誤っていないかを確認してください。
	Ping 先に指定したホスト名または FQDN 名が正しく指定されている場合は、「ホスト名または FQDN 名指定で、本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(406 ページ) を参照して、対処してください。
「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=4 (100% loss)」	Ping 先に指定したホスト名または FQDN 名が正しく指定されているかを確認してください。
	「4.7.18 ネットワークの動作状態を確認します」(157 ページ) で、「Link Speed / Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed / Duplex Mode に変更してください。
「Ping Statistics」情報の Lost 値 「Lost=N(1 ~ 99% loss)」	LAN ケーブルの品質に問題がある可能性があります。LAN ケーブルを交換して再度実行してください。
	「4.7.18 ネットワークの動作状態を確認します」(157 ページ) で、「Link Speed / Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed / Duplex Mode に変更してください。
「Hardware error」	Ping 中に LAN ケーブルが抜けた可能性があります。LAN ケーブルの接続状態を確認して、再度実行してください。

## ■ ネットワーク動作状態の確認

ネットワーク状態を確認します。

確認手順については、「[4.7.18 ネットワークの動作状態を確認します](#)」(157 ページ) を参照してください。

「ネットワーク状態」画面を確認し、それぞれの対処に従ってください。

「ネットワーク状態」画面	対処
各情報に妥当な値が表示されている	正常に接続されています。
各情報に妥当な値が表示されていない	<p>DHCP を使用しない場合 IP アドレスの設定が正しく行われているかを確認してください。</p> <p>DHCP を使用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● DHCP サーバまでの物理的なネットワーク接続が正しく行われているかを確認してください。</li> <li>● DHCP サーバが正常に動作していない、または DHCP サーバ側の設定（リース数制限や MAC アドレス認証など）により正しく IP アドレスが割り当てられていないことが考えられます。DHCP サーバを確認してください。</li> </ul>
各情報に妥当な値が表示されていても、Ping によるネットワーク通信が正常に行えない	<p>「<a href="#">4.7.18 ネットワークの動作状態を確認します</a>」(157 ページ) で、「Link Speed / Duplex Mode」を「自動検出」から、固定の Link Speed / Duplex Mode に変更してください。</p> <p>それでも解決しない場合は、「<a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a>」(404 ページ) を参照して、対処してください。</p>

## ■ 時刻同期による NTP サーバ環境の確認

「NTP サーバ」画面の [今すぐ同期] ボタンを押して、NTP サーバと即時に時刻同期ができるか確認してください。

[今すぐ同期] ボタンを押したあとに表示されるメッセージごとに、それぞれの対処に従ってください。

メッセージ	対処
正常に時刻同期を完了しました。	正常に接続されています。
時刻同期に失敗しました。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● NTP サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名の指定に誤りがないか見直してください。</li><li>● NTP サーバまでのネットワーク経路に問題があり、NTP サーバまでネットワーク通信が到達できません。ネットワーク環境を確認してください。</li><li>● NTP サーバが混みあっています。時間をおいてから、再度時刻同期を行ってください。それでも発生する場合は、指定したサーバは NTP サーバとして動作していません。違う NTP サーバを指定してください。</li><li>● 指定した NTP サーバの日付時刻が信頼できる時刻を保持していないため、NTP サーバが上位階層の NTP サーバに時刻同期を試みましたが、失敗しました。違う NTP サーバを指定するか、ネットワーク管理者に調査してもらってください。</li><li>● 時間が大きくずれていないか確認してください。時間が大きくずれている場合は、本システムの日付時刻を大まかに合わせてから、再度時刻同期を行ってください。</li><li>● <a href="#">「4.6.4 日時を設定します」(63 ページ)</a> で本システムの日付時刻を大まかに合わせてから、再度時刻同期をやりなおしてください。</li></ul>

## ■ テストメールによるメールサーバ環境の確認

「Central Admin サーバ動作環境設定」画面または「異常通知先」画面の[テスト送信]ボタンを押して、指定したメールアドレスにメールが送信されているか確認してください。[テスト送信]ボタンを押したあとに表示されるメッセージごとに、それぞれの対処に従ってください。

メッセージ	対処
テスト実行中	エラーメッセージが何も表示されずにインジケータ表示が消えた場合は、メールサーバにテストメールを正常に送信できています。 通知先メールアドレスにテストメールが届いていることを確認してください。通知先メールアドレスにテストメールが届かない場合は、通知先のメールアドレスの@の前の文字列が誤っていないかを確認してください。
テストメールの送信に失敗しました。	メールサーバ側のコンピュータが動作しているかを確認してください。
	他のコンピュータから通知先メールアドレスにメール送信が行えるかを確認してください。
	SMTP サーバに対して Ping によるネットワーク通信を行い、SMTP サーバが正常に動作しているか、または SMTP サーバまでのネットワーク経路が正常に動作しているかを確認してください。
	SMTP サーバから Ping の応答がない場合は、Ping で SMTP サーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、本システムのネットワークが正常に動作していることを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「<a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a>」(404 ページ)を参照して、対処してください。</li> <li>● SMTP サーバに対するネットワーク通信だけができない場合は、SMTP サーバが正常に動作しているか、または SMTP サーバまでのネットワーク経路が正常に動作しているかを、ネットワーク管理者に調査してもらってください。</li> </ul>
	「 <a href="#">4.7.11 メールサーバを設定します</a> 」(121 ページ) または「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」画面で設定した、本装置と SMTP サーバとの通信に使用するポート番号が正しいか確認してください。

## 8.3.2 ネットワーク通信トラブル現象ごとの対処方法

通信ができない場合、現象によってさまざまな原因が考えられます。以下に、発生すると考えられる代表的なトラブルについて説明します。それでも原因の特定ができない場合や現象が解消されない場合は、「[8.5 サービスセンターに連絡する前に](#)」(414 ページ) の各項目を確認して、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターにお問い合わせしてください。

### ■ IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法

本装置から各サーバへ IP アドレスを指定したが、接続できない。または、本装置から Ping を使って、IP アドレス指定でネットワーク通信テストを行っても、各サーバから応答がない場合は、以下の対処を行ってください。

No.	原因	対処
1	各サーバと本装置との接続に誤りがある。 または LAN ケーブルに問題がある。	本装置または各サーバに LAN ケーブルが正しく差し込まれていることを確認してください。 また、各サーバとの接続にストレート仕様の LAN ケーブルを使用している場合は、auto-mdi (自動選択) 未サポートのため、本装置と各サーバとの間に、クロス LAN ケーブル、スイッチ機器またはルータ機器のどれかが介在している必要があります。 上記のいずれでもない場合は、LAN ケーブルの不良が考えられます。正常に動作した実績がある LAN ケーブルで再度確認してください。
2	IP アドレスやサブネットマスクが間違っている。	「IP アドレス」画面で、IP アドレスやサブネットマスクが正しく設定されているかを確認してください。 「IP アドレス」画面については、「 <a href="#">4.7.1 IP アドレス /DHCP を設定します</a> 」(89 ページ) を参照してください。

No.	原因	対処
3	DHCP を使用する場合に、DHCP サーバが正常に動作していない。または、DHCP サーバ側の設定に問題がある。	DHCP を使用する場合は、本装置の「ネットワーク状態」画面で、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正しい値になっているかを確認してください。 これらの値が正しく表示されていない場合は、DHCP サーバが正常に動作していない、または DHCP サーバ側の設定（リース数制限や MAC アドレス認証など）により正しく IP アドレスが割り当てられていないことが考えられます。 DHCP サーバの接続状態と DHCP サーバの設定内容を確認してください。 「ネットワーク状態」画面については、「4.7.18 ネットワークの動作状態を確認します」（157 ページ）を参照してください。
4	本装置と同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器が接続されている。	本装置と同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器と通信した直後に、各サーバの電源を切断しないまま本装置へ接続し、環境設定を変更した場合は、通信できなくなります。各サーバを再起動してください。 本装置と IP アドレスが重複しているホストまたは通信機器が LAN 上に存在すると正しく通信できません。 存在している場合は、重複しているホストまたは通信機器の LAN ケーブルを外し、各サーバを再起動してください。
5	各サーバと本装置の間にファイアウォール装置が設置され、アクセスが禁止されている。	各サーバと本装置の間にファイアウォール装置が設置されている場合は、ファイアウォール装置でアクセスが禁止されていないか確認してください。
6	本装置と各サーバとのネットワークの Link Speed / Duplex Mode が異なっている。または、各サーバ側が自動検出に対応していない。	本装置のネットワークの Link Speed / Duplex Mode が、初期値の「自動検出」になっています。 「自動検出」で正しく動作しない場合は、本装置と各サーバの Link Speed / Duplex Mode を固定にして再度確認してください。 「ネットワーク状態」画面については、「4.7.18 ネットワークの動作状態を確認します」（157 ページ）を参照してください。

## ■ ホスト名または FQDN 名指定で、本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法

ホスト名または FQDN 名指定で本装置から各サーバに、ネットワーク通信しても接続できない。または、本装置から Ping を使って、ホスト名または FQDN 名指定でテストを行っても、各サーバから応答がない場合は、以下の対処を行ってください。

No.	原因	対処
1	「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(404 ページ) と同じ原因。	「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(404 ページ) と同じ対処で、ネットワークの通信が可能になっているかを確認してください。
2	本装置の DNS サーバまたは WINS サーバの設定が誤っている。	本装置の DNS サーバまたは WINS サーバの設定が、正しく行われているか確認してください。
3	DNS サーバまたは WINS サーバが正常に動作していない。または、DNS サーバまたは WINS サーバまでのネットワーク経路に異常が発生した。	Ping により DNS サーバまたは WINS サーバが正常に動作しているか確認してください。 DNS サーバまたは WINS サーバが動作していない場合は、ネットワーク管理者にサーバの状況を確認してください。

## ■ ネットワーク共有プリンタが追加できない場合の対処方法

本装置からネットワーク共有プリンタの追加ができない場合は、以下の対処を行ってください。また、プリンタの設定方法、ネットワーク共有プリンタの追加方法や留意事項が書かれているプリンタの説明書を事前によくお読みください。

No.	原因	対処
1	プリントサーバに Windows XP 用のプリンタドライバがインストールされていない。	プリントサーバに Windows XP 用のプリンタドライバをインストールしてください。 プリントサーバに Windows XP 用のプリンタドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法については、「4.7.13 ネットワーク共有プリンタを設定します」(124 ページ)を参照してください。
2	ネットワーク共有プリンタの共有名が変更された。	プリントサーバで、ネットワーク共有プリンタの共有名を確認してください。
3	直接入力で指定したネットワーク共有プリンタのパス名に誤りがある。	直接入力で指定したネットワーク共有プリンタのパス名を確認してください。

## ■ ネットワーク共有プリンタから印刷できない場合の対処方法

本装置で設定したネットワーク共有プリンタから印刷できない場合は、以下の対処を行ってください。また、プリンタの設定方法、ネットワーク共有プリンタの追加方法や留意事項が書かれているプリンタの説明書を事前によくお読みください。

No.	原因	対処
1	用紙切れ、用紙づまりなどの原因で、プリンタ装置が印刷可能な状態でない。	プリンタ装置が印刷可能な状態になっているかを確認し、プリンタのエラー要因を取り除いてください。
2	「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(404 ページ)と同じ原因。	「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(404 ページ)と同じ対処で、ネットワークの通信が可能になっているかを確認してください。
3	ネットワーク共有プリンタへの印刷権限がない。	ネットワーク管理者にネットワーク共有プリンタへの印刷権限を確認してください。

No.	原因	対処
4	プリンタ本体またはスプーラの異常で印刷できない。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● プリントサーバ上のアプリケーションから印刷できることを確認してください。</li> <li>● プリントサーバのスプーラが正常に動作しているか確認してください。</li> </ul>

### 8.3.3 Web ブラウザ・Admin Tool・集中管理サーバから本装置にアクセスできない場合の対処方法

Web ブラウザ・Admin Tool・集中管理サーバから本装置にアクセスできない場合、および Central Admin Console から集中管理サーバにアクセスできない場合は、以下の対処を行ってください。

No.	原因	対処
1	「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(404 ページ) と同じ原因。	「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(404 ページ) と同じ対処で、ネットワークの通信が可能になっているかを確認してください。
2	DNS サーバ、WINS サーバが正常に動作していない。または、DHCP サーバや WINS サーバに本装置のスキヤナ名が登録されていない。	IP アドレス指定で接続確認してください。IP アドレス指定でネットワーク接続できた場合は、本装置のスキヤナ名の IP アドレスを DNS サーバ、または WINS サーバに登録してください。または、Web ブラウザおよび Admin Tool 側の DNS サーバと WINS サーバの設定が正しいか確認してください。
3	Web ブラウザまたは Admin Tool (LAN 接続) の端末と本装置の間にファイアウォール装置が設置され、HTTP/HTTPS プロトコルでの本装置へのアクセスが禁止されている。	Web ブラウザまたは Admin Tool の端末と本装置の間にファイアウォール装置が設置されている場合は、ファイアウォール装置でアクセスが禁止されていないか確認してください。

No.	原因	対処
4	対象スキャナの URL が信頼済みサイトに設定されていない。	<p>Web ブラウザの信頼済みサイトに対象スキャナの URL を設定してください。</p> <p>Internet Explorer で、[ ツール ] メニューの [ インターネットオプション ] 設定で以下の設定をしてください。</p> <p>[ セキュリティ ] タブで「信頼済みサイト」を選択し、[ サイト ] ボタンを押して、「この Web サイトをゾーンに追加する」に対象スキャナの URL を入力し、[ 追加 ] ボタンを押してください。</p>
5	<p>Internet Explorer で、[ ツール ] メニューの [ インターネットオプション ] にある [ セキュリティ ] タブで、該当するゾーンのセキュリティレベルが「高」に設定されている。</p> <p>または、レベルのカスタマイズで「アクティブスクリプト」が「ダイアログを表示」または「無効」に設定されている。</p>	<p>スキャナ名で接続した場合は、イントラネットゾーンでの接続になります。また、IP アドレスで接続した場合は、インターネットゾーンでの接続になります。</p> <p>Internet Explorer で、[ ツール ] メニューの [ インターネットオプション ] 設定で、対象のゾーンを以下のいずれかで設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アクティブスクリプトを有効にしてください。アクティブスクリプトを有効にするには以下の方法があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● [ セキュリティ ] タブで「このセキュリティレベルのレベル」を「中」に設定してください。</li> <li>● [ セキュリティ ] タブの [ レベルのカスタマイズ ] ボタンを押して、[ スクリプト ] - [ アクティブスクリプト ] を「有効」に設定してください。</li> </ul> </li> <li>● インターネットゾーンの場合は、[ プライバシー ] タブで設定を「中 - 高」以下に設定してください。</li> </ul> <p>なお、上記の設定を行った後、「インターネット一時ファイル」または「閲覧の履歴」で [ Cookie の削除 ... ] ボタンを押して、インターネット一時ファイルを削除してください。</p>
6	本装置が省電力モードになっている。	電源ボタンを押して、本装置を起動してください。

No.	原因	対処
7	プロキシサーバを使用している。	<p>プロキシサーバを使用しない設定にしてください。</p> <p>Internet Explorer で、[ ツール ] メニューの [ インターネットオプション ] 設定で以下の設定をしてください。</p> <p>[ 接続 ] タブの [ LAN の設定 ] ボタンを押して、「LAN にプロキシサーバを使用する（これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません）」のチェックをはずしてください。</p>
8	接続プロトコルの指定に誤りがある。	<p>「接続設定」画面で SSL 通信の使用の有無を確認してください。</p> <p>詳細については、「<a href="#">4.7.2 接続設定をします</a>」(91 ページ) を参照してください。</p>
9	ポート番号の指定に誤りがある。	<p>「接続設定」画面で指定したポート番号を指定してください。</p> <p>詳細については、「<a href="#">4.7.2 接続設定をします</a>」(91 ページ) を参照してください。</p>
10	Internet Explorer で、[ ツール ] メニューの [ インターネットオプション ] にある [ 詳細設定 ] タブで、「セキュリティ」の「SSL 3.0 を使用する」のチェックがはずれている。	<p>Internet Explorer で、[ ツール ] メニューの [ インターネットオプション ] にある [ 詳細設定 ] タブで、「セキュリティ」の「SSL 3.0 を使用する」のチェックボックスをチェックしてください。</p>

## 8.4 困ったときには

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。

項目を点検しても直らない場合は、「8.5 サービスセンターに連絡する前に」(414 ページ)の各項目を確認して、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに問い合わせしてください。

症 状	点検項目	対処法
電源が入らない。	電源ボタンを押しましたか？	電源ボタンを押してください。
	AC アダプターおよび AC ケーブルが正しく接続されていますか？	AC アダプターおよび AC ケーブルを正しく接続してください。
		AC ケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断したあと、すぐに電源を入れる場合は、10 秒以上時間をあけてください。 この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに問い合わせしてください。
読み取りが開始されない。	原稿は ADF 給紙シュートに正しくセットされていますか？	原稿を ADF 給紙シュートに正しくセットしてください。
	ADF は完全に閉まっていますか？	LCD カバーを完全に閉めてください。
	スキャナの電源を切ってから再び電源を入れ、ログインしなおしても、同じ症状が出ますか？	AC ケーブルを抜いて一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断したあと、すぐに電源を入れる場合は、10 秒以上時間をあけてください。 この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに問い合わせしてください。
SCAN ボタンを押しても読み取りが開始されない。	 があるボタンが表示されていますか？	SCAN ボタンが有効なのは以下の画面がタッチパネルに表示されている場合です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「メール送信」画面</li> <li>・「FAX 送信」画面</li> <li>・「印刷」画面</li> <li>・「保存」画面</li> <li>・「表示&amp;編集」画面</li> <li>・「読み取りテスト」画面</li> <li>・「ジョブメッセージ」画面</li> <li>・「読み取り枚数入力」画面</li> <li>・読み取りが完了したときの読み取り枚数確認画面</li> </ul>

症 状	点検項目	対処法
マルチフィードが頻繁に検出される。	「A.2 原稿について」(421 ページ) の条件を満たしていますか？	「A.2 原稿について」(421 ページ) を満たしている原稿を使用してください。
	原稿は ADF 給紙シュートに正しくセットされていますか？	読み取りの前に原稿の束をさばいて、きちんと端をそろえてから ADF 給紙シュートにセットしてください。
	原稿の束の厚さが 5mm を超えていますか？	原稿用紙の枚数を 5mm まで減らしてください。
	パッドユニットが汚れていませんか？	パッドユニットを清掃してください。詳しくは、「7.2 ADF を清掃します」(370 ページ) を参照してください。
	パッドユニットが磨耗していませんか？	パッドユニットを交換してください。詳しくは、「7.6 消耗品/オプション品を交換します」(379 ページ) を参照してください。
原稿が送り込まれない。  (ピックアップが頻繁に発生する、または原稿が途中で止まる。)	「A.2 原稿について」(421 ページ) の条件を満たしていますか？	「A.2 原稿について」(421 ページ) を満たしている原稿を使用してください。
	ピックアップが汚れていませんか？	ピックアップを清掃してください。詳しくは、「7.2 ADF を清掃します」(370 ページ) を参照してください。
	ピックアップが磨耗していませんか？	ピックアップを交換してください。詳しくは、「7.6 消耗品/オプション品を交換します」(379 ページ) を参照してください。
	搬送路に異物が入り込んでいませんか？	搬送路から異物を取り除いてください。
スキャン画像が間延びする。	フィードローラが汚れていませんか？	フィードローラを清掃してください。詳しくは、「7.2 ADF を清掃します」(370 ページ) を参照してください。
スキャン画像の先端に影がある。	フィードローラが汚れていませんか？	フィードローラを清掃してください。詳しくは、「7.2 ADF を清掃します」(370 ページ) を参照してください。
スキャン画像に縦線が出る。	ガラス部が汚れていませんか？	「第 7 章 本装置のお手入れ」(367 ページ) を参考にして、ガラス部を清掃してください。
スキャン画像の出力結果がずれる、またはゆがむ。	原稿は正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。
読み取り結果がよくない。	ガラス部が汚れていませんか？	汚れている箇所を清掃してください。
管理者パスワードでログインできない。	パスワード入力時に Caps Lock がかかっていませんか？	Caps Lock を解除してもう一度ログインしてください。 万一、パスワードを紛失してしまった場合は、スキャナを購入された販社/販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

症 状	点検項目	対処法
画面に「Keyboard error or not keyboard present」のメッセージが表示されて、本装置が起動しない。	電源を切った後、すぐに電源を入れていませんか？	AC ケーブルを抜き、一度電源を切断し、再び挿入してください。電源を切断したあと、すぐに電源を入れる場合は、10 秒以上時間をあけてください。 この方法を試しても電源が入らない場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターにお問い合わせしてください。
文字の入力域にキーボードで入力した内容が反映されない。	文字の入力域が選択されていますか？	再度入力域を選択してください。
		[キャンセル] ボタンを押して、再入力してください。 本体タッチパネルの場合は、直接画面の入力域を触ってから再入力してください。
「ファイルのダウンロード」画面で[保存] ボタンを押しても、保存できない。	保存先のパス長がファイル名を含めて 259 文字以上になっていませんか？	保存先のパス長が短くなるよう保存先を変更してください。
「XXX へ印刷しています。」画面の状態で止まってしまおう。	プリントサーバのスプールフォルダが存在するドライブに空き容量がありますか？	プリントサーバのスプールフォルダが存在するドライブに十分空き容量を確保してください。
Admin Tool で表示した管理者画面でダウンロード操作を行った後に [Tab] キーや [Enter] キーがきかない、またはダウンロード操作が実行できない。	[ダウンロード] ボタン、[退避] ボタン、または [保存] ボタンにフォーカスがありませんか？	他の機能を選択し、再度実行してください。
Admin Tool をインストールしようとすると、エラーになる。	すでに他の言語の Admin Tool がインストールされていませんか？	すでにインストールされている Admin Tool をアンインストールしてから、再度インストールしてください。
ネットワーク経由で接続した場合にログイン画面が表示されない。	SSL 通信の設定は正しいですか？	画面を終了し、設定を見直してから再度接続してください。
	HTTPS 接続時に表示される「セキュリティの警告」画面で [はい] ボタンを押しましたか？	画面を終了させてから再度接続してください。接続時に表示される「セキュリティの警告」画面では [はい] ボタンを押してください。

## 8.5 サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター（PFU イメージング サービス&サポートセンター）に連絡する前に、以下の項目をお調べ願います。

### 8.5.1 概要

調べる項目	調査結果
装置名 (MODEL)	fi-6010N
製造番号 (SER. NO.)	(例) 000001 製造番号については、「 <a href="#">8.6 ラベルの確認</a> 」(417 ページ) を参照してください。
製造年月 (DATE)	年 月 たとえば、ラベルの 2012-01 は 2012 年 1 月のことです。 製造年月日については、「 <a href="#">8.6 ラベルの確認</a> 」(417 ページ) を参照してください。
購入年月日	年 月 日
システムバージョン	
症状	
故障頻度	
総読み取りページ数 (ADF)	
保証書の有無	該当するものに丸をつけてください。 有 ・ 無

## 8.5.2 エラー状況

### ■ コンピュータ接続時の問題

調べる項目	調査結果
OS (Windows) の種類	
Admin Tool のバージョン	
画面のエラーメッセージ	

### ■ 搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	年 月 日
消耗品の交換年月日	年 月 日
エラーメッセージの内容	

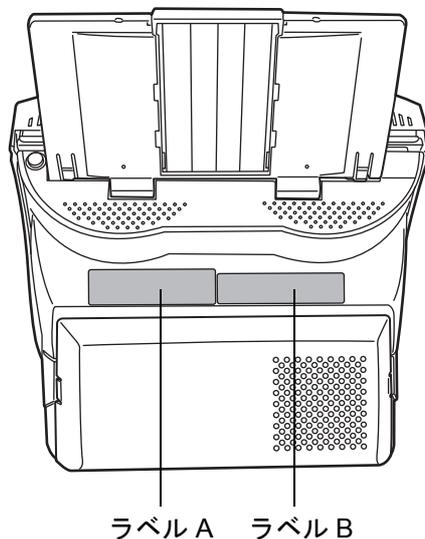
---

## ■ その他

調べる項目	調査結果
原稿と出力結果の両方を、メールまたはFAXで送ることは可能ですか？	該当するものに丸をつけてください。 可能 不可能

## 8.6 ラベルの確認

ラベルの確認のしかたについて説明します。  
2つのラベルの位置を以下に示します。



- ラベル A (例) : 本装置の情報を示しています。

MODEL	fi-*****	**V	==	***A	**kg							
PART NO.	*****-****	DATE	200*-**									
SER. NO.	*****		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
PFU Limited a Fujitsu company			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		MADE IN	*****									

- ラベル B (例) : 本装置が適合する規格について示しています。



---

## 8.7 装置を保守に出すときの処置

装置を保守に出すときは、以下を参照してユーザー情報とシステム設定情報の退避を行ってください。

- 「4.10.1 ユーザー情報をメンテナンスします」(170 ページ) の「ユーザー情報を退避します」(172 ページ)
- 「4.10.2 システム設定情報の保守を行います」(175 ページ)

退避後、以下を参照してユーザー情報とシステム設定情報を削除してください。ハードディスク交換を行うと設定は出荷時の状態になります。

- 「4.10.1 ユーザー情報をメンテナンスします」(170 ページ) の「ユーザー情報を削除します」(174 ページ)
- 「4.10.2 システム設定情報の保守を行います」(175 ページ) の「システム設定情報を工場出荷時の状態に戻します」(178 ページ)



ユーザー情報には、メール送信先や FAX 番号などの個人情報のデータが含まれます。取り扱いには十分注意してください。



# 付録 A

A

## ADF にセットする原稿について

管理者

利用者

原稿を正しく読み取るために必要な原稿のサイズと原稿の紙質について説明します。

A.1 原稿のサイズ .....	420
A.2 原稿について .....	421
A.3 セットできる原稿の枚数 .....	424
A.4 穴をあけてはいけない領域 .....	425
A.5 マルチフィードの検出条件 .....	426

---

## A.1 原稿のサイズ

読み取り可能な原稿のサイズは以下のとおりです。

幅 :52 ~ 216mm

長さ :74 ~ 356mm(\*)

\*: カスタム用紙サイズで長尺帳票指定を設定する場合、原稿の長さは 863mm まで読み取れます。

## A.2 原稿について

### A.2.1 原稿の種類

用紙として推奨される用紙の種類は以下のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙

上記以外の種類の用紙を使用する時には、読み取り操作を実行する前に、読み取りできるかどうかを少量の用紙で確認してください。

### A.2.2 原稿の厚さ

紙厚は坪量と呼ばれる重さで表します。使用可能な坪量は以下のとおりです。

- 原稿を直接読み取る場合
  - 52 ~ 127 g/m<sup>2</sup>
  - A8 サイズは 127 g/m<sup>2</sup> のみ
- キャリアシートを使用する場合
  - ~ 127 g/m<sup>2</sup>
  - ~ 63.5 g/m<sup>2</sup> (2つ折りにして読み取る場合)

### A.2.3 事前の注意

以下の原稿はうまく読み取れない場合があります。

- 紙厚が一定していない原稿 (封筒や切り貼りされた原稿など)
- しわがよっていたり、カールしている原稿 (次ページのヒントを参照)
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- 写真やメモ用紙などが貼り付けられた原稿
- 和紙などのコシの弱い薄紙およびコシの強すぎる厚紙
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- ノーカーボン紙
- 感光紙、感熱紙、静電プロッタ用紙
- 端にミシン目や穴あけのある原稿
- 四角形でない原稿
- 非常に薄い (52 g/m<sup>2</sup> 未満) 原稿

また、以下の原稿は使用しないでください。

- クリップまたはステープラーの針が付いた原稿
- インクが乾いていない原稿
- A8 (縦置き) サイズよりも小さい原稿

- A4 サイズやレターサイズの幅 (216mm) より大きい原稿
- 紙以外のもの (布、金属箔、OHP フィルム)
- 証書、金券など媒体が傷ついたり、汚れたりすることが不可である重要書類



- ノーカーボン紙は、パッドユニットや原稿を送るローラ類 (ピックローラなど) を損なうような化学物質を含んでいますので、以下のことに注意してください。

清掃：

原稿づまりが頻繁に起きるときは、パッドユニットとピックローラを清掃してください。

パッドユニットとピックローラの清掃方法については、「[第7章 本装置のお手入れ](#)」(367 ページ) を参照してください。

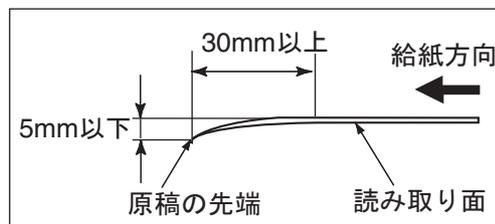
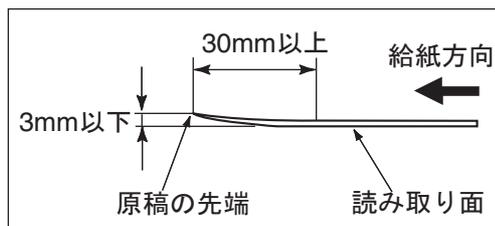
部品の交換：

パッドユニットとピックローラの寿命は中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなるかもしれません。

- 中質紙の原稿を読み取った場合、パッドユニットとピックローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。
- 写真を読み込んだ場合は、写真の表面が傷つくことがあります。



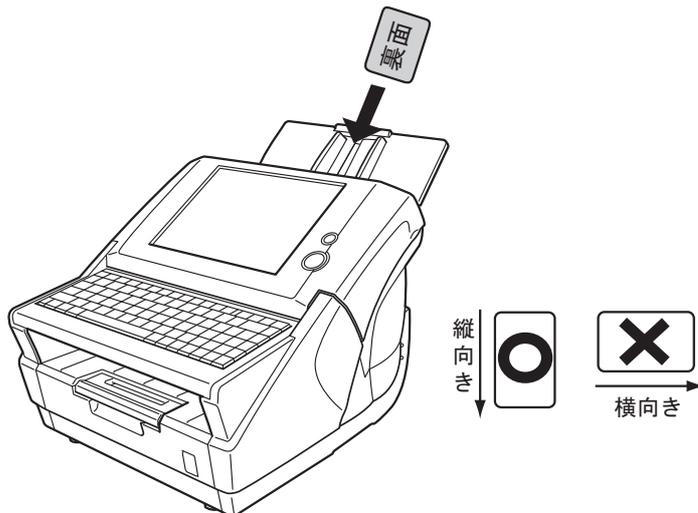
- 半透明の原稿を読み取る時は、「明るさ」を明るめに設定してください。
- ローラが汚れないようにするために、鉛筆で塗りつぶした原稿の読み取りは避けてください。やむをえずこのような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃してください。
- ADF を使う場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカールは以下の数値を満たすようにしてください。



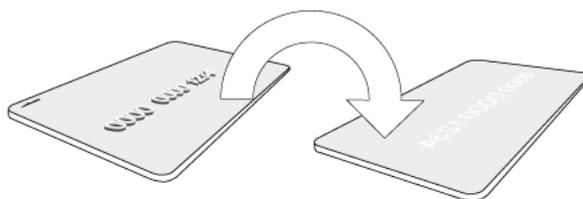


プラスチックカードを読み取る場合は、以下のことに注意してください。

- 読み取り設定で、マルチフィード検出は[しない]を選択してください。マルチフィード検出の設定については、「6.9.17 マルチフィードを検出します」(344ページ)を参照してください。
- カードをADF 給紙シュートに1枚ずつセットしてください。
- カードは、図のように縦向きにセットしてください。



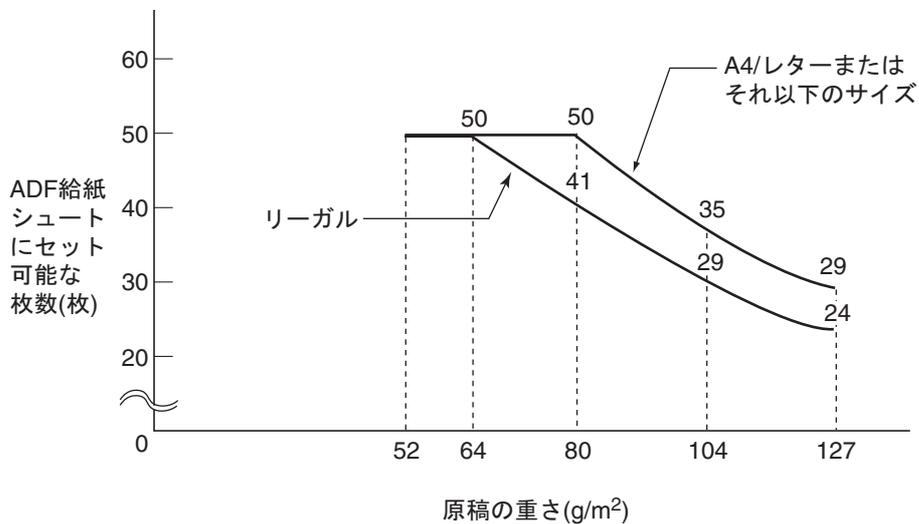
- カードの表面がADF 給紙シュート側（下向き）になるようにセットすることを推奨します。
- カードにエンボス加工（凹凸）が施されている場合は、エンボスの凸部がADF 給紙シュート側（下向き）になるようにセットしてください。



- 以下の仕様のカードを使用してください。  
ISO7810 ID-1 タイプに準拠したカード  
サイズ（横×縦）：54 × 86mm  
厚さ：0.76 ± 0.08mm  
素材：ポリ塩化ビニル（PVC）またはポリ塩化酢酸ビニル（PVCA）
- 硬くて曲がりにくいカードは、うまく搬送されない場合があります。
- カード表面が油（手の脂）などで汚れている場合は、汚れを拭き取ってから読み取ってください。

### A.3 セットできる原稿の枚数

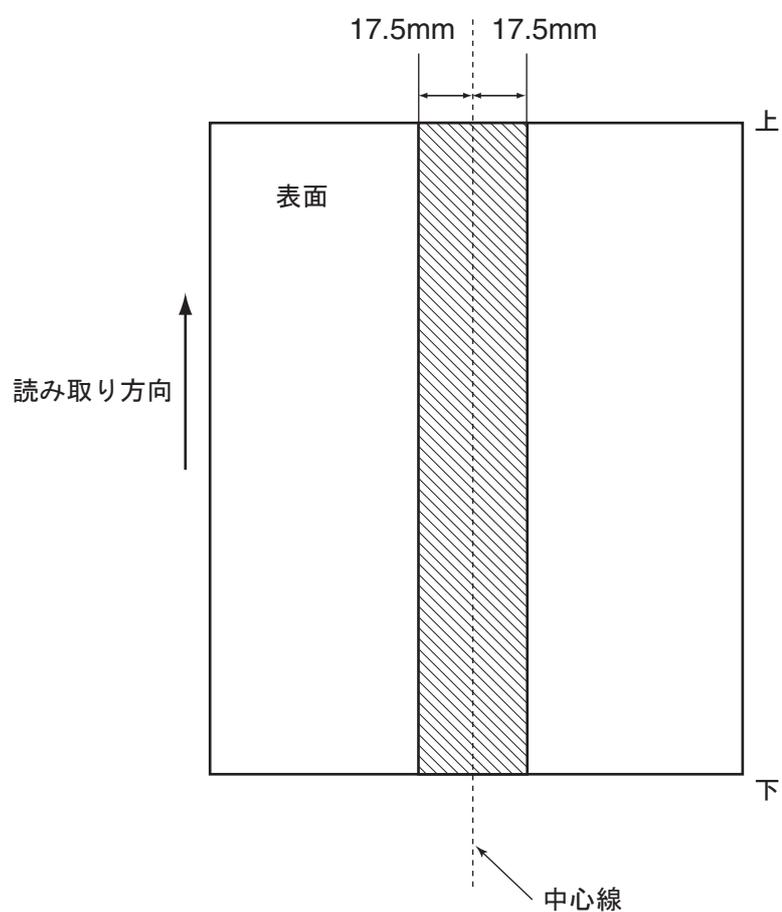
ADF 給紙シュートにセットできる原稿の枚数は、原稿のサイズと重さで決まります。以下のグラフを参照してください。



重さの単位	変換表						
g/m <sup>2</sup> (坪量)	52	64	75	80	90	104	127
lb	14	17	20	21	24	28	34
kg (連量)	45	55	64.5	69	77.5	90	110

## A.4 穴をあけてはいけない領域

以下の図の斜線の領域に穴があるとエラーの原因になることがあります。



## A.5 マルチフィードの検出条件

マルチフィードの検出には原稿の重なり、原稿の長さ、または原稿の重なりと長さの両方をチェックします。検出を正しく行うには以下の条件が必要です。

原稿の条件によってはマルチフィードの検出率が落ちる場合もあります。

### A.5.1 原稿の重なりを検出する場合

「6.9.17 マルチフィードを検出します」(344 ページ) で [ 重なり検出 ] に設定すると、原稿の重なりでマルチフィードを検出します。

この場合、ADF にセットして一度に読み取る原稿の厚さは同じものを使用してください。

- 原稿の厚さ：0.065 ～ 0.15mm
- 原稿の中心線から両側に幅 17.5mm の領域には穴あけをしてはいけません。
- 原稿の中心線から両側に幅 17.5mm の領域には、のりなどで他の原稿を貼り付けてはいけません。

### A.5.2 原稿の長さを検出する場合

「6.9.17 マルチフィードを検出します」(344 ページ) で [ 長さ検出 ] に設定すると、原稿の長さでマルチフィードを検出します。

この場合、ADF にセットして一度に読み取る原稿の長さは同じものを使用してください。

- 原稿の長さのばらつき：1%、またはそれ以下
- 原稿の中心線から両側に幅 17.5mm の領域には穴あけをしてはいけません。

### A.5.3 原稿の重なりと長さの両方を検出する場合

「6.9.17 マルチフィードを検出します」(344 ページ) で [ 重なりと長さ検出 ] に設定すると、原稿の重なりと長さの両方でマルチフィードを検出します。

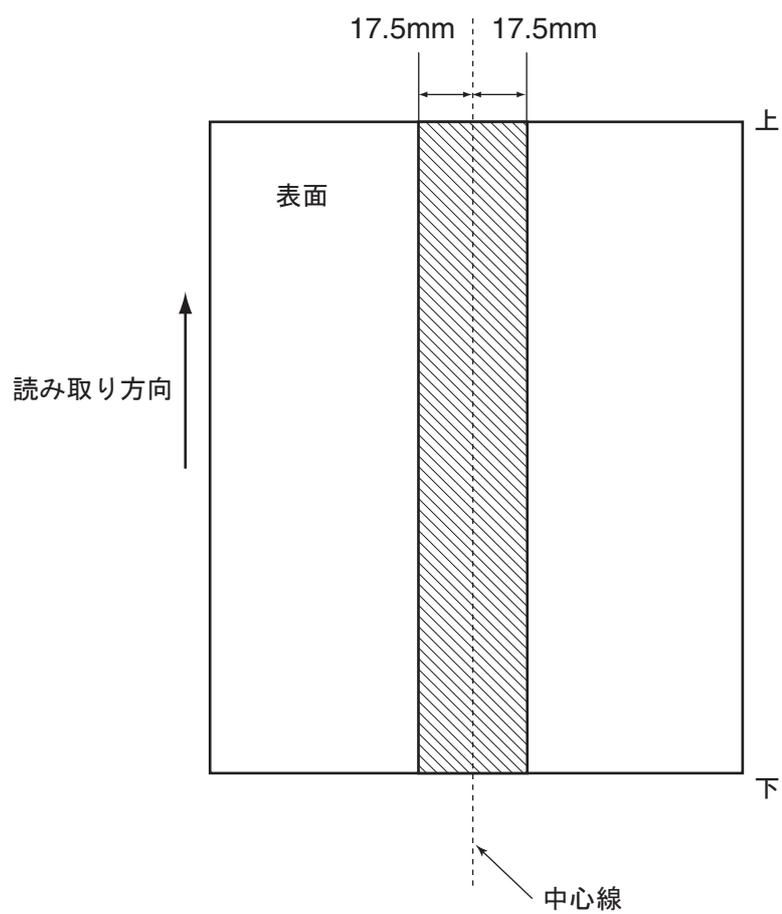
この場合、ADF にセットして一度に読み取る原稿の厚さ、および長さは同じものを使用してください。

- 原稿の厚さ：0.065 ～ 0.15mm
- 原稿の長さのばらつき：1% またはそれ以下
- 原稿の中心線から両側に幅 17.5mm の領域には穴あけをしてはいけません。
- 原稿の中心線から両側に幅 17.5mm の領域には、のりなどで他の原稿を貼り付けてはいけません。



- 原稿の重なりを検出する場合、プラスチックカードのような厚い原稿を使用すると、常にマルチフィードと誤検出されてしまいます。このような場合は、マルチフィード検出の設定を [ しない ] にして読み取ってください。
- 原稿の上下 25mm はマルチフィード検出できない場合があります。

マルチフィード検出可能な領域





# 付録 B

---

## 設定値と上限値 管理者 利用者

メールアドレスの設定値および設定項目の上限値について説明します。

B

B.1 メールアドレスの設定値.....	430
B.2 設定項目の上限値.....	431

## B.1 メールアドレスの設定値

1 メールアドレスの最大文字数は半角 256 文字です。  
設定できるメールアドレスの書式は以下のとおりです。

- XXXXXXX@IP アドレス
- XXXXXXX@ホスト名
- XXXXXXX@ドメイン名

XXXXXXX	使用可能な文字は、半角英数字と以下の記号です。 !#\$%&'*+,-/=/?^_`{ }~. ただし、以下の場合には . を使用できません。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 先頭に . がある場合</li><li>● 後方に . がある場合</li><li>● 連続した . がある場合</li></ul>
IP アドレス	使用可能な文字は、半角数字と . です。 入力できる IP アドレスの範囲は以下のとおりです。 1.0.0.1 ~ 126.255.255.254 128.0.0.1 ~ 191.255.255.254 192.0.0.1 ~ 223.255.255.254
ホスト名	使用可能な文字は、半角英数字と - です。ただし、ホスト名の先頭には - を使用できません。
ドメイン名	使用可能な文字は、半角英数字と以下の記号です。 - . . で区切った各要素の最大文字数は半角 63 文字です。ただし、最後の要素には英字しか使用できません。

## B.2 設定項目の上限値

分類		上限値
メール	送信先とするメールアドレスの数	最大 30 件 (あて先、Cc、Bcc のそれぞれ)
	メール分割サイズ	64 ~ 10,240 KB (分割したメール 1 件分のメールサイズ上限)
	添付ファイル最大サイズ	1 ~ 20 MB
	警告表示アドレス数	2 ~ 1,000 件
	メールアドレス台帳への登録件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メールアドレスだけの場合 最大 10,000 件</li> <li>● メールアドレス、グループ、および同報リストの場合 合計で最大 5,000 件</li> </ul>
	同報リストへのメールアドレス登録件数	最大 100 件
FAX	FAX 番号台帳への登録件数	最大 1,000 件
	FAX 送信先	1 回の送信につき 1 件
保存	フォルダーの登録件数	最大 100 件 (ネットワーク共有フォルダーと FTP フォルダーの合計)
	フォルダーおよびツリーの表示件数	最大 10,000 件 (ドメイン、コンピュータ、ネットワーク共有フォルダーの合計)
印刷	プリンター登録件数	最大 100 件
	プリンターおよびツリーの表示件数	最大 10,000 件 (ドメイン、コンピュータ、ネットワーク共有プリンターの合計)
SharePoint に保存	SharePoint フォルダーの登録件数	最大 100 件

B

分類		上限値
ジョブ管理	ジョブ登録件数	最大 1,000 件 (1 つのジョブに登録できるアクションは最大 10 個)
	ジョブメニュー登録件数	最大 100 件
	ジョブグループ登録件数	最大 100 件
	ジョブグループへのメンバー登録件数	最大 1,000 件 (ユーザー、LDAP グループの合計)
	LDAP グループの有効範囲	5 階層以内のユーザー
ユーザー管理	ユーザー情報の登録件数	最大 1,000 件
	ローカルユーザー件数	最大 100 件
集中管理	スキャナ管理台数	最大 1,000 台
ログ管理	ユーザーログ件数	最大 1,000 件
	システムログ件数	最大 1,000 件
装置保守	異常通知先のメールアドレス数	最大 1 件
	Add-in 登録件数	最大 6 件 (「メインメニュー」画面には、Add-in および Add-in 以外の機能を併せて、最大 6 件のボタンを表示できる)
	インポートできる証明書の件数	最大 100 件

# 付録 C

---

## ルート証明機関について

管理者

利用者

ルート証明機関について説明します。

C

C.1 ルート証明機関一覧 .....	434
---------------------	-----

## C.1 ルート証明機関一覧

本装置は、ユーザー認証や、FTP サーバへの保存および SharePoint フォルダへの保存を行う場合、SSL (Secure Socket Layer) を使用した暗号通信ができます。

SSL では通信相手を認証し、正当性を確認するために電子証明書を交換しています。

本装置には、以下のルート証明機関が登録されています。

また、ルート証明書はインポートすることもできます。証明書のインポート方法については、「[4.6.14 証明書を管理します](#)」(87 ページ) を参照してください。

発行者	有効期限
CA 1	2019/3/11
Certiposte Classe A Personne	2018/6/24
Certiposte Serveur	2018/6/24
Certisign - Autoridade Certificadora - AC2	2018/6/27
Certisign - Autoridade Certificadora - AC4	2018/6/27
Certisign Autoridade Certificadora AC1S	2018/6/27
Certisign Autoridade Certificadora AC3S	2018/7/10
Class 1 Primary CA	2020/7/7
Class 2 Primary CA	2019/7/7
Class 3 Primary CA	2019/7/7
Class 3 Public Primary Certification Authority	2028/8/2
Class 3P Primary CA	2019/7/7
Class 3TS Primary CA	2019/7/7
Deutsche Telekom Root CA 1	2019/7/10
Deutsche Telekom Root CA 2	2019/7/10
DST (ANX Network) CA	2018/12/10
DSTCA E1	2018/12/11
DSTCA E2	2018/12/10
DST-Entrust GTI CA	2018/12/9
Entrust.net Secure Server Certification Authority	2019/5/26
Equifax Secure Certificate Authority	2018/8/23
Equifax Secure eBusiness CA-1	2020/6/21
Equifax Secure eBusiness CA-2	2019/6/23
Equifax Secure Global eBusiness CA-1	2020/6/21

発行者	有効期限
EUnet International Root CA	2018/10/3
FESTE, Public Notary Certs	2020/1/2
FESTE, Verified Certs	2020/1/2
First Data Digital Certificates Inc. Certification Authority	2019/7/4
FNMT Clase 2 CA	2019/3/19
GlobalSign Root CA	2014/1/28
GTE CyberTrust Global Root	2018/8/14
<a href="http://www.valicert.com/">http://www.valicert.com/</a>	2019/6/26
Microsoft Root Authority	2020/12/31
Microsoft Root Certificate Authority	2021/5/10
NetLock Expressz (Class C) Tanusitvanykiado	2019/2/20
NetLock Kozjegyzoi (Class A) Tanusitvanykiado	2019/2/20
NetLock Uzleti (Class B) Tanusitvanykiado	2019/2/20
PTT Post Root CA	2019/6/26
Saunalahden Serveri CA	2019/6/26
SecureSign RootCA1	2020/9/15
SecureSign RootCA2	2020/9/15
SecureSign RootCA3	2020/9/15
SIA Secure Client CA	2019/7/9
SIA Secure Server CA	2019/7/9
Swisskey Root CA	2016/1/1
Thawte Premium Server CA	2021/1/1
Thawte Server CA	2021/1/1
UTN - DATACorp SGC	2019/6/25
UTN-USERFirst-Hardware	2019/7/10
UTN-USERFirst-Network Applications	2019/7/10
VeriSign Trust Network	2028/8/2





# 付録 D

---

## 本製品の仕様

管理者

利用者

本製品の全体仕様およびスキャナ部の仕様について説明します。

D

D.1 全体仕様 .....	438
D.2 スキャナ部の仕様 .....	439
D.3 キーボードによる入力モードの変更について .....	440

## D.1 全体仕様

項目	仕様
外形寸法 (W × D × H)	315 × 415 × 281mm
消費電力 (AC)	88W
装置重量	13kg
タッチパネル LCD	8.4 インチ XGA TFT LCD モニタ アナログ抵抗膜方式タッチパネル
キーボード	106 タイプ
インターフェース	LAN (10Base-T/100Base-TX)
入力電圧	AC100-240V ± 10% 50/60Hz



ヒント

本装置は Wake On LAN 対応の LAN カードを標準装備しています。なお、Wake On LAN 機能は、前回の電源切断時に停電などの理由で異常な電源切断が行われた場合には機能しません。

## D.2 スキャナ部の仕様

項目		仕様	備考
スキャナタイプ		ADF（自動給紙部）	
イメージセンサー		カラー CCD x 2	
光源		白色冷陰極蛍光放電管 × 2	
読み取り範囲		最大 :A4（縦）（210 × 297mm） リーガル（8.5 × 14inch） 最小 :A8（縦）（52 × 74mm）	863mm（34inch）までの カスタムサイズ指定読み 取りが可能です。
原稿の厚さ		52 ～ 127 g/m <sup>2</sup>	
読み取り速度 （A4、縦）（*1）	カラー	片面 30 枚 / 分、両面 60 面 / 分	150dpi
	グレースケール		
	白黒		
	カラー	片面 25 枚 / 分、両面 50 面 / 分	200dpi
	グレースケール		
	白黒		
原稿搭載容量		50 枚（A4、80g/m <sup>2</sup> ）	
光学解像度		600 dpi	
出力解像度		150dpi、200dpi、300dpi、600dpi	
読み取り階調 （内部読取 / 外部出力）		1024/256 階調	

（\*1）： 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。



## D.3 キーボードによる入力モードの変更について

本装置のキーボード入力は 106 キーボード相当です。  
キーを押すことで入力モードの状態を以下のように変更することができます。

### D.3.1 ローマ字入力の場合

現在の入力モード	キー動作	変更後の入力モード
ひらがな  	[半角 / 全角] キーを押す	直接入力
	[漢字] キーを押す	直接入力
	[英数] キーを押す	全角英数
	[無変換] キーを押す	全角カタカナ
	[Shift]+[無変換] キーを押す	全角英数
	[カタカナ] キーを押す	全角カタカナ
全角カタカナ  	[半角 / 全角] キーを押す	直接入力
	[漢字] キーを押す	直接入力
	[英数] キーを押す	全角英数
	[無変換] キーを押す	半角カタカナ
	[Shift]+[無変換] キーを押す	全角英数
	[ひらがな] キーを押す	ひらがな
全角英数  	[半角 / 全角] キーを押す	直接入力
	[漢字] キーを押す	直接入力
	[英数] キーを押す	ひらがな
	[無変換] キーを押す	ひらがな
	[Shift]+[無変換] キーを押す	半角英数
	[カタカナ] キーを押す	全角カタカナ
	[ひらがな] キーを押す	ひらがな

現在の入力モード	キー動作	変更後の入力モード
半角カタカナ 	[半角 / 全角] キーを押す	直接入力
	[漢字] キーを押す	直接入力
	[英数] キーを押す	全角英数
	[無変換] キーを押す	ひらがな
	[Shift]+[無変換] キーを押す	半角英数
	[ひらがな] キーを押す	ひらがな
半角英数 	[半角 / 全角] キーを押す	直接入力
	[漢字] キーを押す	直接入力
	[英数] キーを押す	ひらがな
	[無変換] キーを押す	ひらがな
	[Shift]+[無変換] キーを押す	全角英数
	[カタカナ] キーを押す	半角カタカナ
	[ひらがな] キーを押す	ひらがな
直接入力 	[半角 / 全角] キーを押す	ひらがな
	[漢字] キーを押す	ひらがな
	[カタカナ] キーを押す	ひらがな
	[ひらがな] キーを押す	ひらがな

### D.3.2 かな入力の場合

現在の入力モード	キー動作	変更後の入力モード
ひらがな 	[半角 / 全角] キーを押す	直接入力
	[漢字] キーを押す	直接入力
	[英数] キーを押す	全角英数
	[無変換] キーを押す	全角カタカナ
	[Shift]+[無変換] キーを押す	全角英数
	[カタカナ] キーを押す	全角カタカナ

現在の入力モード	キー動作	変更後の入力モード
全角カタカナ  	[半角 / 全角] キーを押す	直接入力
	[漢字] キーを押す	直接入力
	[英数] キーを押す	全角英数
	[無変換] キーを押す	半角カタカナ
	[Shift]+[無変換] キーを押す	全角英数
	[ひらがな] キーを押す	ひらがな
半角カタカナ  	[半角 / 全角] キーを押す	直接入力
	[漢字] キーを押す	直接入力
	[英数] キーを押す	全角英数
	[無変換] キーを押す	ひらがな
	[Shift]+[無変換] キーを押す	半角英数
	[ひらがな] キーを押す	ひらがな

# 付録 E

## メールアドレス台帳の編集 (AddressBook Editor)

管理者

利用者

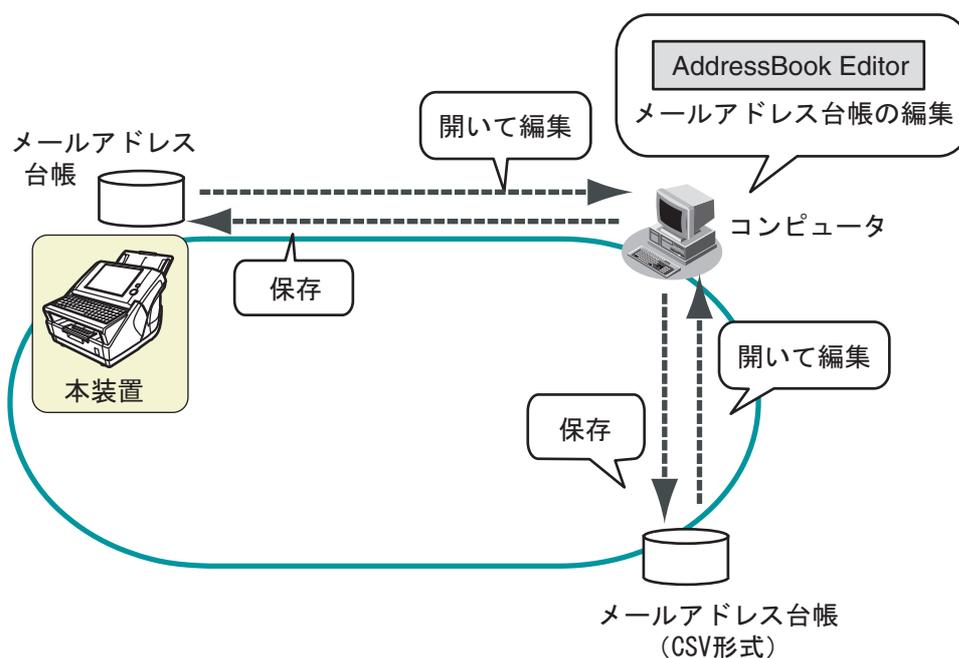
AddressBook Editor を使用してメールアドレス台帳を編集する方法を説明します。  
また、本章の操作中にメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示された場合の対処については、「[F.2 利用者のメッセージ](#)」(503 ページ) を参照してください。

E.1 AddressBook Editor とは.....	444
E.2 事前設定 .....	445
E.3 AddressBook Editor の画面について .....	449
E.4 AddressBook Editor を起動 / 終了します .....	453
E.5 メールアドレス台帳を開きます .....	454
E.6 グループを設定します .....	457
E.7 同報リストを設定します .....	459
E.8 アドレスを設定します .....	461
E.9 メールアドレス台帳の編集内容を破棄します .....	463
E.10 メールアドレス台帳を保存します .....	464
E.11 AddressBook Editor のユーザーログの詳細情報を参照します .....	466
E.12 AddressBook Editor のメッセージ .....	467

E

## E.1 AddressBook Editor とは

AddressBook Editor とは、本装置のメールアドレス台帳（MyList）や、利用者がファイルで管理しているメールアドレス台帳（CSV 形式）を編集するためのソフトウェアです。本装置のメールアドレス台帳は、AddressBook Editor をインストールしたコンピュータからネットワーク経由で本装置に接続することで、編集できます。AddressBook Editor を使用すると、メールアドレス台帳にグループを作成できるため、メールアドレスを目的別に分類して管理できます。また、本装置のメールアドレス台帳をファイル（CSV 形式）に保存したり、ファイルから大量のメールアドレスを本装置に取り込んだり、といった操作が簡単に行えます。



## E.2 事前設定

AddressBook Editor を使用するために必要な動作条件については、「[1.4.1 Admin Tool・AddressBook Editor の動作環境](#)」(15 ページ) を参照してください。

使用するポート番号については、「[1.4.3 使用するポート番号一覧](#)」(21 ページ) を参照してください。

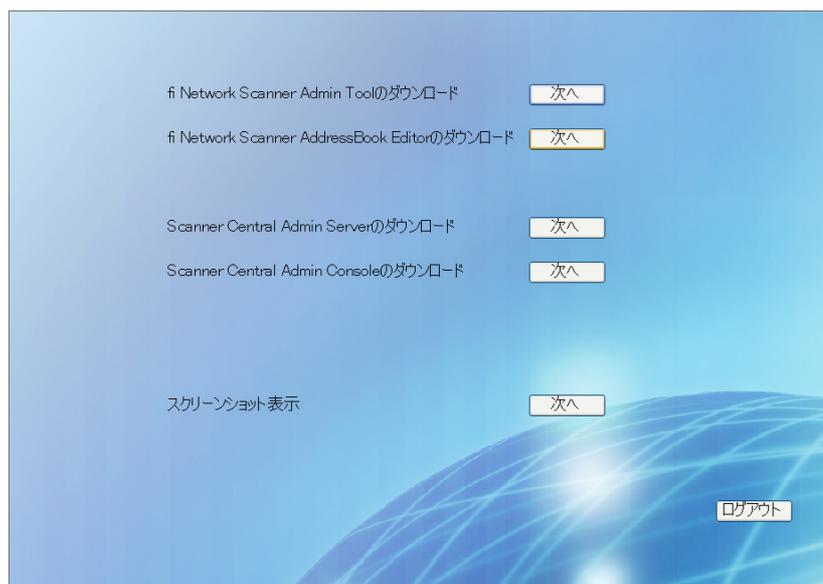
### E.2.1 AddressBook Editor をインストールします

ネットワーク経由で本装置のメールアドレス台帳を編集するには、AddressBook Editor をコンピュータにインストールします。

1. 「[4.4.3 Admin Tool をインストールします](#)」(48 ページ) の手順 1 ~ 手順 3 までの操作をします。

⇒ ダウンロード画面が表示されます。

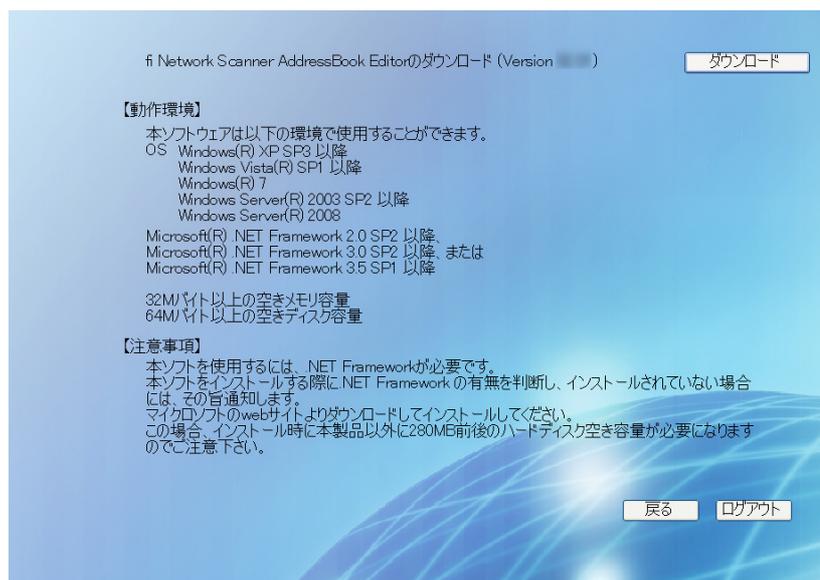
2. 「fi Network Scanner AddressBook Editorのダウンロード」の[次へ]ボタンを押します。



⇒ AddressBook Editor のダウンロード画面が表示されます。



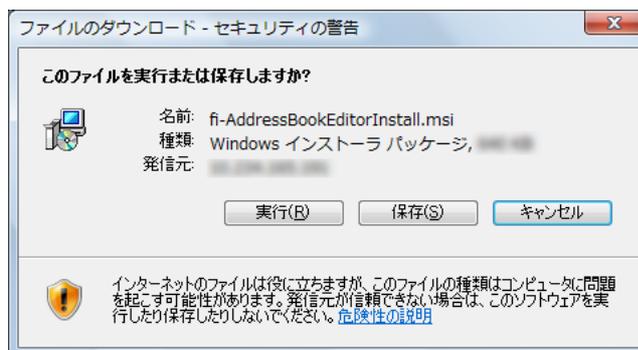
### 3. [ダウンロード] ボタンを押します。



管理者または利用者がスキャナで操作中の場合、ダウンロードすることはできません。

⇒ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

### 4. [実行] ボタンを押します。

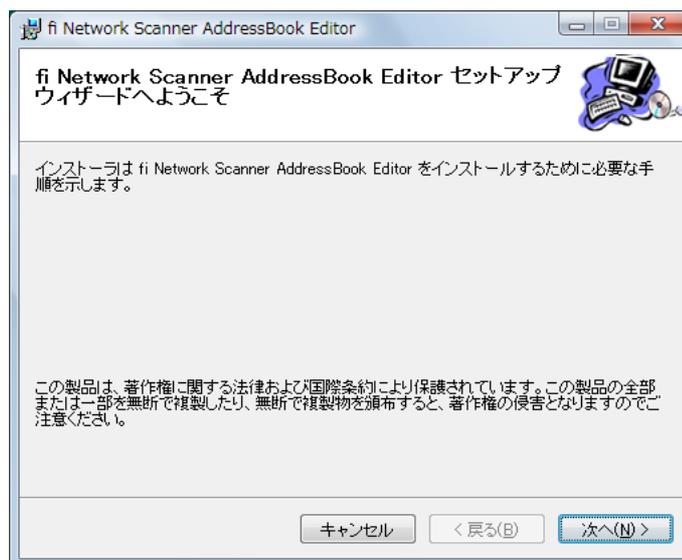


⇒ AddressBook Editor のインストール画面が表示されます。



.NET Framework がインストールされていない場合は、.NET Framework のインストールを確認する画面が表示されます。  
[はい] ボタンを押して、.NET Framework をインストール後、再度手順 1 から行ってください。

5. [次へ] ボタンを押します。



⇒ 「インストールフォルダの選択」画面が表示されます。

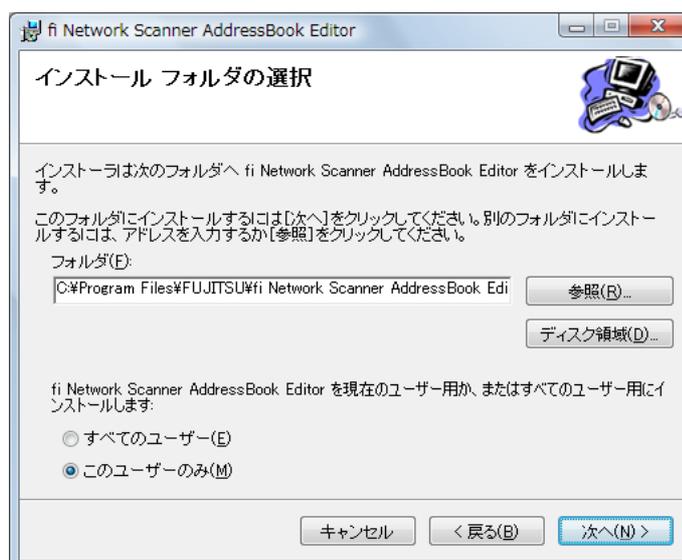
6. AddressBook Editor をインストールするフォルダを指定します。

[参照] ボタンを押すとフォルダを選択することができます。

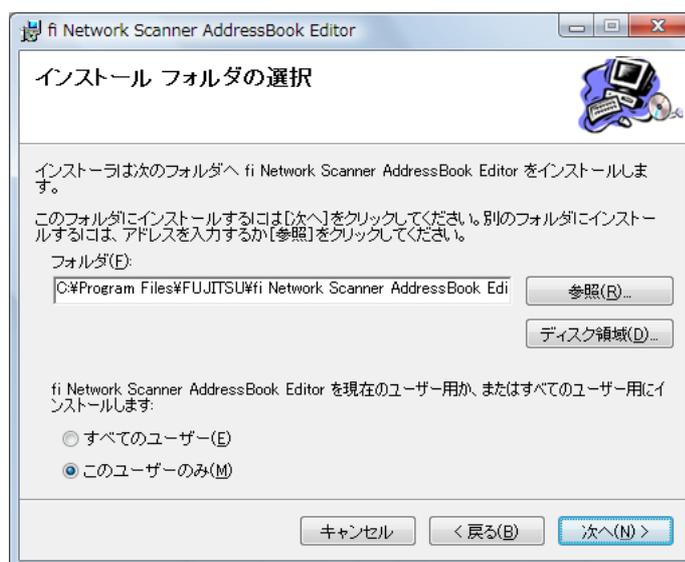
指定したフォルダの空き領域が知りたい場合は [ディスク領域] ボタンを押してください。



フォルダのパス長がファイル名を含めて 259 文字以上の場合、正常にインストールすることができません。パス長が短くなるようインストールするフォルダを指定してください。



## 7. インストールユーザーを選択して、[次へ] ボタンを押します。



- ⇒ 以降は、画面の指示に従ってウィザードを進めてください。「インストールが完了しました。」と表示されればインストール終了です。[閉じる] ボタンを押してください。
- ⇒ インストールが完了すると、[スタート]メニューの[すべてのプログラム]－[fi-scanner V2]－[fi Network Scanner AddressBook Editor] で AddressBook Editor が起動できます。

## E.2.2 AddressBook Editor のアンインストール方法

ここでは、Windows Vista の例で説明します。

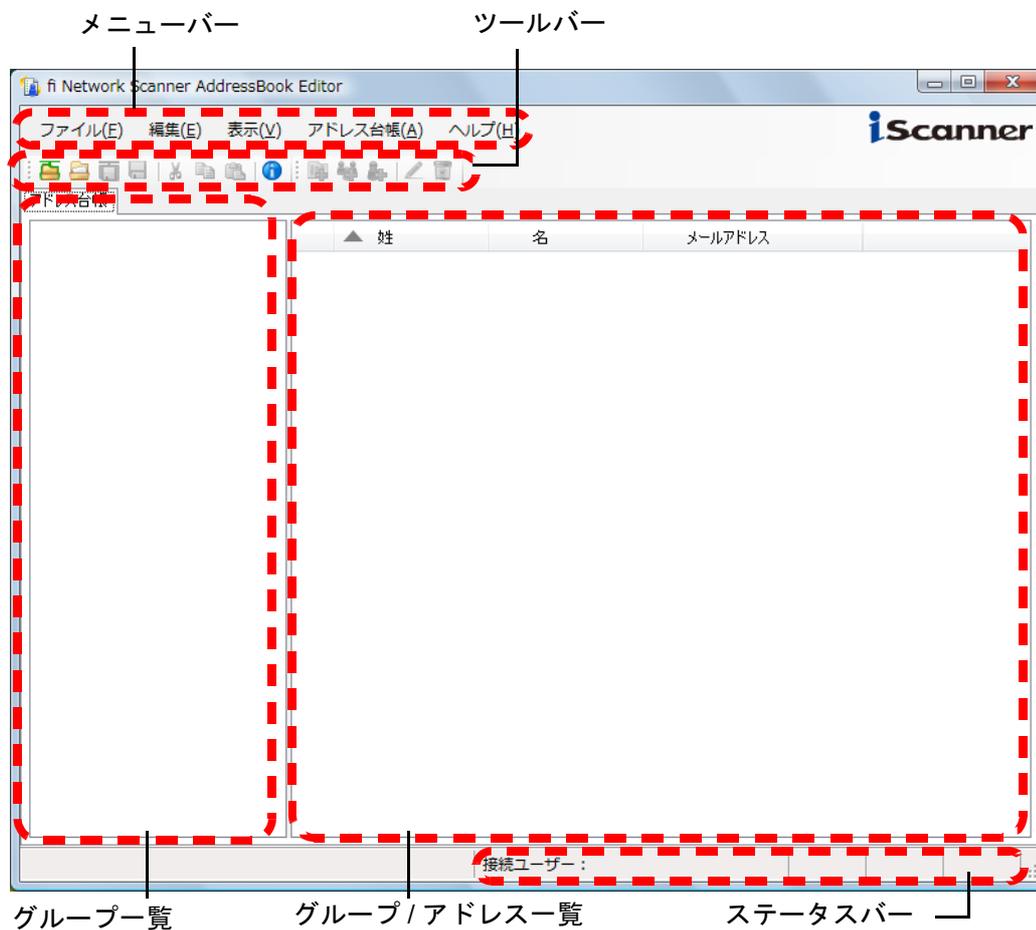
AddressBook Editor のアンインストールは、インストールしたコンピュータの「コントロールパネル」から「プログラム」の「プログラムと機能」を選択して行います。



アンインストールする前に、AddressBook Editor を終了してください。  
AddressBook Editor を起動したままアンインストール処理を完了した場合、起動されている AddressBook Editor の動作は保証できません。

## E.3 AddressBook Editor の画面について

AddressBook Editor の画面は、以下のとおりです。



メニューバーとツールバーの詳細について、以下に示します。

E

● メニューバー

メニュー		機能	
ファイル	スキャナから開く		本装置に接続してメールアドレス台帳を取得して、その内容を表示します。
	ファイルから開く		ファイル（CSV形式）からメールアドレス台帳を開き、その内容を表示します。
	スキャナへ保存		編集したメールアドレス台帳を本装置に保存します。
	ファイルへ保存		編集したメールアドレス台帳をファイル（CSV形式）に保存します。
	編集を破棄		メールアドレス台帳の編集内容を破棄します。
	終了		AddressBook Editor を終了します。
編集	切り取り		選択しているグループ、同報リスト、またはアドレスを切り取ります。
	コピー		選択しているグループ、同報リスト、またはアドレスをコピーします。
	貼り付け		切り取り / コピーした、グループ、同報リスト、またはアドレスを、選択しているグループに貼り付けます。 すでに同一のグループ名 / 同報リスト名が存在した場合、貼り付けるグループ名 / 同報リスト名のあとに、連番が 1 から順に ( ) で囲まれて付加されます。 同一のアドレスが存在した場合は、上書き確認の画面が表示されます。
	全て選択		グループ / アドレス一覧に表示している、グループ / 同報リスト / アドレスをすべて選択します。
表示	ツールバー	標準	標準ツールバーを表示 / 非表示します。
		アドレス台帳	アドレス台帳ツールバーを表示 / 非表示します。

メニュー		機能
アドレス 台帳	グループ追加	グループを追加します。
	同報リスト追加	同報リストを追加します。
	アドレス追加	アドレスを追加します。
	プロパティ	グループ、同報リスト、またはアドレスの内容を編集します。
	削除	グループ、同報リスト、またはアドレスを削除します。
ヘルプ	バージョン情報	AddressBook Editor のバージョンを表示します。

● ツールバー

ボタン	本書内での表記	機能
	[ スキャナから開く ] ボタン	本装置に接続してメールアドレス台帳を取得して、その内容を表示します。
	[ ファイルから開く ] ボタン	ファイル (CSV 形式) からメールアドレス台帳を開き、その内容を表示します。
	[ スキャナへ保存 ] ボタン	編集したメールアドレス台帳を本装置に保存します。
	[ ファイルへ保存 ] ボタン	編集したメールアドレス台帳をファイル (CSV 形式) に保存します。
	[ 切り取り ] ボタン	選択しているグループ、同報リスト、またはアドレスを切り取ります。
	[ コピー ] ボタン	選択しているグループ、同報リスト、またはアドレスをコピーします。
	[ 貼り付け ] ボタン	切り取り / コピーした、グループ、同報リスト、またはアドレスを、選択しているグループに貼り付けます。 すでに同一のグループ名 / 同報リスト名が存在した場合、貼り付けるグループ名 / 同報リスト名のあとに、連番が 1 から順に ( ) で囲まれて付加されます。 同一のアドレスが存在した場合は、上書き確認の画面が表示されます。



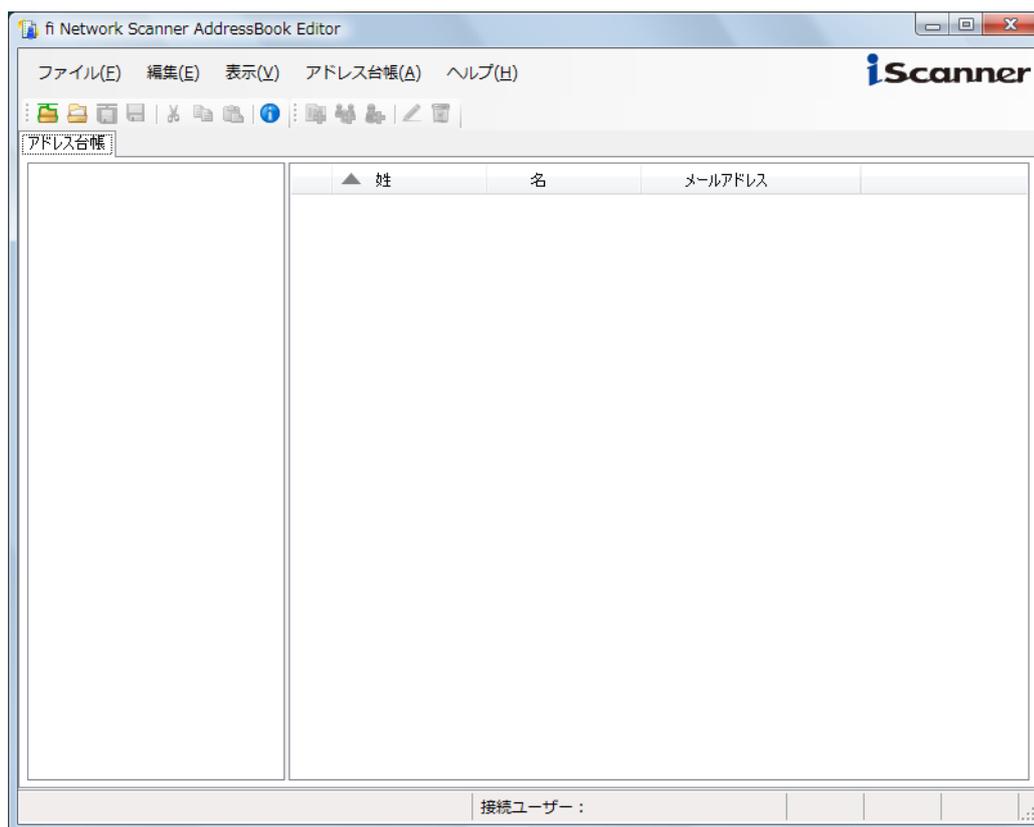
ボタン	本書内での表記	機能
	[バージョン情報] ボタン	AddressBook Editor のバージョンを表示します。
	[グループ追加] ボタン	グループを追加します。
	[同報リスト追加] ボタン	同報リストを追加します。
	[アドレス追加] ボタン	アドレスを追加します。
	[プロパティ] ボタン	グループ、同報リスト、またはアドレスの内容を編集します。
	[削除] ボタン	グループ、同報リスト、またはアドレスを削除します。
	—	グループを示すマークです。
	—	同報リストを示すマークです。
	—	アドレスを示すマークです。

## E.4 AddressBook Editor を起動 / 終了します

### ■ AddressBook Editor を起動します

1. [スタート]メニューの[すべてのプログラム]－[fi-scanner V2]－[fi Network Scanner AddressBook Editor] を選択します。

⇒ AddressBook Editor の画面が表示されます。



### ■ AddressBook Editor を終了します

1. [ファイル]メニュー－[終了]を選択します。

⇒ 終了確認の画面が表示されます。

2. [OK] ボタンを押します。

⇒ AddressBook Editor が終了します。

## E.5 メールアドレス台帳を開きます

本装置またはファイルから、メールアドレス台帳を開きます。

### ■ 本装置のメールアドレス台帳を開きます

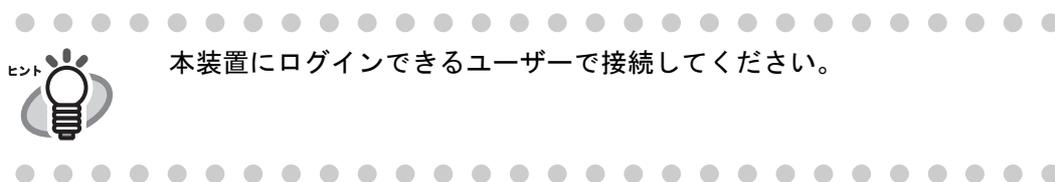
1. 以下のどちらかの操作をします。

- [ファイル]メニュー→[スキャナから開く]を選択します。
  - ツールバーの[スキャナから開く]ボタンを押します。
- ⇒「スキャナから開く」画面が表示されます。

2. 本装置に接続するための情報を入力します。



- 「接続先」には、本装置の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
  - IP アドレスを入力する場合  
xxx.xxx.xxx.xxx (xxx は 0 ~ 255 の値) の形式で入力します。
  - ホスト名または FQDN 名を入力する場合  
最大文字数は半角 255 文字です
- 「接続先ポート番号」には、本装置との通信に使用するポート番号を、1 ~ 65535 の範囲で入力します。初期値は 80 です。  
また、本装置からの通信で HTTPS を使用する場合に、「https」のチェックボックスをチェックします。
- 「ユーザー名」には、本装置にログインするユーザー名を指定します。
- 「パスワード」には、本装置にログインするユーザーのパスワードを入力します。



3. [開く]ボタンを押します。

⇒ メールアドレス台帳が表示されます。



本装置のシステム版数が is001 02.02.01.xxxx 以降の場合のみ、AddressBook Editor と通信できます。is001 02.02.01.xxxx より古い場合、本装置への接続時に「スキャナに接続できませんでした。」の警告メッセージが表示されます。

## ■ ファイルからメールアドレス台帳を開きます

1. 以下のどちらかの操作をします。
  - [ファイル]メニューー [ファイルから開く] を選択します。
  - ツールバーの [ファイルから開く] ボタンを押します。⇒ 「アドレス台帳ファイルを開く」画面が表示されます。
2. ファイルを選択して、[開く] ボタンを押します。
  - ⇒ メールアドレス台帳が表示されます。

## ■ ファイルから開けるメールアドレス台帳のファイル形式

ファイルから開けるメールアドレス台帳のファイル形式について説明します。  
AddressBook Editor では、CSV 形式のメールアドレス台帳を開いて編集できます。

- ファイルの文字コードはシフト JIS (Shift\_JIS) です。
- CSV 形式で以下のように記述してください。  
"ユーザー名","グループ","同報リスト名","名","姓","メールアドレス"  
各項目の内容は、以下のとおりです。

項目名	値の形式
ユーザー名	本装置に接続するユーザー名を指定します。
グループ	グループ名を指定します。(*) グループ名の先頭には、「¥」を指定します。(例：¥group01) グループの階層を指定する場合、「¥」で区切ります。(例： ¥group01¥group02) 「;」および「@」は、「_」に置き換えられます。
同報リスト名	同報リスト名を指定します。(*) アドレスを複数指定する場合、「;」で区切ります。 「;」および「@」は、「_」に置き換えられます。
名	名を指定します。(*)
姓	姓を指定します。(*)
メールアドレス	「メールアドレス」の設定値については、「 <a href="#">B.1 メールアドレスの設定値</a> 」(430 ページ)を参照してください。 同報リストには、最大 100 件のアドレスを設定できます。

- (\*): 指定できる最大文字数は 64 文字です。  
語頭および語尾の空白は省略されます。

## E.6 グループを設定します

メールアドレス台帳にグループを設定します。

グループには、同報リストおよびアドレスを複数登録できるため、メールの送信先を目的別に分類して管理できます。グループの配下にグループを作成することもできます。また、メールの送信先にグループを指定すると、グループに登録されているすべての同報リストおよびアドレスに、同じ内容のメールを同時に送信できます。グループは5階層まで作成できます。

### ■ グループを追加します

1. グループ一覧で、追加先のグループを選択します。
2. 以下のどちらかの方法で、「グループ追加」画面を表示します。
  - [アドレス台帳]メニューー [グループ追加]を選択します。
  - ツールバーの [グループ追加] ボタンを押します。
3. 「グループ名」を入力します。  
最大文字数は64文字です。以下の文字は使用できません。  
¥;@



4. [OK] ボタンを押します。  
⇒ グループが追加されます。

### ■ グループ名を変更します

1. 変更するグループ名を選択します。
2. 以下のどちらかの方法で、「グループ編集」画面を表示します。
  - [アドレス台帳]メニューー [プロパティ]を選択します。
  - ツールバーの [プロパティ] ボタンを押します。
3. 「グループ名」を入力します。  
最大文字数は64文字です。以下の文字は使用できません。  
¥;@
4. [OK] ボタンを押します。  
⇒ グループ名が変更されます。

---

## ■ グループを削除します



グループを削除すると、グループに属している配下のグループおよびメールアドレスも削除されます。

1. 削除するグループを選択します。
2. 以下のどちらかの操作をします。
  - [アドレス台帳]メニューー [削除] を選択します。
  - ツールバーの [削除] ボタンを押します。⇒ 削除確認の画面が表示されます。
3. [OK] ボタンを押します。
  - ⇒ グループが削除されます。

## E.7 同報リストを設定します

メールアドレス台帳に同報リストを設定します。  
同報リストには、複数のアドレスを登録できます。  
また、メールの送信先に同報リストを指定すると、同報リストに登録されているすべてのアドレスに、同じ内容のメールを同時に送信できます。

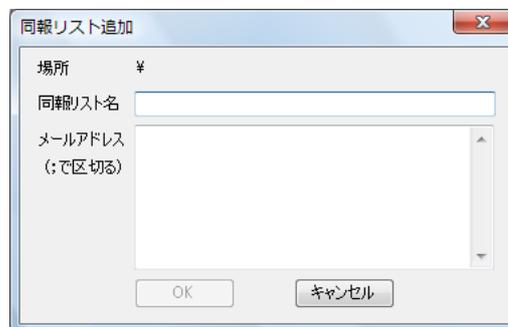
### ■ 同報リストを追加します

1. グループ一覧で、追加先のグループを選択します。
2. 以下のどちらかの方法で、「同報リスト追加」画面を表示します。
  - [アドレス台帳]メニューー [同報リスト追加]を選択します。
  - ツールバーの [同報リスト追加] ボタンを押します。
3. 追加する同報リストの情報を入力します。

「同報リスト名」および同報リストに含める「メールアドレス」を入力します。  
「同報リスト名」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できません。以下の文字は使用できません。  
;@

「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430 ページ)を参照してください。

同報リストには、最大 100 件のアドレスを設定できます。アドレスを複数指定する場合、「;」で区切ります。



4. [OK] ボタンを押します。  
⇒ 同報リストが追加されます。

---

## ■ 同報リストを変更します

1. 変更する同報リストを選択します。
2. 以下のどちらかの方法で、「アドレス編集」画面を表示します。
  - [アドレス台帳]メニューー[プロパティ]を選択します。
  - ツールバーの[プロパティ]ボタンを押します。
3. 変更する内容に書き換えます。

「同報リスト名」および同報リストに含める「メールアドレス」を入力します。「同報リスト名」の最大文字数は64文字です。半角および全角文字が使用できません。以下の文字は使用できません。

；@

「メールアドレス」の設定値については、「[B.1 メールアドレスの設定値](#)」(430ページ)を参照してください。

同報リストには、最大100件のアドレスを設定できます。アドレスを複数指定する場合、「;」で区切ります。
4. [OK]ボタンを押します。

⇒ 同報リストの内容が変更されます。

## ■ 同報リストを削除します

1. 削除する同報リストを選択します。
2. 以下のどちらかの操作をします。
  - [アドレス台帳]メニューー[削除]を選択します。
  - ツールバーの[削除]ボタンを押します。

⇒ 削除確認の画面が表示されます。
3. [OK]ボタンを押します。

⇒ 同報リストが削除されます。

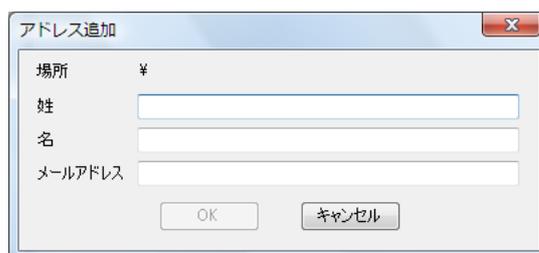
## E.8 アドレスを設定します

メールアドレス台帳にアドレスを設定します。

### ■ アドレスを追加します

1. グループ一覧で、追加先のグループを選択します。
2. 以下のどちらかの方法で、「アドレス追加」画面を表示します。
  - [アドレス台帳]メニューー [アドレス追加]を選択します。
  - ツールバーの [アドレス追加] ボタンを押します。
3. 追加するアドレスの情報を入力します。

「姓」および「名」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できます。なお、「姓」、「名」は省略できます。  
「メールアドレス」の設定値については、[「B.1 メールアドレスの設定値」\(430 ページ\)](#) を参照してください。



4. [OK] ボタンを押します。  
⇒ アドレスが追加されます。

### ■ アドレスを変更します

1. 変更するアドレスを選択します。
2. 以下のどちらかの方法で、「アドレス編集」画面を表示します。
  - [アドレス台帳]メニューー [プロパティ]を選択します。
  - ツールバーの [プロパティ] ボタンを押します。
3. 変更する内容に書き換えます。

「姓」および「名」の最大文字数は 64 文字です。半角および全角文字が使用できます。なお、「姓」、「名」は省略できます。  
「メールアドレス」の設定値については、[「B.1 メールアドレスの設定値」\(430 ページ\)](#) を参照してください。
4. [OK] ボタンを押します。  
⇒ アドレスの内容が変更されます。

---

## ■ アドレスを削除します

1. 削除するアドレス選択します。
2. 以下のどちらかの操作をします。
  - [アドレス台帳]メニューー[削除]を選択します。
  - ツールバーの[削除]ボタンを押します。⇒ 削除確認の画面が表示されます。
3. [OK]ボタンを押します。
  - ⇒ アドレスが削除されます。

---

## E.9 メールアドレス台帳の編集内容を破棄します

編集中のメールアドレス台帳の編集内容を破棄して、起動時の状態にします。

1. [ファイル]メニューー [編集を破棄] を選択します。
  - ⇒ 破棄確認の画面が表示されます。
2. [OK] ボタンを押します。
  - ⇒ 編集内容が破棄され、起動時の状態になります。

## E.10 メールアドレス台帳を保存します

編集したメールアドレス台帳を、本装置またはファイル（CSV形式）に保存します。  
メールアドレス台帳を本装置に保存すると、編集内容が MyList に反映されます。

### ■ メールアドレス台帳を本装置に保存します

1. 以下のどちらかの操作をします。

- [ファイル]メニュー→[スキャナへ保存]を選択します。
  - ツールバーの[スキャナへ保存]ボタンを押します。
- ⇒「スキャナへ保存」画面が表示されます。

2. 本装置に接続するための情報を入力します。

- 「接続先」には、本装置の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。
  - IP アドレスを入力する場合  
xxx.xxx.xxx.xxx（xxx は 0 ～ 255 の値）の形式で入力します。
  - ホスト名または FQDN 名を入力する場合  
最大文字数は半角 255 文字です
- 「接続先ポート番号」には、本装置との通信に使用するポート番号を、1 ～ 65535 の範囲で入力します。初期値は 80 です。  
また、本装置からの通信で HTTPS を使用する場合に、「https」のチェックボックスをチェックします。
- 「ユーザー名」には、本装置にログインするユーザー名を指定します。
- 「パスワード」には、本装置にログインするユーザーのパスワードを入力します。



本装置にログインできるユーザーで接続してください。

3. [保存]ボタンを押します。

⇒ メールアドレス台帳が本装置に保存されます。

---

## ■ メールアドレス台帳をファイルに保存します

1. 以下のどちらかの操作をします。
  - [ファイル]メニューー [ファイルへ保存] を選択します。
  - ツールバーの [ファイルへ保存] ボタンを押します。⇒ 「アドレス台帳ファイルを保存」画面が表示されます。
2. 保存先やファイル名を指定して、[保存] ボタンを押します。
  - ⇒ メールアドレス台帳が CSV 形式で保存されます。

---

## E.11 AddressBook Editor のユーザーログの詳細情報を参照します

以下の画面から、AddressBook Editor のユーザーログの詳細情報を参照できます。

- 履歴管理メニューの「ユーザーログ」画面（管理者のみ）
- 利用者画面の「ユーザーログ」

ユーザーログに表示される AddressBook Editor の項目は、以下のとおりです。

項目名	表示形式	説明
操作	Remote	AddressBook Editor からメールアドレス台帳が取得されました。または、AddressBook Editor からメールアドレス台帳を更新しました。
ページ	0	必ず、0 が表示されます。

上記以外の項目やユーザーログの詳細情報を参照する方法については、以下を参照してください。

- 履歴管理メニューの「ユーザーログ」画面で参照する場合  
「[4.9 履歴管理メニューでの設定](#)」(164 ページ)
- 利用者画面の「ユーザーログ」画面で参照する場合  
「[6.12 ユーザーログの詳細情報を参照します](#)」(354 ページ)

## E.12 AddressBook Editor のメッセージ

AddressBook Editor の操作を行っているときに表示されるメッセージの一覧を示します。

### E.12.1 画面のメッセージ

機能名	メッセージ	対処
メールアドレス ス台帳取得	スキャナへの接続がタイムアウトしました。	本装置が稼動しているか、または接続先の指定に誤りがないかを確認して、再度取得・保存してください。
	スキャナに接続できませんでした。	本装置が稼動しているか、または接続先の指定に誤りがないかを確認して、再度取得・保存してください。
	スキャナ接続時に証明書エラーを検出しました。管理者に証明書の確認を依頼してください。	管理者に連絡して、本装置の証明書が正しいかを確認してから、再度取得・保存してください。
	スキャナのログインに失敗しました。	本装置にログインするユーザー名およびパスワードが正しいかを確認してください。
	ログイン可能なユーザー数を超過しています。	本装置にログインしたことのあるユーザーでログインしてください。
その他	予期せぬエラーが発生しました。ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。	ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

E

機能名	メッセージ	対処
その他	<p>設定保存用のファイルが壊れています。 設定保存ファイルを削除してから起動してください。</p>	<p>設定保存用ファイル (user.config) を削除すると、AddressBook Editor を起動できるようになります。 設定保存用ファイルは、以下にあります。</p> <p>例：Windows XP の場合 C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Application Data\FUJITSU\AddressBookEditor.exe_XXX</p> <p>XXX は可変文字です。 「AddressBookEditor.exe_XXX」のフォルダが複数存在している場合は、それぞれの「AddressBookEditor.exe_XXX」の「1.1.1.1」にある設定保存用ファイルの日付を確認して、最新の日付の設定保存用ファイルを削除してください。</p>

## E.12.2 ユーザーログ

AddressBook Editor の操作中に出力されるユーザーログメッセージには以下の2種類があります。

- 情報
- エラー

### ■ 情報

コード	メッセージ	対処
07010100	メールアドレス台帳を取得されました。(IP アドレス)	対処の必要はありません。
07010200	メールアドレス台帳を更新しました。(IP アドレス)	対処の必要はありません。
07010201	メールアドレス台帳を強制的に更新しました。(IP アドレス)	対処の必要はありません。

### ■ エラー

コード	メッセージ	対処
17010200	メールアドレス台帳の更新に失敗しました。(IP アドレス, 詳細情報)	ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

E



# 付録 F

---

## 操作メッセージ一覧

管理者

利用者

操作中に表示されるメッセージと対処方法について説明します。

F.1 管理者のメッセージ .....	472
F.2 利用者のメッセージ .....	503
F.3 集中管理のメッセージ .....	578



## F.1 管理者のメッセージ

管理者が操作を行っているときに表示されるメッセージの一覧を示します。  
管理者画面で表示されるメッセージは以下のような画面です。



メッセージの画面に表示されるマークには以下があります。

マーク	意味
	警告メッセージです。入力値が違う場合にも表示されます。 内容を確認して [OK] ボタンを押してください。
	エラーメッセージです。 内容を確認して [OK] ボタンを押してください。
	情報メッセージです。 内容を確認して [OK] ボタンを押してください。対処の必要はありません。
	問い合わせメッセージです。 内容を確認してボタンを選択し、押してください。

## F.1.1 管理者画面のメッセージ

機能名	メッセージ	対処
スキャナ名	スキャナ名に使用できない文字列が指定されました。	スキャナ名に正しい文字列を入力してください。 名前の先頭と終端に空白を含むことはできません。また、制御文字と以下の文字は使用できません。 "¥[ ]: <>+=; , ?
	ワークグループ名またはドメイン名に使用できない文字列が指定されました。	ワークグループ名またはドメイン名に正しい値を入力してください。 ワークグループ名の場合は、英数字最大 15 文字で指定してください。ドメイン名の場合は、英数字および .- _ で最大 255 文字で指定してください。
	ドメインへのログインに失敗しました。	指定したユーザー名またはパスワードを確認してください。
	指定されたドメインが見つかりません。	指定したドメインと接続できませんでした。 指定したドメインが正しいことを確認してください。または、指定したドメインがネットワークに接続されていることを確認してください。
	ワークグループ名またはドメイン名が指定されていません。	ワークグループ名またはドメイン名を指定してください。 ワークグループ名の場合は、英数字最大 15 文字で指定してください。ドメイン名の場合は、英数字および .- _ で最大 255 文字で指定してください。



機能名	メッセージ	対処
日付／時刻	日付／時刻の指定に誤りがあります。 [入力可能な日付範囲]	日付／時刻に [入力可能な日付範囲] に含まれる正しい文字列を入力してください。
	時刻変更によりセッションタイムアウトとなったため、ログアウトを行います。	対処の必要はありません。
ログイン設定	ユーザー名の指定が誤っています。	ユーザー名に正しい値を入力してください。
	ユーザー名に設定できない文字列が指定されました。	ユーザー名に正しい値を入力してください。
管理者パスワード	新パスワードに無効な文字が指定されました。	新パスワードは半角英字、半角数字、半角記号で指定してください。
ファイル名設定	ファイル名に使用できない文字 (¥ / : * ? " < >   ) (CON PRN AUX CLOCK\$ NUL) (COM0 - COM9) (LPT0 - LPT9) が設定されていません。使用可能な文字を設定してください。	ファイル名に使用可能な文字を入力してください。 以下の文字は使用できません。 ¥ / : * ? " < >   CON PRN AUX CLOCK\$ NUL COM0 - COM9 LPT0 - LPT9
証明書管理	証明書のインポートに失敗しました。	スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。
	証明書を「信頼されたルート証明機関」ストアにインポートできませんでした。	スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。
	証明書の削除に失敗しました。	スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。
IP アドレス	IP アドレスの設定に失敗しました。再度実行してください。	再度実行してください。 それでも発生する場合は再起動後に再度実行してください。

機能名	メッセージ	対処
接続設定	指定された組み合わせは設定できません。	以下の組み合わせの設定はできません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ポート番号に「80」、SSL 通信に「有効」を設定する組み合わせ</li> <li>● ポート番号に「443」、SSL 通信に「無効」を設定する組み合わせ</li> </ul> ポート番号と SSL 通信の組み合わせを見直してください。
集中管理サーバ	集中管理サーバへのスキャナ情報の登録に失敗しました。	集中管理サーバとの接続環境の確認を行ってください。
	設定できないアドレスが指定されました。	集中管理サーバの正しいアドレスを指定してください。
	探索識別名に設定できない文字列が指定されました。	探索識別名は、英大文字、英小文字、数字、記号で設定してください。
DNS サーバ	DNS サフィックスに使用できない文字列が指定されました。	DNS サフィックスに正しい値を指定してください。

機能名	メッセージ	対処
NTP サーバ	時刻同期に失敗しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● NTP サーバの IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名の指定に誤りがないか見直してください。</li> <li>● NTP サーバまでのネットワーク経路に問題があり、NTP サーバまでネットワーク通信が到達できません。ネットワーク環境を確認してください。</li> <li>● NTP サーバが混みあっています。時間をおいてから、再度時刻同期を行ってください。それでも発生する場合は、指定したサーバは NTP サーバとして動作していません。違う NTP サーバを指定してください。</li> <li>● 指定した NTP サーバの日付時刻が信頼できる時刻を保持していないため、NTP サーバが上位階層の NTP サーバに時刻同期を試みましたが、失敗しました。違う NTP サーバを指定するか、ネットワーク管理者に調査してもらってください。</li> <li>● 時間が大きくずれていないか確認してください。時間が大きくずれている場合は、本システムの日付時刻を大まかに合わせてから、再度時刻同期を行ってください。</li> <li>● <a href="#">「4.6.4 日時を設定します」(63 ページ)</a> で本システムの日付時刻を大まかに合わせてから、再度時刻同期をやりなおしてください。</li> </ul>
	時刻同期によりセッションタイムアウトとなったため、ログアウトを行います。	対処の必要はありません。

機能名	メッセージ	対処
LDAP サーバ	接続に失敗しました。 設定を確認してください。	各設定項目が正しいが確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● アドレス</li> <li>● ポート番号</li> <li>● SSL</li> <li>● 検索ベース</li> <li>● 認証ユーザー (DN)</li> <li>● ユーザー名</li> <li>● パスワード</li> </ul> 設定内容に間違いがない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
ネットワーク共有プリンタ	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。 現在ログインできません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインが許可されている時間に再実行してください。</li> <li>● ログインが拒否されている時間の設定を無効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。 指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	アクセスが拒否されました。	指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	指定したネットワークパスが利用できないために、操作を行えませんでした。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。



機能名	メッセージ	対処
ネットワーク共有プリンタ	ネットワークに接続されていません。	Ping でネットワーク共有プリンタがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「 <a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a> 」(404 ページ) を参照して対処してください。
	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、これ以上このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。
	指定したネットワーク共有プリンタのパス長が選択可能パス長を超えました。このプリンタは選択できません。	別のネットワーク共有プリンタを選択してください。
	ネットワーク情報の取得に失敗しました。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーが無効です。	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーアカウントの有効期限が切れています。以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>

機能名	メッセージ	対処
ネットワーク共有プリンタ	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したパスワードが無効です。	<p>パスワードの有効期限が切れています。以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーはパスワードの変更が必要です。	<p>指定したネットワーク共有プリンタは最初にログオンする前にパスワードを変更してください。以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	プリンタの追加に失敗しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定したネットワーク共有プリンタのネットワークパス名を確認してください。</li> <li>● プリンタのアクセス権設定を確認してください。</li> <li>● プリンタの共有設定を確認してください。</li> <li>● ping により他のマシンにネットワーク通信の確認を行い、本システムのネットワークが正常に動作していることを確認してください。</li> <li>● プリントサーバに設定しているプライマリ DNS サフィックスが正しいか確認してください。</li> </ul>



機能名	メッセージ	対処
ネットワーク共有プリンタ	ネットワークコンピュータが参照できる環境ではありません。	集中管理サーバの「Computer Browser」サービスが停止状態になっていないかを確認し、停止状態であれば開始してください。
SharePointフォルダ	SharePoint 操作時に内部エラーが発生しました。	ネットワークの接続状態や、サーバの状態などを確認して、再度実行してください。
	SharePoint サイトに接続できません。	
	SharePoint サイトが見つかりません。	ネットワークの接続状態や、サイトの設定内容などを確認して、再度実行してください。
ネットワーク共有フォルダ	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインが許可されている時間に再実行してください。</li> <li>● ログインが拒否されている時間の設定を無効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	指定されたネットワーク共有フォルダ名はすでに登録済みです。	すでに登録されている同名のネットワーク共有フォルダ名を変名したあとに、再度ネットワーク共有フォルダを追加してください。
	アクセスが拒否されました。	指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	ネットワーク・パスが見つかりません。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	指定したネットワーク・パスが利用できないために、操作を行えませんでした。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。

機能名	メッセージ	対処
ネットワーク共有フォルダ	ネットワークに接続されていません。	Ping でネットワーク共有フォルダがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「 <a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a> 」(404 ページ) を参照して対処してください。
	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、これ以上このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。
	指定したネットワーク共有フォルダパス長が選択可能パス長を超えました。このネットワーク共有フォルダは選択できません。	別のネットワーク共有フォルダを選択してください。
	ネットワーク情報の取得に失敗しました。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーが無効です。	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーアカウントの有効期限が切れています。以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>



機能名	メッセージ	対処
ネットワーク共有フォルダ	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したパスワードが無効です。	<p>パスワードの有効期限が切れています。以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーはパスワードの変更が必要です。	<p>指定したネットワーク共有フォルダは最初にログオンする前にパスワードを変更してください。以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	格納先パスに接続できませんでした。	<p>以下の対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● FTP パスが正しいか確認してください。</li> <li>● ユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。</li> <li>● プロトコル設定が正しいか確認してください。</li> <li>● ポート番号が正しいか確認してください。</li> <li>● パッシブモード設定が正しいか確認してください。</li> <li>● 暗号化方式設定が正しいか確認してください。</li> <li>● プロキシ設定が正しいか確認してください。</li> </ul>
	ネットワークコンピュータが参照できる環境ではありません。	<p>集中管理サーバの「Computer Browser」サービスが停止状態になっていないかを確認し、停止状態であれば開始してください。</p>

機能名	メッセージ	対処
異常通知先	テストメールの送信に失敗しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SMTP サーバ側のコンピュータが動作しているかを確認してください。</li> <li>● 他のコンピュータから通知先メールアドレスにメールが送信できるか確認してください。</li> <li>● SMTP サーバに対して Ping でネットワーク通信を行い、SMTP サーバが正常に動作しているか、または SMTP サーバまでのネットワーク経路が正常に動作しているかを確認してください。SMTP サーバから Ping の応答がない場合は、Ping で SMTP サーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、本システムのネットワークが正常に動作していることを確認してください。</li> <li>● 本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「<a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a>」(404 ページ)を参照して、対処してください。</li> <li>● SMTP サーバに対するネットワーク通信だけができない場合には、SMTP サーバが正常に動作しているか、または SMTP サーバまでのネットワーク経路が正常に動作しているかを、ネットワーク管理者に調査してもらってください。</li> </ul>

機能名	メッセージ	対処
装置情報	スキャナユニットからデータを収集できませんでした。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。</li> <li>● 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li> </ul>
消耗品統計情報	スキャナユニットからデータを収集できませんでした。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。</li> <li>● 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li> </ul>

機能名	メッセージ	対処
ユーザー情報 操作	復元するユーザー情報が正常にアップロードされませんでした。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 復元するユーザー情報の指定が誤っていないかを確認してください。</li> <li>● 再度復元を実施してください。</li> <li>● 復元用のユーザー情報が、アップロード処理中にネットワークエラーにより途中で失敗していないか、ネットワーク通信状況を確認してください。</li> </ul>
	指定されたユーザー情報を復元すると、登録可能なユーザー数を超えてしまいます。ユーザー情報をクリアしてから復元してください。	<p>登録可能なユーザー数は 1000 件です。本装置の利用者資源を削除してから、復元してください。</p> <p><a href="#">「ユーザー情報を削除します」</a> (174 ページ)</p>
	サポートされていない形式のため、復元できません。	<p>ユーザー情報を取得した装置と復元先の装置のバージョンが違います。</p> <p>復元先の装置をアップデートしてください。</p> <p><a href="#">「4.10.3 アップデートします」</a> (179 ページ)</p>
	復元対象言語が異なるため、復元できません。	<p>退避時の言語で復元してください。</p>



機能名	メッセージ	対処
システム設定 操作	復元するシステム設定情報が正常にアップロードされませんでした。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 復元するシステム設定情報の指定が正しいか確認してください。</li> <li>● 再度復元を実施してください。</li> <li>● 復元用のシステム設定情報が、アップロード処理中にネットワークエラーにより途中で失敗していないか、ネットワーク通信状況を確認してください。</li> </ul>
	サポートされていない形式のため、復元できません。	システム設定情報を取得した装置と復元先の装置のバージョンが違います。 復元先の装置をアップデートしてください。 <a href="#">「4.10.3 アップデートします」</a> <a href="#">(179 ページ)</a>
	復元対象言語が異なるため、復元できません。	退避時の言語で復元してください。
	システム設定の復元が完了しました。再起動します。	対処の必要はありません。
アップデート	アップデート用ファイルは、このシステムへの適用対象外です。	アップデート用ファイルの対象システムを確認してください。 または、オプションの適用状態を確認してください。
	アップデート用ファイルが正常にアップロードされませんでした。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● アップデートするファイルの指定が誤っていないかを確認し、再度アップデートを実施してください。</li> <li>● アップデート用のファイルが、アップロード処理中にネットワークエラーにより途中で失敗していないか、ネットワーク通信状況を確認してください。</li> </ul>

機能名	メッセージ	対処
アップデート	新しいアップデートが公開されています。 アップデートを公開サーバより取得し、適用してください。	必要に応じて、公開サーバより、新しいアップデートファイルをダウンロードして適用してください。
	新しいアップデートは公開されていません。	対処の必要はありません。
	公開サーバへの問い合わせに失敗しました。	公開サーバへアクセスできる設定になっているか確認してください。 外部への接続を行うときにプロキシ設定が必要な場合はプロキシ設定画面で HTTP プロキシの設定を行う必要があります。
共通	XXXXXX の処理中に異常が発生しました。 ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。 エラーコード =xxxxxxx 詳細コード =xxxxxxx (XXXXXX : 機能名)	スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。
	XXXXXX の処理中に予期しない異常が発生しました。 ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。 (XXXXXX : 機能名)	スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。



機能名	メッセージ	対処
Add-in 管理	Add-in のデータ形式が異なっています。	Add-in のデータ形式を確認してください。
	Add-in 用ファイルは、このシステムへの適用対象外です。	Add-in のインストール対象システムを確認してください。
	Add-in が正常にアップロードされませんでした。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● アップデートするファイルの指定が誤っていないかを確認し、再度アップデートを実施してください。</li> <li>● アップデート用のファイルが、アップロード処理中にネットワークエラーにより途中で失敗していないか、ネットワーク通信状況を確認してください。</li> </ul>
	指定された Add-in のインストールにはシステムバージョン〇〇以上が必要です。	システムをアップデートしてから、Add-in のインストールを行ってください。
Admin Tool	通信エラーが発生しました。	対処の詳細については、「 <a href="#">8.3.3 Web ブラウザ・Admin Tool・集中管理サーバから本装置にアクセスできない場合の対処方法</a> (408 ページ) を参照してください。
	接続可能なシステムバージョンではありません。	本装置から Admin Tool をインストールして再度接続を実行してください。

機能名	メッセージ	対処
ジョブ設定	セッションタイムアウトになりました。「閉じる」を選択して終了してください。	ジョブ設定の画面を終了し、再度実施してください。
	続行不可能なエラーが発生しました。ジョブ設定を終了し、再度起動してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。	ジョブ設定の画面を終了し、再起動後、実施してください。
	メモリ不足エラーが発生しました。ジョブ設定を終了し、再度起動してください。	十分な空きメモリ容量を確保して、再度実行してください。
	ディスク不足エラーが発生しました。ジョブ設定を終了し、再度起動してください。	十分なディスク空き容量を確保して、再度実行してください。
LDAP 接続	LDAP 設定の検索ベースに誤りがあります。	LDAP の設定を見直してください。
	LDAP サーバがビジー状態です。	しばらく待ってから、再度実行してください。
	検索でタイムアウトが発生しました。管理者に連絡してください。	サーバ管理者に問い合わせてください。
	LDAP サーバに接続できません。LDAP 設定のアドレスに誤りがあるか、または、LDAP サーバが利用可能ではありません。	サーバ管理者に問い合わせてください。



機能名	メッセージ	対処
LDAP 接続	SSL 認証を使用した LDAP サーバの認証に失敗しました。	サーバ管理者に問い合わせてください。
	ユーザー名またはパスワードに誤りがあるか、LDAP 設定の検索ベースに誤りがあります。	ユーザー名、パスワードを正しく入力し、再度実行してください。
	認証ユーザー (DN) またはパスワードに誤りがあるか、LDAP 設定の検索ベースに誤りがあります。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● LDAP サーバの設定や検索ベースの設定を確認してください。 ● 有効な認証ユーザー (DN)、パスワードを設定してください。
	LDAP サーバのアクセスに失敗しました。LDAP 設定や環境を確認し直してください。	サーバ管理者に問い合わせてください。
	LDAP サーバからの情報取得に失敗しました。 検索ベースの指定内容を確認してください。	検索ベースの内容を確認し、再度実行してください。
	LDAP サーバに接続します。ユーザー名とパスワードを入力してください。	ユーザー名、パスワードを入力してください。
	LDAP サーバに接続します。認証ユーザー (DN) とパスワードを入力してください。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● LDAP サーバの設定や検索ベースの設定を確認してください。 ● 有効な認証ユーザー (DN)、パスワードを設定してください。

機能名	メッセージ	対処
LDAP 接続	LDAP サーバのアクセスに失敗しました。LDAP 設定、環境や認証ユーザー (DN)、パスワード、検索ベースの指定を確認してください。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サーバ管理者に連絡し、LDAP サーバの動作を確認してください。</li> <li>● ネットワーク設定が正しいか確認してください。</li> <li>● LDAP サーバの設定や検索ベースの設定を確認してください。</li> <li>● 有効な認証ユーザー (DN)、パスワードを設定してください。</li> </ul>
	検索結果が最大表示件数に達しました。検索条件を見直してください。	検索条件を見直して、再度実行してください。

## F.1.2 システムログのメッセージ

管理者の操作中に出力されるシステムログメッセージには以下の2種類があります。

- 情報
- エラー
- 警告

### ■ 情報

コード	メッセージ	対処
01000001	(XXXXXX) 設定を変更しました。 補足情報： (XXXXXX：機能名)	対処の必要はありません。
01000002	パッドユニットのカウンタをクリアしました。	
01000003	ピックローラのカウンタをクリアしました。	
01000004	ユーザーログをダウンロードする準備ができました。	
01000005	システムログをダウンロードする準備ができました。	
01000006	ユーザー情報をダウンロードする準備ができました。	
01000007	ユーザー情報を復元しました。	
01000008	システム設定情報をダウンロードする準備ができました。	
01000009	アップデートを実施しました。 補足情報：新システム版数 <i>x.x.x.x</i>	
01000009	アップデートを実施しました。 補足情報：システム版数 <i>x.x.x.x</i>	
01000009	アップデートを実施しました。 補足情報：セキュリティ版数 <i>x.x.x.x</i>	
01000009	アップデートを実施しました。 補足情報：オプション機能 <i>xxxx = xxxx</i>	
01000010	テストメールの送信に成功しました。	

コード	メッセージ	対処	
01000011	ユーザー情報を削除しました。	対処の必要はありません。	
01000012	時刻同期に成功しました。		
01000013	システム設定の復元処理を終了しました。		
01000014	保守情報をダウンロードする準備ができました。		
01000015	Add-in をインストールしました。 Add-in 名 : xxxxxx Add-in バージョン : xxxxxx		
01000016	Add-in をアンインストールしました。		
01000017	システム設定の復元処理を開始します。		
01000018	自動アップデートスケジュールを登録しました。		
01000019	自動アップデートスケジュールを削除しました。		
01000020	ログイン LDAP の接続テストに成功しました。		
01000021	メールアドレス LDAP の接続テストに成功しました。		
01000022	既に適用済みのためアップデートを適用しませんでした。 補足情報 : システム版数 x.x.x.x		
	既に適用済みのためアップデートを適用しませんでした 補足情報 : セキュリティ版数 x.x.x.x		
02100014	新しいアップデートが公開されています。 アップデートを公開サーバより取得し、適用してください。		必要に応じて、公開サーバより、新しいアップデートファイルをダウンロードして適用してください。
02100015	新しいアップデートは公開されていません。		対処の必要はありません。

コード	メッセージ	対処
0C010001	ジョブを追加しました。 ジョブ名：XXXXXX	対処の必要はありません。
0C010002	ジョブを参照して作成しました。 ジョブ名：XXXXXX 参照元ジョブ名：YYYYYY	
0C010003	ジョブを編集しました。 ジョブ名：XXXXXX	
0C010004	ジョブを削除しました。 ジョブ名：XXXXXX	
0C020001	ジョブメニューを追加しました。 ジョブメニュー名：XXXXXX	
0C020002	ジョブメニューを参照して作成しました。 ジョブメニュー名：XXXXXX 参照元ジョブメニュー名：YYYYYY	
0C020003	ジョブメニューを編集しました。 ジョブメニュー名：XXXXXX	
0C020004	ジョブメニューを削除しました。 ジョブメニュー名：XXXXXX	
0C030001	ジョブグループを追加しました。 ジョブグループ名：XXXXXX	
0C030003	ジョブグループを編集しました。 (サーバ種別が異なるメンバーを削除しました。)(*) ジョブグループ名：XXXXXX	
0C030004	ジョブグループを削除しました。 ジョブグループ名：XXXXXX	
0C040001	LDAP サーバのアクセスに成功しました。 検索ベース：XXXXXX	

(\*): ジョブグループを編集した際に、LDAP サーバ種別が異なるメンバーが削除された場合にシステムログに記録されます。

## ■ エラー

コード	メッセージ	対処
81001001	<p>XXXXXX の処理中に異常が発生しました。</p> <p>ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</p> <p>エラーコード =xxxxxxx</p> <p>詳細コード =xxxxxxx</p> <p>(XXXXXX : 機能名)</p>	<p>スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</p>
81001002	<p>XXXXXX の処理中に予期しない異常が発生しました。</p> <p>ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</p> <p>(XXXXXX : 機能名)</p>	<p>スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</p>
81001003	<p>システムログが壊れていたため削除しました。</p>	<p>対処の必要はありません。</p>
81001004	<p>ユーザーログが壊れていたため削除しました。</p>	
81001005	<p>設定の変更に失敗しました。</p> <p>補足情報 : XXXXXX</p> <p>Add-in 名 : xxxxxx</p> <p>Add-in バージョン : xxxxx</p>	<p>Add-in の登録や設定の変更、およびシステム設定情報の復元時の設定の変更に失敗しています。本装置の状態や設定値を確認してください。</p> <p>補足情報 : XXXXXX には、設定に失敗した要因や設定しようとした値が表示されます。</p>



コード	メッセージ	対処
81001006	(IP アドレス) 設定の変更に失敗しました。 補足情報： 指定された IP アドレスはすでに使用されています。 DHCP = 無効 IP アドレス = xxx.xxx.xxx.xxx サブネットマスク = xxx.xxx.xxx.xxx デフォルトゲートウェイ = xxx.xxx.xxx.xxx	IP アドレスは設定前の値に戻されています。 重複していない IP アドレスで再設定してください。
81001007	自動アップデートスケジュールの登録に失敗しました。	スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。
81001008	自動アップデートスケジュールの削除に失敗しました。	スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。
7C040001	LDAP 設定の検索ベースに誤りがあります。 検索ベース : XXXXXX	検索ベースの設定を確認してください。
7C040002	LDAP サーバがビジー状態です。 検索ベース : XXXXXX	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● しばらく待ってから、再度実行してください。 ● サーバ管理者に連絡し、LDAP サーバの動作を確認してください。
7C040003	検索でタイムアウトが発生しました。管理者に連絡してください。 検索ベース : XXXXXX	サーバ管理者に連絡して検索タイムアウト時間が正しいか確認してください。

コード	メッセージ	対処
7C040005	LDAP サーバに接続できません。 LDAP 設定のアドレスに誤りがあるか、または、LDAP サーバが利用可能ではありません。 検索ベース：XXXXXX	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● LDAP サーバの設定や検索ベースの設定を確認してください。</li> <li>● サーバ管理者に連絡し、LDAP サーバが動作しているか確認してください。</li> </ul>
7C040006	SSL 認証を使用した LDAP サーバの認証に失敗しました。 検索ベース：XXXXXX	サーバ管理者に連絡し、LDAP サーバの SSL 認証の設定や証明書の設定が正しいか確認してください。
7C040008	ユーザー名またはパスワードに誤りがあるか、LDAP 設定の検索ベースに誤りがあります。 検索ベース：XXXXXX	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを指定してください。</li> <li>● 有効なユーザー名とパスワードを指定してください。</li> <li>● LDAP サーバの設定や検索ベースの設定を確認してください。</li> </ul>
7C040009	LDAP サーバのアクセスに失敗しました。LDAP 設定や環境を確認し直してください。 検索ベース：XXXXXX 詳細エラーコード：XXXXXXXXXX 詳細エラーメッセージ：XXXXXXXXXX	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● サーバ管理者に連絡し、LDAP サーバの動作を確認してください。</li> <li>● ネットワーク設定が正しいか確認してください。</li> </ul>
7C040010	LDAP サーバからの情報取得に失敗しました。検索ベースの指定内容を確認してください。 検索ベース：XXXXXX	検索ベースの設定を確認してください。



コード	メッセージ	対処
7C040011	認証ユーザー (DN) またはパスワードに誤りがあるか、LDAP 設定の検索ベースに誤りがあります。 検索ベース：XXXXXX	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● LDAP サーバの設定や検索ベースの設定を確認してください。</li> <li>● 有効な認証ユーザー (DN)、パスワードを設定してください。</li> </ul>
7C040012	LDAP サーバのアクセスに失敗しました。LDAP 設定、環境や認証ユーザー (DN)、パスワード、検索ベースの指定を確認してください。 検索ベース：XXXXXX 詳細エラーコード：XXXXXXXXXX 詳細エラーメッセージ：XXXXXXXXXX	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● サーバ管理者に連絡し、LDAP サーバの動作を確認してください。</li> <li>● ネットワーク設定が正しいか確認してください。</li> <li>● LDAP サーバの設定や検索ベースの設定を確認してください。</li> <li>● 有効な認証ユーザー (DN)、パスワードを設定してください。</li> </ul>

## ■ 警告

コード	メッセージ	対処
02200224	公開サーバへの問い合わせに失敗しました。	公開サーバへアクセスできる設定になっているか確認してください。 外部への接続を行うときにプロキシ設定が必要な場合はプロキシ設定画面で HTTP プロキシの設定を行う必要があります。
82001001	スキャナユニットからデータを収集できませんでした。	本装置の接続を確認してください。
82001002	適用日時が現在時刻より 10 分以上先ではないため、自動アップデートスケジュールを登録しませんでした。	自動アップデートスケジュールを登録し直すよう、集中管理サーバの管理者に連絡してください。

### F.1.3 本体装置監視が出力するシステムログのメッセージ

本体装置監視が出力するシステムログメッセージには以下の3種類があります。

- 情報
- エラー
- 警告

#### ■ 情報

本体装置監視が出力するシステムログの情報メッセージ一覧を以下に示します。  
ここで示すメッセージは、対処の必要はありません。

コード	メッセージ	対処
01001014	装置監視制御が開始しました。 装置監視制御の開始時刻 = yyyy/ MM/dd HH:mm:ss	対処の必要はありません。
01001015	装置監視制御が停止しました。	
01001016	システムが省電力モードになり、 装置監視制御が停止しました。	
01001017	システムが省電力モードから復帰 し、装置監視制御が開始しました。	



## ■ エラー

本体装置監視が出力するシステムログのエラーメッセージ一覧を以下に示します。  
ここで示すメッセージは、「4.7.16 異常通知先を設定します」(154 ページ) で設定したメールアドレスに、通知されるメッセージです。

コード	メッセージ	対処
81000001	電圧 (CPU) が範囲外です。	スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。
81000002	電圧 (1.5V) が範囲外です。	
81000003	電圧 (3.3V) が範囲外です。	
81000004	電圧 (5V) が範囲外です。	
81000005	電圧 (12V) が範囲外です。	
81000006	電圧 (-12V) が範囲外です。	
81000007	電圧 (5V スタンバイ) が範囲外です。	
81000008	電圧 (バッテリー) が範囲外です。	
81000009	温度 (装置内部) が範囲外です。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本体装置の空気吸入口がふさがっていないか確認してください。</li><li>● スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージングサービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li></ul>
81000010	温度 (CPU) が範囲外です。	
81000011	ファン回転数 (システムファン) が範囲外です。	スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。
81000012	ファン回転数 (CPU ファン) が範囲外です。	

コード	メッセージ	対処
81002003	装置監視メッセージのメール送信に失敗しました。	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SMTP サーバ側のコンピュータが動作しているかを確認してください。</li> <li>● 他のコンピュータから通知先メールアドレスにメールが送信できるか確認してください。</li> <li>● SMTP サーバに対して Ping で、ネットワーク通信を行い、SMTP サーバが正常に動作しているか、または SMTP サーバまでのネットワーク経路が正常に動作しているかを確認してください。 SMTP サーバから Ping の応答がない場合は、Ping で SMTP サーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、本システムのネットワークが正常に動作していることを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「<a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法 (404 ページ)</a>」を参照して、対処してください。</li> <li>● SMTP サーバに対するネットワーク通信だけができない場合には、SMTP サーバが正常に動作しているか、または SMTP サーバまでのネットワーク経路が正常に動作しているかを、ネットワーク管理者に調査してもらってください。</li> </ul> </li> </ul>

コード	メッセージ	対処
81002004	装置監視制御が内部エラーを検出しました。	スキャナを購入された販社/販売店またはPFUイメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。

## ■ 警告

本体装置監視が出力するシステムログの警告メッセージ一覧を以下に示します。  
 ここで示すメッセージは、「[4.7.16 異常通知先を設定します](#)」(154 ページ) で設定したメールアドレスに、通知されるメッセージです。

コード	メッセージ	対処
82000005	パッドユニットの交換時期が近づいています。	交換時期に備えて、交換するパッドユニットを準備してください。 交換の目安は原稿読み取り 5 万枚または使用 1 年です。
82000006	パッドユニットの交換時期が過ぎています。	パッドユニットの交換時期 (原稿読み取り 5 万枚または使用 1 年) が過ぎたため、パッドユニットを交換してください。
82000007	ピックアップローラの交換時期が近づいています。	交換時期に備えて、交換するピックアップローラを準備してください。 交換の目安は原稿読み取り 10 万枚または使用 1 年です。
82000008	ピックアップローラの交換時期が過ぎています。	ピックアップローラの交換時期 (原稿読み取り 10 万枚または使用 1 年) が過ぎたため、ピックアップローラを交換してください。

## F.2 利用者のメッセージ

利用者が操作を行っているときに表示されるメッセージの一覧を示します。

### F.2.1 利用者画面のメッセージ

機能	メッセージ	対処
ログイン	管理者が操作中です。しばらくお待ちください。	複数のユーザーが同時にログインできません。管理者の操作が終了するまで、しばらくお待ちください。
	ログインできませんでした。ユーザー名とパスワードを確認して、もう一度ログインしてください。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li><li>● 有効なユーザー名とパスワードを設定してください。</li><li>● LDAP サーバの設定がされているか管理者に確認してください。</li><li>● 管理者に連絡して、サーバの状態を確認してください。</li><li>● パスワードの有効期限が切れていないか管理者に確認してください。</li><li>● Active Directory のアカウントオプションで「ユーザーは次回ログオン時にパスワード変更が必要」となっている場合はログインすることができません。管理者に連絡してパスワードを設定してからログインを行ってください。</li></ul>

機能	メッセージ	対処
ログイン	<p>認証ユーザー (DN) またはパスワードに誤りがあるか、LDAP 設定の検索ベースに誤りがあります。</p>	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しい認証ユーザー (DN) とパスワードを設定してください。</li> <li>● 有効な認証ユーザー (DN) とパスワードを設定してください。</li> <li>● LDAP サーバの設定がされているか管理者に確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、サーバの状態を確認してください。</li> <li>● パスワードの有効期限が切れていないか管理者に確認してください。</li> </ul>
	<p>スキャナの初期化に失敗しました。電源を切断し、再度投入してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スキャナのケーブルが抜けていないか確認してください。</li> <li>● システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。</li> <li>● 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li> </ul>

機能	メッセージ	対処
ログイン	LDAP 設定の検索ベースの書式に誤りがあります。	管理者に連絡してください。 管理者は、LDAP サーバ設定の検索ベースの書式を見直してください。 「4.7.8 ログイン LDAP サーバを設定します」(104 ページ)
	LDAP サーバがビジー状態です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● 管理者に連絡して、ネットワーク設定が正しいか確認してください。 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ) ● 管理者に連絡して、サーバが動作しているか確認してください。
	このスキャナの利用ユーザー数が登録可能な数に到達したため、ログインすることはできません。	管理者に連絡してください。管理者はユーザー情報を削除してください。 「ユーザー情報を削除します」(174 ページ)
	集中管理サーバと通信中です。	集中管理サーバとの通信中は、ログインできません。 通信終了までしばらくお待ちください。
	集中管理サーバからの共有データ取得に失敗しました。 続行しますか？ (続行した場合は、スキャナに保存されている設定情報で動作します。)	集中管理サーバとの接続を確認してください。

機能	メッセージ	対処
消耗品	交換時期が近づいています。	消耗品を交換してください。 詳細については、「 <a href="#">7.6 消耗品／オプション品を交換します</a> 」(379 ページ) を参照してください。
	交換時期が過ぎています。	消耗品を交換してください。 詳細については、「 <a href="#">7.6 消耗品／オプション品を交換します</a> 」(379 ページ) を参照してください。
読み取り処理中	ADF に原稿がありません。原稿を ADF に正しくセットして読み取りを行ってください。原稿とサイドガイドとの間に隙間ができる場合は、左側のサイドガイドに隙間ができないようにセットしてください。	原稿を ADF に正しくセットして読み取ってください。原稿とサイドガイドとの間に隙間ができる場合は、左側のサイドガイドに隙間ができないように合わせてください。 詳細については、「 <a href="#">6.1 原稿をセットします</a> 」(240 ページ) を参照してください。
	原稿ジャムが発生しました。ADF から残っている原稿を取り除いてください。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● ADF から原稿を取り除いてください。 ● 正常に読み取られなかった原稿を取り除いてください。
	LCD カバーが開いています。LCD カバーを閉じ、原稿を正しくセットして読み取りを行ってください。	LCD カバーを閉じた後、原稿をセットして読み取ってください。

機能	メッセージ	対処
読み取り処理中	<p>用紙サイズの設定と異なる原稿が読み込まれたか、複数の原稿が同時に読み込まれた可能性があります。LCD カバーを開き、自動給紙部から残っている原稿を取り除いてください。</p>	<p>ADF ボタンを押して LCD カバーを開き、ADF から原稿を取り除いてください。複数枚の原稿が給紙されている場合は、原稿をセットし直し、再度読み取ってください。</p> <p>また、「用紙サイズ」画面での設定内容と実際の原稿サイズが同一であるかを確認し、異なる場合は原稿サイズの設定を再度行ってください。</p> <p>詳細については、「<a href="#">6.9.3 用紙サイズを設定します</a>」(320 ページ)を参照してください。</p>
	<p>メモリ不足です。電源を切断し、再度投入してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スキャン画像のサイズと解像度を小さくして、再度読み取りを行ってください。</li> <li>● システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。</li> <li>● 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販売店/販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li> </ul>



機能	メッセージ	対処
読み取り処理中	<p>予期せぬエラーが発生し、スキャンページ抜けが発生しました。電源を切断し、再度投入してからスキャンをやり直してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p> <p>ページ抜け枚数: XXX 枚</p>	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。</li> <li>● 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li> </ul>
	<p>スキャナの部品が故障しました。ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。</li> <li>● 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li> </ul>

機能	メッセージ	対処
読み取り処理中	ファイル形式が [MTIFF] の場合、読み取ったスキャン画像の合計ファイルサイズの上限は 2GB です。2GB を超える MTIFF ファイルは作成できません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ページ削除を行い、合計ファイルサイズを 2G バイト以内にしてください。</li> <li>● 圧縮率を上げて、再度読み取りを行ってください。</li> </ul>
	キャリアシートの読み取りに失敗しました。原稿の折り目側を、太い縦線のあるほうの端へぴったりと合わせて、再度読み取りを行ってください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポート センターまでご連絡ください。	原稿の折り目側を、太い縦線のあるほうの端へぴったりと合わせて、再度読み取りを行ってください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポート センターまでご連絡ください。
ローラクリーニング	スキャナのカバーが開いていません。カバーを開けて、再試行してください。	LCD カバーを開いて、再度フィードローラと排出ローラを清掃してください。詳細については、「 <a href="#">7.2.1 ADF の清掃方法 (370 ページ)</a> 」を参照してください。
	キーボードの「C」キーを押して、フィードローラを回転させながら清掃してください。フィードローラの清掃が完了したら「閉じる」ボタンを押してください。	フィードローラの清掃を行ってください。 フィードローラの清掃を終える場合は、「閉じる」ボタンを押してください。
電源切断	電源切断中です。お待ちください。	電源切断中は操作することができません。 自動的に電源切断します。しばらくお待ちください。



機能	メッセージ	対処
読み取りテスト	<p>ADF に原稿がありません。原稿を ADF に正しくセットして読み取りを行ってください。原稿とサイドガイドとの間に隙間ができる場合は、左側のサイドガイドに隙間ができないようにセットしてください。</p>	<p>原稿を ADF に正しくセットして読み取ってください。原稿とサイドガイドとの間に隙間ができる場合は、左側のサイドガイドに隙間ができないように合わせてください。  <a href="#">詳細については、「6.1 原稿をセットします」(240 ページ)</a>を参照してください。</p>
	<p>用紙サイズの設定と異なる原稿が読み込まれたか、複数の原稿が同時に読み込まれた可能性があります。LCD カバーを開き、自動給紙部から残っている原稿を取り除いてください。</p>	<p>ADF ボタンを押して LCD カバーを開き、ADF から原稿を取り除いてください。複数枚の原稿が給紙されている場合は、原稿をセットし直し、再度読み取ってください。  また、「用紙サイズ」画面での設定内容と実際の原稿サイズが同一であるかを確認し、異なる場合は原稿サイズの設定を再度行ってください。  <a href="#">詳細については、「6.9.3 用紙サイズを設定します」(320 ページ)</a>を参照してください。</p>
	<p>原稿ジャムが発生しました。ADF から残っている原稿を取り除いてください。</p>	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ADF から原稿を取り出してください。</li> <li>● 正常に読み取られなかった原稿を取り除いてください。</li> </ul>

機能	メッセージ	対処
読み取りテスト	<p>スキャナの初期化に失敗しました。電源を切断し、再度投入してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スキャナのケーブルが抜けていないか確認してください。</li> <li>● システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。</li> <li>● 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li> </ul>
メール送信	送信者アドレスの設定に誤りがあります。再度、設定してください。	送信者に、@ を含むメールアドレスを指定してください。
	宛先アドレスの設定に誤りがあります。再度、設定してください。	宛先に、@ を含むメールアドレスを指定してください。
	Cc アドレスの設定に誤りがあります。再度、設定してください。	Cc に、@ を含むメールアドレスを指定してください。
	Bcc アドレスの設定に誤りがあります。再度、設定してください。	Bcc に、@ を含むメールアドレスを指定してください。
	宛先に入力できるメールアドレスの最大件数は 30 件です。	30 件以内でメールアドレスを指定してください。
	Cc に入力できるメールアドレスの最大件数は 30 件です。	30 件以内でメールアドレスを指定してください。
	Bcc に入力できるメールアドレスの最大件数は 30 件です。	30 件以内でメールアドレスを指定してください。



機能	メッセージ	対処
メール送信	ログインしたアカウントが無効になりました。	ログインしたアカウントを有効にするよう、管理者に連絡してください。
メールアドレス台帳	検索でタイムアウトが発生しました。管理者に連絡してください。	管理者に連絡して検索タイムアウト時間を確認ください。 「 <a href="#">4.7.8 ログインLDAP サーバを設定します</a> 」(104 ページ)
	LDAP サーバがビジー状態です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● 管理者に連絡して、ネットワーク設定が正しいか確認してください。 「 <a href="#">8.3 ネットワーク通信ができないときには</a> 」(398 ページ) ● 管理者に連絡して、サーバが動作しているか確認してください。
	検索結果が最大表示件数に達しました。検索条件を見直してください。	詳細な検索条件を入力し、検索結果が絞り込まれるようにしてください。
FAX 送信	FAX 番号の設定に誤りがあります。正しい FAX 番号を設定してください。	1 つの FAX 番号を設定してください。 なお、指定できる文字は、0 ~ 9, -, *, # です。
	結果通知先メールアドレスに誤りがあります。メールアドレスを設定してください。	結果通知先メールアドレスにメールアドレスを1つ設定してください。
	ログインしたアカウントが無効になりました。	ログインしたアカウントを有効にするよう、管理者に連絡してください。
FAX 番号追加	FAX 番号の設定に誤りがあります。正しい FAX 番号を設定してください。	1 つの FAX 番号を入力してください。 なお、指定できる文字は、0 ~ 9, -, *, # です。

機能	メッセージ	対処
FAX 番号編集	FAX 番号の設定に誤りがあります。正しい FAX 番号を設定してください。	1 つの FAX 番号を入力してください。 なお、指定できる文字は、0 ～ 9、-、*、# です。
印刷	ネットワークがビジー状態です。時間をおいてから再実行してください。	しばらく待ってから、再度実行してください。
	ネットワークパスが見つかりません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● ネットワーク管理者に連絡して、サーバの動作を確認してください。 ● スプーラが正常に動作しているか確認してください。
	ネットワークに接続されていません。	Ping でネットワーク共有プリンタがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「 <a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a> 」(404 ページ) を参照して対処してください。
	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。	指定したネットワーク共有プリンタにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	ネットワークパスが長すぎます。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● パス名が短いネットワーク共有プリンタを選択してください。 ● 管理者に連絡して、ネットワーク共有プリンタのパスが短くなるように変更してください。

機能	メッセージ	対処
印刷	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。
	ログインしたアカウントが無効になりました。	ログインしたアカウントを有効にするよう、管理者に連絡してください。
	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したパスワードが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーは、パスワードの変更が必要です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したアカウントのロックアウト状態を解除するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。

機能	メッセージ	対処
印刷	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインが許可されている時間に再実行してください。</li> <li>● ログインが拒否されている時間の設定を変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有プリンタと通信できませんでした。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびプリントサーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、プリントサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● プrintサーバのスプーラが正常に動作しているか確認してください。</li> <li>● 指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、ネットワーク共有プリンタの設定情報が正しいか確認してください。 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</li> </ul>
	ネットワーク共有プリンタへのアクセスチェックでエラーが発生しました。	ネットワーク管理者に連絡して、ネットワーク共有プリンタへの印刷が可能な状態になっているか確認してください。
	部数に設定された値が正しくありません。正しい値 (1 ~ 99) を設定して下さい。	1 ~ 99 の範囲で部数を指定してください。

機能	メッセージ	対処
プリントサーバ認証	ユーザー名が設定されていません。 ユーザー名を設定してください。	ユーザー名は入力必須項目です。ユーザー名を入力してください。
	ネットワークがビジー状態です。 時間をおいてから再実行してください。	しばらく待ってから、再度実行してください。
	ユーザー名またはパスワードに誤りがあります。	ユーザー名、パスワードに正しい値を入力してください。
	ネットワークパスが見つかりません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、サーバの動作を確認してください。</li> <li>● スプーラが正常に動作しているか確認してください。</li> </ul>
	ネットワークに接続されていません。	Ping でネットワーク共有プリンタがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「 <a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a> 」(404 ページ) を参照して対処してください。
ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。	指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。	

機能	メッセージ	対処
プリントサーバ認証	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。
	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● 別のアカウントで再実行してください。 ● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したパスワードが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● 別のアカウントで再実行してください。 ● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーは、パスワードの変更が必要です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● 別のアカウントで再実行してください。 ● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したアカウントのロックアウト状態を解除するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。

機能	メッセージ	対処
プリントサーバ認証	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインが許可されている時間に再実行してください。</li> <li>● ログインが拒否されている時間の設定を変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有プリンタと通信できませんでした。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびプリントサーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、プリントサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● プリントサーバのスプーラが正常に動作しているか確認してください。</li> <li>● 指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、ネットワーク共有プリンタの設定情報が正しいか確認してください。</li> </ul> <p>「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</p>
	ネットワーク共有プリンタへのアクセスチェックでエラーが発生しました。	ネットワーク管理者に連絡して、ネットワーク共有プリンタへの印刷が可能な状態になっているか確認してください。

機能	メッセージ	対処
保存	ユーザー名またはパスワードに誤りがあります。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザー名、パスワードに正しい値を入力してください。</li> <li>● プロキシサーバが正常に稼働しているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、FTP サーバのネットワーク共有フォルダおよびプロキシサーバの設定情報が正しいか確認してください。</li> </ul> <p>「<a href="#">8.3 ネットワーク通信ができないときには</a>」(398 ページ)</p>
	ネットワークパスが見つかりません。	ネットワーク管理者に連絡して、サーバの動作を確認してください。
	すでにファイルが存在しているため保存できません。	別のファイル名にするか、上書き設定を [ はい ] に変更してください。
	ネットワークに接続されていません。	<p>Ping でネットワーク共有フォルダがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「<a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a>」(404 ページ) を参照して対処してください。</p>
	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。	指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。



機能	メッセージ	対処
保存	ネットワークパスが長すぎます。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 短いファイル名を設定してください。</li> <li>● パス名が短い保存先フォルダを選択してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、保存先フォルダのパスが短くなるように変更してください。</li> </ul>
	保存先フォルダに空き容量がありません。	容量を確保して再実行してください。
	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。
	上書き対象ファイルが使用中の可能性がります。	上書き対象ファイルの使用終了を確認後、再度実行してください。
	ログインしたアカウントが無効になりました。	ログインしたアカウントを有効にするよう、管理者に連絡してください。
	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したパスワードが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>

機能	メッセージ	対処
保存	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーは、パスワードの変更が必要です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● 別のアカウントで再実行してください。 ● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したアカウントのロックアウト状態を解除するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● ログインが許可されている時間に再実行してください。 ● ログインが拒否されている時間の設定を変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
	ネットワーク共有フォルダへのアクセスチェックでエラーが発生しました。	ネットワーク管理者に連絡して、ネットワーク共有フォルダへの保存が可能な状態になっているか確認してください。
	ファイル形式が [MTIFF] の場合、読み取ったスキャン画像の合計ファイルサイズの上限は 2GB です。2GB を超える MTIFF ファイルは作成できません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● ページ削除を行い、合計ファイルサイズを 2G バイト以内に行ってください。 ● 圧縮率を上げて、再度読み取りを行ってください。



機能	メッセージ	対処
ファイルサーバ認証	ユーザー名またはパスワードに誤りがあります。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザー名、パスワードに正しい値を入力してください。</li> <li>● プロキシサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、FTP サーバのネットワーク共有フォルダおよびプロキシサーバの設定情報が正しいか確認してください。</li> </ul> <p>「<a href="#">8.3 ネットワーク通信ができないときには</a>」(398 ページ)</p>
	ネットワークパスが見つかりません。	ネットワーク管理者に連絡して、サーバの動作を確認してください。
	すでにファイルが存在しているため保存できません。	別のファイル名にするか、上書き設定を [ はい ] に変更してください。
	ネットワークに接続されていません。	<p>Ping でネットワーク共有フォルダがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「<a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a>」(404 ページ) を参照して対処してください。</p>

機能	メッセージ	対処
ファイルサーバ認証	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。	指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	保存先フォルダに空き容量がありません。	容量を確保して再実行してください。
	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。
	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したパスワードが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーは、パスワードの変更が必要です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>



機能	メッセージ	対処
ファイルサーバ認証	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したアカウントのロックアウト状態を解除するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● ログインが許可されている時間に再実行してください。 ● ログインが拒否されている時間の設定を変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
	ネットワーク共有フォルダへのアクセスチェックでエラーが発生しました。	ネットワーク管理者に連絡して、ネットワーク共有フォルダへの保存が可能な状態になっているか確認してください。

機能	メッセージ	対処
SharePoint に 保存	ネットワークパスが長すぎます。	ファイルおよびフォルダの URL パスが 260 文字を超えないように設定してください。
	SharePoint に保存するファイルのプロパティ操作に失敗しました。	該当するサイトのプロパティ設定、アクセス権、ファイルの状態などを確認し、再度実行してください。
	SharePoint に保存するファイルのアクセスに失敗しました。  以下の内容を確認して対処をしてください。 ● SharePoint サーバ上の空き領域が不足していないか それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。	以下の内容を確認して対処を行ってください。 ● SharePoint サーバ上の空き領域が不足していないか ● SharePoint サーバが正常に稼動しているか ● 指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。
	SharePoint フォルダが見つかりません。	操作の対象とするフォルダが存在するか確認してください。



機能	メッセージ	対処
SharePoint に 保存	SharePoint ライブラリ、またはフォルダが見つかりません。	操作の対象とするライブラリ、またはフォルダが存在するか確認してください。
	SharePoint サイトが見つかりません。  以下の内容を確認して対処をしてください。 ● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか ● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。	以下の内容を確認して対処を行ってください。 ● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか ● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か ● 指定した SharePoint フォルダに画像ファイルが格納できるか それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。
	SharePoint のサイト認証に失敗しました。	サイトへサインインするときのユーザー名、パスワードなどを確認してください。また、SharePoint サーバ、認証用サーバと本装置の時刻およびタイムゾーンが合っているか確認してください。そのあとで、再度実行してください。
	SharePoint サイトに接続できません。  以下の内容を確認して対処をしてください。 ● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか ● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。	以下の内容を確認して対処を行ってください。 ● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか ● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。

機能	メッセージ	対処
SharePoint に保存	SharePoint サイトにアクセス権限がありません。	サイトに対するアクセス権限を確認してください。また、SharePoint サーバ、認証用サーバと本装置の時刻およびタイムゾーンが合っているか確認してください。
起動時	アプリケーションを正しく開始できませんでした。前回正常動作時の構成に復元しました。管理者に連絡してください。	システム起動時に、システムやユーザーの設定の復元を行いました。管理者へ連絡して、システムやユーザーの設定内容を確認してください。
表示&編集	読み取りページ数が上限の XXX ページに達しました。これ以上読み取りを行う事は出来ません。	一度、メール送信、FAX 送信、印刷、またはフォルダ保存の処理を完了してください。
	すべて白紙ページと判定されました。読み取った原稿を確認してください。白紙ページ削除が「する」に設定されています。白紙と認識されたページはすべて削除されました。	白紙ページ削除を [しない] に設定して、再度読み取りを行ってください。 「6.9.15 読み取った原稿から白紙ページを削除します」(340 ページ)
ジョブ	管理者への通知メールの送信に失敗しました。	管理者に連絡して、メール送信が可能な状態になっているか確認してください。
	ジョブメニューが表示出来ませんでした。ジョブメニュー設定を確認してください。	管理者に連絡して、ジョブ設定が適切に行われているかどうか確認してください。
	ファイル名に使用できない文字 (: * ? " < >   ) (CON PRN AUX CLOCK\$ NUL) (COM0 - COM9) (LPT0 - LPT9) が設定されています。使用可能な文字を設定してください。	以下の文字はファイル名に使用できません。 : * ? " < >   CON PRN AUX CLOCK\$ NUL COM0 - COM9 LPT0 - LPT9 ファイル名に使用可能な文字を入力してください。
	ファイル名が設定されていません。ファイル名を設定してください。	ファイル名を入力してください。



機能	メッセージ	対処
その他	LDAP サーバに接続できません。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク設定が正しくない可能性があります。管理者に連絡して、ネットワーク設定が正しいか確認してください。  <a href="#">「8.3 ネットワーク通信ができないときには」</a> (398 ページ)</li> <li>● サーバが動作していない可能性があります。管理者に連絡して、サーバが動作しているか確認してください。</li> <li>● SSL 通信を行って LDAP サーバと接続している場合は、管理者に連絡して、信頼されたルート証明機関から発行されているサーバ証明書が LDAP サーバにインストールされているか確認してください。</li> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li> </ul>

機能	メッセージ	対処
その他	LDAP サーバに接続できません。 LDAP 設定のアドレスに誤りがあるか、または、LDAP サーバが利用可能ではありません。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク設定が正しくない可能性があります。管理者に連絡して、ネットワーク設定が正しいか確認してください。 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</li> <li>● サーバが動作していない可能性があります。管理者に連絡して、サーバが動作しているか確認してください。</li> <li>● SSL 通信を行って LDAP サーバと接続している場合は、管理者に連絡して、信頼されたルート証明機関から発行されているサーバ証明書が LDAP サーバにインストールされているか確認してください。</li> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li> </ul>
	LDAP サーバが利用可能ではありません。管理者に連絡してください。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理者に連絡して、LDAP サーバが利用可能な状態になっているか確認してください。</li> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li> </ul>
	LDAP サーバのアクセスに失敗しました。LDAP 設定や環境を確認し直してください。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理者に連絡して、LDAP サーバが利用可能な状態になっているか確認してください。</li> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li> </ul>



機能	メッセージ	対処
その他	LDAP サーバのアクセスに失敗しました。LDAP 設定、環境や認証ユーザー (DN)、パスワード、検索ベースの指定を確認してください。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理者に連絡して、LDAP サーバが利用可能な状態になっているか確認してください。</li> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li> </ul>
	システムの日付がリセットされています。「日付/時刻」を設定してください。	「日付/時刻」を設定してください。
	予期せぬエラーが発生しました。電源を切断し、再度投入してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。[8 桁の英数字]	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。</li> <li>● 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [電源切断] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社/販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li> </ul>

機能	メッセージ	対処
その他	<p>予期せぬエラーが発生しました。システムを正常な状態に復旧するため、システムの再起動を行います。保留されている処理はキャンセルされますので、再起動後に再度実行してください。本メッセージが頻繁に出力するようであれば、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。[8 桁の英数字]</p>	<p>本メッセージが頻繁に出力するようであれば、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>
	<p>予期せぬエラーが発生しました。システムを正常な状態に復旧するため、システムの再起動を行います。保留されている処理はキャンセルされますので、再起動後に再度実行してください。システムを再起動しても同様な現象が発生する場合、スキャナ部の異常が考えられます。この場合、ADF 内部の原稿を取り除き、本体の電源コードの抜き差しを行い、システムを再起動してください。本メッセージが頻繁に出力するようであれば、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。[8 桁の英数字]</p>	<p>本メッセージが頻繁に出力するようであれば、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>
	<p>予期せぬエラーが発生しました。電源を切断し、システムを再起動してください。再起動しても現象が発生する場合は、本体の電源コードの抜き差しを行い、システムを再起動してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。[8 桁の英数字]</p>	<p>本装置の電源を切断してください。電源切断後、本装置の AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</p>



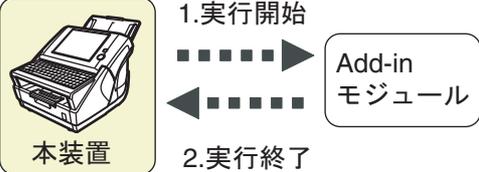
## F.2.2 システムログのメッセージ

利用者の操作中に出力されるシステムログメッセージには以下の3種類があります。

- 情報
- 警告
- エラー

### ■ 情報

コード	メッセージ	対処
01080101	ピックアップローラのクリーニングが行われました。	対処の必要はありません。
01091000	システムの言語を、XXXXに変更しました。	対処の必要はありません。
010D0001	ログインしました。ユーザー名：XXXX	対処の必要はありません。
010D0002	ログアウトしました。ユーザー名：XXXX	対処の必要はありません。
01121001	システムが起動されました。	対処の必要はありません。
01121002	システムが省電力モードから復帰しました。	対処の必要はありません。
01131001	システムの電源が切断されます。	対処の必要はありません。
01131002	システムが省電力モードに入りました。	対処の必要はありません。
03080001	スキャナファームを更新しました。 スキャナファーム版数：XXXX	対処の必要はありません。
05050000	Add-in モジュールのロードに成功しました。	対処の必要はありません。

コード	メッセージ	対処
05050001	Add-in モジュールの実行を開始しました。	<p>Add-in モジュールの実行を開始したことを記録するもので、対処の必要はありません。ただし、このメッセージには、後続して Add-in モジュールの終了状態を示すメッセージがあります。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実行開始メッセージ (本メッセージ) Add-in モジュールの実行を開始したことを示します。 ● 05050001</li> <li>2. 実行終了メッセージ Add-in モジュールの終了状態を示し、以下のいずれかのコードのメッセージを出力します。 ● 05050002 ● 05050003 ● 05050004 ● 15050002</li> </ol> <p>「1. 実行開始メッセージ (本メッセージ)」が出力されたあとに、「2. 実行終了メッセージ」が出力されていない場合は、Add-in モジュールから復帰しないことを意味します。Add-in モジュール管理者に連絡してください。</p>
05050002	Add-in モジュールが正常終了しました。	対処の必要はありません。
05050003	Add-in モジュールが実行中にキャンセルされました。	対処の必要はありません。
05050004	Add-in モジュールが自動ログアウトで終了しました。	対処の必要はありません。
05050005	Add-in モジュールが独自認証に成功しました。	対処の必要はありません。
05050006	Add-in モジュールが独自認証に失敗しました。	対処の必要はありません。

コード	メッセージ	対処
01092001	デフォルト NTP サーバとの時刻同期に成功しました。	対処の必要はありません。
01092002	ファイルサーバからの時刻の取得に成功しました。	対処の必要はありません。
01092003	集中管理サーバからの時刻の取得に成功しました。	対処の必要はありません。

## ■ 警告

コード	メッセージ	対処
110C0010	不正なパスワード値です。パスワードを入力し直してください。	正しいパスワードを設定してください。
15050001	Add-in モジュールのロードに失敗しました。	Add-in モジュールのロードに失敗したため、Add-in モジュールが使用できません。Add-in モジュール管理者に連絡してください。
15050002	Add-in モジュールが異常終了しました。	Add-in モジュールが異常終了しました。Add-in モジュール管理者に連絡してください。
83070001	消耗品 (パッドユニット) の交換時期です。管理者に連絡してください。	消耗品 (パッドユニット) を交換するため、管理者に連絡してください。管理者は LCD カバーを開けて、パッドユニットを交換してください。 <a href="#">「7.6.3 パッドユニットを交換します」</a> (382 ページ)
83070002	消耗品 (ピックローラ) の交換時期です。管理者に連絡してください。	消耗品 (ピックローラ) を交換するため、管理者に連絡してください。管理者は LCD カバーを開けて、ピックローラを交換してください。 <a href="#">「7.6.4 ピックローラを交換します」</a> (383 ページ)

## ■ エラー

コード	メッセージ	対処
100B0001	ネットワークがビジー状態です。時間をおいてから再実行してください。	しばらく待ってから、再度実行してください。
11030003	ネットワークパスが見つかりません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、サーバの動作を確認してください。</li> <li>● スプーラが正常に動作しているか確認してください。</li> </ul>
11040003	ネットワークパスが見つかりません。	ネットワーク管理者に連絡して、サーバの動作を確認してください。
11040005	保存先フォルダに空き容量がありません。	容量を確保して再実行してください。
11080001	このスキャナの利用ユーザー数が登録可能な数に到達したため、ログインすることはできません。	管理者に連絡して、ユーザー情報を削除してからログインしてください。ユーザー情報を削除すると元に戻すことはできません。 <a href="#">「ユーザー情報を削除します」(174ページ)</a>
11090001	アプリケーションを正しく開始できませんでした。前回正常動作時の構成に復元しました。管理者に連絡してください。	システム起動時に、システムやユーザーの設定の復元を行いました。管理者に連絡してください。管理者は、システムやユーザーの設定内容を確認してください。
110B0001	検索でタイムアウトが発生しました。管理者に連絡してください。	管理者に連絡して検索タイムアウト時間を確認してください。 <a href="#">「4.7.8 ログインLDAP サーバを設定します」(104ページ)</a>

コード	メッセージ	対処
110B0002	ネットワークに接続されていません。	Ping でネットワーク共有プリンタがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「 <a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a> 」(404 ページ) を参照して対処してください。
110B0004	LDAP サーバがビジー状態です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理者に連絡して、ネットワーク設定が正しいか確認してください。<a href="#">「8.3 ネットワーク通信ができないときには」</a> (398 ページ)</li> <li>● 管理者に連絡して、サーバが動作しているか確認してください。</li> </ul>
110B0100	LDAP サーバが利用可能ではありません。管理者に連絡してください。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理者に連絡して、LDAP サーバが利用可能な状態になっているか確認してください。</li> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li> </ul>
110B0101	LDAP サーバのアクセスに失敗しました。LDAP 設定や環境を確認し直してください。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理者に連絡して、LDAP サーバが利用可能な状態になっているか確認してください。</li> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li> </ul>
110B0102	LDAP サーバのアクセスに失敗しました。LDAP 設定、環境や認証ユーザー (DN)、パスワード、検索ベースの指定を確認してください。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理者に連絡して、LDAP サーバが利用可能な状態になっているか確認してください。</li> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
110D0001	ログインできませんでした。ユーザー名とパスワードを確認して、もう一度ログインしてください。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを指定してください。</li> <li>● 有効なユーザー名とパスワードを指定してください。</li> <li>● LDAP サーバの設定がされているか管理者に確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、LDAP サーバの状態を確認してください。</li> <li>● パスワードの有効期限が切れていないか管理者に確認してください。</li> <li>● Active Directory のアカウントオプションで「ユーザーは次回ログオン時にパスワード変更が必要」となっている場合はログインすることができません。管理者に連絡してパスワードを設定してからログインを行ってください。</li> </ul>
110D000E	認証ユーザー (DN) またはパスワードに誤りがあるか、LDAP 設定の検索ベースに誤りがあります。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しい認証ユーザー (DN) とパスワードを設定してください。</li> <li>● 有効な認証ユーザー (DN) とパスワードを設定してください。</li> <li>● LDAP サーバの設定がされているか管理者に確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、サーバの状態を確認してください。</li> <li>● パスワードの有効期限が切れていないか管理者に確認してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
110D0002	LDAP サーバに接続できません。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク設定が正しくない可能性があります。管理者に連絡して、ネットワーク設定が正しいか確認してください。 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</li> <li>● サーバが動作していない可能性があります。管理者に連絡して、サーバが動作しているか確認してください。</li> <li>● SSL 通信を行って LDAP サーバと接続している場合は、管理者に連絡して、信頼されたルート証明機関から発行されているサーバ証明書が LDAP サーバにインストールされているか確認してください。</li> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li> </ul>
110D000F	LDAP サーバに接続できません。LDAP 設定のアドレスに誤りがあるか、または、LDAP サーバが利用可能ではありません。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク設定が正しくない可能性があります。管理者に連絡して、ネットワーク設定が正しいか確認してください。 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</li> <li>● サーバが動作していない可能性があります。管理者に連絡して、サーバが動作しているか確認してください。</li> <li>● SSL 通信を行って LDAP サーバと接続している場合は、管理者に連絡して、信頼されたルート証明機関から発行されているサーバ証明書が LDAP サーバにインストールされているか確認してください。</li> <li>● 正しいユーザー名とパスワードを設定してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
110D0004	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。	指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
110D0005	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。
110D0006	LDAP 設定の検索ベースの書式に誤りがあります。	管理者に連絡してください。 管理者は、LDAP サーバ設定の検索ベースの書式を見直してください。 <a href="#">「4.7.8 ログイン LDAP サーバを設定します」</a> (104 ページ)
110D0007	ログインしたアカウントが無効になりました。	ログインしたアカウントを有効にするよう、管理者に連絡してください。
110D0008	上書き対象ファイルが使用中の可能性があります。	上書き対象ファイルの使用終了を確認後、再度実行してください。
110D0009	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したパスワードが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● 別のアカウントで再実行してください。 ● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
110D000A	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーは、パスワードの変更が必要です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 ● 別のアカウントで再実行してください。 ● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。



コード	メッセージ	対処
110D000B	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
110D000C	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したアカウントのロックアウト状態を解除するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
110D000D	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインが許可されている時間に再実行してください。</li> <li>● ログインが拒否されている時間の設定を変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
110D0044	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。	指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
110D0049	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したパスワードが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
110D004A	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーは、パスワードの変更が必要です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
110D004B	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
110D004C	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したアカウントのロックアウト状態を解除するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
110D004D	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインが許可されている時間に再実行してください。</li> <li>● ログインが拒否されている時間の設定を変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
110D004E	ネットワーク共有プリンタと通信できませんでした。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびプリントサーバにLANケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、プリントサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● プrintサーバのスプーラが正常に動作しているか確認してください。</li> <li>● 指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置のIPアドレス設定が正しいか、また、ネットワーク共有プリンタの設定情報が正しいか確認してください。</li> </ul> <p>「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</p>

コード	メッセージ	対処
110D0100	ネットワーク共有フォルダへのアクセスチェックでエラーが発生しました。	ネットワーク管理者に連絡して、ネットワーク共有フォルダへの保存が可能な状態になっているか確認してください。
110D0140	ネットワーク共有プリンタへのアクセスチェックでエラーが発生しました。	ネットワーク管理者に連絡して、ネットワーク共有プリンタへの印刷が可能な状態になっているか確認してください。
110E0001	管理者への通知メールの送信に失敗しました。	管理者に連絡して、メール送信が可能な状態になっているか確認してください。
11150001	システムログが壊れていたため削除しました。	操作中に電源切断などを行ったため、システムログが削除されました。対処の必要はありません。
11150002	ユーザーログが壊れていたため削除しました。	操作中に電源切断などを行ったため、ユーザーログが削除されました。対処の必要はありません。
12010001	スキャンデータの合計サイズが、メールに添付するデータサイズの上限值を超えています。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1回に読み取る原稿の枚数を減らして、複数回に分けてメールを送信してください。</li> <li>● 圧縮率を高く設定して読み取ってください。  <a href="#">「6.9.9 圧縮率を設定します」(333ページ)</a> </li> </ul> それでも発生する場合は、管理者に連絡して、「添付ファイル最大サイズ」の設定を確認してください。 <a href="#">「4.7.11 メールサーバを設定します」(121ページ)</a>

コード	メッセージ	対処
12010002	メール送信時に、サーバに接続できませんでした。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置および SMTP サーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定および SMTP サーバの設定情報が正しく指定されているか確認してください。 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> </ul>
12010005	メールのサイズが、SMTP サーバで許容されているサイズの上限值を超えています。	管理者に連絡して、SMTP サーバで許容されているメールの最大メッセージサイズを確認してください。
12010006	メール送信時に、サーバとの接続が切断されました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置および SMTP サーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定および SMTP サーバの設定情報が正しく指定されているか確認してください。 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバで許容されている最大セッションサイズを確認してください。</li> </ul>



コード	メッセージ	対処
12010007	メールの送信要求がサーバに拒否されました。(宛先アドレスが不当、または分割されたメールの受信不可等が考えられます。)	<p>本エラーは、SMTP サーバによって、メールの送信が拒否された場合に発生します。</p> <p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 宛先のメールアドレスが正しいかどうか確認してください。</li> <li>● 宛先のメールアドレスが正しい場合、SMTP サーバの管理者に連絡して、分割メールが使用できるか、またはアクセス制限などが設定されていないかを確認してください。</li> </ul>
12010100	メール送信処理でエラーが発生しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 左記メッセージのあとに、サーバから返されるメッセージがそのまま付加されます。サーバ管理者に内容を通知し、対処してもらってください。</li> <li>● メールサーバにアクセス制限が設定されていないかサーバ管理者に確認してください。</li> <li>● ジョブの設定で「宛先」および「送信者」に [ジョブ実行者のメールアドレス] が選択されている場合、以下のユーザーでジョブを実行するとエラーとなります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインしたユーザーのメールアドレスがない場合</li> <li>● guest アカウントでログインした場合</li> </ul> その場合は、メールアドレスが登録されているユーザーでジョブを実行してください。 </li> </ul>

コード	メッセージ	対処
12020001	スキャンデータの合計サイズが、FAX に添付するデータサイズの上限值を超えています。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 回に読み取る枚数を減らし、複数回に分けて FAX を送信してください。</li> <li>● 圧縮率を高く設定して読み取ったスキャン画像を FAX で送信してください。  <a href="#">「6.9.9 圧縮率を設定します」 (333 ページ)</a></li> </ul> <p>それでも発生する場合は、管理者に連絡して、本装置の「添付ファイル最大サイズ」の設定を確認してください。  <a href="#">「4.7.11 メールサーバを設定します」 (121 ページ)</a></p>
12020002	FAX 送信時に、サーバに接続できませんでした。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置および SMTP サーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、SMTP サーバおよび FAX サーバの設定情報が正しいか確認してください。  <a href="#">「8.3 ネットワーク通信ができないときには」 (398 ページ)</a></li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバおよび FAX サーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> </ul>
12020005	FAX のサイズが、SMTP サーバで許容されているサイズの上限值を超えています。	<p>管理者に連絡して、本装置の「添付ファイル最大サイズ」の設定を確認してください。  <a href="#">「4.7.11 メールサーバを設定します」 (121 ページ)</a></p>



コード	メッセージ	対処
12020006	FAX 送信時に、サーバとの接続が切断されました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置および SMTP サーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定および SMTP サーバの設定情報が正しく指定されているか確認してください。 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバで許容されている最大セッションサイズを確認してください。</li> </ul>
12020100	FAX 送信処理でエラーが発生しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サーバから返されるメッセージがそのまま付加されます。管理者に内容を通知し、対処してください。</li> <li>● ジョブの設定で「結果通知先メールアドレス」に [ジョブ実行者のメールアドレス] が選択されている場合、以下のユーザーでジョブを実行するとエラーとなります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインしたユーザーのメールアドレスがない場合</li> <li>● guest アカウントでログインした場合</li> </ul> その場合は、メールアドレスが登録されているユーザーでジョブを実行してください。 </li> </ul>

コード	メッセージ	対処
12030001	ネットワークパスが見つかりません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびプリントサーバにLANケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、プリントサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● プリントサーバのスプーラが正常に動作しているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置のIPアドレス設定が正しいか、また、ネットワーク共有プリンタの設定情報が正しいか確認してください。</li> </ul> <a href="#">「8.3 ネットワーク通信ができないときには」 (398 ページ)</a>
12030002	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。	指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
12030005	ネットワークがビジー状態です。時間をおいてから再実行してください。	しばらく待ってから、再度実行してください。
12030006	ユーザー名またはパスワードに誤りがあります。	ユーザー名、パスワードに正しい値を入力してください。
12030007	ネットワークに接続されていません。	<b>Ping</b> でネットワーク共有プリンタがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、 <a href="#">「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」 (404 ページ)</a> を参照して対処してください。
1203000A	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。

コード	メッセージ	対処
1203000C	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
1203000D	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したパスワードが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
1203000E	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーは、パスワードの変更が必要です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
1203000F	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したアカウントのロックアウト状態を解除するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
12030010	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインが許可されている時間に再実行してください。</li> <li>● ログインが拒否されている時間の設定を変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
12030011	ネットワーク共有プリンタと通信できませんでした。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびプリントサーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、プリントサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● プrintサーバのスプーラが正常に動作しているか確認してください。</li> <li>● 指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、ネットワーク共有プリンタの設定情報が正しいか確認してください。</li> </ul> <p>「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</p>
12030100	印刷処理でエラーが発生しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびプリントサーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、登録済みネットワーク共有プリンタのパスワードが正しいか確認してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの印刷権限を確認してください。</li> </ul>



コード	メッセージ	対処
12040001	ネットワークパスが見つかりません。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびファイルサーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、ファイルサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、ネットワーク共有フォルダの設定情報が正しいか確認してください。  <a href="#">「8.3 ネットワーク通信ができないときには」 (398 ページ)</a></li> <li>● フォルダを作成する際に、作成されるフォルダ名と同じファイル名が保存先のネットワーク共有フォルダにすでに存在する場合は、フォルダを作成することができません。同名のファイル名を変更するか、またはファイル名設定を見直してください。</li> </ul> <p>FTP サーバのネットワーク共有フォルダに保存する場合は、以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理者に連絡して、ログインしていたユーザーまたは認証用に指定したユーザーに対して、FTP サーバのネットワーク共有フォルダへの読み込みおよび書き込みが許可されているか確認してください。</li> <li>● ファイルの属性が隠しファイル属性になっていないか確認してください。</li> <li>● 上書き対象ファイルの使用終了を確認後、再度実行してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
12040002	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理者に連絡して、ログインしていたユーザーまたは認証用に指定したユーザーに対して、ネットワーク共有フォルダへのアクセスが許可されているか確認してください。</li> <li>● ファイルの属性が隠しファイル属性になっていないか確認してください。</li> </ul>
12040003	すでにファイルが存在しているため保存できません。	ファイルを上書き保存する場合は、フォルダ保存設定時に上書き設定を[はい]にしてフォルダに保存してください。
12040005	ネットワークがビジー状態です。時間をおいてから再実行してください。	しばらく待ってから、再度実行してください。
12040006	ユーザー名またはパスワードに誤りがあります。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザー名、パスワードに正しい値を入力してください。</li> <li>● プロキシサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、FTP サーバのネットワーク共有フォルダおよびプロキシサーバの設定情報が正しいか確認してください。</li> </ul> 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)



コード	メッセージ	対処
12040007	ネットワークに接続されていません。	Ping でネットワーク共有フォルダがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、 <a href="#">「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(404 ページ)</a> を参照して対処してください。
12040009	指定したネットワーク共有フォルダに空き容量が足りません。	容量を確保して、再度実行してください。
1204000A	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。
1204000B	上書き対象ファイルが使用中の可能性がります。	上書き対象ファイルの使用終了を確認後、再度実行してください。
1204000C	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
1204000D	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したパスワードが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
1204000E	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーは、パスワードの変更が必要です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
12040100	ネットワーク共有フォルダへの保存処理でエラーが発生しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、ネットワーク共有フォルダへの保存が可能な状態になっているか確認してください。</li> <li>● ファイル形式が [MTIFF] の場合、2GB を超えて生成された可能性があります。ファイルサイズを小さくし、再度実行してください。</li> <li>● 指定したファイル名の形式や文字数がファイルサーバで許可されているか確認してください。</li> </ul> <p>FTP サーバのネットワーク共有フォルダに保存する場合は、以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびFTPサーバにLANケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、FTPサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置のIPアドレス設定が正しいか、また、FTPサーバのネットワーク共有フォルダのパス名が正しいか確認してください。</li> </ul> <p><a href="#">「8.3 ネットワーク通信ができないときには」 (398 ページ)</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 容量を確保して、再度実行してください。</li> <li>● 不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。</li> </ul>
1204000F	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したアカウントのロックアウト状態を解除するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。

コード	メッセージ	対処
12040010	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインが許可されている時間に再実行してください。</li> <li>● ログインが拒否されている時間の設定を変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
12040011	ファイル名に使用できない文字 (: * ? " < >   ) (CON PRN AUX CLOCK\$ NUL) (COM0 - COM9) (LPT0 - LPT9) が設定されています。使用可能な文字を設定してください。	以下の文字はファイル名に使用できません。 : * ? " < >   CON PRN AUX CLOCK\$ NUL COM0 - COM9 LPT0 - LPT9 ファイル名に使用可能な文字を入力してください。
12050001	SharePoint に保存するファイルのプロパティ操作に失敗しました。	該当するサイトのプロパティ設定、アクセス権、ファイルの状態などを確認し、再度実行してください。
12050002	SharePoint に保存するファイルのアクセスに失敗しました。  以下の内容を確認して対処をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● SharePoint サーバ上の空き領域が不足していないか  それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</li> </ul>	以下の内容を確認して対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● SharePoint サーバ上の空き領域が不足していないか</li> <li>● SharePoint サーバが正常に稼働しているか</li> <li>● 指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li> </ul> それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社/販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。
12050003	SharePoint に保存するファイルの上書き処理に失敗しました。	該当するサイトの書き込み権限や、ファイルの使用状況などを確認して、再度実行してください。
12050004	SharePoint フォルダの作成に失敗しました。	該当するサイトの書き込み権限や、ファイルの使用状況などを確認して、再度実行してください。
12050005	SharePoint フォルダに格納するには、ファイルサイズが大きすぎます。	処理可能なファイルサイズを確認して、再度実行してください。



コード	メッセージ	対処
12050006	SharePoint フォルダが見つかりません。	操作の対象とするフォルダが存在するか確認してください。
12050007	SharePoint ライブラリ、またはフォルダが見つかりません。	操作の対象とするライブラリ、またはフォルダが存在するか確認してください。
12050008	SharePoint サイトが見つかりません。  以下の内容を確認して対処をしてください。 ● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか ● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。	以下の内容を確認して対処を行ってください。 ● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか ● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か ● 指定した SharePoint フォルダに画像ファイルが格納できるか それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。
1205000A	SharePoint に保存するファイルは使用中です。	ファイルの使用状況を確認して、再度実行してください。
1205000B	SharePoint のサイト認証に失敗しました。	サイトへサインインするときのユーザー名、パスワードなどを確認して、再度実行してください。

コード	メッセージ	対処
1205000C	<p>SharePoint サイトに接続できません。</p> <p>以下の内容を確認して対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか</li> <li>● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>	<p>以下の内容を確認して対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか</li> <li>● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>
1205000D	<p>SharePoint サイトにアクセス権限がありません。</p>	<p>サイトに対するアクセス権限を確認してください。</p>
12050015	<p>SharePoint サーバへのファイル転送エラーが発生しました。</p> <p>以下の内容を確認して対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか</li> <li>● SharePoint サーバ上の空き領域が不足していないか</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>	<p>以下の内容を確認して対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか</li> <li>● SharePoint サーバ上の空き領域が不足していないか</li> <li>● 指定した SharePoint フォルダに画像ファイルが格納できるか</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>
12050016	<p>すでにファイルが存在しているため保存できません。</p>	<p>別のファイル名にするか、上書き設定を [はい] に変更してください。</p>
12050018	<p>SharePoint サイトで許可されていない種類のファイルです。</p>	<p>SharePoint サイトで許可されているファイル形式を選択して、再度実行してください。</p>

コード	メッセージ	対処
12050100	SharePoint 操作時に内部エラーが発生しました。	再度同じ操作を行い、それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。
13060001	スキャナの初期化に失敗しました。電源を切断し、再度投入してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● スキャナのケーブルが抜けていないか確認してください。</li> <li>● システムが再起動しない場合は、ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。</li> <li>● 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の [ 電源切断 ] ボタンを押して電源を切断してから AC ケーブルを抜いてください。10 秒程時間をおいて AC ケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li> </ul>
1306001A		
1306001D		
1306002C	メモリ不足です。電源を切断し、再度投入してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。	システムが不安定になっているおそれがあります。 電源を切断し、電源ボタンを押して再起動してください。 それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。
1314002C	メモリ不足です。電源を切断し、再度投入してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。	スキャン画像の画像のサイズおよび解像度を小さくして、再度処理を実行してください。

コード	メッセージ	対処
13061001	スキャナの読み取りエラーが発生しました。 ファイル名:XXXXX エラーページ番号:XXXXX	電源を切断し、電源ボタンを押して再起動してください。 それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社/販売店またはPFUイメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。
13061002		
13061003		
13080001	スキャナファームの更新に失敗しました。ご購入の販売店またはPFUイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。 スキャナファーム版数:XXXX	購入の販売店またはPFUイメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。
83070006	スキャナの部品が故障しました。ご購入の販売店またはPFUイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。	電源を切断し、電源ボタンを押して再起動してください。 それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社/販売店またはPFUイメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。
83070007		
83070008		
8307000C		
84000001	予期せぬエラーが発生しました。電源を切断し、再度投入してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店またはPFUイメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。[8桁の英数字]	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● システムが再起動しない場合は、ログイン画面の[電源切断]ボタンを押して電源を切断後、再度電源を投入し再起動してください。</li> <li>● 再起動しても復旧しない場合は、ログイン画面の[電源切断]ボタンを押して電源を切断してからACケーブルを抜いてください。10秒程時間をおいてACケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社/販売店またはPFUイメージングサービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</li> </ul>



コード	メッセージ	対処
84000002	<p>予期せぬエラーが発生しました。システムを正常な状態に復旧するため、システムの再起動を行います。保留されている処理はキャンセルされますので、再起動後に再度実行してください。本メッセージが頻繁に出力するようであれば、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。[8桁の英数字]</p>	<p>本メッセージが頻繁に出力するようであれば、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>
84000003	<p>予期せぬエラーが発生しました。システムを正常な状態に復旧するため、システムの再起動を行います。保留されている処理はキャンセルされますので、再起動後に再度実行してください。システムを再起動しても同様な現象が発生する場合、スキャナ部の異常が考えられます。この場合、ADF 内部の原稿を取り除き、本体の電源コードの抜き差しを行い、システムを再起動してください。本メッセージが頻繁に出力するようであれば、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。[8桁の英数字]</p>	<p>本メッセージが頻繁に出力するようであれば、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>

コード	メッセージ	対処
84000004	<p>予期せぬエラーが発生しました。電源を切断し、システムを再起動してください。再起動しても現象が発生する場合は、本体の電源コードの抜き差しを行い、システムを再起動してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店またはPFUイメージングサービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。[8桁の英数字]</p>	<p>本装置の電源を切断してください。電源切断後、本装置のACケーブルを抜いてください。10秒程時間をおいてACケーブルを電源コンセントに接続し、再度電源を投入してください。それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社/販売店またはPFUイメージングサービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</p>



## F.2.3 ユーザーログ

コード	メッセージ	対処
00000000	正常終了しました。	対処の必要はありません。
12010001	スキャンデータの合計サイズが、メールに添付するデータサイズの上限値を超えています。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1回に読み取る原稿の枚数を減らして、複数回に分けてメールを送信してください。</li> <li>● 圧縮率を高く設定して読み取ってください。  <a href="#">「6.9.9 圧縮率を設定します」 (333 ページ)</a></li> </ul> <p>それでも発生する場合は、管理者に連絡して、「添付ファイル最大サイズ」の設定を確認してください。  <a href="#">「4.7.11 メールサーバを設定します」 (121 ページ)</a></p>
12010002	メール送信時に、サーバに接続できませんでした。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置および SMTP サーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定および SMTP サーバの設定情報が正しく指定されているか確認してください。  <a href="#">「8.3 ネットワーク通信ができないときには」 (398 ページ)</a></li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> </ul>
12010005	メールのサイズが、SMTP サーバで許容されているサイズの上限値を超えています。	管理者に連絡して、SMTP サーバで許容されているメールの最大メッセージサイズを確認してください。

コード	メッセージ	対処
12010006	メール送信時に、サーバとの接続が切断されました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置および SMTP サーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定および SMTP サーバの設定情報が正しく指定されているか確認してください。</li> </ul> <p>「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバで許容されている最大セッションサイズを確認してください。</li> </ul>
12010007	メールの送信要求がサーバに拒否されました。(宛先アドレスが不当、または分割されたメールの受信不可等が考えられます。)	<p>本エラーは、SMTP サーバによって、メールの送信が拒否された場合に発生します。</p> <p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 宛先のメールアドレスが正しいかどうか確認してください。</li> <li>● 宛先のメールアドレスが正しい場合、SMTP サーバの管理者に連絡して、分割メールが使用できるか、またはアクセス制限などが設定されていないかを確認してください。</li> </ul>



コード	メッセージ	対処
12010100	メール送信処理でエラーが発生しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 左記メッセージのあとに、サーバから返されるメッセージがそのまま付加されます。サーバ管理者に内容を通知し、対処してもらってください。</li> <li>● メールサーバにアクセス制限が設定されていないかサーバ管理者に確認してください。</li> <li>● ジョブの設定で「宛先」および「送信者」に [ ジョブ実行者のメールアドレス ] が選択されている場合、以下のユーザーでジョブを実行するとエラーとなります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインしたユーザーのメールアドレスがない場合</li> <li>● guest アカウントでログインした場合</li> </ul> その場合は、メールアドレスが登録されているユーザーでジョブを実行してください。</li> </ul>
12020001	スキャンデータの合計サイズが、FAX に添付するデータサイズの上限值を超えています。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 回に読み取る枚数を減らし、複数回に分けて FAX を送信してください。</li> <li>● 圧縮率を高く設定して読み取ったスキャン画像を FAX で送信してください。  <a href="#">「6.9.9 圧縮率を設定します」 (333 ページ)</a>  それでも発生する場合は、管理者に連絡して、本装置の「添付ファイル最大サイズ」の設定を確認してください。  <a href="#">「4.7.11 メールサーバを設定します」 (121 ページ)</a></li> </ul>

コード	メッセージ	対処
12020002	FAX 送信時に、サーバに接続できませんでした。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置および SMTP サーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、SMTP サーバおよび FAX サーバの設定情報が正しいか確認してください。 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバおよび FAX サーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> </ul>
12020005	FAX のサイズが、SMTP サーバで許容されているサイズの上限值を超えています。	<p>管理者に連絡して、本装置の「添付ファイル最大サイズ」の設定を確認してください。 「4.7.11 メールサーバを設定します」(121 ページ)</p>
12020006	FAX 送信時に、サーバとの接続が切断されました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置および SMTP サーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定および SMTP サーバの設定情報が正しく指定されているか確認してください。 「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、SMTP サーバで許容されている最大セッションサイズを確認してください。</li> </ul>



コード	メッセージ	対処
12020100	FAX 送信処理でエラーが発生しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サーバから返されるメッセージがそのまま付加されます。管理者に内容を通知し、対処してください。</li> <li>● ジョブの設定で「結果通知先メールアドレス」に[ジョブ実行者のメールアドレス]が選択されている場合、以下のユーザーでジョブを実行するとエラーとなります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインしたユーザーのメールアドレスがない場合</li> <li>● guest アカウントでログインした場合</li> </ul> その場合は、メールアドレスが登録されているユーザーでジョブを実行してください。</li> </ul>
12030001	ネットワークパスが見つかりません。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびプリントサーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、プリントサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● プrintサーバのスプーラが正常に動作しているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、ネットワーク共有プリンタの設定情報が正しいか確認してください。  <a href="#">「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</a></li> </ul>
12030002	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。	指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
12030005	ネットワークがビジー状態です。時間をおいてから再実行してください。	しばらく待ってから、再度実行してください。

コード	メッセージ	対処
12030006	ユーザー名またはパスワードに誤りがあります。	ユーザー名、パスワードに正しい値を入力してください。
12030007	ネットワークに接続されていません。	Ping でネットワーク共有プリンタがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、 <a href="#">「IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法」(404 ページ)</a> を参照して対処してください。
1203000A	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。
1203000C	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
1203000D	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したパスワードが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
1203000E	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーは、パスワードの変更が必要です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>



コード	メッセージ	対処
1203000F	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク共有プリンタの認証に指定したアカウントのロックアウト状態を解除するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
12030010	ネットワーク共有プリンタへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインが許可されている時間に再実行してください。</li> <li>● ログインが拒否されている時間の設定を変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
12030011	ネットワーク共有プリンタと通信できませんでした。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびプリントサーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、プリントサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● プrintサーバのスプーラが正常に動作しているか確認してください。</li> <li>● 指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、ネットワーク共有プリンタの設定情報が正しいか確認してください。</li> </ul> <p>「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</p>

コード	メッセージ	対処
12030100	印刷処理でエラーが発生しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびプリントサーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、登録済みネットワーク共有プリンタのパス名が正しいか確認してください。</li> <li>● ネットワーク共有プリンタの印刷権限を確認してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
12040001	ネットワークパスが見つかりません。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびファイルサーバに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ファイルサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、ネットワーク共有フォルダの設定情報が正しいか確認してください。</li> </ul> <p>「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● フォルダを作成する際に、作成されるフォルダ名と同じファイル名が保存先のネットワーク共有フォルダにすでに存在する場合は、フォルダを作成することができません。同名のファイル名を変更するか、またはファイル名設定を見直してください。</li> </ul> <p>FTP サーバのネットワーク共有フォルダに保存する場合は、以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 管理者に連絡して、ログインしていたユーザーまたは認証用に指定したユーザーに対して、FTP サーバのネットワーク共有フォルダへの読み込みおよび書き込みが許可されているか確認してください。</li> <li>● ファイルの属性が隠しファイル属性になっていないか確認してください。</li> <li>● 上書き対象ファイルの使用終了を確認後、再度実行してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
12040002	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、ログインしていたユーザーまたは認証用に指定したユーザーに対して、ネットワーク共有フォルダへのアクセスが許可されているか確認してください。</li> <li>● ファイルの属性が隠しファイル属性になっていないか確認してください。</li> </ul>
12040003	すでにファイルが存在しているため保存できません。	ファイルを上書き保存する場合は、フォルダ保存設定時に上書き設定を[はい]にしてフォルダに保存してください。
12040005	ネットワークがビジー状態です。時間をおいてから再実行してください。	しばらく待ってから、再度実行してください。
12040006	ユーザー名またはパスワードに誤りがあります。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ユーザー名、パスワードに正しい値を入力してください。</li> <li>● プロキシサーバが正常に稼働しているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置の IP アドレス設定が正しいか、また、FTP サーバのネットワーク共有フォルダおよびプロキシサーバの設定情報が正しいか確認してください。</li> </ul> <a href="#">「8.3 ネットワーク通信ができないときには」(398 ページ)</a>



コード	メッセージ	対処
12040007	ネットワークに接続されていません。	Ping でネットワーク共有フォルダがあるサーバ以外のマシンにネットワーク通信の確認を行い、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。本システムのネットワークが正常に動作していない場合は、「 <a href="#">IP アドレス指定で本装置から各サーバにネットワーク通信ができない場合の対処方法</a> 」(404 ページ) を参照して対処してください。
12040009	指定したネットワーク共有フォルダに空き容量が足りません。	容量を確保して、再度実行してください。
1204000A	指定したネットワークパスの接続数が最大値に達しているため、このネットワークパスに接続できません。	不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。
1204000B	上書き対象ファイルが使用中の可能性がります。	上書き対象ファイルの使用終了を確認後、再度実行してください。
1204000C	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのアカウントを有効にするよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
1204000D	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したパスワードが無効です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● パスワードの有効期限を延長するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>

コード	メッセージ	対処
1204000E	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーは、パスワードの変更が必要です。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 別のアカウントで再実行してください。</li> <li>● ネットワーク共有フォルダの認証に指定したユーザーのパスワードを変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
1204000F	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。指定したアカウントは現在ロックアウトされています。	ネットワーク共有フォルダの認証に指定したアカウントのロックアウト状態を解除するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。
12040010	ネットワーク共有フォルダへのアクセスが拒否されました。現在ログインできません。	以下のいずれかの対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ログインが許可されている時間に再実行してください。</li> <li>● ログインが拒否されている時間の設定を変更するよう、ネットワーク管理者に連絡してください。</li> </ul>
12040011	ファイル名に使用できない文字 (: * ? " < >   ) (CON PRN AUX CLOCK\$ NUL) (COM0 - COM9) (LPT0 - LPT9) が設定されています。使用可能な文字を設定してください。	以下の文字はファイル名に使用できません。 : * ? " < >   CON PRN AUX CLOCK\$ NUL COM0 - COM9 LPT0 - LPT9 ファイル名に使用可能な文字を入力してください。



コード	メッセージ	対処
12040100	ネットワーク共有フォルダへの保存処理でエラーが発生しました。	<p>以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、ネットワーク共有フォルダへの保存が可能な状態になっているか確認してください。</li> <li>● ファイル形式が [MTIFF] の場合、2GB を超えて生成された可能性があります。ファイルサイズを小さくし、再度実行してください。</li> <li>● 指定したファイル名の形式や文字数がファイルサーバで許可されているか確認してください。</li> </ul> <p>FTP サーバのネットワーク共有フォルダに保存する場合は、以下のいずれかの対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置およびFTPサーバにLANケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>● ネットワーク管理者に連絡して、FTPサーバが正常に稼動しているか確認してください。</li> <li>● 管理者に連絡して、本装置のIPアドレス設定が正しいか、また、FTPサーバのネットワーク共有フォルダのパス名が正しいか確認してください。</li> </ul> <p><a href="#">「8.3 ネットワーク通信ができないときには」 (398 ページ)</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 容量を確保して、再度実行してください。</li> <li>● 不要なネットワークを閉じて、再度ネットワークパスを指定してください。</li> </ul>
12050001	SharePoint に保存するファイルのプロパティ操作に失敗しました。	該当するサイトのプロパティ設定、アクセス権、ファイルの状態などを確認し、再度実行してください。

コード	メッセージ	対処
12050002	<p>SharePoint に保存するファイルのアクセスに失敗しました。</p> <p>以下の内容を確認して対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SharePoint サーバ上の空き領域が不足していないか</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>	<p>以下の内容を確認して対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SharePoint サーバ上の空き領域が不足していないか</li> <li>● SharePoint サーバが正常に稼働しているか</li> <li>● 指定したサーバにアクセス許可があるかどうか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>
12050003	<p>SharePoint に保存するファイルの上書き処理に失敗しました。</p>	<p>該当するサイトの書き込み権限や、ファイルの使用状況などを確認して、再度実行してください。</p>
12050004	<p>SharePoint フォルダの作成に失敗しました。</p>	<p>該当するサイトの書き込み権限や、ファイルの使用状況などを確認して、再度実行してください。</p>
12050005	<p>SharePoint フォルダに格納するには、ファイルサイズが大きすぎます。</p>	<p>処理可能なファイルサイズを確認して、再度実行してください。</p>
12050006	<p>SharePoint フォルダが見つかりません。</p>	<p>操作の対象とするフォルダが存在するか確認してください。</p>
12050007	<p>SharePoint ライブラリ、またはフォルダが見つかりません。</p>	<p>操作の対象とするライブラリ、またはフォルダが存在するか確認してください。</p>



コード	メッセージ	対処
12050008	<p>SharePoint サイトが見つかりません。</p> <p>以下の内容を確認して対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか</li> <li>● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>	<p>以下の内容を確認して対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか</li> <li>● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か</li> <li>● 指定した SharePoint フォルダに画像ファイルが格納できるか</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社/販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>
1205000A	<p>SharePoint に保存するファイルは使用中です。</p>	<p>ファイルの使用状況を確認して、再度実行してください。</p>
1205000B	<p>SharePoint のサイト認証に失敗しました。</p>	<p>サイトへサインインするときのユーザー名、パスワードなどを確認して、再度実行してください。</p>
1205000C	<p>SharePoint サイトに接続できません。</p> <p>以下の内容を確認して対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか</li> <li>● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>	<p>以下の内容を確認して対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか</li> <li>● 認証画面が表示された場合は指定した認証情報が正しいか否か</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社/販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>
1205000D	<p>SharePoint サイトにアクセス権限がありません。</p>	<p>サイトに対するアクセス権限を確認してください。</p>

コード	メッセージ	対処
12050015	<p>SharePoint サーバへのファイル転送エラーが発生しました。</p> <p>以下の内容を確認して対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか</li> <li>● SharePoint サーバ上の空き領域が不足していないか</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>	<p>以下の内容を確認して対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定した SharePoint サイトへ接続できるか</li> <li>● SharePoint サーバ上の空き領域が不足していないか</li> <li>● 指定した SharePoint フォルダに画像ファイルが格納できるか</li> </ul> <p>それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>
12050016	<p>すでにファイルが存在しているため保存できません。</p>	<p>別のファイル名にするか、上書き設定を [はい] に変更してください。</p>
12050018	<p>SharePoint サイトで許可されていない種類のファイルです。</p>	<p>SharePoint サイトで許可されているファイル形式を選択して、再度実行してください。</p>
12050100	<p>SharePoint 操作時に内部エラーが発生しました。</p>	<p>再度同じ操作を行い、それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。</p>
F4B30000	<p>予期せぬエラーが発生しました。電源を切断し、再度投入してください。それでも発生する場合は、ご購入の販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターまでご連絡ください。[8桁の英数字]</p>	<p>電源を切断し、電源ボタンを押して再起動してください。</p> <p>それでも発生する場合は、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&amp;サポートセンターに連絡してください。</p>
F4CA0000		
F4EF0000		
F2010002		
F2020002		
F2040002		



---

## F.3 集中管理のメッセージ

集中管理の操作を行っているときに表示されるメッセージの一覧を示します。

### F.3.1 システムログのメッセージ

集中管理の操作中に出力されるシステムログメッセージには以下の3種類があります。

- 情報
- 警告
- エラー

システムログメッセージはスキャナのシステムログに表示されます。

## ■ 情報

コード	メッセージ	対処
0B020001	集中管理サーバにスキャナ情報を通知しました。	対処の必要はありません。
0B020020	Add-in をアップデートしました。	
0B020021	システム環境設定をアップデートしました。	
0B020022	システムをアップデートしました。	
0B020023	ユーザー情報をアップデートしました。	
0B020024	共有ジョブ設定をアップデートしました。	
0B020005	ユーザー情報をアップロードしました。	
0B020006	ログインにより、アップデート処理を中止しました。	
0B020013	集中管理サーバの情報が変更されました。	
0B020014	自動アップデートスケジュールによるアップデート処理を開始します。	
0B020015	自動アップデートスケジュールによるアップデート処理が完了しました。	

F

## ■ 警告

コード	メッセージ	対処
6B020003	不正なサーバからの要求を受け付けました。	スキャナに対して不正なアクセスがありました。 本メッセージが頻繁に出力される場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
6B020004	集中管理サーバへの問い合わせ中にネットワークでエラーが発生しました。	エラー「7B020001」(581 ページ) の対処を参照してください。 次回スキャナ起動時、ログアウト時、レジューム復帰時に集中管理サーバへの再問い合わせが行われます。
6B020005	監査ログ取得のアップロードに失敗しました。	エラー「7B020001」(581 ページ) の対処を参照してください。
6B020006	集中管理サーバへの稼働状態通知に失敗しました。	次回スキャナ起動時、電源切断時、ログイン時、ログアウト時、レジューム復帰時、省電力モードへの移行時に集中管理サーバへの再通知が行われま す。
6B020007	集中管理サーバへのエラー通知に失敗しました。(xxxx)	エラー「7B020001」(581 ページ) の対処を参照してください。 集中管理サーバへエラー通知されませんでした。 xxxx には、通知に失敗したエラーコードが表示されます。

## ■ エラー

コード	メッセージ	対処
7B020001	集中管理サーバへのスキャナ情報通知に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集中管理サーバでの対処 Central Admin Console の「スキャナ一覧」画面で、該当スキャナが登録されていることを確認してください。</li> <li>● スキャナでの対処 [ネットワーク設定]の「Ping」画面で、集中管理サーバのアドレスを入力して応答があるかどうかを確認してください。 集中管理サーバからの応答がない場合、[ネットワーク設定]の「IP アドレス」画面で、DHCP の有効無効を確認してください。DHCP が無効の場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正しく設定されていることを確認してください。 また、スキャナと集中管理サーバ間のネットワークが正しく接続されていることを確認してください。 [ネットワーク設定]の「集中管理サーバ」画面で、集中管理サーバへの登録状態が「登録済み」と表示されていることを確認してください。 集中管理サーバへの登録状態が「未登録」と表示されている場合、集中管理サーバのアドレス、ポート番号の値を確認し、集中管理サーバへの登録を実施してください。</li> </ul>
7B020050	Add-in のアップデートに失敗しました。	エラー「 <a href="#">7B020001</a> 」( <a href="#">581 ページ</a> ) の対処を参照してください。
7B020051	システムのアップデートに失敗しました。	アップデートは完了していません。 Central Admin Console の「適用状況」画面で、該当スキャナがエラー状態の場合は、エラーを解除してください。
7B020038	システム環境設定は適用されませんでした。	ログアウトすることにより、再度アップデート処理が実行されます。

コード	メッセージ	対処
7B020039	適用に失敗したシステム環境設定が一部あります。	システム環境設定の適用で、一部設定に失敗している可能性があります。 Admin Tool を使ってシステムログのエラー内容を確認し、再度アップデート処理を実行してください。 アップデート処理の再実行については、エラー「 <a href="#">7B020038</a> 」( <a href="#">581 ページ</a> )の対処を参照してください。
7B020060	ユーザー情報のダウンロードに失敗しました。	エラー「 <a href="#">7B020001</a> 」( <a href="#">581 ページ</a> )の対処を参照してください。 ユーザー情報がダウンロードされていないため、最新のユーザー情報が共有されていない可能性があります。 最新のユーザー情報を共有する場合は、エラー対処後、再度ログインしてください。 ユーザー情報のダウンロードに失敗した状態で、本装置のユーザー情報を変更してもログアウト時、ユーザー情報は集中管理サーバにアップロードされません。 [ネットワーク設定]の「集中管理サーバ」画面で、ジョブ設定共有が有効になっている場合、共有ジョブ設定もダウンロードされていない可能性があります。 最新のジョブ設定を共有する場合は、エラー対処後、再度ログインしてください。
7B020061	共有ジョブ設定のダウンロードに失敗しました。	エラー「 <a href="#">7B020001</a> 」( <a href="#">581 ページ</a> )の対処を参照してください。 共有ジョブ設定はアップデートされていないため、ジョブ設定の共有はできません。 ジョブ設定を共有する場合は、エラー対処後、再度ログインしてください。

コード	メッセージ	対処
7B020023	ユーザー情報のアップロードに失敗しました。	エラー「7B020001」(581 ページ) の対処を参照してください。 ユーザー情報は集中管理サーバにアップロードされていないため、共有ユーザー情報は更新されていません。
7B020035	集中管理サーバへの問い合わせ中にネットワークでエラーが発生しました。	エラー「7B020001」(581 ページ) の対処を参照してください。 ユーザー情報、ジョブ設定は共有されません。
7B020036	集中管理サーバへの問い合わせ中にネットワークでエラーが発生しました。	エラー「7B020001」(581 ページ) の対処を参照してください。 集中管理サーバに適用状態が通知されていません。 次回スキャナ起動時、ログアウト時、レジューム復帰時に集中管理サーバに適用状態が通知されます。
7B020011	インベントリ情報の取得に失敗しました。	以下の対処のいずれかを行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● DHCP サーバまでの物理的なネットワーク接続が正しく行われているかを確認してください。</li> <li>● DHCP サーバが正常に動作していない、または DHCP サーバ側の設定（リース数制限や MAC アドレス認証など）により正しく IP アドレスが割り当てられていないことが考えられます。DHCP サーバを確認してください。</li> </ul> 上記に問題がない場合、スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターまでご連絡ください。
7B020025	集中管理サーバへの問い合わせに失敗しました。	予期せぬエラーが発生しました。 スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターまでご連絡ください。
7B020026	集中管理サーバへの問い合わせに失敗しました。	
7B020064	集中管理サーバへのスキャナ情報通知に失敗しました。	エラー「7B020001」(581 ページ) の対処を参照してください。



コード	メッセージ	対処
7B020065	稼動状態通知機能の起動に失敗しました。	予期せぬエラーが発生しました。スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。
7B020066	エラー通知機能が異常終了しました。	予期せぬエラーが発生しました。スキャナを購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。

# 付録 G

---

## 用語解説

管理者

利用者

G

---

## 明るさ

本書中では、読み取った画像の明るさを指します。

## インターフェース

コンピュータとスキャナの通信に用いられる接続規格です。

## エグゼクティブサイズ

184.2×266.7mm の定型原稿サイズです。

## 解像度

画像のクオリティ（精細さ）を示す基準です。1 インチあたりのピクセル数によって表します。画像データは、微小な点（ピクセル）の集まりです。同じ画像の場合、ピクセル数が多い方が、細部分まで表現することができます。そのため、解像度が大きいほど、高精彩な画像となります。

## 片面読み取り

原稿の指定面（片面）のみ読み取るモード（⇔両面読み取り）です。

## キャリアシート

原稿搬送用シートです。

## 原稿づまり

搬送路内で原稿がつまった場合、または紙すべりにより給紙が中断された場合に表示されるエラーのことです。

## 初期値

出荷時に設定されている各種設定値のことです。

## 縦向き

原稿の長辺を給紙方向と平行にセットする方法です。原稿が縦にセットされ、画像が縦に表示されます。

## 超音波センサー

超音波によりマルチフィードを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、マルチフィードを検出します。

---

## ノイズ

白い（黒い）領域に黒い（白い）点として表示される孤立点です。

## 排出ローラ

ADF からスタッカーへ原稿を搬送するローラです。

## はがきサイズ

100×148mm の定型原稿サイズです。  
本装置では縦型とします。

## パッドユニット

ADF 内部に繰り込む前に、原稿どうしを分離する部品の 1 つです。  
ピックローラに原稿を押し当てるためのゴム製部材です。

## ピックローラ

ADF 内で原稿を搬送するローラです。

## フィードローラ

ADF 内で原稿を搬送するローラです。

## プラスチックローラ

ADF 内で原稿を搬送するローラです。

## マルチフィード検出

ADF で読み取る場合に、原稿が複数枚重なった状態で搬送されてしまうのを防止するための機能です。マルチフィード検出する／しないの設定が可能です。

## 名刺サイズ

55×91mm の定型原稿サイズです。  
本装置では縦型とします。

## リーガルサイズ

215.9×355.6mm の定型原稿サイズです。

---

## 両面読み取り

原稿の両面を一度に読み取るモード（⇔片面読み取りモード）です。

## レターサイズ

215.9×279.4mm の定型原稿サイズです。

## 横向き

原稿の短辺を給紙方向と平行にセットする方法です。

## A4 サイズ

210×297mm の定型原稿サイズです。

## A5 サイズ

148×210mm の定型原稿サイズです。

## A6 サイズ

105×148mm の定型原稿サイズです。

## ADF（自動給紙部）

ADF（= Automatic Document Feeder）です。

複数枚の原稿を、自動的に一枚ずつ搬送しながら読み取るための搬送機構です。

## B5 サイズ

182×257mm の定型原稿サイズです。

## B6 サイズ

128×182mm の定型原稿サイズです。

## dpi（dots per inch）

1 インチあたりのドット数です。スキャナやプリンタの解像度の単位として用いられます。dpi の値が高いほど、解像度は高くなります。

---

## LDAP (Lightweight Directory Access Protocol)

TCP/IP ネットワークで、ディレクトリデータベースにアクセスするためのプロトコルです。

## MMR

ITU-T(CCITT) T.6 圧縮方式です。  
読み取り設定でカラーモードを「白黒」にした場合に使用される圧縮方式です。



# 修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要な時にそのつどご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

## ■契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

### 定額訪問修理サービス

機器の故障発生には、ただちにサービスエンジニアが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。

全国サービスネットによる迅速な修理対応を行います。

### 定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用していただくために、年一回サービスエンジニアが点検作業に伺います。

機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。

機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

## ■スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

### 持込／センドバック修理

修理窓口まで機器を持ち込んでいただき修理を行います。

持込／センドバック修理	基本料 + 部品費 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス（付加） * 1	修理中に代替機を貸出します。（引き取りと併用）

\* 1 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承ください。

診断料	診断後、交換部品が高価などの理由で修理をキャンセルされた場合などにかかります。
-----	---

### 訪問修理

機器の故障発生時にご連絡いただき、その後、サービスエンジニアが直接修理に伺います。ハードディスクを交換する場合は、システム管理者に同席していただく必要があります。

訪問修理	訪問基本料金（作業時間 = 1 時間まで）+ 部品費
------	----------------------------

#### スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ

受付窓口	株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話からおかけの場合）  お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。
受付時間	9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	<a href="http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/">http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/</a>

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または PFU イメージング サービス & サポートセンターまでお問い合わせください。

## ■消耗品／清掃用品の購入先

消耗品、清掃用品のご購入については、本装置を購入された販社 / 販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

ご購入先	
受付窓口	株式会社 PFU PFU ダイレクト
E-mail	shop@pfu.fujitsu.com
電話	0120-14-4541  お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります
受付時間	9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く)
ホームページ	<a href="http://www.pfu.fujitsu.com/direct/">http://www.pfu.fujitsu.com/direct/</a>

- 本製品の修理はお客様自身では行わないでください。
- 本製品の保証条件については、製品に同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。保証書には所定事項をご記入の上、大切に保管願います。
- 本製品の修理部品の最低供給期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。



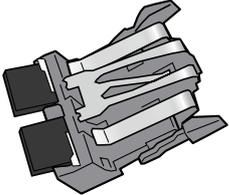
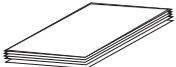
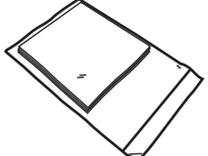
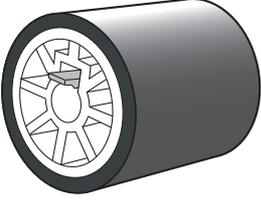
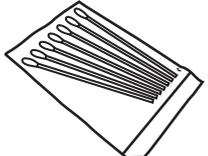
# ScanAid の購入

ScanAid は、スキャナに必要な消耗品・清掃用品（パッドユニット、クリーナーなど）をまとめた製品です。ScanAid を購入することで、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。

ScanAid の品名および型名は、以下のとおりです。

品名	型名
ScanAid	FI-601SA

ScanAid の梱包品の品名は、以下のとおりです。

清掃用品		消耗品	
品名	備考	品名	備考
クリーナー F1 (1本) 	容量 : 50ml	パッドユニット (2個) 	5万枚または1年ごとに交換
クリーニングペーパー (1パック) 	10枚入り / 1パック		
クリーニングクロス (1パック) 	20枚入り / 1パック	ピックローラ (1個) 	10万枚または1年ごとに交換
綿棒 (2パック) 	50本入り / 1パック		

ScanAid のご購入については、「[消耗品／清掃用品の購入先](#)」(593 ページ) を参照してください。



# 索引

## あ

明るさ	335
圧縮	326, 333
圧縮率を設定します	333
アップデート	179
アップデートします	179
アップロード (Add-in 環境設定ファイル)	184
アドレスを削除します	274
アドレスを設定します	461
アドレスを追加します	269
アドレスを入力します	264
穴をあけてはいけない領域	425
アンインストール (Add-in)	184
アンインストール (AddressBook Editor)	448
アンインストール (Admin Tool)	53

## い

異常通知先	154
印刷	285
印刷位置	295
印刷比率	290
印刷面を設定します	297
インストール (Add-in)	183
インストール (AddressBook Editor)	445
インストール (Admin Tool)	48

## う

裏写り除去	339
-------	-----

## お

お手入れ	367
お問い合わせ	591
オプション機能	160
オプション機能の適用状況を参照します	160
オプション品を交換します	379
オフセット	85

## か

解像度	324
解像度を設定します	324
カウンタをリセットします	162
カスタム	313
画面共通の項目	245
カラーモード	319
カラーモードを設定します	319
ガラス	7, 369, 374
環境設定	39
管理	39
管理者	8, 39, 233
管理者の画面	40
管理者パスワード	74

## き

キーボード	6, 30, 377
キーボードを清掃します	377
機能別の設定項目	35
キャリアシート	242, 318, 378, 380, 387
キャリアシートを購入します	387

キャリアシートを清掃します	378
キャリアシートを設定します	318

## く

グループを設定します	457
グローバルメニュー	40, 42

## け

原稿	240, 421
原稿の厚さ	421
原稿のサイズ	420
原稿の種類	421
原稿の枚数	424
原稿の向きを補正します	341
原稿向き補正	341
検索可能な PDF 出力	326, 328

## こ

交換周期	379, 380
コントラスト	336

## さ

サイドガイド	6
--------	---

## し

シートガイド	7
システム設定	57
システム設定情報の保守	175
システム設定情報を工場出荷時の状態に戻します	178
システム設定情報を復元します	177
システム設定情報を CSV 形式で保存します	175
システム設定操作	175, 176, 177, 178
システムログ	167

システムログの詳細情報を参照します	167
システムログを管理します	167
システムログをすべて削除します	169
システムログをダウンロードします	169
事前設定 (AddressBook Editor)	445
事前設定 (Admin Tool でログインする場合)	46
自動ログアウト	65
自動ログアウトを設定します	65
シャープネス	337
集中管理サーバ	93
修理	591
出力ファイル形式	327
仕様	437
上限値	429
省電力モード	26, 65, 66
省電力モードを設定します	65
証明書管理	87
証明書を管理します	87
消耗品	381
消耗品統計情報	161, 162
消耗品の状態を確認します	381
消耗品の状態を参照します	161
消耗品を交換します	379
初期値	313
ジョブグループに属していないユーザーにジョブメニューを設定します	223
ジョブグループの詳細設定を参照します	223
ジョブグループを削除します	222
ジョブグループを新規作成します	217
ジョブグループを設定します	217
ジョブグループを編集します	222
ジョブ設定	187
ジョブ設定の流れ	189

ジョブメニュー .....	251
ジョブメニューの詳細設定を参照します .....	216
ジョブメニューを削除します .....	216
ジョブメニューを参照して追加します .....	215
ジョブメニューを設定します .....	210
ジョブメニューを追加します .....	210
ジョブメニューを編集します .....	215
ジョブを削除します .....	205
ジョブを参照して追加します .....	204
ジョブを実行します .....	357
ジョブを絞り込みます .....	205
ジョブを設定します .....	191
ジョブを追加します .....	191
ジョブを編集します .....	204
ジョブ設定メニュー .....	42

## す

スキャナ詳細設定 .....	86
スキャナ調整 .....	84
スキャナ名 .....	60
スキャン画像を回転します .....	351
スキャン画像を削除します .....	352
スキャン画像を参照します .....	350
スキャン画像を追加します .....	352
スタッカー .....	6

## せ

清掃 .....	368
清掃箇所 .....	369
清掃頻度 .....	369
清掃用具 .....	368
セキュリティケーブルスロット .....	6
接続設定 .....	91
接続設定をします .....	91

設定値 .....	429
-----------	-----

## そ

操作 .....	39, 233, 239
操作一覧 .....	8
操作メッセージ .....	471
装置管理情報を参照します .....	159
装置情報 .....	159

## た

タイムゾーン .....	62
タイムゾーンを設定します .....	62
ダウンロード (集中管理サーバ) .....	234
ダウンロード (Central Admin Console) .....	236
タッチパネル .....	34, 39, 6, 29, 376
タッチパネル調整 .....	57
タッチパネルを清掃します .....	376

## ち

中質紙 .....	422
超音波センサー .....	369

## て

テキスト認識する言語 .....	330
電源の投入/切断について .....	24
電源ボタン .....	6, 26, 256
添付ファイル名を設定します .....	79

## と

同報リストを設定します .....	459
特長 .....	2
ドロップアウトカラー .....	338

## に

日時を設定します	63
入力方式	246
入力モード	246
入力モードの変更	440

## ね

ネットワーク共有フォルダ	139, 142, 144
ネットワーク共有フォルダ設定を 変更します	147
ネットワーク共有フォルダの詳細情報	149
ネットワーク共有フォルダ名	141, 143
ネットワーク共有フォルダを削除します	148
ネットワーク共有フォルダを登録します (直接入力 (ネットワークパス))	142
ネットワーク共有フォルダを登録します (直接入力 (FTP パス))	144
ネットワーク共有フォルダを登録します (ツリー選択)	139
ネットワーク共有プリンタ	129, 133
ネットワーク共有プリンタの詳細情報	137
ネットワーク共有プリンタ名	132, 135
ネットワーク共有プリンタ名を変更します	135
ネットワーク共有プリンタを削除します	136
ネットワーク共有プリンタを登録します (直接入力)	133
ネットワーク共有プリンタを登録します (ツリー選択)	129
ネットワーク状態を確認します	157
ネットワーク設定	89

## の

ノーカーボン紙	422
---------	-----

## は

排出ローラ	369, 373
倍率	85
白紙ページ削除	340
白紙ページを削除します	340
パスワードロックを設定します	331
パスワードを変更します	74
バックカバー	6
パッドユニット	7, 369, 372, 379, 382
パッドユニットを交換します	382
半透明の原稿	422

## ひ

ピックローラ	7, 369, 374, 379, 383
ピックローラを交換します	383
日付/時刻	63
表示&編集	347, 350

## ふ

ファイル形式を設定します	326
ファイルサーバ	19
ファイル名設定	75, 79
フィードローラ	369, 373
フォルダー一覧	298, 303
フォルダに保存します	298
プラスチックカード	423
プラスチックローラ	369, 374
プリンター一覧	285
プリントサーバ	19
プロキシサーバ	102

<b>ほ</b>	
ポート番号一覧	21
保守情報	185, 186
保守情報の採取レベル	185
保守情報を採取します	186
保存	298
保存ファイル名を設定します	75
ボタン	40, 42
本装置の環境設定を行います	238

<b>ま</b>	
マルチフィールド検出	344
マルチフィールド検出設定	81
マルチフィールドの検出条件	81

<b>め</b>	
名称	5
メインメニュー	248
メール	259
メールアドレス台帳	170, 264, 269, 272, 274
メールアドレス台帳の最大登録件数	269
メールアドレス台帳の編集内容を 破棄します	463
メールアドレス台帳を開きます	454
メールアドレス台帳を編集します	272
メールアドレス台帳を保存します	464
メールアドレスの設定値	430
メールアドレス LDAP サーバ	113
メールアドレス LDAP サーバを 設定します	113
メールサーバを設定します	121
メール送信/ファイル保存するときの ファイル名を変更します	363
メールで送信します	259
メッセージ表示	361

メニュー	40, 42
メンテナンス	170

<b>も</b>	
文字が検索できる PDF	328

<b>ゆ</b>	
ユーザー情報	170
ユーザー情報操作	172
ユーザー情報を削除します	174
ユーザー情報を退避します	172
ユーザー情報を復元します	173
ユーザープリンシパル	112
ユーザーログ	164, 354
ユーザーログ一覧	164
ユーザーログの詳細情報を参照します	164
ユーザーログを管理します	164
ユーザーログを削除します	166
ユーザーログを参照します	354
ユーザーログをダウンロードします	166

<b>よ</b>	
用語解説	585
用紙サイズ	320, 322
用紙サイズを設定します	320
読み取り設定	311
読み取り設定をします	311
読み取り枚数	161
読み取り面	325
読み取り面を設定します	325
読み取る枚数を確認します	364

<b>り</b>	
利用者	8, 239
利用者ごとの設定	247

利用者の画面 .....	245
両面／片面 .....	297
履歴管理 .....	164

## る

ルート証明機関一覧 .....	434
ルート証明機関について .....	433

## ろ

ログアウト .....	40
ログイン .....	44, 54, 255
ログイン設定 .....	67
ログイン設定をします .....	67
ログイン LDAP サーバ .....	104
ログイン LDAP サーバを設定します .....	104

## わ

枠消し .....	345
-----------	-----

## A

AC アダプター用コネクタ .....	6
Add-in .....	163, 183
Add-in インストール .....	183
Add-in 管理 .....	183
Add-in 情報 .....	163
Add-in 情報を参照します .....	163
AddressBook Editor .....	444
AddressBook Editor の画面 .....	449
ADF .....	7
ADF 給紙シュート .....	6
ADF ボタン .....	6
ADF を清掃します .....	370
Admin Tool .....	34, 39, 48
Admin Tool からログインします .....	46
Admin Tool の画面 .....	42

Admin Tool の動作環境 .....	15
------------------------	----

## C

Central Admin Console .....	34, 233, 236
Central Admin Console の動作環境 .....	17
CSV 形式 .....	166

## D

DHCP サーバ .....	20
DNS サーバ .....	19, 97

## F

FAX サーバ .....	20, 123
FAX 送信宛先を削除します .....	284
FAX 送信宛先を追加します .....	281
FAX 送信宛先を入力します .....	278
FAX 送信サーバを設定します .....	123
FAX で送信します .....	276
FAX 番号台帳 .....	170, 278, 281, 284
FAX 番号台帳を編集します .....	283
FAX 番号の最大登録件数 .....	281
FTP サーバ .....	19
FTPS サーバ .....	19

## I

IP アドレス .....	89
---------------	----

## L

LAN コネクタ .....	6
LCD カバー .....	6
LDAP List .....	265
LDAP 一覧を絞り込みます .....	206, 225
LDAP 検索条件 .....	116
LDAP 検索条件を設定します .....	116
LDAP サーバ .....	18, 256

---

LDAPS サーバ .....18

Link Speed/Duplex Mode を設定します ....158

## M

My List ..... 269, 272, 274

## N

NTP サーバ ..... 20, 100

NTP サーバを設定します .....100

## P

PDF パスワードロック ..... 326, 331

Ping .....155

## S

SAM アカウント .....112

SCAN ボタン ..... 6, 28

SharePoint サーバ .....19

SharePoint に保存 .....303

SharePoint フォルダを設定します .....150

SMTP サーバ ..... 18, 121

## U

URL .....48

## W

WINS サーバ ..... 20, 99

---

**fi-6010N ネットワークスキャナ**

**オペレーターガイド**

**P3PC-2962-05Z0**

**発行日 2012年2月**

**発行責任 株式会社 PFU**

- 
- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
  - 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
  - 無断転載を禁じます。